

川  
原  
平  
(1)  
遺  
跡  
VI

# 川原平(1) 遺跡VI

- 津軽ダム建設事業に伴う遺跡発掘調査報告 -

北捨場地区

二〇一七・三

2017年3月

青森県教育委員会

青森県教育委員会





# 川原平(1)遺跡VI

- 津軽ダム建設事業に伴う遺跡発掘調査報告 -

北捨場地区

2017年3月

青森県教育委員会





北捨場 調査風景 北西上空→



彩文土器 (写75-18)



赤塗り石製品剥落片  
(写188-3) S=1/1



土製品集合



縮尺 1:4

石刀（写175-1）出土状況 北西→

# 序

青森県埋蔵文化財調査センターでは、平成15年度から平成27年度にかけて津軽ダム建設事業予定地内に所在する遺跡の発掘調査を実施しました。そのうち、川原平（1）遺跡では、平成15・23・25～27年度に発掘調査を実施しました。

調査の結果、縄文時代中期から晩期にかけての建物跡・土坑・土器埋設遺構・配石遺構・焼土遺構・盛土遺構・捨場等が確認され、縄文時代の集落が営まれていたことがわかりました。遺物は土器・土製品、石器・石製品、漆製品、木製品、骨角器、動植物遺存体等が出土しました。特に縄文時代後期後葉～晩期にかけての遺物は、この地域では稀少な出土例として注目され、晩期の亀ヶ岡文化を考える上で貴重な発見となりました。

本報告書は、26年度に実施した川原平（1）遺跡発掘調査事業のうち、北捨場地区の調査成果をまとめたものです。この成果が、埋蔵文化財の保護に広く活用され、また、地域の歴史を理解する一助となることを期待します。

最後に、日頃から埋蔵文化財の保護と活用に対してご理解をいただいている国土交通省東北地方整備局津軽ダム工事事務所に厚くお礼申し上げるとともに、発掘調査の実施と調査報告書の作成にあたり、ご指導、ご協力をいただきました関係各位に対し、心より感謝いたします。

平成29年3月

青森県埋蔵文化財調査センター

所長 田村博美

## 例 言・凡 例

- 1 本書は、国土交通省東北地方整備局津軽ダム工事事務所による津軽ダム建設事業に伴い、青森県埋蔵文化財調査センターが平成15・23・25～27年度に発掘調査を実施した西目屋村川原平(1)遺跡のうち、平成26年度に行った北捨場地区の発掘調査報告書である（図①・②参照）。
- 2 川原平(1)遺跡の所在地は中津軽郡西目屋村大字川原平字福岡地内、青森県遺跡番号は343009である。
- 3 川原平(1)遺跡の発掘調査報告書は、既に以下3冊が刊行されている。
  - ・『川原平(1)・(4)遺跡・大川添(2)遺跡・水上遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第409集
  - ・『川原平(1)遺跡Ⅱ』青森県埋蔵文化財調査報告書第564集
  - ・『川原平(1)遺跡Ⅲ』青森県埋蔵文化財調査報告書第565集また、本書と同時期に、以下の4冊の刊行も予定されている。
  - ・『川原平(1)遺跡Ⅳ（平場地区・クラック地区）』青森県埋蔵文化財調査報告書第576集
  - ・『川原平(1)遺跡Ⅴ（東捨場地区・北東捨場地区）』青森県埋蔵文化財調査報告書第577集
  - ・『川原平(1)遺跡Ⅵ（西捨場地区）』青森県埋蔵文化財調査報告書第579集
  - ・『川原平(1)遺跡Ⅶ（自然科学分析・補遺・総括）』青森県埋蔵文化財調査報告書第580集
- 4 発掘調査と整理・報告書作成の経費は、発掘調査を委託した国土交通省東北地方整備局津軽ダム工事事務所が負担した。
- 5 発掘調査から整理・報告書作成までの期間は、以下のとおりである。

発掘調査期間	平成26年5月1日～平成26年11月14日
整理・報告書作成期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日
	平成28年4月1日～平成29年3月31日
- 6 本書は、青森県埋蔵文化財調査センターが編集し、青森県教育委員会が作成した。執筆と編集者は、報告書抄録記載の編著者が担当し、執筆者名は文末に記した。なお、発掘調査成果の一部は、現地見学会、発掘調査報告会等において公表しているが、これらと本書の内容が異なる場合には本書が優先する。
- 7 発掘調査から整理・報告書作成にあたり、以下の業務については委託により実施した。なお、自然科学分析の委託者については、『川原平(1)遺跡Ⅶ』にまとめて掲載した。

基準点・水準点測量	株式会社キタコン
空中写真撮影	株式会社シン技術コンサル

土器・小型土器の図化作業の一部	株式会社アルカ、株式会社ラング、 株式会社シン技術コンサル
石器の図化作業の一部	株式会社アルカ、株式会社ラング
遺物の写真撮影	シルバーフォト、フォトショップいなみ、有限会社無限
遺物の洗浄・注記の一部	ナカシャクリエイティブ株式会社、第一合成株式会社、 株式会社イビソク
遺物写真の切り抜き作業の一部	ワタナベサービス株式会社

- 8 石器の石質鑑定は調査員の柴正敏氏・島口天氏に依頼した。
- 9 地形図（遺跡位置図等）は、国土地理院発行の地図を合成・加工して使用した。
- 10 測量原点の座標値は、世界測地系に基づく平面直角座標第X系による。挿図中の方位は、すべて世界測地系の座標北を示している。
- 11 遺構については、その種類を示すアルファベットの略号と算用数字を組合せた番号を付した。以下のとおりである。  
 S Q - 配石遺構
- 12 遺物については、取り上げ順に種別ごとの略号と番号を付した。略号は、以下のとおりである。  
 P - 土器      S - 石器      C - 炭化材      特 - 漆製品など特殊なもの
- 13 土層の色調表記には、『新版標準土色帖2005年度版』（小山正忠・竹原秀雄）を用い、遺跡の基本土層にはローマ数字、遺構内堆積土層には算用数字を使用した。土層断面図には、水準点を基にした海拔標高を付した。
- 14 遺物実測図で使用したスクリーントーンは以下の通りであるが、一部については図に記したものもある。
- |                    |  |                    |  |         |  |     |  |
|--------------------|--|--------------------|--|---------|--|-----|--|
| 漆容器などの<br>漆塗膜      |  | 土器アスファルト<br>・黒色付着物 |  | 赤色顔料・赤彩 |  |     |  |
| 石器アスファルト<br>・黒色付着物 |  | 石器磨面               |  | 石器光沢    |  | 敲打痕 |  |
- 15 遺構実測図および遺物実測図の各図版にはスケールを付している。
- 16 実測図の掲載を省き、写真のみで報告した遺物もあるため、土器の実測図には遺物写真の個別番号を付した。石器・石製品は、遺物写真と実測図それぞれにページ単位で1から個別番号を付し

た。写真と図の個別番号は異なり、観察表にそれぞれの番号を記載した。文章中では写真の番号を使用した。土製品・小型土器は実測図と遺物写真に共通の個体番号を付した。また、写真的掲載を省き、実測図のみで報告した遺物については、実測図に個別番号を付した。なお、本文中で遺物実測図あるいは遺物写真を引用する場合は、以下のように記した。

例1) 写真19の1の場合 → 写19-1

例2) 『川原平(1) 遺跡Ⅲ』の図11の1の場合 → 報告書Ⅲ-図11-1、Ⅲ図11-1

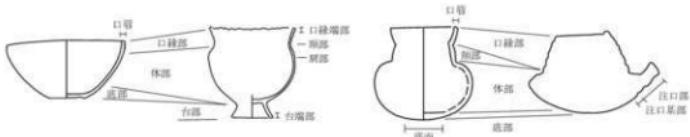
17 遺物の実測図及び写真の縮尺は、原則として土器は1/4、土製品は1/2あるいは1/3、調片石器・石製品は1/2、礫石器・石製円盤集合写真は1/3である。この原則からはずれるものについては、個別に縮尺を示した。

#### 18 調査経過等について

今回の報告範囲における調査に至る経緯、調査体制（調査体制及び整理・報告書作成体制）、作業経過（発掘作業の経過及び整理・報告書作成作業の経過）については、今回報告範囲以外の地区のものとあわせ、『川原平(1) 遺跡Ⅳ』(576集)に掲載した。

#### 19 土器の整理・分類について

土器は写真掲載を基準とし、可能な範囲で実測図を作成した。区分・分類基準などについては、本報告書の「第2章第2節2土器」に掲載した。また、口径あるいは器高が10cm以下の容器についてはミニチュア・小型土器として扱った（詳細については『川原平(1) 遺跡Ⅶ』(580集)参照）。土器観察表における（ ）内計測値は、口径・底径については推定値（残存1/2未満）、器高については残存値を示す。部位の名称は下図のとおりである。



#### 20 石器の整理・分類について

石器の整理・分類については、『川原平(1) 遺跡Ⅲ』(565集: pp.9-10)を準用した。なお、石製円盤については、集合写真を併用し、「円1 (円盤集合写真1)」、「円2 (円盤集合写真2)」…と名称を付した（『川原平(1) 遺跡Ⅳ』例言参照）。また、写真には表示しないものの、左上から1、2、3……として石製円盤観察表を作成した。なお、石器・石製品および石製円盤集合写真には、本報告範囲以外で出土したものが一部含まれる。



## 21 時期区分

本報告書で触れる遺構・遺物の時期は、『川原平（1）遺跡Ⅱ』（564集）を準用した。

表① 本書の時期区分

後 期	後葉	縦付 土器	本報告		青森県史 (昭和2013)	型式等		備考			
			7-3期			7期3段階	十腰内V群				
			7-4期			7期4段階	(十腰内V群に 欠落する時期)				
	末葉		8期			8期	(十腰内VI群)				
晩 期	初頭	龜ヶ岡式 土器	1期	1a期	1a期	大洞B	大洞B1				
				1b期	1b期		大洞B2				
	前葉		2期		2期		大洞BC				
				3期	3期		大洞C1				
	中葉		4期		4期		大洞C2				
				5期	5期		大洞A				
	後葉		6期		6期		大洞A'				
	末葉										

## 22 近世の遺物について

今回の報告範囲において、近世の土器が僅かに出土しているが、今回報告以外の地区で得たものとあわせて、『川原平（1）遺跡Ⅶ』（580集）に掲載する。

## 23 自然科学分析

今回の報告範囲出土遺物等について、放射性炭素年代測定や樹種同定、漆製品・土器の塗膜分析などの自然科学分析を外部委託しているが、これらの成果については今回報告以外の地区で得たものとあわせて、『川原平（1）遺跡Ⅶ』（580集）に掲載する。ただし、本報告における遺構・遺物の記載にあたり、それらの結果を部分的に引用した箇所がある。分析に使用した資料は、観察表の備考欄に下記のように資料番号を記載した。

Ⅷ第1編第5章第1~7節 放射性炭素年代測定→「年代測定KAWA（1）-●」

Ⅷ第6章第5節 漆関連遺物の塗膜分析→「塗膜分析No●」

Ⅷ第7章第5節 炭素・窒素安定同位体比分析→「安定同位体比分析資料●」

Ⅷ第8章第2節 胎土分析→「胎土分析●」

24 引用文献については巻末に掲載したが、参考文献については『川原平（1）遺跡Ⅶ』（580集）に掲載した。

25 発掘調査及び整理、報告書作成における出土品・実測図・写真等は現在、青森県埋蔵文化財調査センターが保管している。

26 発掘調査及び報告書の作成に際して、ご指導・ご協力をいただいた機関・諸氏に関しては、『川原平（1）遺跡IV』（576集）に掲載した。

# 目 次

卷頭写真

序

例言・凡例

目次

図版目次

表目次

写真図版目次

## 第1章 調査の方法

### 第1節 調査方法

1 発掘作業の方法 .....	1
2 整理・報告書作成作業の方法 .....	1

## 第2章 検出遺構と出土遺物

### 第1節 遺構

1 配石遺構 .....	5
2 ピット .....	5

### 第2節 北捨場

1 調査方法と堆積層 .....	7
2 土器 .....	31
3 土製品 .....	51
4 石器 .....	68
5 石製品 .....	71
6 その他の遺物（植物製品・骨角器） .....	111

## 第3章 まとめ

1 北捨場の堆積について .....	112
2 遺物について .....	116

引用文献 .....

118

遺物観察表 .....

119

写真図版 .....

199

報告書抄録 .....

397

## 図 版 目 次

- 図1 北捨場地区的範囲とセクション位置図  
 図2 北捨場旧地形とグリッド配置図  
 図3 第37号配石遺構・出土遺物図  
 図4 北捨場セクション図(1)  
 図5 北捨場セクション図(2)  
 図6 北捨場セクション図(3)  
 図7 北捨場セクション図(4)  
 図8 北捨場セクション図(5)  
 図9 北捨場セクション図(6)  
 図10 土器(1)11, 11·25, 25~27, 32~34, 34·63, 35·36, 38·39, 43  
     以下, 43上, 43·44層  
 図11 土器(2)54, 55相当, 57層  
 図12 土器(3)57·62·127, 60·63·89, 62, 63, 66層  
 図13 土器(4)69層  
 図14 土器(5)69, 76層  
 図15 土器(6)78, 82, 84, 85層  
 図16 土器(7)89層  
 図17 土器(8)89, 89下, 89·120·121層  
 図18 土器(9)92, 93, 94, 107, 109, 116~118層  
 図19 土器(10)95, 96層  
 図20 土器(11)122, 122·125, 122·125·128, 125層  
 図21 土器(12)127, 128, 129層, 出土地点不明  
 図22 土製品(1)  
 図23 土製品(2)  
 図24 土製品(3)  
 図25 土製品(4)  
 図26 土製品(5)  
 図27 土製品(6)  
 図28 土製品(7)  
 図29 土製品(8)  
 図30 土製品(9)  
 図31 土製品(10)  
 図32 土製品(11)  
 図33 土製品(12)  
 図34 土製品(13)  
 図35 土製品(14)  
 図36 土製品(15)  
 図37 石器・石製品(1)  
 図38 石器・石製品(2)  
 図39 石器・石製品(3)  
 図40 石器・石製品(4)  
 図41 石器・石製品(5)  
 図42 石器・石製品(6)  
 図43 石器・石製品(7)  
 図44 石器・石製品(8)  
 図45 石器・石製品(9)  
 図46 石器・石製品(10)  
 図47 石器・石製品(11)
- 図48 石器・石製品(12)  
 図49 石器・石製品(13)  
 図50 石器・石製品(14)  
 図51 石器・石製品(15)  
 図52 石器・石製品(16)  
 図53 石器・石製品(17)  
 図54 石器・石製品(18)  
 図55 石器・石製品(19)  
 図56 石器・石製品(20)  
 図57 石器・石製品(21)  
 図58 石器・石製品(22)  
 図59 石器・石製品(23)  
 図60 石器・石製品(24)  
 図61 石器・石製品(25)  
 図62 石器・石製品(26)  
 図63 石器・石製品(27)  
 図64 石器・石製品(28)  
 図65 石器・石製品(29)  
 図66 石器・石製品(30)  
 図67 石器・石製品(31)  
 図68 石器・石製品(32)  
 図69 石器・石製品(33)  
 図70 石器・石製品(34)  
 図71 石器・石製品(35)  
 図72 石器・石製品(36)  
 図73 石器・石製品(37)  
 図74 骨角器  
 図75 北捨場セクションの時期区分図  
 図76 北捨場出土の石棒・石刀・石剣

## 表 目 次

- 表1 発掘調査時における堆積層名と特徴  
 表2 層対応一覧・出土土器様相  
 表3 層対応表  
 表4 土器観察表  
 表5 土製品観察表  
 表6 ミニチュア・小型土器観察表  
 表7 骨角器観察表  
 表8 石器・石製品観察表  
 表9 石製円盤観察表

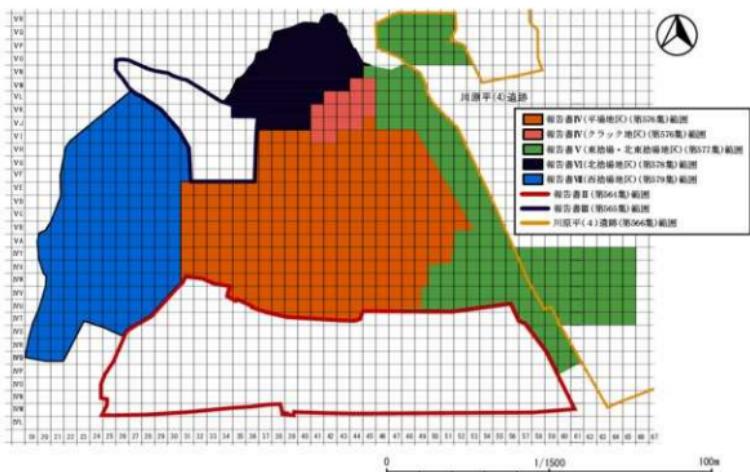
## 写 真 図 版 目 次

- 写真1 北捨場調査前風景  
写真2 北捨場調査風景  
写真3 第37号配石遺構 (SQ37)  
写真4 北捨場 セクション写真 (1)  
写真5 北捨場 セクション写真 (2)  
写真6 北捨場 セクション写真 (3)  
写真7 北捨場 セクション写真 (4)  
写真8 北捨場 セクション写真 (5)  
写真9 北捨場 セクション写真 (6)  
写真10 北捨場 セクション写真 (7)  
写真11 北捨場 セクション写真 (8)  
写真12 北捨場 セクション写真 (9)  
写真13 北捨場 セクション写真 (10)  
写真14 北捨場 セクション写真 (11)  
写真15 北捨場 セクション写真 (12)  
写真16 北捨場 セクション写真 (13)  
写真17 北捨場 セクション写真 (14)  
写真18 北捨場 セクション写真 (15)  
写真19 北捨場 セクション写真 (16)  
写真20 北捨場 セクション写真 (17)  
写真21 北捨場 セクション写真 (18)  
写真22 北捨場 セクション写真 (19)  
写真23 北捨場 セクション写真 (20)  
写真24 北捨場 セクション写真 (21)  
写真25 北捨場 セクション写真 (22)  
写真26 北捨場 セクション写真 (23)  
写真27 北捨場 セクション写真 (24)  
写真28 北捨場 セクション写真 (25)  
写真29 北捨場 セクション写真 (26)  
写真30 北捨場 セクション写真 (27)  
写真31 北捨場 セクション写真 (28)  
写真32 北捨場 セクション写真 (29)  
写真33 北捨場 セクション写真 (30)  
写真34 北捨場窓掘状況  
写真35 北捨場窓掘状況  
写真36 北捨場遺物出土状況 (1)  
写真37 北捨場遺物出土状況 (2)  
写真38 北捨場遺物出土状況 (3)  
写真39 北捨場遺物出土状況 (4)  
写真40 北捨場遺物出土状況 (5)  
写真41 北捨場遺物出土状況 (6)  
写真42 北捨場遺物出土状況 (7)  
写真43 北捨場遺物出土状況 (8)  
写真44 北捨場遺物出土状況 (9)  
写真45 北捨場遺物出土状況 (10)  
写真46 北捨場遺物出土状況 (11)  
写真47 北捨場遺物出土状況 (12)  
写真48 北捨場遺物出土状況 (13)  
写真49 北捨場遺物出土状況 (14)  
写真50 北捨場遺物出土状況 (15)  
写真51 北捨場遺物出土状況 (16)  
写真52 北捨場遺物出土状況 (17)  
写真53 北捨場遺物出土状況 (18)  
写真54 北捨場遺物出土状況 (19)  
写真55 北捨場遺物出土状況 (20)  
写真56 北捨場遺物出土状況 (21)  
写真57 北捨場遺物出土状況 (22)  
写真58 北捨場遺物出土状況 (23)  
写真59 北捨場遺物出土状況 (24)  
写真60 北捨場遺物出土状況 (25)  
写真61 北捨場遺物出土状況 (26)  
写真62 北捨場遺物出土状況 (27)  
写真63 北捨場遺物出土状況 (28)  
写真64 北捨場遺物出土状況 (29)  
写真65 北捨場遺物出土状況 (30)  
写真66 北捨場遺物出土状況 (31)  
写真67 北捨場遺物出土状況 (32)  
写真68 第37号配石遺構出土物  
写真69 土器 (1) 1, 6~7, 8, 9, 10, 11層  
写真70 土器 (2) セク12の11~25, 11~15・18, 11~25, 12, 13層  
写真71 土器 (3) 14~18, 19~20~25, 23~26, 24, 26~29,  
1号盛土22~23層  
写真72 土器 (4) 25, 25~27, 28, 28~29~31, 31層  
写真73 土器 (5) 29, 30, 32, 32~34, 34層  
写真74 土器 (6) 34~63, 34~63~89, 34~89平行, 34~63の中間,  
37, 38~39, 40, 41層  
写真75 土器 (7) 35~36, 42層  
写真76 土器 (8) 43の上, 43~44, 45, 46, 47層  
写真77 土器 (9) 43以下, 50, 51~56, 51層  
写真78 土器 (10) 52~97, 54~56, 54層  
写真79 土器 (11) 55, 56, 57層  
写真80 土器 (12) 57, 58, 59層  
写真81 土器 (13) 57~62~127層  
写真82 土器 (14) 60~63~89, 62, 63~89, 65, 66層  
写真83 土器 (15) 63層  
写真84 土器 (16) 63, 68, 69層  
写真85 土器 (17) 69層  
写真86 土器 (18) 69, 76層  
写真87 土器 (19) 76層  
写真88 土器 (20) 77, 78~89~109, 78下部, 78, 79, 83層  
写真89 土器 (21) 80以下, 80, 81, 82層  
写真90 土器 (22) 84層  
写真91 土器 (23) 85, 87, 89~120~121, 89~125層  
写真92 土器 (24) 89層  
写真93 土器 (25) 89層  
写真94 土器 (26) 89層  
写真95 土器 (27) 89層  
写真96 土器 (28) 89層  
写真97 土器 (29) 89, 89下, 89以下層

- 写真98 土器 (30) 92, 93層  
写真99 土器 (31) 93, 94, 95下, 95層  
写真100 土器 (32) 95層  
写真101 土器 (33) 95層  
写真102 土器 (34) 95, 96, 103, 103以下, 104, 107層  
写真103 土器 (35) 109, 112, 116~118, 120, 121, 122層  
写真104 土器 (36) 122·125層  
写真105 土器 (37) 122·125, 122·125·128, 124層  
写真106 土器 (38) 125層  
写真107 土器 (39) 125層  
写真108 土器 (40) 125, 127層  
写真109 土器 (41) 127層  
写真110 土器 (42) 128層  
写真111 土器 (43) 128, 129層  
写真112 土器 (44) 表土, 上層, 出土地点不明, 包含層  
写真113 土製品 (1)  
写真114 土製品 (2)  
写真115 土製品 (3)  
写真116 土製品 (4)  
写真117 土製品 (5)  
写真118 土製品 (6)  
写真119 土製品 (7)  
写真120 土製品 (8)  
写真121 石器・石製品 (1)  
写真122 石器・石製品 (2)  
写真123 石器・石製品 (3)  
写真124 石器・石製品 (4)  
写真125 石器・石製品 (5)  
写真126 石器・石製品 (6)  
写真127 石器・石製品 (7)  
写真128 石器・石製品 (8)  
写真129 石器・石製品 (9)  
写真130 石器・石製品 (10)  
写真131 石器・石製品 (11)  
写真132 石器・石製品 (12)  
写真133 石器・石製品 (13)  
写真134 石器・石製品 (14)  
写真135 石器・石製品 (15)  
写真136 石器・石製品 (16)  
写真137 石器・石製品 (17)  
写真138 石器・石製品 (18)  
写真139 石器・石製品 (19)  
写真140 石器・石製品 (20)  
写真141 石器・石製品 (21)  
写真142 石器・石製品 (22)  
写真143 石器・石製品 (23)  
写真144 石器・石製品 (24)  
写真145 石器・石製品 (25)  
写真146 石器・石製品 (26)  
写真147 石器・石製品 (27)  
写真148 石器・石製品 (28)  
写真149 石器・石製品 (29)  
写真150 石器・石製品 (30)  
写真151 石器・石製品 (31)  
写真152 石器・石製品 (32)  
写真153 石器・石製品 (33)  
写真154 石器・石製品 (34)  
写真155 石器・石製品 (35)  
写真156 石器・石製品 (36)  
写真157 石器・石製品 (37)  
写真158 石器・石製品 (38)  
写真159 石器・石製品 (39)  
写真160 石器・石製品 (40)  
写真161 石器・石製品 (41)  
写真162 石器・石製品 (42)  
写真163 石器・石製品 (43)  
写真164 石器・石製品 (44)  
写真165 石器・石製品 (45)  
写真166 石器・石製品 (46)  
写真167 石器・石製品 (47)  
写真168 石器・石製品 (48)  
写真169 石器・石製品 (49)  
写真170 石器・石製品 (50)  
写真171 石器・石製品 (51)  
写真172 石器・石製品 (52)  
写真173 石器・石製品 (53)  
写真174 石器・石製品 (54)  
写真175 石器・石製品 (55)  
写真176 石器・石製品 (56)  
写真177 石器・石製品 (57)  
写真178 石器・石製品 (58)  
写真179 石器・石製品 (59)  
写真180 石器・石製品 (60)  
写真181 石器・石製品 (61)  
写真182 石器・石製品 (62)  
写真183 石器・石製品 (63)  
写真184 石器・石製品 (64)  
写真185 石器・石製品 (65)  
写真186 石器・石製品 (66)  
写真187 石器・石製品 (67)  
写真188 石器・石製品 (68)  
写真189 石器・石製品 (69)  
写真190 石器・石製品 (70)  
写真191 石器・石製品 (61)  
写真192 石製円盤 (1)  
写真193 石製円盤 (2)  
写真194 石製円盤 (3)  
写真195 石製円盤 (4)  
写真196 石製円盤 (5), 赤色顔料塊  
写真197 植物製品  
写真198 骨角器  
写真199 北捨場遺物出土状況 (追加)



図① 川原平(1)遺跡の地形



図② 本書の報告範囲

# 第1章 調査の方法

## 第1節 調査方法

### 1 発掘作業の方法および基本層序

#### 【測量基準点・水準点の石器・グリッド設定】

報告書Ⅱ・Ⅲに準拠する(報告書Ⅱp.8、報告書Ⅲp.16参照)。

#### 【表土の調査】

表土(第Ⅰ層)の除去は、人力で行ったが、北東捨場との境の急斜面の一部は重機を用いた。出土した遺物はグリッド単位で取り上げた。

#### 【基本層序】

2003年調査(青森県教委2006)で区分したもの引き継いで調査している。基本層序の解釈を再掲すれば次のとおりである。

I層：表土(耕作土含む)。

II層：造成土。本来はⅢ層であったが、耕地や道路の造成時に搅乱を受けた部分(縄文時代の遺物を含む)。

III層：黒色土。耕作等による新しい時代の搅乱を受けていない縄文時代の堆積層。

漸移層：Ⅲ層とⅣ層の間にある、遺物を含まない自然堆積土。

IV層：低位河成段丘堆積物。人的な搅乱が及んでいない堆積土。

本報告の範囲では、Ⅱ層に該当する層は確認していない。北捨場堆積層の一部は基本層序に対比されており、基本層序名が付与されている層(I層、東Ⅲ-1・2層、Ⅳ層)がある(表1~3)。

#### 【遺構の調査】

本報告の範囲で検出された遺構は、配石遺構、ピット、捨場である。調査方法については、各遺構の事実記載と合わせて掲載した。土層の図化や遺物出土地点図の作成にあたっては、(株)CUBIC製「遺構実測支援システム」を使用した。土層の色調表記には『新版標準土色帖2006年度版』(小山正忠・竹原秀雄)を用いた。

#### 【写真撮影】

写真撮影は、原則として35mmモノクローム・35mmカラーリバーサルの各フィルムカメラ及びデジタルカメラ(キャノン製 EOS7D 5184×3456ピクセル 約1800万画素)併用し、発掘作業状況、土層の堆積状況、遺物の出土状況・精査状況・完掘後の全景等について記録した。

ラジコンヘリによる遺跡及び調査区域全体の空中写真撮影は業者に委託した。

### 2 整理・報告書作成作業の方法

捨場の形成過程等に重点をおいて整理・報告書作成作業を進めた。

【図面類の整理】遺構の平面図や堆積土層断面図等は、簡易造り方で主に作成したため、遺構毎に図面修正を行った。また、遺構台帳・遺構一覧表等を作成して、発掘作業時の所見等を整理した。

**【写真類の整理】**35mmモノクロームフィルムは撮影順に整理してネガアルバムに収納し、35mmカラーリバーサルフィルムは発掘作業状況、遺構や遺物包含層からの遺物の出土状態、遺構の検出・精査状況等に整理してスライドファイルに収納した。また、デジタルカメラのデータは35mmカラーリバーサルフィルムと同様に整理してタイトルを付し、ハードディスク・DVD等に保存した。

**【遺物の洗浄・注記と接合復元】**

遺物の洗浄を早期に終え、接合・復元作業を進めるため、業務の大部分を委託した。遺物の注記は調査年度・遺跡名・遺構名・グリッド名・層位・取り上げ番号などを略記したが、直接注記できない剥片石器等については収納したチャック付きポリ袋に注記した。また、土器の接合・復元については第2章第2節2に記載した。

**【報告書掲載遺物の選別】**

それぞれの遺物の項に記載した。

**【遺物の観察・図化】**

十分観察した上で、遺物の特徴を適切にわかりやすく表現するように図化した。また、観察表・計測表を作成した。整理期間の制約上、写真のみで報告した遺物も多い。

**【遺物の写真撮影】**

業者に委託して行ったが、実測図等では表現しがたい質感・雰囲気・製作技法・文様表現等を伝えられるように留意した。また、編集にあたって、背景の切り抜きやスケールの統一などは業者に委託した。

**【トレース・版下作成】**

遺構・遺物の実測図などの挿図のトレースは、アドビシステムズ(株)製「Adobe Illustrator CS3～CS6, CC」を用いたデジタルトレースとし、実測図版・写真図版などの版組はアドビシステムズ(株)製「Adobe Illustrator CS4～CS6, CC」と「Adobe InDesign CS4, CC」で作成した。

**【調査成果の検討】**

捨場の層ごとに構造的特徴や出土遺物、新旧関係に関するデータを整理し、形成時期や同時性などについて検討を加えた。また、遺物を時代・時期・種類ごとに整理し、出土遺物全体の分類・器種構成などについて検討した。

遺構・遺物の検討結果を踏まえて、捨場の時期・構造・変遷などについて検討・整理した。

(高橋・岩井)

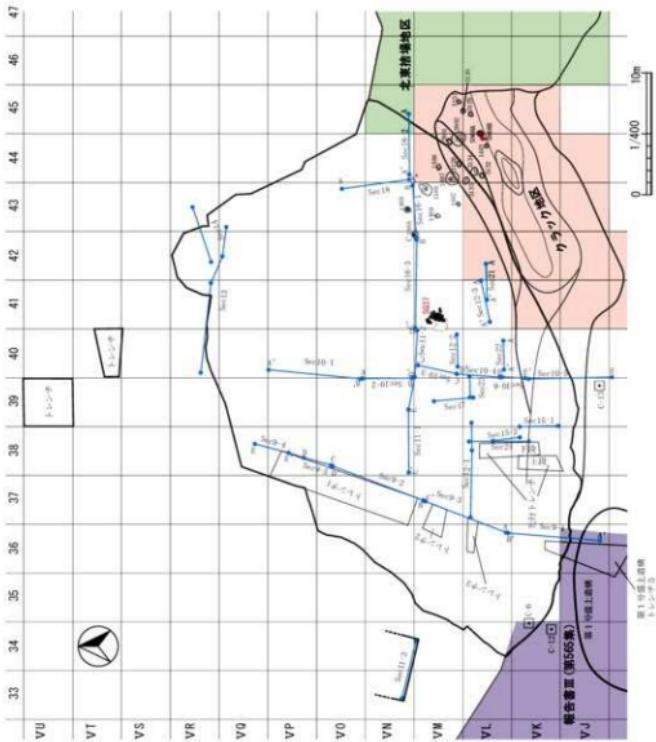
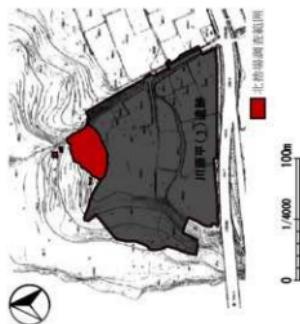
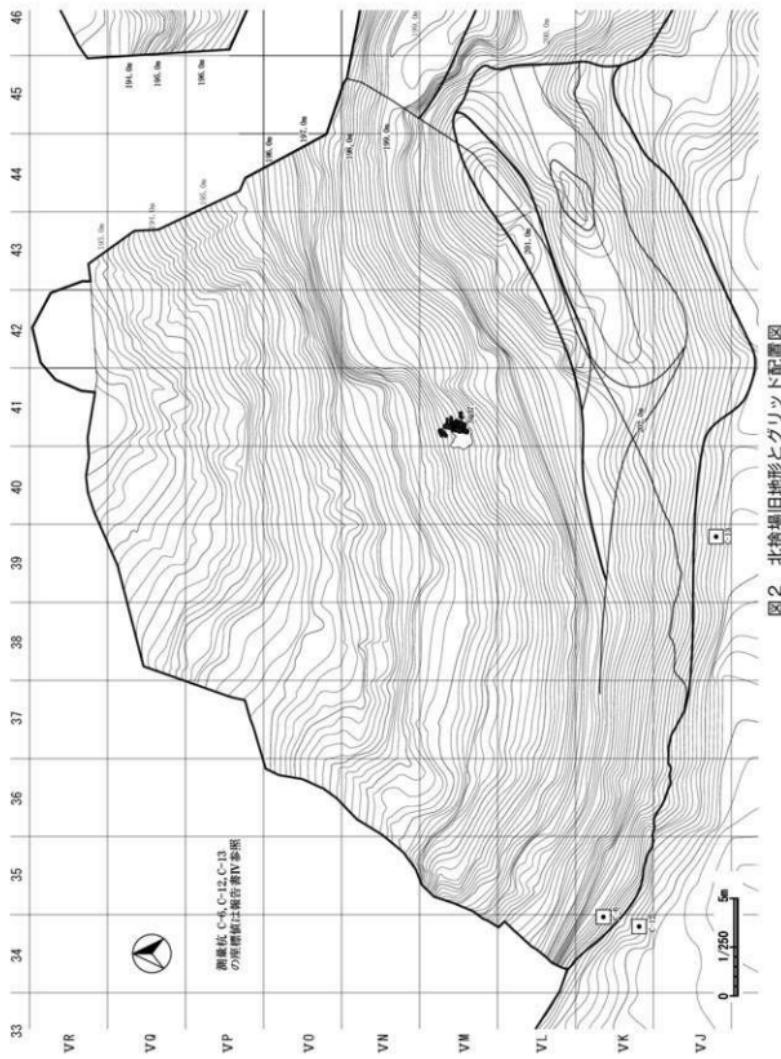


図1 北拾場地区の範囲とセクション位置図



アグリッド VU・VI・VW-12~15一帯の  
ビットは、報告箇所 IV (3676m) で  
報告する。  
北拾場地区と、クラック地区・北氣物掛  
地区的境界付近で出土した遺物は概密に  
区分している。



## 第2章 検出遺構と出土遺物

### 第1節 遺構

#### 1 配石遺構 (図3 写真3、68)

第37号配石(略号: SQ37)

【位置・確認・調査方法】 VM-41グリッドに位置し、北捨場の中央付近の振替層位69層(現場層位東III-1層)の掘り下げ中に確認した。調査にあたっては、配石の中心を通る2本のセクションベルトを設定し、構築状況などを記録した。

【重複】なし。

【規模・形状】 北西から南東に1.8m、北東から南西に1.64mの範囲でまとまって礫が置かれている。礫は長径20cm~60cm大で、棒状のものから扁平なものまで形状は様々である。花崗岩類、凝灰岩、緑色凝灰岩など在地の礫が使用されている。A-A'ラインの断面図で北西の2点の礫は傾斜の下方となるためレベル差が大きく見える。しかし、礫の形状や石質はSQ37中核部分と同質であり、周辺には同様の礫がないため、本配石の構成礫として捉えた。また、配石の下には土坑等が確認できず、本配石に付属する施設はないと判断される。

【出土遺物】 配石の中央の石の間から晩期1b期の赤彩が施された壺(取り上げ番号P11 写68-3)を確認した(図3、写真3)。石をはずして、全体を掘り出すと、底部を斜め上にした状態であった(写真3)。他に配石の直下から、石製品(写68-5)が出土している(写真3)。配石を構成する礫のなかでS-14は石皿破片(写68-4)である。また、P1-10は出土位置から遺構に関係する可能性があるが、小片のため未掲載のものもある。配石の精査中に石鏃・石匙・磨製石斧などの石器が出土し、本遺構の名前を付して取り上げた。全てが有意な関係を示すか不明であるがSQ37に近接し、晩期1b期の大洞B式期の可能性があることから、本遺構の中で図版を組んでいる。

【小結】 本遺構は、北捨場の東端に近い部分で、傾斜が緩やかになった場所で1基のみ見つかった。中央部には配石に組み込まれた土器(写68-3)があり、帰属する縄文時代晩期前葉(晩期1b期)に構築されたと考えられる。なお、本遺構は北捨場の中で見つかったこともあり周囲の遺物が多い。土器は傾斜の上方である南側ではなく、南西方向にまとまりを持っていたので図に範囲を示した。配石との有意な関係があるかは不明瞭であり、北捨場の振替層位69層の土器(P-10047~10063)として取り上げている。

(斎藤)

#### 2 ピット

VM・VN-43~45一帯で確認したピットは報告書IVの平場地区に掲載した。

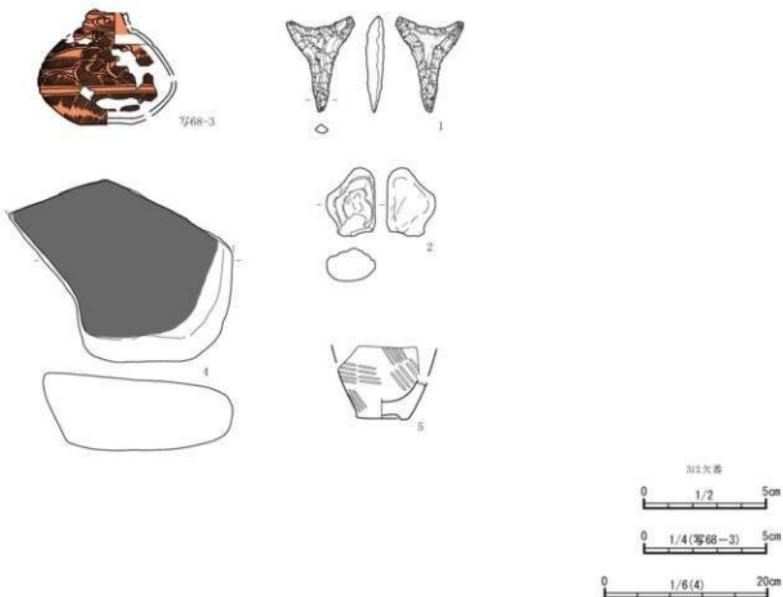
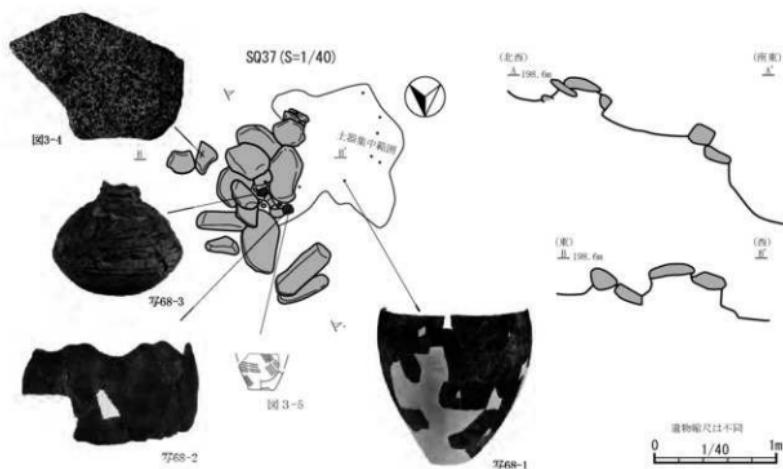


図3 第37号配石遺構・出土遺物

## 第2節 北捨場

### 1 調査方法と堆積層

#### (1) 調査前の北捨場とその周辺の現況

**【位置】**(図①、図1、写真1) 北捨場は調査区の北側、グリッドVKライン以北に位置する。平成25年の調査において、第1号盛土遺構の北端を調査している最中に、調査区北斜面に落ちる包含層を確認した。次年度の平成26年度の調査で、第1号盛土遺構のトレンチ5(報告書Ⅲ 図75)の延長でトレンチをいたれたところ、2m近くの厚さを持つ包含層が確認でき、遺跡平坦地の北側斜面に、大規模な捨場が広がることが確認できた。

#### 【規模】

(図1、写真2) 北捨場の範囲は以下の通りである。

範囲の西側は、中期遺構がある半島状につき出た部分の北斜面(セクション11-3よりも以西)は、勾配がきつく、中期遺構周辺の斜面への落ち際を調査した際も、第1号盛土遺構と北捨場が接する部分と比較し、出土遺物の量は少なかった。さらに一帯の表面状態などを観察したが、遺物が散乱しているような状況でもない。そのため、露頭の状況と、旧村道付近の表面状況、セクション11-3の様相から、この一帯には包含層は広がらないと判断した。セクション11-3一帯は、遺物が散見できる程度であり、包含層は形成されていないと判断した。またグリッド36・37列より、包含層の厚さが徐々に薄くなり(写真18-2)、グリッド35・36列では表土を剥ぐとすぐに地山が現れたので、このあたりが西端となる。

東側は、そのまま北東捨場と連続するが、セクション18よりも東側グリッド44・45列近辺は、遺物包含層が薄くなるので、およそその部分を目安に北東捨場と区分した。南側は、クラック地区と第1号盛土遺構と重なる部分もある。グリッドVJ-37~40一帯は、遺物の出土量が減少するので、北捨場の南限はこのあたりと考えられる。

次に北端であるが、川原平(1)遺跡と川原平(4)遺跡の間に旧村道がある。この村道はグリッドVS・VRあたりを東西に走っており、一帯の斜面は村道で削平され、段差ができる(セクション13・14あたり)。そしてこの村道よりも北側の斜面に2ヵ所テストトレンチ(VU-39、VT-40、写真33-1~4)を入れたが、遺物が散見できる程度であり、明確な遺跡包含層は形成されていない。そのため、この村道あたりが北捨場の北端と判断した。

グリッドVK-41~42一帯は、平場地区の北端にあたり、地形的に平坦である。径2m近くの大杉があり、大杉の根の下から晚期前葉の遺物包含層が確認され、当初北捨場の一部として調査した。その後、北捨場と平場の境に位置する大きな窪地であることが判明したので、クラック地区と独立した単位の捨場と判断した。この辺りの調査報告はクラック地点(報告書Ⅳ 第576集)に掲載することにした。

よって北捨場は、東西45m、南北32mほどの範囲に形成された大規模捨場である。

**【北捨場の地形】**(図2、写真34・35) 北捨場範囲の東西端が北側につきだし、範囲の南側中央が南側にへこんだ、掘り鉢状の地形である。調査前の現地の地形観察から、VMラインを境に、南側の急斜面と北側の緩斜面に分かれる。地形が変化する当たりが、堆積層の変化するひとつの目安と調査前に判断した。

調査後の地山の形状では、北捨場中央のセクション10で、南側は30°、北側は15°の傾斜である。特に平場地区との境からの傾斜が著しく、セクション9のあるグリッドVK・VLあたりは、勾配がさらに強く48°、地形変換点で28°、北側の緩斜面で7°である。セクション18の北東捨場との境は29°である。

#### (2) トレンチ、ベルトと層名前

調査に先立ち、調査区は斜面地形のため、上からの落石などの恐れがあったので、調査区に適宜コンバネなどで障壁を作り安全を確保した。また作業員の転倒防止のため、移動式の手すり付き階段を設置し、調査区の昇降などの際の足場確保などに努めた。

抜根前の切り株が調査区に多数残されていたので、それらを除去する際に、その場所を下層まで掘り下げ、トレンチとし、堆積層の状況を把握した。斜面地区であり、作業場危険が多いので、場合には切り株周辺を人力では掘り下げ、重機によって抜根をした。

堆積層は、南側においては北側よりも細かな単位が多く、傾斜も急なため、複雑な層になることが予想された。小さな単位でトレンチを入れ、層相の変化ごとに層名を与えて掘り下げた。そしてそこを足掛かりにトレンチの範囲を広げ、最終的にベルトのみを残した。

#### 【トレンチとセクション9】(図4)

北捨場の調査では、まず昨年度の第1号盛土遺構のトレンチ5を基準として、その延長上に3ヵ所トレンチを入れ、堆積状況の把握につとめた。トレンチは北から、トレンチ1、トレンチ2、トレンチ3とした。

その結果、トレンチ1、トレンチ2の表土の下には、黒い層、明るい層、黒い層に区分できたので、黒色層、明褐層、黒褐層の名称を与え、大きく3層に区分した。トレンチ3のあたりは、北捨場の急斜面にあたり、第1号盛土遺構のトレンチ5のあたりの堆積層から、より複雑な堆積層を想定し、「捨アラビア数字」と「炭アラビア数字」の層名とした。

そしてこの3つのトレンチと、第1号盛土遺構のトレンチ5の部分をつなげ、ロングセクション9を作成した。このセクションで北捨場の西側の堆積層の状況と第1号盛土遺構との関係が捉えられた。

#### 【セクション10】(図5)

北捨場の中央部に南北に延びるロングセクション10を設定した。

斜面の北側緩斜面は、そのまま黒色層、明褐層、黒褐層で掘り進めた。グリッドVNラインよりも北側は比較的単純な層であると判断した。そしてセクション10の、グリッドVNラインよりも北側(Sec10-1・10-2)には、基本的に、算用数字の層名を与えた。

一方でグリッドVNラインよりも南、グリッド40列以西では、セクション9の状況を想定し、細かな単位の層が重複することを想定し「捨アルファベット大文字」の層名をつけた。層を変わったと判断できた時、新たに層名を振って掘り進めた。炭化物の層については、「炭アルファベット小文字」の層名をつけた。

#### 【セクション11・16・18】(図6)

北捨場の北半を先に調査したことで、VNラインの部分に壁ができたので、セクション11とした。VNグリッドに設置したセクション、セクションNライン(SN)という意味で、「SN-アルファベット」の層名をつけた。最終的には残されたベルトの層名を基準とし、各トレンチでつけた層名との関係を押さえた。SNの層は全体に西へ傾斜している。セクション10よりも以東側(Sec11-2)は、すでに

Sec10-1・10-2で算用数字の層名が与えられていたので、その層名を用いた。

またグリッド40ラインより東側は、北捨場の東端にあたり、そこにセクション11の延長でセクション16を設定した。このセクションによって北捨場のほぼ中央の東西に延びる堆積層の状況だけでなく、セクション9とセクション10の関係が捉えられた。また北捨場の東端、急斜面部にセクション18を設け、北東捨場との境になる急斜面の堆積層の把握に努めた。この一帯は、川原平(1)遺跡の基本土層、第Ⅲ層を踏襲し、東Ⅲ層という名称を与え、調査に応じて分層した。

#### 【セクション12・23・21・22】(図7)

セクション11の少し南側、急斜面の北端に東西に延びるセクション12を設定した。セクション11と12の間のグリッドVM-37・38は、捨B層を層名の基本とし、適宜トレンチを入れ、層が変わるたびに、捨B層を細分して掘り進めた。この時点で捨B層並びに、各セクションに層名がつけられていたので、Sec12では新たな層名をつけずに、既存層名を並列することにした。同一層に複数の層名があるのはそのためである。

#### 【セクション13・14】(図8)

北捨場北端部分のセクションである。基本算用数字の層名を与えた。

#### 【セクション17・15・24】(図5、9)

セクション17は、セクション10の西側である。上記セクションにかからなかった層名があるので、それらを抑えるためにセクションを作成した。

北捨場の斜面はVM・VN列を境に、北捨場の傾斜が異なる。そのライン以南は急斜面であり、そこから北は緩斜面である。その変換点は、セクション17の幾分平らなセクションで確認できる。この平らな面あたりで、第37号配石遺構が確認できたので、かつての生活面があった可能性がある。

セクション15と24はVK・VL-38・39を調査した際に作成したセクションである。調査区の中央に先行トレンチを入れ、堆積層を把握し、堆積層を上面のセクション15までは順次上から「捨アルファベット大文字」の層名をつけた。炭化物の層については、「炭アルファベット小文字」の層名をつけた。その後一端上面を平らにした。高さが2m以上あるセクション10を掘り下げる際の足場の確保のためにある。この段階でセクション15を作成した。その後下段に、さらに先行トレンチを設定し、下の堆積層の状況を把握し、セクション24を作成した。

最終的にはセクション10が残り、この部分を完掘して調査は終了した。

#### (3) 堆積層について

北捨場の各堆積層について、特徴、グリッド、記載セクションなどを表1にまとめた。調査中は、礫の含有率、色調、炭化物の量などで分層した。頭に「捨」や「炭」などがつかない算用数字やアルファベットなどの層名は、セクションごとに振ったので、同じ層名でも、セクションが違えば異なる層である。堆積層の分層線で破線表示の部分がある。これは途中で分層することができなくなったり、分層できそうであるが、明瞭に線が引けないので推定で引いた線である。こうした推定線は急斜面の堆積部分に見られる。これ以外にも分層できそうな箇所は多々あったが、第3章のまとめなどで、個別に説明する。

#### (4) 振替層について(表1～3)

北捨場では調査の進捗に応じて、断面を精査した部分から個々に層名を付しており、同一層であつ

でも、セクションごとに層名が異なる例や、同一セクションでも調査のタイミングにより別の層名が付される例などがある。また、調査初動時には同一層と仮定して調査を進めたが、調査の結果、別層と判明した例や、別層であっても異なるセクションであれば、同一層名が付された例もある。このため、整理段階で各断面の調査所見やセクション交点から、層の対応および相対的な前後関係を整理し、1つの層位には1つの層名とするために、すべての層に新規の「振替層位」を付与することとした。「振替層位」はアラビア数字を用い、概ね上層から順に1、2、3…層とした。調査で作成された断面図は複数に及び、相関関係にあることから、層名は全体を通して付したため、単一のセクションでは層名は連続しない。現場層位と振替層位の対応は第1~3表のとおりである。文章中の表記については基本的に振替層位を用いているが、振替層名と現場層名を併記する場合もある。なお、異なる層位に同一の現場層名が付与されている場合、特に遺物の出土層位に関して、下記のとおりとした。

- ・層位が異なるものの同一の層名が付されるものは、基本的にセクションが異なるため、出土地点に応じて、振替層位を確定した。
- ・現場層位で「上」「中」「下」などの細分があり、かつ細分のない層名もある場合は、出土地点がセクションベルトか否かで判断した(例えば出土層位が「B4層」の場合、セクションベルト出土の場合は振替60層、ベルト出土でなければ振替60.89層出土となる。現場層位「捨5」なども同様である)。
- ・上記の場合でも統合された層名があれば、それを使用した。(例えば出土層位が「捨H」の場合、「捨H」が含まれる現場層位は「捨H上(振替63)」「捨H下(振替83)」があり、それらを含む「捨H(振替84)」が存在する。この場合は「捨H(振替84)」とした。現場層位「捨A」「捨L」「捨V」なども同様である。
- ・現場層位で「上」「中」「下」などの細分があり、細分のない層名がない場合は、対応するすべての層名を併記した(例えば出土層位が「捨U」の場合、「捨U」が含まれる現場層位は「捨U上(振替122)」「捨U下(振替125)」がある。このため振替層位は「122, 125」とした。
- ・現場層位「10」層は複数層に付されている。層の振替にあたっては、セクション9付近(38ライン以西)の場合は、VLライン以北を「振替103層以下」、VJライン以南は「振替24層」、VKグリッドは現場層位が「捨10」であれば「振替103層以下」、現場層位が「捨」が付かない「10層」の場合は「振替24層」とした。39, 40ライン付近はセクション10に対応するとし、前述の基準に従い振替層を付した。

#### (5) 捨場層位の堆積時期 (表3)

捨場層位の堆積時期については、出土土器の下限を基に表3に色分けにより記載した。下限の出土土器に拠ったため、時期が下る層位と接している場合などは、遺物の混入により、実態よりも下る時期に比定されている可能性がある。下限の土器が小片かつ少量であり、他の時期の土器の出土状況が極めて良好である場合など、下限土器が上位層からの混入であることが明らかな場合には、下限土器を除外し、時期比定した。

#### (6) 北捨場の全体像と各種遺構の関係

北捨場の他の地区・遺構との重複関係は、クラック地区、第1号・第4号盛土遺構であり、概要は以下の通りである。

クラックは後期後葉から晩期前葉までの時期の包含層であり、上面に晩期2期の建物跡(SI118)が位置する。上面が晩期前葉なので、北捨場最下層の時期と概ね一致する。晩期後半から、第1号・第4号盛土遺構が構築されると同時に、北捨場に土砂を主体とする大規模な廃棄行為が行われる。北捨場の

大半の層には、晩期5期の遺物が含まれている。2つの盛土遺構の時期は、晩期4・5期を中心なので、北捨場の上層側の堆積時期と一致する。第1号盛土遺構と北捨場の堆積層は一部つながっているので、晩期後半の廃棄はほぼ同時期に行われたと思われる。

北捨場の堆積は、近隣の遺構の動向、集落の変遷などと密接に関係する。

(高橋・斎藤・岩井)

表1 現場時の堆積層の名称と特徴（1）

層名	振替層	セクション	主要 ゲリット*	特徴、現場で分層した根拠の特徴など	前期	中期	後期	後 7-4	後 8	晚 1a	晚 1b	晚 2	晚 3	晚 4	晚 5
捨1	振替23層	セ9	VL-M-36 -37	礫の少ない、暗褐色の層。第1号盛土造構のトレーナー5近傍でつけた層名。平成26年度調査時に「11-」と遺物を取り上げている。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
捨1a	振替45層	セ9	VK-36	礫の少ない、黒褐色の層。セ9で捨1から分離。平成26年度調査時に「11-」と遺物を取り上げている。					●	●	●				
捨2	振替46層	セ9	VK-36	礫の少ない、暗褐色の層。第1号盛土造構のトレーナー5近傍でつけた層名。平成26年度調査時に「11-」と遺物を取り上げている。					●	●	●	●	●	●	●
捨3	振替47層	セ9	VK-36	礫の少ない、褐色の層第1号盛土造構のトレーナー5近傍でつけた層名。平成26年度調査時に「11-」と遺物を取り上げている。					●				△	●	
捨3a	振替49層	セ9	VK-36	礫の少ない、暗褐色の層。セ9で捨1から分離。平成26年度調査時に「11-」と遺物を取り上げている。											情報なし
捨3b	振替48層	セ9	VK-36	礫の少ない、黒褐色の層。セ9で捨1から分離。平成26年度調査時に「11-」と遺物を取り上げている。											情報なし
捨4	振替54層	セ9	VK-36	礫の少ない、暗褐色の層第1号盛土造構のトレーナー5近傍でつけた層名。平成26年度調査時に「11-」と遺物を取り上げている。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
捨4Ca	振替54層	ゲリットのみ	VL-36	捨4Pで炭化物を含む。											情報なし
捨5	振替56層	セ9	VK-36	礫を含む暗褐色の層。第1号盛土造構のトレーナー5近傍でつけた層名。トレーナー調査時には、最下層と認定して調査した。平成26年度調査時に「11-」と遺物を取り上げている。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
捨5a	振替100層	セ9	VK-36	礫を含む層。セ9で捨1から分離。平成26年度調査時に「11-」と遺物を取り上げている。	●										
捨5b	振替101層	セ9	VK-36	礫を含む層。セ9で捨1から分離。平成26年度調査時に「11-」と遺物を取り上げている。	●										
捨6	振替17層	セ9	VL-36	炭4層の下層で確認できた地土層があり、そのまま直下で確認できた層。礫が少ない。トレーナー2-3でつけた層名。					●	●				△	●
捨7	振替52-97層	ゲリットのみ	VL-36	-	●				●		●	●	●	●	●
捨7(ロ)	振替52層	セ9	VL-36	礫を含む層。当初捨7と大きくとらえたが、礫の入り具合で分層した。											情報なし
捨7(ハ)	振替97層	セ9	VL-36	礫の多い層。当初捨7と大きくとらえたが、礫の入り具合で分層した。											情報なし
捨8	振替12層	-	VM-37	礫の少ない層。トレーナー2-3でつけた層名。											
捨8(明褐色)	振替12層	セ9	VM-37	礫の少ない層。高切明褐色層と同一と考えたが、層を接続しないので、区分した。											情報なし
捨9	振替96層	セ9	VM-37	礫が多い層。トレーナー2-3でつけた層名。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	△
捨10	振替103層以下	-	VM-O-37 -38	礫を含む層。トレーナー2-3でつけた層名。トレーナー調査時に「11-」と遺物を取り上げて調査した。現場位103層のうち、VLは北のもの、およびVKライの103層のうち「捨10」と記載されているもの。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
捨10(チ)	振替104層	セ9	VL-36	セ9で捨10から分離。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
捨10(リ)	振替110層	セ9	VM-37	礫の多い層。セ9で捨10から分離。	●										
捨10黄褐色(ホ)	振替103層	セ9	VL-36	礫の多い層。	●										
捨10下	振替126層	セ12	VL-37	セクション9の捨10(リ)層に対応か。											
捨A	振替14層	セ17	VL-M-39	表土直下の層。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
捨A上	振替11層	セ23	VL-39	セクションで捨A層を分離。礫の少ない層。											
捨A下	振替15層	セ23	VL-39	セクションで捨A層を分離。											
捨A上-捨B	振替11層 12-24	セ23	VL-37-38	表土直下、礫の少ない層。											情報なし
捨A下-捨B	振替15層	セ21	VL-38	-										△	△
捨B	振替11-15-18層	-	VL-37-38	表土直下の層。					●					●	●
捨B-捨8	振替18層	セ12	VL-37	-											
捨B-E2	振替12層 11-25層	ゲリットのみ	VL-37-38	セクション12で層名を与える。										●	●
捨B2	振替19-20-25層	ゲリットのみ	VL-37-38	セクション12で層名を与える。										●	●
捨B2	振替20層	セ12	VL-37	炭化物が混入する黒い層。											情報なし
捨B2-捨9	振替19層	セ12	VL-37	-											情報なし
捨B3	振替25層	セ24	VK-L-37 -39	礫の少ない層。炭化物が混入する層。					●				●	●	●
捨B4	振替60-63-89層	ゲリットのみ	VL-37	トレーナー調査で付けた層名。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
捨B4	振替60層	セ12	VL-37	炭化物が混入する黒い層。頭大の礫が多い。											情報なし
捨B4下	振替89層	-	VL-37-38	捨B4の下層部分。捨B4層より礫が少ない。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
捨B5	振替34層	-	VL-38	炭化物が混入する黒い層。頭大の礫が多い。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
捨B6	振替63-89層	-	VL-38	捨B4の下層部分。捨B4層より礫が少ない。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	△
捨B6下	振替89層	セ24	VK-L-37 -39	表土直下の層。					●	●	●	●	●	●	●
捨C	振替68層	セ12	VL-41	表土直下の層。					●	●	●	●	●	●	●
捨D	振替25層 12-23	セ12	VL-38-39	礫の少ない層。炭化物が混入する層。											情報なし
捨D	振替26層	セ17	VL-38-39	-											

表1 現場時の堆積層の名称と特徴（2）

層名	振替層	セグメント	主要 ゲリット*	特徴、現場で分層した根拠の特徴など	前期	中期	後期	後 7-4	8	晚 1a	晚 1b	晚 2	晚 3	晚 4	晚 5	
捨D	振替27層	セク12-23	VL-38-39	-												情報なし
捨E	振替25~27層	ゲリットのみ	VL-38-39	-												●●
捨D・捨B3・捨B2	振替25層	セク12	VL-38	疊の少ない層。炭化物が混入する層。				●								●●
捨E	振替29層	セク12-23-17	VL-38-39	にぶい黄褐色の層。				●●								●●
捨F	振替11層	セク10-12	VL-M-40	表土直下の疊の少ない層。明るい層。				●								●●
捨G	振替11層	セク10	VL-40	表土直下の疊の少ない層。				●								●●
捨G	振替11~25層	ゲリットのみ	VL-40	-				△								●●●
捨Ga	振替30層	セク10	VL-40	表土直下の疊の少ない層。セク10で捨Gから分層。				●								△
捨Gb	振替65層	セク10	VJ-K-40	疊を含む層。セク10で捨Gから分層。				●								●●●
捨G上	振替11層	セク10	VL-40	表土直下の疊の少ない層。セク10で捨Gから分層。				●								△
捨G F	振替25層	セク10	VL-40	疊の少ない層。セク10で捨Gから分層。				●								●●●
捨H	振替84層	セク10	VL-M-39-40	明褐色層。				●●								△
捨H上	振替63層	セク10-23	VL-M-40	トレンチ調査時は、捨Hで一括、セク10で分層する。				●								●●●
捨H下	振替83層	セク10-23	VL-M-40	トレンチ調査時は、捨Hで一括、セク10で分層する。				●								●●●
捨I	振替111層	セク12-21	VL-41-42	-												情報なし
捨I下	振替124層	セク22	VL-40	セクションで捨Iから分層。												●●●
捨I下	振替112層	セク21	VL-41-42	セクションで捨Iから分層。												●●●
捨J	振替89層	セク10-12	VL-M-40	黒褐色の堆積層。晚期1b期の遺物多く含む。				●								●●●
捨Ja	振替89層	ゲリットのみ	VL-M-40	捨Jの上層。												情報なし
捨K	振替34-63層	セク23-17	VL-39	-												●●●●●
捨K	振替34層	セク23-17	VL-39	捨A層の下の疊層。												情報なし
捨K	振替63層	セク24	VK-L-37-39	炭A層下で検出した層。捨K下に対応するが、この辺りでは疊が多くなる。捨K下から分層できた可能性がある。												情報なし
捨K下	振替63層	セク23-17	VL-38-39	捨K層と捨N層の間に疊の少ない明褐色層。												△ ● ● ● ● ● △
捨K下・捨B6・捨B4	振替63層	セク12	VL-37-38	西側に行くにつれ、疊が多くなる。分層できた可能性がある。												情報なし
捨K・捨B5	振替34層	セク12	VL-38	炭A層の下の疊層。												情報なし
捨L	振替32~34層	セク10-22	VL-M-40	トレンチ調査時のみ。捨G層下から明るい黄褐色層。				●								●●●●●
捨L上	振替32層	セク10	VL-40	セク10で捨Lから分層。												●
捨L中	振替33層	セク10	VL-40	セク10で捨Lから分層。												情報なし
捨L下	振替34層	セク10-23	VL-40	セク10で捨Lから分層。												●●
捨M	振替35-36層	-	VK-L-37-39	表土直下の層。調査時、捨A対応と判断。				●●								●●●
捨M上	振替35層	セク15	VK-L-37-39	セクションで捨Mを分層。												●
捨M下	振替36層	セク15	VK-L-37-39	セクションで捨Mを分層。												情報なし
捨M/P	振替38-39層	ゲリットのみ	VK-L-37-39	-				●								●●●●●
捨M/P上	振替38層	セク15	VK-L-37-39	捨M層か捨P層か判断がつかなくなったためつけた層名。さらに上下に分層する。												●●
捨M/P下	振替39層	セク15	VK-L-37-39	捨M層か捨P層か判断がつかなくなったためつけた層名。さらに上下に分層する。												情報なし
捨M①	振替35-36層	ゲリットのみ	VK-L-37-39	セクションに表れなかった層名。捨Mの下層。												情報なし
捨M②	振替35-36層	ゲリットのみ	VK-L-37-39	セクションに表れなかった層名。捨Mの下層。												●●
捨M灰	振替35-36層	ゲリットのみ	VK-L-37-39	セクションに表れなかった層名。捨Mの下層。												●●
捨M黄	振替35-36層	ゲリットのみ	VK-L-37-39	セクションに表れなかった層名。捨Mの下層。												●●
捨N	振替89層	セク23-17	VL-39	捨K層下の炭化物混じりの黒い層。				●●●								△△
捨N・捨B6下・ 捨B4下・捨10	振替89層	セク12	VL-37-38	炭化物を含む黒褐色の層。												情報なし
捨O	振替129層	セク10-24-17	VM-40	捨N層より明るい層である。地山への漸移層。				●●●								●
捨P	振替150~43層 以下	-	VK-L-37-39	捨M層下の明褐色層。当初捨Pは地山直上層と認識していたが、北側に行くにつれ層が厚くなるので、1~31に区分する。				●								●●●●●
捨P1	振替43層の上層	-	VK-L-37-39	セクションで捨Pを分層する。				●								●●●●●
捨P2	振替43~44層	ゲリットのみ	VK-L-37-39	-				●								●●●●●

表1 現場時の堆積層の名称と特徴（3）

層名	振替層	セクション	主要 ゲリット*	特徴、現場で分層した根拠の特徴など	前期	中期	後期	後 7-4	8	晚 1a	晚 1b	晚 2	晚 3	晚 4	晚 5
振P2上	振替43層	セ?15	VK-L-37 ~39	振P2は、P1とP3の間にに入る明褐色で、振Pを3分別にした肩層である。セクションで振2さら に上下に分層する。										情報なし	
振P2下	振替44層	セ?15	VK-L-37 ~39	振P2は、P1とP3の間にに入る明褐色で、振Pを3分別にした中間の層である。										情報なし	
振P3	振替57-62-127層	ゲリット のみ	VK-L-37 ~39		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
振P3上	振替57層	セ?15	VK-L-37 ~39	セクションで振P3を分層する。			●			●	●	△	●		
振P3中	振替62層	セ?15	VK-L-37 ~39	セクションで振P3を分層する。	●	●				●	●	●	●	●	△
振P3下	振替127層	セ?15- 24	VK-L-37 ~39	セクションで振P3を分層する。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
振Q	振替129層	セ?10- 12-21-23	VL-40	地山への漸移層。	●	●	●	●	△	●	●	●	●	●	
振R	振替28-29-31層 の下	-	VL-40	トレント調査。炭d層下の層。暗褐色で纏が多い、 上層と纏の少ない下層に分かれる。										情報なし	
振S	振替66層	セ?10	VK-40	振G層の下、暗褐色の纏が多い層。						●	●	●	●	●	△
振S1	振替66層 のみ	ゲリット のみ	VK-40	-											情報なし
振S2	振替79層	セ?10	VK-40	セ?10で振Sから分層。											●
振S3	振替81層	セ?10	VK-40	セ?10でHSから分層。	●										●
振S4	振替80層	セ?10	VK-40	セ?10で振Sから分層。にぶい黄褐色の層。						△	●	●	●		
振S5	振替85層	セ?10	VK-40	セ?10で振Sから分層。											●
振T	振替14層の下	-	VK-39	トレント調査。振A層の下の纏の多い黒色の層。											情報なし
振U	振替22-125層 のみ	ゲリット のみ	VK-40	振S層下の黒褐色層。	●	●	●	●	△	△	●				
振U上	振替122層	セ?10	VK-40	トレント調査時は、振Uで一括、セ?10で分層する。	●	●									
振U下	振替125層	セ?10	VK-40	トレント調査時は、振Uで一括、セ?10で分層する。 炭物を多く含む層。	●		●	●	●	●	●				
振V	振替410-80層 以下	ゲリット のみ	VL-40	-							△	●	●		
振V	振替83層	セ?10- 22	VL-40	下層の黒褐色層その一部。											情報なし
振V上	振替80層	セ?10	VL-40	振Vが分層できそうなので、便宜的に分けた。	●	●	●	●	●	●	●				
振V下	振替82層	セ?10	VL-40	振Vが分層できそうなので、便宜的に分けた。	●	●	●	●	●	●	●				
振V黄褐	振替87層	セ?10- 22	VL-40	振V層の中にある黄褐色の層。											●
振V炭	振替89-125層 のみ	ゲリット のみ	VL-40	-							●	●	●	△	
振V炭上	振替89層	セ?10- 22	VL-40	振V層の中にある炭化物を多く含む層。振E下層 の下に分厚い炭化物交じりの層を確認し、振V層 の範囲と捉えられたため。	●	●	●	●	△	△	●	●	●	△	
振V炭下	振替125層	セ?10- 22	VL-40	振V層の中にある炭化物を多く含む層。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
振W	振替128層	セ?10	VK-40	振U層下の少し明るい層。地山への漸移層。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
振X	振替89-120-121 層	ゲリット のみ	VK-40	-											
振X	振替120層	セ?10	VK-40	振S層が深くなったので、便宜的につけた層。	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
10上層・薄X 炭	振替89層	セ?10	VK-40	振X層の中にある炭化物を多く含む層。											情報なし
振X下	振替121層	セ?10	VK-40	-						●	●	●	●	●	
振Y	振替40-42層	-	VK-L-37 ~39	振P2対応と想定してつけた層名。											●●
振Y1	振替40層	セ?24	VK-L-37 ~39	セ?24で振Yを3つに分層する。											●●
振Y2	振替41層	セ?24	VK-L-37 ~39	セ?24で振Yを3つに分層する。											●△
振Y3	振替42層	セ?24	VK-L-37 ~39	セ?24で振Yを3つに分層する。											●●
振Z	ゲリット のみ	-	VK-L-37 ~39	振P3対応と想定してつけた層名。											情報なし
振Z1	振替59層	セ?24	VK-L-37 ~39	セ?24で振Zを2つに分層する。											●●△
振Z2	振替58層	セ?24	VK-L-37 ~39	セ?24で振Zを2つに分層する。	●										●●
炭a	振替31層	セ?17- 23	VL-38-39	北捨場のほぼ中央、広範囲にわたる炭化物層。 炭b層に対応する。											●●●●
炭b	振替28-31層	ゲリット のみ	VL-M-40	-											●●●
炭b	振替28層	セ?12	VL-M-40	北捨場のはば中央、広範囲にわたる炭化物層。											情報なし
炭b上	振替28層	セ?10- 23	VL-M-40	炭b層はセクション10で分層。											●●
炭b中間	振替29層	セ?10	VL-M-40	炭b層を分層したにぶい黄褐色の層。											●●●●
炭b下	振替31層	セ?10- 12	VL-M-40	炭b層はセクション10で分層。											●●

表1 現場時の堆積層の名称と特徴（4）

層名	振替層	セクション	主要 ゲリッド	特徴、現場で分層した根拠の特徴など	前期	中期	後期	後 7-4	8	晚 1a	晚 1b	晚 2	晚 3	晚 4	晚 5
炭c	振替116~118層	ゲリッドのみ	VL-40	-						●	●	●	△	●	
炭c	振替116層	セト1	VL-41-42	振替層相当に対応する。											情報なし
炭c	振替118層	セト12	VL-41	-											情報なし
炭c燒土	振替117層	セト12	VL-41	炭c層の下で確認。											情報なし
炭d	振替28-29-31層	-	VK-L-40	調査中、炭b層とながるでの、炭b層に統一した。											
炭e	振替37層	セト15	VK-L-37 -39	-						●	●	●	●	●	
炭f	振替50層	セト15	VK-L-37 -39	-						●	●	●			
炭g	振替34層	セト24	VK-L-37 -39	-									△	△	
炭h	振替15層	セト24	VK-L-37 -39	振替B3直下の炭化物層。											△△
炭1	振替16層	セト9	VK-36	セクションで層名を与える。平成26年度調査時に「10層」と遺物を取り上げている。											△△
炭2	振替50層	セト9	VK-36	セクションで層名を与える。											
炭3	振替55層	セト9	VK-36	セクションで層名を与える。											
炭4	振替13層	セト9	VL-36-37	焼土層の上に広がる炭化物の層。											△△
炭5	振替51層	セト9	VL-36-37	セクションで層名を与える。											
炭6	振替102層	セト9	VL-36-37	セクションで層名を与える。											△△
明褐色	振替67層	セト9-11	ゲリッドNライン以北	黒色層(振替層)下の明い層。トレント調査時の層名。ゲリッドNライン以北は、ベルトを除きこの層で遺物を取り上げている。											
黒褐色	振替95層	セト9-11	ゲリッドNライン以北	地山上の黒い層。トレント調査時の層名。ゲリッドNライン以北は、ベルトを除きこの層で遺物を取り上げている。											
黒褐色(レキ層)	振替110層	セト9-11	VM-38	最下層の疊を多く含む層。セクション9の持10(り)層に対応。											情報なし
黒色	振替8層	セト9-11	ゲリッドNライン以北	表土下の黒い層。トレント調査時の層名。ゲリッドNライン以北は、ベルトを除きこの層で遺物を取り上げている。											△△
プロック13	振替93層	セト11	VN-39-40	透物の土中範囲。											
ベルト2	振替10層	セト10	VO-40	セクションでつけた層名。疊が多い。											
ベルト3	振替63層	セト10	VO-40	セクションでつけた層名。											
ベルト4	振替28層	セト10	VO-40	セクションでつけた層名。											
ベルト5	振替90層	セト10	VO-40	セクションでつけた層名。											
ベルト6	振替91層	セト10	VO-40	セクションでつけた層名。											
ベルト7	振替92層	セト10	VP-40	セクションでつけた層名。											
ベルト8	振替109層	セト10	VP-40	セクションでつけた層名。											
ベルト9	振替129層	セト10	VP-40	セクションでつけた層名。											
ベルト4	振替93層	ゲリッドのみ	VN-39-40	プロック13と併記。											情報なし
1	振替1層	セト14-10	VR-40-43	表土。セクションでつけた層名。											情報なし
2	振替2層	セト13-14	VR-40-43	セクションでつけた層名。											情報なし
3	振替3層	セト13-14	VR-40-43	セクションでつけた層名。											情報なし
3	振替112層	セト21	VL-41-42	セクションでつけた層名。											情報なし
3	振替129層	セト16	VM-N-43	セクションでつけた層名。											情報なし
4	振替4層	セト13-14	VR-40-43	セクションでつけた層名。											情報なし
4	振替107層	セト16	VM-N-43	セクションでつけた層名。											情報なし
4	振替114層	セト21	VL-41-42	セクションでつけた層名。											情報なし
5	振替115層	セト21	VL-41-42	セクションでつけた層名。											情報なし
5	振替129層	セト16	VM-N-43	セクションでつけた層名。											情報なし
5a	振替129層	セト13-14	VR-40-42	セクションでつけた層名。											情報なし
5b	振替129層	セト13-14	VR-40-42	セクションでつけた層名。											情報なし
5c	振替129層	セト13-14	VR-40-42	セクションでつけた層名。											情報なし
5d	振替129層	セト13-14	VR-40-42	セクションでつけた層名。											情報なし
6	振替129層	セト16	VM-N-44	セクションでつけた層名。											情報なし
6	振替130層	セト21	VL-41-42	セクションでつけた層名。											情報なし
7	振替116層	セト21	VL-41-42	セクションでつけた層名。											情報なし
8	振替129層	セト12-21	VL-41-42	セクションでつけた層名。											情報なし
9	振替129層	セト12-21	VP-40	セクションでつけた層名。											●
10	振替24層	セト9	VJ-35-36	第1号出土遺構の層名。現場層位10層のうち、VJ以南のもの、およびVKラインのうち、「旅」がつかない10層。											
10	振替89層以下	ゲリッドのみ	VJ-40	トレント調査のみ。当初、セクション9にある10層に対応すると考えていました。結果的に同一からは不明。現場層位10層のうち、39-40ライン付近のもの。											情報なし

表1 現場時の堆積層の名称と特徴（5）

層名	振替層	セクション	主要 ゲーリー	特徴、現場で分層した根据の特徴など	前期	中期	後期	後 7-4	晚 8	晚 1a	晚 lb	晚 2	晚 3	晚 4	晚 5	
10-2	振替9層	セ9	VJ-K-35- 36	第1号盛土造構の層名。										△	●	
10上	振替89層	セ10	VJ-40	当初、セクション9にある、10層に対応すると考えていたので、10層とした。結果的に同一からは不明。	●	●				●	△					
10中	振替119層	セ10	VJ-40	当初、セクション9にある、10層に対応すると考えていたので、10層とした。結果的に同一からは不明。	●					●						
10下層	振替128層	セ10	VJ-40	当初、セクション9にある、10層に対応すると考えていたので、10層とした。結果的に同一からは不明。	●	●	●	●	△		●					
10-地山	振替134層	セ12- 21	VL-41-42	地山層。											情報なし	
11	セ9 M1の23層	セ9	VJ-K-35- 36	第1号盛土造構の層名。晚期前半の生活面。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
11-2	セ9 M1の23層	セ9	VJ-K-35- 36	第1号盛土造構の層名。晚期前半の生活面。											情報なし	
11	振替131層	セ21	VL-41-42	セクションでつけた層名。											情報なし	
12	振替132層	セ21	VL-41-42	セクションでつけた層名。											情報なし	
13	振替133層	セ21	VL-41-42	セクションでつけた層名。											情報なし	
SN-a	振替6層	セ11	VM-38-39	セクションでつけた層名。												
SN-b	振替7層	セ11	VM-38-39	セクションでつけた層名。												
SN-c	振替10層	セ11	VM-38-39	セクションでつけた層名。種が多い。	●	△										
SN-d	振替77層	セ11	VM-38-39	セクションでつけた層名。	●											
SN-e	振替63層	セ11	VM-38-39	セクションでつけた層名。	●	●										
SN-f	振替5層	セ11	VM-38-39	セクションでつけた層名。											情報なし	
SN-g	振替94層	セ11	VM-38-39	セクションでつけた層名。	●	●										
SN-h	振替109層	セ11	VM-38-39	セクションでつけた層名。	●	●	●	●	●							
※	振替86層	セ10	VK-40	地と地Xを分けるレンズ状の堆積層。											情報なし	
4 (東Ⅲ-1最下部)	振替105層	セ16	42列以東	北東抜場との境界付近でつけた層名。基本土層第Ⅲ層に応じた名称。											情報なし	
7 (東Ⅲ-1最上部)	振替69層	セ16- 18	42列以東	北東抜場との境界付近でつけた層名。基本土層第Ⅲ層に応じた名称。											情報なし	
I	振替1層		調査区全体	表土。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
I a	振替67層		VL-41	セクションでつけた層名。											情報なし	
a (I)	振替1層	セ11	VN-37	-												
a	振替1層	セ10	VN-40	表土。セクションでつけた層名。												
a	振替110層	セ9	VN~VP- 37-38	房10(リ)と同一。最下層の種が多い層。セクションで階層色帶から分離する。											情報なし	
b	振替10層	セ11- 16	VM-N-40	セクションでつけた層名。種が多い。												
b	振替96層	セ9	VN-37	セクション9を分層する際につけた小さな単位の層。種が多い。											情報なし	
b	振替106層	セ18	VN-O- 43-44	セクションでつけた層名。											情報なし	
c	振替61層	セ9	VM-N-40	セクションでつけた層名。											情報なし	
c	振替62層	セ9	VK-36	セクション9を分層する際につけた小さな単位の層。											情報なし	
c	振替63層	セ16	VM-N-41	セクションでつけた層名。											情報なし	
c	振替107層	セ18	VN-O- 43-44	セクションでつけた層名。											情報なし	
c	振替129層	セ9	VN-37	セクション9を分層する際につけた小さな単位の層。											情報なし	
d	振替63層	セ10- 11	VM-N-40	セクションでつけた層名。										△	●	●
d	振替70層	セ16	VM-N-41	セクションでつけた層名。											情報なし	
d	振替129層	セ18	VN-O-43- 44	セクションでつけた層名。											情報なし	
e	振替78層	セ10- 11	VM-N-40	セクションでつけた層名。種が多い。										△	●	●
e	振替69層	セ16- 18	VM-N-42	セクションでつけた層名。											情報なし	
f	振替71層	セ16	VM-N-41	セクションでつけた層名。											情報なし	
f	振替109層	セ10- 11	VM-N-40	セクションでつけた層名。									●	●	●	
g	振替73層	セ16	VM-N-41	セクションでつけた層名。											情報なし	
g	振替129層	セ11	VM-40	セクションでつけた層名。											情報なし	
h	振替64層	セ10	VN-40	セクションでつけた層名。											情報なし	

表1 現場時の堆積層の名称と特徴（6）

層名	振替層	セグメント	主要 ゲーリー	特徴、現場で分層した根据の特徴など	前期	中期	後期	後 7-4	8	晚 1a	晚 1b	晚 2	晚 3	晚 4	晚 5
h	振替72層	セ?16	VM-N-41	セクションでつけた層名。										●	
i	振替74層	セ?16	VM-N-41	セクションでつけた層名。										●	
j	振替75層	セ?16	VM-N-41	セクションでつけた層名。										●	
k	振替109層	セ?16	VM-N-41	セクションでつけた層名。										●	
l	振替108層	セ?16	VM-N-41	セクションでつけた層名。										●	
m	振替129層	セ?16	VM-N-41	セクションでつけた層名。										●	
n	振替129層	セ?16	VM-N-42	セクションでつけた層名。										●	
o	振替21層	セ?23	VL-39	セクションでつけた層名。										●	
p	振替22層	セ?23	VL-39	セクションでつけた層名。										●	
q	振替8層	セ?9	VK-L-36	セクション9を分層する際につけた小さな単位の層。										●	●
風削木	-	セ?10	VP-40	セクションでつけた層名。										●	
仮あ	振替123層	セ?22	VL-40	セクションでつけた層名。										●	
仮い	振替88層	セ?22	VL-40	セクションでつけた層名。										●	
仮う	振替123層	セ?22	VL-40	セクションでつけた層名。										●	
SN-B 22層	M1の22層			平成25年度の第1号盛土遺構調査時の層名。										●	
SN-B 22-2層	M1の22-2層			平成25年度の第1号盛土遺構調査時の層名。										●	△△
23層	M1の23層			平成25年度の第1号盛土遺構調査時の層名。										●	
地山直上	振替129層	セ?10-5	VK-40	地山への漸移層。縄文中期の土器を含む。										●	
漸移層	振替129層	セ?12	VL-M-40	セクションでつけた層名。										●	
ト	振替99層	セ?9	VL-36	セクション9を分層する際につけた小さな単位の層。										●	●
ニ	振替53層	セ?9	VL-36	セクション9を分層する際につけた小さな単位の層。										●	
東Ⅲ-1	振替69層 16-18	セ?21-16-18	VL-41-42	北東施場との境界付近でつけた層名。基本土層第Ⅲ層に応じた名称。										●	●
東Ⅲ-2	振替107層	セ?16	42列以東	北東施場との境界付近でつけた層名。基本土層第Ⅲ層に応じた名称。										●	
△	振替98層	セ?9	VL-36	セクション9を分層する際につけた小さな単位の層。										●	
埋土1	-	セ?10	VP-40	セクションでつけた層名。										●	
埋土2	-	セ?10	VP-40	セクションでつけた層名。										●	

表2 層対応一覧・出土土器様相 (1)

振替層名	現場層名	セクション	出土土器 重量(g)	土器の様相
振替1層	I	セ13-14-10	-	
	I	セ10-24・15-12-11-9-16	156.1	各時期の土器が出土しているが、完形となる遺物は出土しておらず、いずれの土器も破片である。写69-4などが最も新しい、晚期5期の土器である。
	a	セ10	-	
	a(1)	セ11	-	
振替2層	2	セ13-14	-	
振替3層	3	セ13-14	-	本層に伴う土器は抽出できない。振替26層(明褐色)もしくは振替96層(黒褐色)として取り上げた。
振替4層	4	セ13-14	-	
振替5層	SN-1	セ11	1.2	本層に伴う土器は抽出できない。振替109層(現場層位4層)と同様。
振替6層	SN-a	セ11	-	出土土器は非常に少ない。振替6-7層を合わせて取り上げている。晚期4~5期の鉢(写69-1)が最も新しい時期の土器である。
振替7層	SN-b	セ11	-	
振替8層	黒色	セ9-11	26.5	出土土器は少ない。晚期5期の台付鉢の小片(写69-12)のほか、晚期4~5期の粗製鉢(写69-11)などが出土している。
振替9層	10-2	セ9 第1号 盛上遺構	6.2	晚期4~5期がまとまって出土している。
振替10層	ベルト2	セ10	-	
	SN-c	セ11	35.3	各時期の土器が出土しているが、完形となる遺物は出土しておらず、いずれの土器も破片である。写69-21や写69-20などが最も新しい土器で晚期4~5期に北定される。
振替11層	b	セ10-11-16	36.0	
	振A上	セ23	0.7	
	振A上-振B	セ12-24	-	
	振F	セ10-12	27.4	晚期5期の遺物がまとまって出土している。写69-29は晚期5期の台付鉢で、略完形である。その他の土器はいずれも小片である。
	振G	セ10	-	
	振G上	セ10	8.9	
振替11・15・ 18層	振B	グリッド	13.3	いずれも破片資料ではあるが、晚期4~5期の土器がまとめて出土した(写70-15など)。
振替12・19の 11~25層	振B-B2	グリッド	6.1	晚期3~5期の遺物が出土している。
振替11・25	振G	グリッド	53.9	時期は様々であるが、比較的復元率の高い土器が多く出土した。晚期4期もしくは4~5期に北定される鉢(写70-5~6)のほか、晚期後手(写70-11)や前期前業~中業に北定される盃(写70-12)などがある。
振替12層	BB8	グリッド	6.5	破片資料であるが、晚期5期の土器のみが出土している(写70-18など)。
振替12層	BB8(明褐色)	セ9	-	
振替13層	既4	セ9	5.0	破片資料であるが、晚期4~5期の土器のみが出土している(写70-20など)。写70-21は25-27層で同一個体が出土している(写72-13)。
振替14層	振A	セ17	93.7	各時期の土器が出土しているが、特に晚期4~5期の土器が最も多く出土した。写71-32は晚期5期の台付鉢で、比較的成形状態が良い。写71-10は1段部のみが欠損している粗製盃である。体部上半が張る形相であることから、晚期4~5期に相属すると推定される。写71-11は35~36層で一個体が出土している(写75-20)。
振替14層の 下	振T	グリッド	-	振S層に対応するため、道物は基本的に振S層として取り上げている。
振替15層	振A下	セ23	-	
振替15層	振A下-振B	セ12	32.2	いずれも略完形の粗製盃である。
振替16層	振b	セ24	-	
振替17層	既1	セ9	3.4	土器は非常に少なく、晚期4~5期の土器片のみが出土している。写71-15は晚期4~5期の既の1段部である。
振替17層	既6	セ9	8.8	後期の破片資料も出土したが、時期は明らかに4~5期のみが出土している(写71-17)。口径が50mmを超える大型の粗製盃の1段部も出土している(写71-18)。
振替18層	振B-振8	セ12	35.1	土器は非常に少ない。晚期5期の盃の小片(写71-19)が出土している。
振替19・20・ 25層	振B2	グリッド	28.3	土器は非常に少ない。晚期5期の台付鉢の破片(写71-20)や、晚期4期の浅鉢の小片(写71-21)が出土している。
振替19層	振B2-振9	セ12	-	本層に伴う土器は抽出できない。
振替20層	振B2	セ12	-	本層に伴う土器は抽出できない。
振替21層	a	セ23	-	土器は出土していない。
振替22層	g	セ23	-	土器は出土していない。
振替23層	振1	セ9	25.9	各時期の土器が出土したが、いずれも小片である。最も新しい時期である晚期5期の道物のみを複数回出土している(写71-22など)。
振替24層	10	セ9 第1号 盛上遺構	71.4	各時期の土器が出土しているが、いずれも小片である。最も新しい時期は晚期5期である(写71-29など)。
振替25層	振D	セ23	-	
	振B3	セ24	20.2	晚期4~5期の土器がまとめて出土した。いずれも破片資料である。
	振D-振B3-振B2	セ12	-	
振替26層	振G	セ10	27.7	
振替26層	振D	セ17	-	振替25~27層で遺物を取り上げているため、本層に伴う土器は抽出できない。
振替27層	振D	セ23	-	振替25~27層で遺物を取り上げているため、本層に伴う土器は抽出できない。
振替25~27 層	振D	グリッド	52.1	晚期4~5期の土器がまとめて出土した。略完形の晚期4期の鉢が出土している(写72-14)。写72-13は振替13層で同一個体が出土している(写70-21)。
振替28層	振b	セ12	-	晚期3~4期の土器が出土している(写72-19など)。いずれも小片である。
振替28層	振b上	セ10-23	5.8	
振替29層	振E	セ12-23-17	17.3	各時期の土器が出土した。特に晚期4~5期の土器がまとっているものの、いずれも遺存状態は良くない。写73-5は晚期4~5期に北定される鉢である。振替34-63層で同一個体が出土している(写74-5)。
振替29層	振b中間	セ10	8.1	
振替30層	振Ga	セ10	5.7	晚期4~5期の鉢が出土しているが、いずれも小片である。写73-15
振替31層	振a	セ12-17-23	18.6	晚期後半期の遺物がまとめて出土している。写72-22は完形の粗製盃である。晚期中業~後業に北定される。
振替31層	振bF	セ10-12	14.4	
振替28~29・ 31層	振b	グリッド	25.7	晚期4~5期が出土している。略完形の後期後業の台付浅鉢(写72-16)が出土している。本層で採取した灰化物の放射性炭素年代は $2750 \pm 20$ yrBP(KAWA(1)-65, 66), $2720 \pm 20$ yrBP(KAWA(1)-67), $2710 \pm 20$ yrBP(KAWA(1)-68)である。
振替28~29・ 31層	振d	グリッド	0.4	

表2 層対応一覧・出土土器様相(2)

振替層番号	現場層名	セグメント	出土土器 重量(g)	土器の様相
振替28~29・ 31層の下	振R	グリッド	-	本層に伴う土器は抽出できない。
振替32~ 34層	振L	セ10~22	61.8	各時期が出土しているが、最も新しい土器は晩期5期である(写73~21など)。
振替32層	振L上	セ10	5.5	晩期4期の土器が出土している(写73~16など)。いずれも小片である。
振替33層	振L中	セ10	-	本層に伴う土器は抽出できない。
振替34層	振B5	グリッド	13.3	-
振替34層	振K	セ23~17	-	各時期の土器が出土しているが、いずれも小片である。最も新しい時期は晩期5期である。
振替34層	振K・振B5	セ12	-	が、小片のため未確認である。
振替34層	振L下	セ10~23	9.5	写73~31は晩期4期の浅鉢である。
振替34~63 層	振g	セ24	7.5	-
振替34~63 層	振K	グリッド	45.2	各時期の土器が出土している。略定形の陶瓶2期の右付鉢が出土している(写74~8)。写74~54+29層(写73~5)、写73~5は34層(非掲載)で同一個体が出土した。
振替35~36	振M	グリッド	224.4	-
振替35~36	振M(1)	グリッド	55	各時期の土器が出土しているが、特に晩期4~5期の土器がまとまって出土している。晩期5期では、略定形の台付鉢や台付深鉢が4点出土した(写75~10~12~14)。写75~20は14層で同一個体が出土している(写71~11)。
振替35~36	振M(2)	グリッド	6.1	-
振替35~36	振M後	グリッド	-	-
振替35~36	振M後	グリッド	-	-
振替35層	振M上	セ15	2.1	晩期5期の土器が出土しているが、小片のため未確認していない。
振替35層	振M下	セ15	-	振Mと合わせて取り上げているため、本層に伴う土器は抽出できない。
振替35層	振M	セ15	6.9	晩期3~5期の土器が出土している。
振替38~39	振M/P	グリッド	7.2	最も新しい時期の土器は晩期4期である。写74~30は略定形の晩期4期の台付鉢である。写74~29が大失形である。台部には波状の孔が複数ある。
振替38~39	振M/P上	セ15	-	-
振替38~39	振M/P下	セ15	-	-
振替40~42 層	振Y	グリッド	0.9	出土土器は少なく、晩期4~5期の土器が出土した。小片のため未確認していない。
振替40層	振Y1	セ24	1.9	出土土器は少なく、晩期4~5期の土器が出土した(写74~23など)。いずれも小片である。
振替41層	振Y2	セ24	2.7	出土土器は少なく、晩期4~5期の土器が出土した(写74~34など)。いずれも小片である。
振替42層	振Y3	セ24	4.9	出土土器は少なく、晩期3~4期の土器が出土した(写75~26など)。いずれも小片である。
セ15の43 層以下	振P	グリッド	42.5	各時期出土している。最も新しい時期は晩期5期である。
振替43層 の上層	振P1	グリッド	43.3	各時期出土しているが、晩期4~5期が比較的まとまっている。最も新しい土器は晩期4~5期である(写76~5など)。
振替43~ 44層	振P2	グリッド	48.4	各時期出土している。最も新しい遺物は晩期4期の皿(写76~15)や晩期3期の浅鉢(写76~14)である。晩期4~5期と遡れがある土器(写76~16)などが略定形の共通で出土している。
振替43層	振P2上	セ15	0.5	44層とあわせて取り上げており、本層に遡る土器は抽出できない。
振替43層	振P2下	セ15	-	43層とあわせて取り上げており、本層に遡る土器は抽出できない。
振替44層	振Ia	セ9	31	後期8~9期、晩期10~11期の土器が出土した。いずれも小片である(写76~18など)。最も新しい土器は晩期10期の土器が出土した。
振替45層	振Ib	セ9	10.6	各時期の土器が出土したが、いずれも小片である。最も新しい土器は晩期5期であるが、小片のため未確認している。
振替46層	振I	セ9	43.3	各時期出土しているが、晩期4~5期がまとめて出土した。写76~25は空形の皿である。
振替47層	振S	セ9	4.3	晩期4~5期の土器がまとめて出土した。写76~25は空形の皿である。
振替48層	振3b	セ9	-	土器は出土していない。
振替49層	振3a	セ9	-	土器は出土していない。
振替50層	振f	セ15	5.3	晩期2~4期の土器が本層に出土している。また、未掲載だが中期の土器も出土した。写76~16は晩期3期の皿である。
振替50層	振e	セ9	4.1	77~16は晩期4期の皿である。比較的保存状態が良好である。
振替51層	振5	セ9	9.3	晩期3~5期の土器が本層に出土している。
振替52層	振7(12)	セ9	-	振替9層と合わせて取り上げており、本層に伴う土器は抽出できない。
振替52~97 層	振7	グリッド	10.2	主に晩期3~5期が出土している。
振替53層	二	セ9	-	土器は出土していない。
振替54層	振4	セ9	168.2	比較的多くの土器が出土しており、晩期3~4期の浅鉢や皿などで、比較的状態のよいもののが見受けられる(写78~17~20など)。なお、本層中の灰化物層から採取した試料の放射性炭素年代は290±20byBPである(KAWA(1)~64)。
振替55層	振3	セ9	14.7	晩期3~4期の土器が出土している。また、未掲載だが中期の土器も出土した。写79~1~3)。また、後期8期の略定形の注口も出土している。
振替56層	振5	セ9	67.1	各時期が出土しているが、いずれも小片である。最も新しい土器は晩期5期である(写79~5)。
振替57~62・ 127層	振P3	グリッド	171.9	各時期が出土しており、最も新しい時期は晩期5期であるが、晩期4~5期は小片のみが見受けられない。粗製深鉢でも良好な状態の資料が多い(写79~9~13)。中期の小片(写81~16)も出土している。
振替57層	振P3上	セ15	29.2	最も新しい土器は晩期5期であるが、小片のため未確認していない。残存状況の良好な資料が多く、晩期3~4期の台付鉢(写80~2)や台付浅鉢(写80~8)、写(80~10~11)、晩期2期の浅鉢(写80~6)など、形状ももしろくは略定形の状態で出土している。
振替58層	振Z2	セ24	6.9	主に晩期3~4期の土器が出土している。写80~15は略定形の晩期4期の皿である。
振替59層	振Z1	セ24	5.1	主に晩期3~4期が出土している。いずれも手彫削り土器である(写80~17~19)。
振替60層	振B4	セ12	-	63~89層とあわせて取り上げられており、本層に遡る遺物の抽出は困難である。
振替60~63・ 89層	振B4	グリッド	71.2	各時期の土器が出土している。晩期5期の土器(写82~1)や、晩期4~5期の皿(写82~3)などがあり、どちらも略定形である。
振替61層	c	セ10~11	-	本層に伴う土器は抽出できない。
振替62層	振P3中	セ15	33.4	出土している土器のうち、新しいものは晩期4~5期であるが、小片のため未確認していない。
振替62層	c	セ9	-	写82~6は振替57層で同一個体が出土している(非掲載)。
振替63層	振H上	セ10~23	13.2	-
振替63層	振K	セ24	36.0	各時期が出土しており、最も新しい遺物は晩期5期である。晩期5期の土器(写83~21など)が少量はあるが、平地に近い現場層位ベルト3層で出土していることから、上位層の遺物が混入した可能性が考えられる。一方、斜面の下位に位置する現場層位SN-e層では、1~3期が最も多い。
振替63層	振K下	セ23~17	37.5	と
振替63層	振K下-振B6· 振B4	セ12	0.3	63~89層とあわせて取り上げられており、本層に遡る遺物の抽出は困難である。
振替63層	ベルト3	セ10	30.4	晩期1~2期の時期がまとまっている。中位層(現場層位振K~振H上層など)では晩期1b~3期が多い。
振替63層	SN-e	セ11	30	既存資料のようい土器も多め、晩期3期の浅鉢(写83~27)や、晩期1b期の台付鉢(写83~27)である。写84~8は89層で(写96~3)、写83~24は10層で(非掲載)同一個体が出土している。
振替63層	c	セ16	-	-
振替63層	d	セ10~11	22.4	-

表2 層対応一覧・出土土器様相 (3)

振替番号	現場番号	セクション	出土土器 重量(g)	土器の様相
振替63-89 層	振B6	グリッド	77.5	各時期が出土しており、最も新しい遺物は晩期5期である。写82-16は83層で同一個体が出土している(写88-19)。
振替64層	h	セ10	-	本層に伴う土器は抽出できない。
振替65層	振Gb	セ10	7.9	主に晩期3-5期の土器が出土している。いずれも小片である。写82-18は晩期2期と推定される鉢である。76層で同一個体が出土している(写86-14)。
振替66層	振S5	セ10	45.7	晩期中期以前の土器が出土している。揚戴した4点はいずれも残存状況が良好であり、そのうち晩期3期の壺(写82-21)は完形である。
振替67層	1a	セ11-12	-	本層に伴う土器は抽出できない。
振替68層	振C	セ12	11.1	土器の出土量は極めて少ない。晩期4期などの土器が出土しているが、小片のため掲載しない。写84-81は80層で同一個体が出土している(写96-3)。
振替69層	7(東Ⅲ-1最上部)	セ16-18	-	後期中期-後期3期の土器が出土している。遺物の出土量は多く、晩期3期の浅鉢(写85-1)や、後期中期の深鉢(写85-7)などである。
	e	セ16-18	-	壺の形(写85-17)が完形で出土している。ほかにも晩期3期の台付鉢(写84-1)や浅鉢(写85-16)、晩期1a期の鉢(写84-22)や壺(写86-4)、晩期1a-1b期の壺(写85-16)などである。
	東Ⅲ-1	セ21-16-18	-	東Ⅲ-1層として取り上げている可能性があり、本層に伴う土器は抽出できない。
振替70層	d	セ16	-	東Ⅲ-1層として取り上げている可能性があり、本層に伴う土器は抽出できない。
振替71層	f	セ16	-	東Ⅲ-1層として取り上げている可能性があり、本層に伴う土器は抽出できない。
振替72層	h	セ16	-	東Ⅲ-1層として取り上げている可能性があり、本層に伴う土器は抽出できない。
振替73層	g	セ16	-	東Ⅲ-1層として取り上げている可能性があり、本層に伴う土器は抽出できない。
振替74層	i	セ16	-	東Ⅲ-1層として取り上げている可能性があり、本層に伴う土器は抽出できない。
振替75層	j	セ16	-	東Ⅲ-1層として取り上げている可能性があり、本層に伴う土器は抽出できない。
振替76層	明揭	セ9-11	374.5	各時期の土器がそれぞれ多量に出土しており、残存状態の良い土器も多い。晩期2期の鉢(写87-1)や、後期2-3期の注口(写87-16)が完形で出土している。写86-14は振替65層で同一個体が出土している(写88-18)。
振替77層	SN-d	セ11	13.5	最も新しい時期は晩期5期である(写88-1)が、小片であり、晩期3-4期は出土していないことから、主体は晩期2期以降の可能性がある。
振替78層	ベルト4	セ10	-	晩期1a期と晩期2期が出土している。写88-7は晩期1bの注口である。口頭部と体部は接合しないが、残存状況は良好である。
振替79層	e	セ10-11	27.2	-
振替80層	振S2	セ10	2.5	土器は少量出土したのみである。晩期3期の鉢を掲載した(写88-13)。
振替80層	振S4	セ10	13.8	-
振替80層	振V上	セ10	3.7	晩期2期の土器が最も新しい時期である(写89-4など)。
振替81層	80層以下 の層	振C	19.3	既ね晩期1b-3期の土器が出土した。
振替81層	振S3	セ10	6.7	晩期3期の土器が最も新しい時期である(写89-7など)。
振替82層	振V下	セ10	24.0	晩期1a-4期の土器が出土した。写89-18は肩部に突起が付く鉢である。突起が小さく立ち上ることから晩期3-4期に比定される。晩期1a期の鉢(写89-19)や後期2期の台付鉢(写89-20)などが略形で出土した。
振替83層	振H下	セ10-23	32.7	晩期以前の土器が出土している。晩期3期の無文の浅鉢(写88-17)のほか、晩期1b期の注口(写88-19)が完形で出土している。写88-19は振替63-89層で同一個体が出土している(写82-16)。
振替83層	振V	セ10-22	-	-
振替84層	振H	セ12	58.4	最も新しい時期は晩期4-5期であるが、小片である(写90-6)。一方で、晩期2期では台付鉢(写90-8)が完形で出土しており、晩期1b期では鉢(写90-11, 14)、台付皿(写90-18)、注口(写90-20)、晩期1a-1b期の(写90-9)鉢が略形で出土している。また、晩期1a期の注口(写90-21)も注口部が欠損しているのみで、残存状況が良好である。
振替85層	振S5	セ10	20.8	晩期1b-3期の土器が出土した。精製土器はいずれも小片であるが、粗製の深鉢では全形が復元できたもの(写91-1)がある。
振替86層	幸	セ10	-	土器は出土していない。
振替87層	振V黄褐	セ10-22	10.7	晩期2-3期の土器が少量出土した(写91-4-5)。
振替88層	倪	セ22	-	土器は出土していない。
振替89層	振B4下	グリッド	16.3	-
	振B6F	セ24	47.0	-
	振J	セ10-12	336.0	大量の土器が出土した。最も新しい時期は既ね晩期3期である。晩期3期の浅鉢(写95-20)、晩期中期の浅鉢(写95-26)や壺(写96-13)、晩期1b期の鉢(写93-8など)や台付皿(写94-9-11)や浅鉢(写96-5, 6)や台付浅鉢(写96-2)や台付皿(写96-7)や壺(写96-11, 18)などである。また、中長期の土器(写95-2)が出土している。
	振Ja	グリッド	-	-
	振N	セ23-17	60.1	12月の土器が出土している。晩期1a期の鉢(写95-14)、晩期1a-1b期の鉢(写95-1)などである。また、中長期の土器(写95-2)が出土している。
	振N-振B6F- 振B4下-振10	セ12	8.6	8.6
	振V灰上	セ10-22	16.0	23) 中長期の土器(写95-9)も出土している。小片であるが後期3期の土器(写95-21)、肩N(写108-4)で、写95-9-12は12層(写109-17)で、写95-10は18-120-121層(写99-13)で、それそれぞれ同一個体が出土している。
	振X灰	セ10	17.0	-
	10上	セ10	5.4	-
	10	グリッド	-	本層に伴う土器は抽出できない。
振替89層以 下	10	グリッド	-	-
振替89-125 層	振V灰	グリッド	12.4	既ね晩期1b期を下限とする。写91-9は122-125層で、写92-5は89層と69層でそれぞれ同一個体が出土した(非掲載)。
振替89- 120-121層	振X	グリッド	16.0	晩期3期を下限とする。写91-13は89層で同一個体が出土している(写97-10)。
振替90層	ベルト5	セ10	-	晩期1b-2期の遺物が出土しているが、小片のため掲載していない。
振替91層	ベルト6	セ10	-	本層に伴う土器は抽出できない。
振替92層	ベルト7	セ10	13.2	各時期が出土している。いずれも小片である。最も新しい遺物は晩期5期(写98-1)である。
振替93層	プロック13	セ11	171.0	晩期中期以前の土器が出土した。出土量が多く、晩期3期の鉢(写98-25)や、晩期1b期の台付皿(写98-24)、晩期1a期の壺(写99-4)などが略形で出土している。また、中期の壺の小片(写99-5)も出土した。
振替93層	ベルト4	グリッド	-	-
振替94層	SN- R	セ11	25.7	晩期2期以前の土器が出土した。晩期1b期の浅鉢(写99-11)や、晩期の粗製鉢(写99-9)が略形で出土した。

表2 層対応一覧・出土土器様相 (4)

振替層名	現場層名	セクション	出土土器重量(g)	土器の様相
振替95層	黒褐	セ9-11	542.2	各時期の遺物が出土した。最も新しい土器は晩期4-5期である(写100-2)。出土量は非常に多く、地盤面の深部(写100-1)、壁面(写100-3)の台付鉢(写100-8)、晩期2期の深部(写99-14)や台付鉢(写101-4)など(写101-5)や窓口(写101-6)。晩期15期の台付鉢(写100-10)、晩期の盆(写101-13-15)などが略定形で出土している。
振替96層	地9 b	セ9	38.4 —	晩期5期の遺物が最も新しく、比較的まとまって出土している(写102-7, 10~13)。
振替97層	地7(ハ)	セ9	—	振替52層とあわせて取り上げているため、本層に伴う遺物は抽出できない。
振替98層	ヘ	セ9	—	本層に伴う土器は抽出できない。
振替99層	ト	セ9	2.2	出土土器は少量で、晩期3期以前の土器が出土しているが、いずれも小片のため掲載しない。
振替100層	地5a	セ9	28	出土土器は少量で、晩期1期の土器が出土しているが、小片のため掲載していない。
振替101層	地5b	セ9	1.4	出土土器は少量で、晩期2期の土器が出土しているが、小片のため掲載していない。
振替102層	床6	セ9	0.2	出土土器は少量で、後期7-8期のほか、晩期4-5期と思われる土器が出土しているが、実際は不明である。
振替103層	地10黄褐(小)	セ9	0.4	出土土器は少量化である。中期の土器が出土している。
振替104層 以下	地10	グリッド	97.1	出土量が多く、各時期の遺物が出土しているが、いずれも破片資料である。晩期5期が一定量出土しているが、セクション出土資料は晩期3期を下限としたことから、ペルトでない箇所の遺物を取り上げる際に、上位層である96層の遺物が混入した可能性が考えられる。
振替104層	地10(チ)	セ9	2.9	晩期15期以前が出土している(写102-22, 23)。いずれも破片資料である。
振替105層	4(東Ⅲ-1最下部)	セ16	—	東Ⅲ-1層として取り上げている可能性があり、本層に伴う土器は抽出できない。
振替106層	b	セ18	—	東Ⅲ-1層として取り上げている可能性があり、本層に伴う土器は抽出できない。
振替107層	c	セ18	—	晩期2期の略定形の浅鉢が出土している(写102-24)。
東Ⅲ-2	セ16	—	—	—
振替108層	1	セ16	—	東Ⅲ-1層として取り上げている可能性があり、本層に伴う土器は抽出できない。
ベルト8	セ10	—	—	—
SN-h	セ11	10.8	現場層位ベルト8層からは晩期3期以前、現場層位SN-hからは晩期2期以前、現場層位fからは晩期1b期以前の土器が出土している。写103-412 振替76層で同一個体が出土している(写87-5)。	
f	セ10-11	29.6	—	—
k	セ16	—	—	—
振替109層	地10(リ)	セ9	0.6	—
振替110層	黒褐(レキ層) a	セ9-11 セ9	— —	現場層位振替10(リ)から中期の土器が出土している。
振替111層	地11	セ12-21	8.1	東Ⅲ-1層として取り上げている可能性があり、本層に伴う土器は抽出できない。
振替112層	地11下	セ21	15.5	出土量は多い。後期後業-晩期1b期の注口(写103-10~13)が完全形で出土している。
振替113層	3	セ21	—	東Ⅲ-1層として取り上げている可能性があり、本層に伴う土器は抽出できない。
振替114層	4	セ21	—	東Ⅲ-1層として取り上げている可能性があり、本層に伴う土器は抽出できない。
振替115層	5	セ21	—	東Ⅲ-1層として取り上げている可能性があり、本層に伴う土器は抽出できない。
振替116~18層	成	グリッド	11.4	最も新しい遺物は晩期4期の鉢の破片(写103-15)であるが、晩期中葉の土器は極めて少量化であることから、上位の層の遺物が混入した可能性を考えられる。
振替116層	成c 7	セ21 セ21	— —	振替116-118層をまとめて取り上げおり、本層に伴う土器は抽出できない。
振替117層	成c燒土	セ12	—	振替116-118層をまとめて取り上げており、本層に伴う土器は抽出できない。
振替118層	成	セ12	—	振替116-118層をまとめて取り上げしており、本層に伴う土器は抽出できない。
振替119層	10中	セ10	2.3	後期7-8期、晩期1b期の土器が主に出土しているのがあり、小片のため掲載はしていない。振替89-103層とまとめて取り上げているものもある。
振替120層	族X	セ10	—	振替89-103層とあわせて取り上げており、本層で取り上げているものもある。
振替121層	族X下	セ10	7.8	本層單独で取り上げているものは少なく、振替125層とあわせて取り上げているものが多いため、後期前業、晩期2期(写103-22)が出土している。ほかに振替89-120層とあわせて取り上げているものもある。
振替122層	族U上	セ10	14.1	本層單独で取り上げているものは少なく、振替125層とあわせて取り上げているものが多いため、本層單独で取り上げているものでは、晩期3期以前の土器(写103-23など)が出土している。写103-23は晩期3期の浅鉢で、略定形である。
振替122-125層	族U	グリッド	132.4	晩期1b期の鉢もしくは台付鉢(写104-10~13-15)や注口(写105-14)などの略定形個体が含まれる。また、晩期1b期の土器(写104-11など)が含まれるが、122層は斜面削部付近で斜面剥離から50mm程度の深さに堆積した層であり、5期の遺物は1点のみのため、混入と推定する。写104-4128-125層で同一個体が出土した(非掲載)。
振替123層	假あ 仮う	セ22 セ22	— —	土器は出土していない。
振替124層	地1下	セ22	—	後期8期-晩期15期の土器が出土している。写105-23は晩期1a期の注口で、完形である。
振替125層	族UF	セ10	27.8	多くの土器が出土しており、最も新しい時期は晩期3期である。遺存状態のよい土器も多く、後期7-4期の深鉢(写106-4)、後期初期の深鉢(写106-2)、晩期1a期の台付鉢(写107-1~3)などが略定形で出土している。写106-21は晩期1a期の鉢である。報告書II図12-2と同一個体である。写108-42振替89層で同一個体が出土している(写96-21)。
振替126層	振10下	セ12	—	本層に伴う土器は抽出できない。
振替127層	族P3下	セ15-24	137.8	最も新しい時期は晩期4期であるが、4期の土器は小片のため掲載していない。多くの土器が出土しており、晩期3期の土器が主であることから、4期の土器は混入の可能性が考えられる。後期1a期の台付鉢(写108-17)や、晩期3期の注口(写109-6)などが略定形で出土している。また、後期4-5期の土器もまとめて出土している(写109-7~18)。なお、振替57-62層とあわせて取り上げているものもある。写109-17は振替89層で同一個体が出土している(写97-9)。写109-3は写103-22と写105-19と同一個体である。
振替128層	地W 10下層	セ10 セ10	84.8 8.4	晩期4期以前の遺物が出土しているが、晩期1a期の台付鉢(写110-9)や晩期1b期の鉢が略定形で出土している。

表2 層対応一覧・出土土器様相 (5)

振替層名	現場層名	セグメント	出土土器 重量(g)	土器の様相
振替129層	振O	セ10-24-17	3.2	
	振Q	セ10-12-21-23	15.0	
	3	セ16	-	
	5	セ16	-	
	5a	セ13-14	-	
	5b	セ13-14	-	
	5c	セ13-14	-	
	5d	セ13-14	-	
	6	セ16	-	
	8	セ12-21	-	本層は地山漸移層のため、本来ならば遺物は出土しない層であるが、本層名が付されていいる遺物がある。上位層が混入したものと推定する。
	9	セ10-12-21	3.5	
	c	セ9	-	
	d	セ18	-	
	g	セ11	-	
	m	セ16	-	
	n	セ16	-	
	IV	グリッド	1.0	
	地山直上	セ10	4.1	
	漸移層	セ12	-	
振替130層	6	セ21	-	東Ⅲ-1層として取り上げている可能性があり、本層に伴う土器は抽出できない。
振替131層	11	セ21	-	東Ⅲ-1層として取り上げている可能性があり、本層に伴う土器は抽出できない。
振替132層	12	セ21	-	東Ⅲ-1層として取り上げている可能性があり、本層に伴う土器は抽出できない。
振替133層	13	セ21	-	東Ⅲ-1層として取り上げている可能性があり、本層に伴う土器は抽出できない。
振替134層	10-堆山	セ12-21	-	東Ⅲ-1層として取り上げている可能性があり、本層に伴う土器は抽出できない。
第1号底土 造構22層	SN-B 22層	グリッド	6.4	土器が少量出土している。
第1号底土 造構22-2層	SN-B 22-2層	グリッド	5.1	もっとも新しい時期は晩期5期である。
第1号底土 造構23層	11	セ9	-	
	11-2	セ9	-	もっとも新しい時期は晩期5期である。
	Z99	グリッド	5.1	
-	風洞木	セ10	-	
	埋土1	セ10	-	-
	埋土2	セ10	-	-
	振Z	グリッド	-	-

表3 展示图表

\*1 縦軸はセクション、横軸は相対的な時間軸である。層名の上下に引かれた横罫線の範囲が各セクションの対応関係から想定される層の時期幅である。

※3 現場層名のうち、文字が緑となっているものは、異なる層で同一層名が付されたものである。

※2 上下に記載した層名のうち、上(黒字)は現場層名、下(赤字)が振替層名である。

\*4 各層に付した色は出土土器から比定した層の下限時期である。色が付いていない層は、時期が特定できる遺物が出土していない。

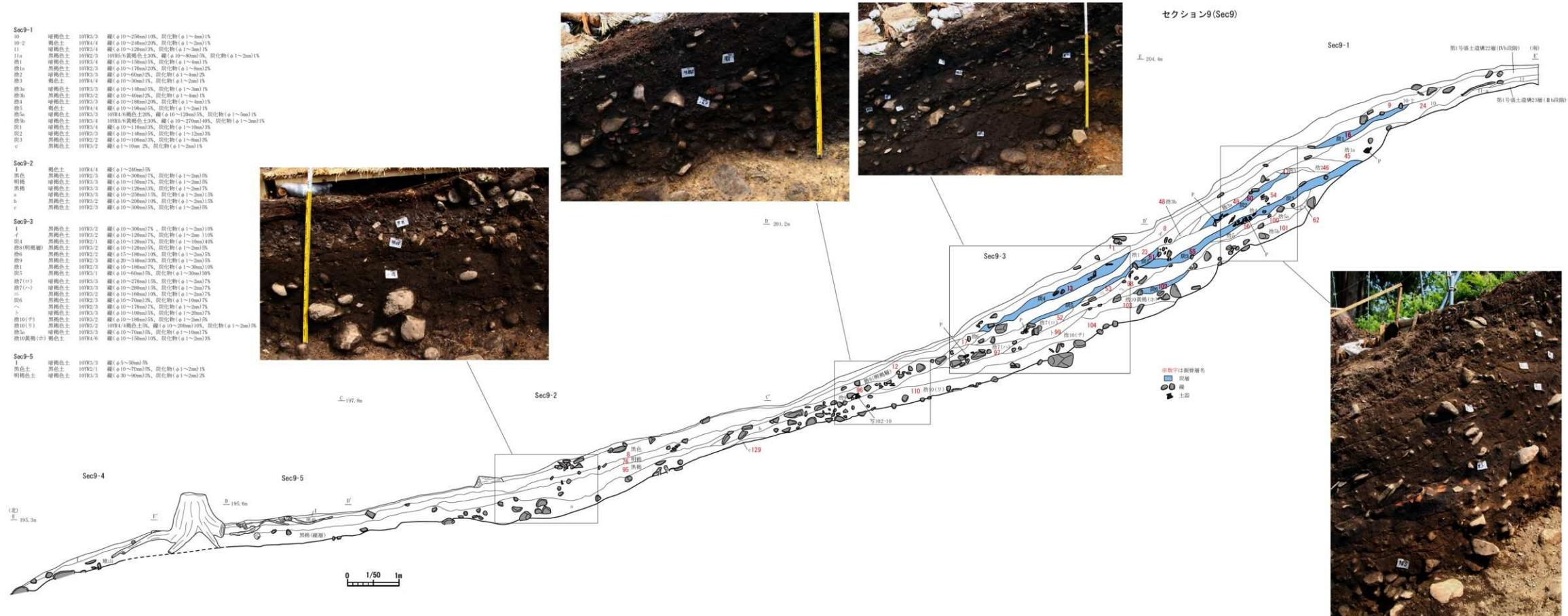


図4 北捨場セクション図(1)

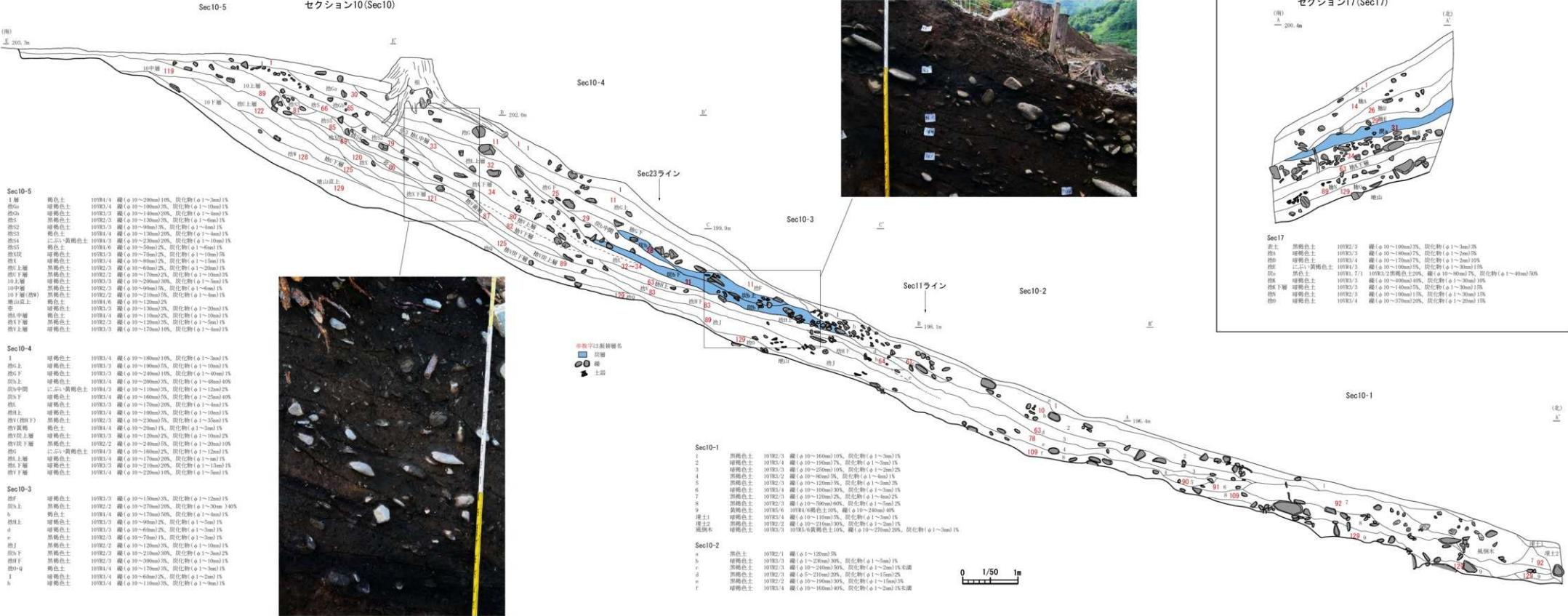


図5 北捨場セクション図（2）



図6 北捨場セクション図（3）

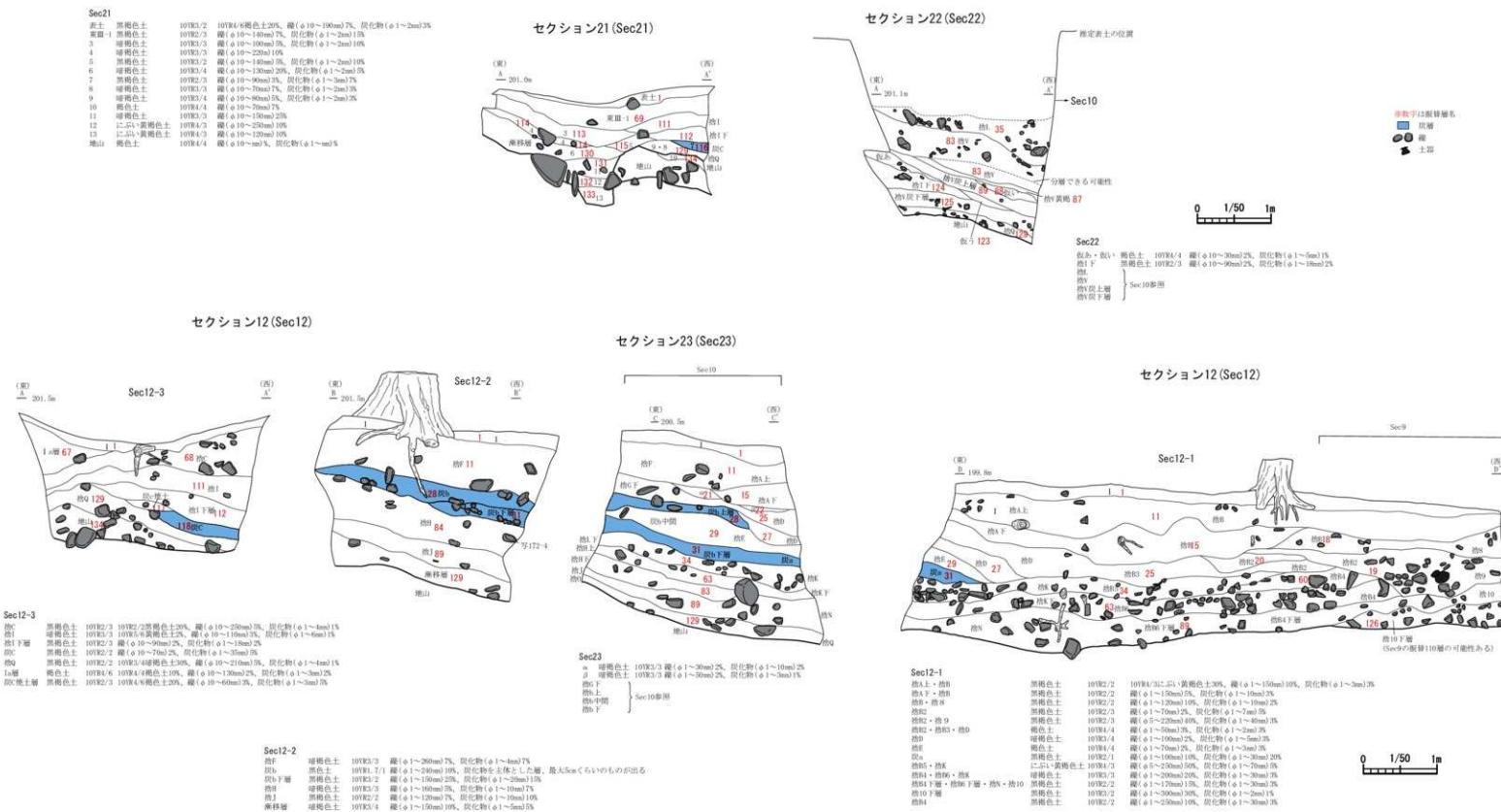
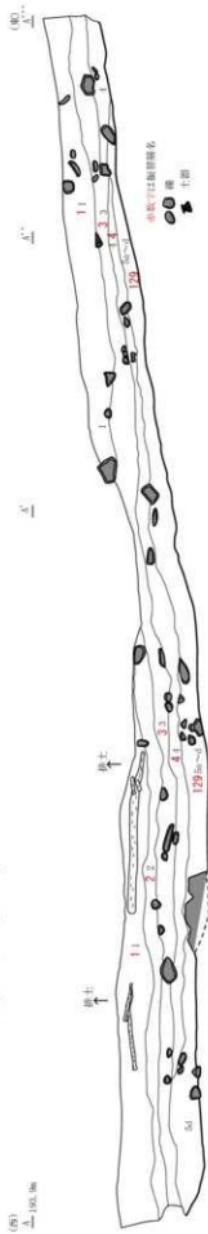


図7 北捨場セクション図(4)

セクション13(Sec13)



セクション14(Sec14)



**Sec13**

- 1 砂褐色土 (10R3/4) 層 (d 10~20mm) 15%、粘化層 (d 1~2mm) 7%、砾化層 (d 1~2mm) 1%、砂 (d 1~2mm) 7%、粘 (d 1~2mm) 1%、礫 (d 1~2mm) 1%
- 2 黑褐色土 (10R3/3) 層 (d 10~20mm) 15%、粘化層 (d 1~2mm) 7%、砾化層 (d 1~2mm) 1%、砂 (d 1~2mm) 7%、粘 (d 1~2mm) 1%、礫 (d 1~2mm) 1%
- 3 黑褐色土 (10R3/2) 層 (d 10~20mm) 15%、粘化層 (d 1~2mm) 7%、砾化層 (d 1~2mm) 1%、砂 (d 1~2mm) 7%、粘 (d 1~2mm) 1%、礫 (d 1~2mm) 1%
- 4 黑褐色土 (10R3/3) 層 (d 10~20mm) 20%、粘化層 (d 1~2mm) 7%、砾化層 (d 1~2mm) 1%、砂 (d 1~2mm) 7%、粘 (d 1~2mm) 1%、礫 (d 1~2mm) 1%
- 5a 黑褐色土 (10R3/2) 層 (d 10~20mm) 15%、粘化層 (d 1~2mm) 7%、砾化層 (d 1~2mm) 1%、砂 (d 1~2mm) 7%、粘 (d 1~2mm) 1%、礫 (d 1~2mm) 1%
- 5b 黑褐色土 (10R3/3) 層 (d 10~20mm) 15%、粘化層 (d 1~2mm) 7%、砾化層 (d 1~2mm) 1%、砂 (d 1~2mm) 7%、粘 (d 1~2mm) 1%、礫 (d 1~2mm) 1%
- 6a 黑褐色土 (10R3/4) 層 (d 10~20mm) 15%、粘化層 (d 1~2mm) 7%、砾化層 (d 1~2mm) 1%、砂 (d 1~2mm) 7%、粘 (d 1~2mm) 1%、礫 (d 1~2mm) 1%
- 6b 黑褐色土 (10R4/6) 層 (d 10~20mm) 15%、粘化層 (d 1~2mm) 7%、砾化層 (d 1~2mm) 1%、砂 (d 1~2mm) 7%、粘 (d 1~2mm) 1%、礫 (d 1~2mm) 1%
- 7 黑褐色土 (10R3/2) 層 (d 10~20mm) 15%、粘化層 (d 1~2mm) 7%、砾化層 (d 1~2mm) 1%、砂 (d 1~2mm) 7%、粘 (d 1~2mm) 1%、礫 (d 1~2mm) 1%
- 8 黑褐色土 (10R3/4) 層 (d 10~20mm) 15%、粘化層 (d 1~2mm) 7%、砾化層 (d 1~2mm) 1%、砂 (d 1~2mm) 7%、粘 (d 1~2mm) 1%、礫 (d 1~2mm) 1%

0 1/50 1m

図8 北捨場セクション図(5)

セクション15(Sec15)  
セクション24(Sec24)

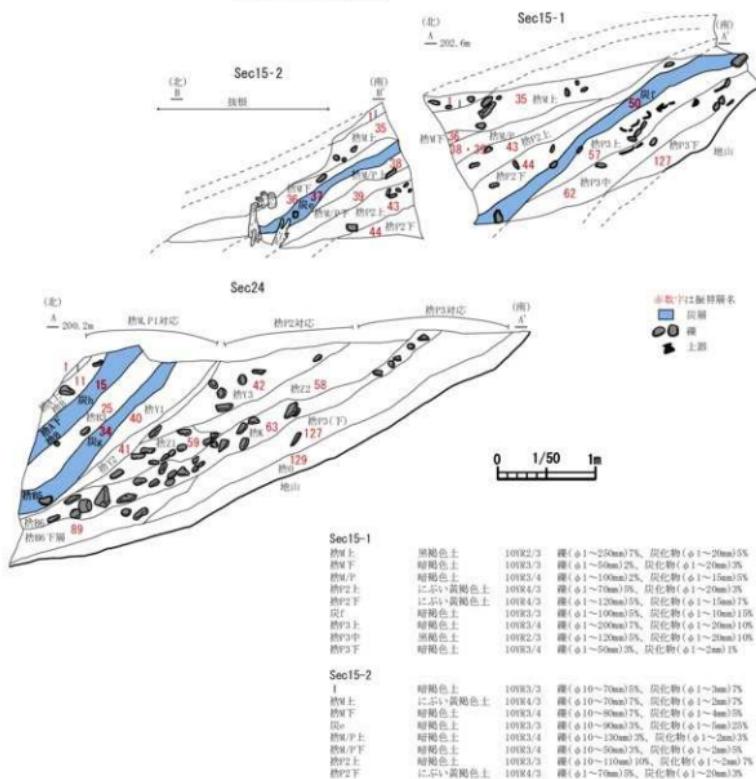


図9 北捨場セクション図 (6)

## 2 土器（図10～21、写真69～112）

### （1）土器の整理作業及び報告書掲載の方法

北捨場からは約7,300kgの土器が出土した。土器の出土量は西捨場に次いで多い。整理作業はまず重量を計測し、その後接合作業を進めた。時間的制約から、接合・復元作業は基本的に同一グリッドの同一層に対してのみ行った。また、接合作業と並行して、出土地点・層位ごとの時期的な出土傾向を把握するために、グリッド・層単位で出土土器の時期を記録した（表1）。接合・復元作業が終了した個体には、一次抽出資料として整理番号を付した。また、有文の口縁部片や、特徴的な破片なども同時に抽出し、合わせて整理番号を付した。最終的に一次抽出資料は、約1,600点を数える。これらの資料については、可能な限り掲載に努めたが、整理作業の制約上、一次抽出資料のなかから、極端に小さい破片や、粗製土器の破片、底部のみの資料、帰属する層の時期を反映しない破片資料などを除外し、最終的に約1,100点を掲載した。このため小片であっても層の中で最も新しい遺物は優先的に掲載され、逆に大きい破片であっても、層のなかで最も新しい遺物ではなく、同種の土器が複数出土している場合などは、掲載外となっている。なお、掲載資料のうち約60点はミニチュア・小型土器として土製品の項で扱っている。

資料は基本的に写真掲載としたため、文様のみでなく、器形も表現することを重視し、撮影を行った。破片資料についても文様と器形を表現するため、可能な範囲で2カット撮影した。実測図は118点作成した。写真掲載資料における図化率は約10%である。掲載にあたっては、実測図・写真ともに振替層を基準とし、その中で器種順としている。同一器種内では時期が新しいものから順に掲載した。複数の層位資料が接合した場合は、最も大きい破片の出土層位に帰属させ、観察表にすべての出土地点を記載した。

### （2）区分・分類基準

いずれも基本的に既刊の報告書Ⅱ・Ⅲに準拠した。内容について報告書Ⅱ・Ⅲを集約し再掲する。なお平成28年度の整理作業を反映させ一部加筆・修正している。

#### 【時期区分】 報告書Ⅱp.119 報告書Ⅲpp.5.7-8

青森県史で示された後期から晩期の時期区分（青森県2013）を準用した。本文では県史の後期7期第4段階を後期7-4期と略したほか、観察表などで晩期1a期を晩期1aのように記している。また、中期以前は円筒上層d式、櫻林のように形式名で記載した。時期区分や形式に対応できないと判断したものは後期後葉～晩期前葉のように幅を持たせた。土器の帰属時期については、山内清男氏の一連の研究（1930、1937、1964）などのほか、後期後葉から晩期前葉については関根達人氏（関根2005）、小林圭一氏（小林2010）の論文を、晩期後半については青森県薬師遺跡（青森県教委2014）、青森県今津遺跡（弘前大学2005）、青森県不偏無遺跡（弘前大学2012）、北海道七飯町聖山遺跡（七飯町教委1979）などを参考とした。聖山式土器については晩期4～5期に位置づけた。中期の土器の帰属時期については報告書Ⅲに準拠した。

#### 【器種区分】 報告書Ⅱp.120 報告書Ⅲpp.5-6

深鉢形土器、鉢形土器、浅鉢形土器、皿形土器、壺形土器、注口付土器、香炉形土器の7器種に区分した。器種名称については、「～形（付）土器」を省略した表記を基本とした。また、これら7器種のほかに異形土器としたものもある。深鉢、鉢、浅鉢、皿については台（脚）部が付くものがあり、そ

これらについては「台付深鉢」などと呼称する。台がつくものと付かないものを総称する際は「深鉢(台付)」などと表記した。高台と台部の区分は明瞭にできないが、概ね1cmを超える高さのものを台とした。台の有無が不明のものは深鉢、鉢、浅鉢、皿に区分している。また、口縁部に片口が付く土器については、「片口鉢」など呼称する。鉢系統の器種区分は弘前大学による今津遺跡の報告書(弘前大学2005)を準用し、口径と器高の比率で区分した<sup>1)</sup>。台付の場合は台部を除いた容器部分(口縁部から全体部)の数値を用いた。最大長が概ね10cm以下の土器はミニチュア・小型土器として土製品扱いとした<sup>2)</sup>が、一部土器の項に掲載されているものもある。また、香炉の頂部などは、ミニチュア・小型土器に含まれていることがある。

- ・深鉢：口径に対する器高の比率が概ね1を超えるもの。台部が付くものは台付深鉢とする。
- ・鉢：口径に対する器高の比率が概ね0.5以上1未満のもの。台部が付くものは台付鉢とする。器高が不明な鉢系統の破片は鉢に分類している。
- ・浅鉢：口径に対する器高の比率が概ね0.3以上0.5未満のもの。台部が付くものは台付浅鉢とする。
- ・皿：口径に対する器高の比率が概ね0.3未満のもの。台部が付くものは台付皿とする。
- ・壺：体部に最大径を持ち、口縁がすぼまつた器形である。最大径と頸部径が近似の場合は、内面がナデ調整のものを広口の壺、ミガキ調整のものを鉢とした。
- ・注口：筒状の注ぎ口が付けられた土器である。
- ・香炉：体部が玉状やソロバン玉状を呈し、口縁部にアーチ状の部分が形成されたものや側面に透かし孔を有す土器である。
- ・異形土器：上記7器種に区分できない土器。環状土器など個別の名称を用いる場合もある。

#### 【製法区分】 報告書Ⅱp.123

器種区分のほか、製法や装飾の違いにより精製、半精製、粗製の区分がある。時期や器種によっては区分が困難な場合もあることから、必要に応じて使用した。

- ・精製土器：文様が施された外面全面にミガキ調整が施されるなど装飾性の強い土器である。
- ・半精製土器：部分的(主に口縁部から頸部)に沈線など簡単な文様が施された土器である。
- ・粗製土器：縄文のみ、あるいは無文で調整が粗雑な土器である。稀に文様が施されるものもある。

#### 【器形区分】 報告書Ⅱpp.120-123

報告書Ⅱにおいては、口縁形状や器形について分類を行っているが、報告書Ⅳ～Ⅶについては行っていない。口縁・口唇形状・底部形状については観察表に個別に記載し、器形については必要に応じて文章中に記載した。

#### 【口縁形状について】

平口縁・波状口縁・小波状口縁・装飾的な口縁と表現した。波状口縁・小波状口縁は、基本的に波底部に平坦な部分がない場合に用いた。波底部に平坦な部分がない場合でも、波状部分が口縁突起と同形態の場合は、平口縁に連続する突起が付されたものとした。平口縁で、口唇に刻目が施されるもののうち、刻目を施した後、刻目部分に調整が施されるものは小波状口縁とした。突起は形状により台形突起、一山突起、二山突起、B突起などと表現した。晩期後半に多く見受けられるA突起は一山突起としている。

### 【部位名称】

部位には口縁部、体部、底部などの名称を用いた。具体的な内容については「例言・凡例」の項で図を示した。

### 【文様など】 報告書Ⅲpp.6-7

写真掲載を基本としたため、観察表で可能な限り詳細に文様を表記した。観察表に記載した文様などの表現の定義は次のとおりである。

- ・入組文：後期7-4期～晚期1a期に帰属する土器の場合は、「入組帶状文」（小林2010、関根2005）などと呼ばれる文様（写89-20など）を指し、晚期1b期以降では、弧状の沈線を互い違いに組み合わせた文様（写94-5など）を指す。
- ・三叉文：三叉文が入組文の入組部と結合している場合（写104-12など）は「入組文に接続」と記載した。また、単純に沈線で施文されるものと分岐部分が抉られるものがあることから、前者を「沈線による三叉文」もしくは「三叉文（沈線）」、後者を「抉りによる三叉文」もしくは「三叉文（抉り）」と表現した。
- ・羊齒状文：横位沈線と刺突により単純化された羊齒状文（写84-11など）については「退化した羊齒状文」とした。
- ・雲形文：ミガキ調整などにより、文様を表す沈線が不明瞭となっているものを「彫去による雲形文」もしくは「雲形文（彫去）」、沈線が確認できるものを「沈線による雲形文」もしくは「雲形文（沈線）」と記載した。
- ・工字文：広義でとらえたため、「四」字状を呈するものなども「工字文」とした。
- ・横位沈線：横方向に巡る沈線を「横位沈線」とした。破片の場合は、残存部分のみで判断したため、実際は異なる文様の可能性もある。また、可能な限り条数を記載し、破損している場合は現存の条数を記載した。横位沈線間や沈線内に突起などの要素が付加される場合は、「〇・〇条目の沈線間に」「〇条目の沈線に」などと表記したが、この数字は上から数えた条数である。横位沈線に「ノ」字状の文様が付加される場合（写93-14など）は「ノ」字状に垂下」と記載した。
- ・沈線文：上記の定型的な文様以外の文様を総称した。渦巻文、三角形文など形状を示す表現を併記したものもある。
- ・弧線文：弧線文の向きの表現として、例えば上が開くものを「上向きの弧線文」と表記した（写94-10など）。また、横方向に複数の弧線文が連なる場合は「横位に連続（連繋）する弧線文」と表現した。
- ・刻目列（写86-7など）、短沈線列（写108-17など）、刺突列：同一の文様要素が多数連なる場合に「〇〇列」という表現を用いた。また、2条の沈線の間に施文される場合は「沈線間に〇〇列」と記載した。
- ・貼瘤、突起：突出する粒状の装飾については、後期の土器では「貼瘤」、晚期の土器では「突起」と表現した。
- ・穿孔、透かし孔、貫通孔：貫通する孔については、焼成前に設けられており装飾と捉えられるものは基本的に「透かし孔」、補修孔のように焼成後に施され、装飾と捉えられないものは「貫通孔」と表現した。「透かし孔」「貫通孔」とともに「穿孔」と表現している場合もある。

・入組文や雲形文など主文様の上下に横位沈線が施される場合は、「沈線間に入組文」などという表現を用いた<sup>3)</sup>。複数条の場合は「〇条の沈線間に」としたものもある。主文様に連繋する横位沈線も基本的に本数に含めている。

・地文など：沈線や隆帯で施された文様に縄文が伴わない場合は「地文なし」もしくは「文様帶地文なし」とした。縄文が沈線などで囲まれた範囲内のみに施されている場合、狭義の意味では充填手法だととしても、従来の表現を踏襲し、「磨消縄文」と表現した。縄文を施したのちに文様を施し、縄文を消していないものは「縄文地施文」とした。

・文様や縄文が施されない無文部については、ナデやミガキなどの調整とその部位を記載した。

・赤彩：赤く塗られた土器については「赤彩」という表現を用いた。発色が悪く、褐色を呈するものは「褐色膜状付着物」などと記載したものもある。「漆」という表現は、分析で確認が得られたものや、漆製品製作遺物などに限定して用いている。また器表面に若干赤色顔料が残存しているのみの場合でも、全面に赤彩が施されていたと推定が可能な場合は、「赤彩」とし、実測図にも全面に赤彩に表現をしている。彩文土器のように塗り分けの可能性がある場合や、装飾のために塗彩したとは考えにくい場合は、実測図でも顔料が確認できる範囲のみに表現している。なお、後者は「赤色顔料付着」と表現した。

・炭化物：スス・コゲなどをまとめて炭化物とした。

### (3) 土器の出土傾向

北捨場で出土した土器のうち、最も古い土器の時期は中期後葉である。24点を掲載した。円筒上層d・e式、榎林式、大木10式のほか、大木7b式と思われる鉢の口縁部片(写112-10)や、中期後葉の壺の口縁部片(写99-5)も出土している。出土地点は概ねVK・VL37~40グリッドの下位層である。後期以降の遺物で時期が特定できたものは後期7-3期～晚期5期に該当する。後期7-3期の資料は極少量であることから、本捨場の機能時期は概ね後期7-4～晚期5期と考えられる。掲載土器のうち、残存率が概ね器形全体の1/4以上のもので、なおかつ時期が特定できた資料は297点ある。これらの時期の内訳は後期7-4期が7点で2%（パーセンテージは残存率が概ね器形全体の1/4以上のもので、なおかつ時期が特定できた資料297点に対する比率。以下同じ）、後期8期が10点3%、晚期1a期が45点15%、晚期1b期が74点24%、晚期2期が54点18%、晚期3期が58点19%、晚期4期が30点10%、晚期5期が19点6%である。これらの比率をみると、北捨場は本遺跡の主体時期である後期後葉～晚期にかけて連續と利用された状況が窺え、とくに晚期1a～3期では比率が高くなる傾向が読み取れる<sup>4)</sup>。

層位ごとにおける出土土器の時期は表1に記載した。「●」は出土している土器の時期を示し、「△」は該当時期の可能性があるもの、もしくは小片が少量出土した場合などに記した。層位ごとにおける出土重量は表2に記載した。層位が特定できる場合にのみ記載したため、出土土器の全重量ではない。なお、表1の「情報なし」、表2の「-」としたものは、記録がないものの他に、出土土器がないものや、他の層と合わせて遺物が取り上げられているものなどが含まれている。なお、これらの資料は整理の初期段階に作成したため、発掘調査時点に異なる層位に同一名称が付されている場合（現場層位10層など）は、資料が混同している可能性がある。平面の土器重量分布については、報告書IV図234に隣接するクラック地点とあわせて掲載した。

#### (4) 出土土器の様相

層位ごとにおける出土土器の様相は表2に記載した。以下、時期ごとに特記を要する土器について記載する。時期幅がある土器は古いほうの時期の項に記載したが、晩期4~5期の遺物は数が多いため項を設けた。特記遺物が多い場合は器種ごとに記載したが、特記を要する個体がない器種は記載していない。なお、各時期における器形や文様などの概要是「報告書Ⅷ 第3編 第2章 第2節」に記載した。

**後期7~3期**：器種は鉢のみである。写108~12は125層で出土した鉢と推定される破片である。貼瘤列が多用され、格子目状の沈線文が施される。

**後期7~4期**：器種は深鉢、鉢、注口がある。他に香炉や、底部が高台となる粗製深鉢や壺が該期に伴うと推定されるが、後期8期との区別は困難である。写107~21は125層で出土した後期7~4期と推定される鉢の小片である。沈線間に刺突列が施される。

**後期8期**：器種は深鉢、鉢(台付)、浅鉢、注口がある。他に香炉や、底部が高台となる粗製深鉢や壺が該期に伴うと推定されるが、後期7~4期との区別は困難である。写95~28は89層で出土した後期8~晩期1a期と推定される浅鉢である。口縁端部が強く内湾する。写110~14は、128層ほかで出土した浅鉢である。外面に磨消繩文を伴う沈線文が施される。底部は高台である。

**晩期1a期**：器種は鉢(台付)、壺、注口がある。他に粗製深鉢や粗製壺が該期に伴うと推定されるが、特定は困難である。

**浅鉢**：写105~22は124層で出土した晩期1a~1b期の浅鉢で、体部全面に磨消繩文を伴う入組文が施される。

**壺**：写105~16は122~125層で出土した。晩期1a~1b期と推定される。内外面とも片側のみに被熱痕が認められることから、横倒しの状態で被熱したものと推定される。

**注口**：写86~3は69層で出土した。体部文様をもち、入組文とその空隙に三叉文が施される。外面には赤彩が認められる。写96~21は89層で出土した。晩期1a~1b期と推定される。体部に把手状の突起が伴う。同一個体の突起は125層でも出土している(写108~4)。写102~5は95層で出土した。頭部と体部に入組文が施され、入組文の空隙に三叉文が充填される。写103~18は116~118層で出土した。晩期1a~1b期と推定される小片である。凹みの沈線が施されるが、凹み部分を口とみれば、人面表現の一部とみることもできる。写111~14は128層ほかで出土した大形の注口である。口縁部に立体的な突起が付加される。

**晩期1b期**：器種は深鉢、鉢(台付)、浅鉢(台付)、台付皿、壺、注口がある。

**鉢**：写93~5は89層で出土した。口縁部に弧状の沈線を多用して粗雑な文様が施される。写94~5は89層で出土した。小波状口縁に1単位の大突起と3単位の小突起を伴う。口縁部には入組文が10単位施文される。文様帶下端の区画沈線には、頂部に刺突を伴う突起が入組文に対応して付される。

**浅鉢(台付)**：写89~23は小波状口縁に1単位の突起がつく。比較的小形で、模式的に作られている。82層で出土した。写88~20は83層で出土した。頭部が括れ、口縁部が直線的に開く。底部は丸底である。写96~6は89層で出土した。小波状口縁で三山突起が5単位伴う。底部は丸底である。口縁部には入組文が7単位施される。文様帶下端の区画文には眼鏡状隆起が施される。写99~10は94層で出土した台付浅鉢と推定される台部である。補修孔と思われる貫通孔が多く、底面4個、体部下半に推定4個(3個残存)、台部に3個残存する。底面1箇所は穿孔をやり直している。3部位の孔は1列に並ぶ。写99

-11は94層で出土した。平口縁に立体的な大突起が1単位とB突起が4箇所以上付加される。磨消繩文を伴う沈線文が施され、文様帶下端には無文帯が設けられる。写103-7は109層で出土した。口縁部に三叉文が施される。口縁部内外面のみに赤色顔料が認められることから、彩文状に塗り分けがなされていた可能性がある。

壺：写96-11は89層で出土した。長胴形で体部には繩文が施されるが、体部中位に無文帯が設けられる。写96-12は89層で出土した。口縁部に眼鏡状隆帯が巡り、体部には入組文が施される。外面に赤彩が施される。

注口：写97-14は89層ほかで出土した大形の注口である。口縁部に立体的な装飾を施す。文様部分にのみ赤色顔料が残存することから、塗り分けがされていた可能性がある。

**晩期2期**：器種は深鉢、鉢(台付)、片口鉢、浅鉢(台付)、皿(台付)、壺、注口がある。

鉢(台付)：写71-30は24層で出土した。口縁が強く内湾する。写74-24は37層で出土した。羊齒状文が施される片口鉢である。写83-7は63層で出土した。体部に文様に縱位の区画文が伴う。写85-5は69層で出土した。底部は平底だが、底面が凸状となる。文様は口縁部に沈線と短沈線が複数条施されるのみである。写98-7は93層で出土した。台部が強く丸みを帯び、透かし孔が巡る。

浅鉢(台付)：写80-6は57層で出土した。口縁部と底部直上に簡易な羊齒状文が施される。口縁突起内側に隆帯で加飾が施される。写86-16は76層で出土した浅鉢と推定される小片である。内面に隆帯が施される。写87-8は76層で出土した。平面が楕円形と推定され、短軸方向の口縁部が外側に張り出し、張り出し部分に穿孔が伴う。また、写87-7も平面が楕円形の浅鉢である。76層で出土した。写88-4は78層で出土した。台部は直線的で、端部が外傾する。写95-26は89層ほかで出土した。小波状口縁に三山突起が7単位付加される。口縁部は直線的に開き、体部は扁平で丸みを帯びる。口縁部と体部上半それぞれに沈線文が施され、体部下半には繩文が施される。写102-24は107層で出土した。体部から口縁部にかけて内湾する器形で、底部は凹底である。張り出し状の脚が4単位伴う。そのうち1単位のみに内面からの押圧が認められる。

皿(台付)：写85-7は69層で出土した。平面形が滴形である。写85-10は69層で出土した皿と推定される小片である。内面口縁部に沈線文が施される。写101-4は95層で出土した台付皿である。平面が滴形である。

壺：写85-13は69層で出土した。体部上位が屈曲する器形である。写85-14は69層で出土した。底部に内面からの押圧による張り出し状の脚を4単位伴う。写101-10は95層で出土した。体部上半が屈曲する器形で、体部は比較的扁平と推定される。

注口：写86-1は69層で出土した。沈線間に施される刻目列で文様が構成される。写98-3は92層で出土した注口と推定される口縁部である。下端欠損部に貫通孔が確認でき、周囲に剥離痕が認められることから、注口の欠損部と推定されるが、通常の注口部の位置よりもやや上位に位置する。

香炉：写76-17は43・44層で出土した。刻目を伴う隆帯で加飾され、透かし孔を伴う。晩期2期の可能性が考えられる。

**晩期3期**：器種は鉢(台付)、浅鉢(台付)、皿、壺、注口がある。

鉢：写74-4は晩期中葉の鉢と推定される小片である。浅く細い横位沈線が複数条認められる。写80-1は粗製の鉢である。異なる原体による非結束羽状繩文が施される。晩期中葉と推定される。

**浅鉢(台付)**：35・36層で内面に彩文が施される略完形の浅鉢が出土した(写75-18)。写87-1は76層で出土した。口縁突起が1単位付属し、突起の内面には隆帯による装飾が付加される。写95-20は89層で出土した。口縁に2個一組のB突起が1単位伴う。底部は凹底で張り出し状の脚が4単位伴う。92層で出土した写98-2は、出土状況の写真(写真57)から内面に彩文が施されていた可能性が窺われる。写101-1は95層で出土した浅鉢と推定される底部である。外底面に雲形文が施される。

**壺**：写109-1は127層ほかで出土した。最大径が50cmを超える大形のものである。写109-3は127層で出土した壺の口縁部片で、西捨場で同一個体が出土している(報告書Ⅶ写73-22、105-19)。

**注口**：写102-1は95層で出土した。底部が平底で体部は直線的に開く。壺状の器形に注口が伴う特異な器形である。体部には雲形文が施される。

**晩期4期**：器種は、鉢(台付)、浅鉢(台付)、皿、壺、注口がある。他に口縁端部に3条の横位沈線が巡る粗製深鉢や、肩部が張る粗製壺(写71-10)などが該期に伴うと推定されるが、5期との区別は困難である。写71-31は24層で出土した片口鉢の片口部である。口唇に刻目が施され、口縁部に横位沈線が施されることから、晩期4期の可能性がある。

**晩期4~5期**：写69-21は10層で出土した鉢と推定される破片である。西捨場で同一個体が出土している(Ⅶ写87-9)。写72-9は25層ほかで出土した比較的大形の壺である。口唇に刻目があり、体部上半が張る器形と推定されることから、晩期4~5期に比定される。写74-23は37層から出土した台付と推定される晩期4~5期の鉢である。立ち上がる大突起を伴い、体部には地文繩文に沈線文が施文される。写78-5は52・97層で出土した壺である。地文繩文に工字文が施されることから、聖山Ⅱ式の可能性がある。写77-18は51層で出土した立ち上がる突起を伴う鉢である。突起は口縁部と一体化している。写102-12は96層で出土した壺である。外面に黒色塗膜が確認でき、口縁部と、頸部部境界のみに帶状に赤彩が認められる。彩文と推定される。写102-13は96層で出土した横位連繫入組文が施文される壺である。聖山Ⅰ式の可能性がある。

**晩期5期**：器種は、深鉢、鉢(台付)、浅鉢(台付)、壺がある。他に口縁端部に3条の横位沈線が巡る粗製深鉢や、肩部が張る粗製壺(写71-10)などが該期に伴うと推定されるが、晩期4期との区別は困難である。

写69-13は9層で出土した深鉢である。多条の横位沈線が施文され、突起や継位短沈線が伴う。写69-29は11層で出土した台付鉢である。台部には刻目を伴う工字状の文様が施される。写72-21は鉢である。細い横位沈線が口縁部に複数条施文され、2個一組の突起が付加される。写75-22は35・36層で出土した中位が屈曲する土器である。工字文が施されることから、晩期5期に比定したが、器種は不明である。写87-11は76層で出土した壺である。肩部に穿孔を伴う隆帯が巡る。写102-11は96層ほかで出土した体部に工字文が施される壺である。晩期5~6期に比定される。

**その他**：写75-17は35・36で出土した端部に刺突列が2条施される台である。時期は特定しがたい。写79-10は57層で出土した晩期の深鉢である。口縁部に1単位の突起がつき、その下に隆帯が施される。写86-23は片口鉢である。片口部の上部分が橋状につながる。時期は特定しがたい。写97-10は後期後葉~晩期前葉の鉢である。刻目列が充填される。同一個体が写91-13のほか、報告書Ⅱ図3-4・5、報告書Ⅶ写87-7、報告書Ⅶ写98-24で出土している。写101-15は95層で出土した粗製壺である。外面に赤彩が施される。写102-20は刺突と貼付により人面を表現した土器で、2面出土した。写

108-9の頂部には隆帯が逆S字状に貼り付けられており、端部に刻目が1本施される。獸面を表現している可能性がある。125層ほかで出土した。

その他特記遺物として下記がある。

**漆液容器**：底部片が多い。1層(写69-1)、14層(写71-7)、25層(写72-6)、57・62・127層(写81-13)、63・89層(写82-12)、82層(写89-17)で出土した。写72-6は底部径が5cm程度と小さいことから小型土器と推定される。写89-17も小型土器である。内面に赤褐色の漆膜が付着する。顔料が含まれていると推定される。

**赤色顔料容器**：35・36層(写75-6)、43・44層(写76-12)、62層ほか(写82-9)、76層(写86-24)、89層(写92-9)、127層(写108-11)で出土した。写82-9は晩期3期の壺である。外面に黒色～褐色の模状付着物が認められ、内面には赤色の付着物が認められることから、赤色顔料容器の可能性がある。写86-24は高台である。高台内面のみに赤色顔料が付着することから、天地を逆にして顔料容器に転用したと推定される。写92-9は上端欠損部にも顔料の付着が認められることから、土器上部が欠損した状態で使用していたと推測される。

**アスファルト状の黒色物質付着土器**：10層で出土した写69-23はアスファルトと推定される黒色物質が注口の穿孔部に充填されている。63層で出土した写83-18は鉢である。欠損部外面にアスファルトと推定される黒色物質が厚く付着している。

**粘土紐接合痕が残存する土器**：32～34層ほか(写73-18)、57層ほか(写79-13)、63・89層(写82-10)で出土した。製塙土器との関連が窺われる(藤沼1989)。

**発泡土器**：34層(写73-27)、43層の上層(写76-3)で出土した。どちらも小片である。

**小型土器**：58層で出土した写80-12は外面に沈線文が施される鉢である。76層で出土した写87-10は外面に縄文が施される浅鉢である。

**分析資料**：写72-14は25～27層で出土した晩期4期の鉢である。付着炭化物による安定同位体比分析の結果、炭化物は概ねC3植物由来と推定されている。写74-15は34・63・89層で出土した晩期4期の鉢である。付着塗膜の塗膜分析の結果、漆塗膜が少なくとも4層確認されており、漆を入れる容器として繰り返し使用されたものと指摘されている。写78-5は聖山Ⅱ式に比定される土器片である、胎土分析の結果、遺跡周辺の堆積物を材料として作成されたと推定されている。写97-14は89層から出土した晩期1b期の注口である。外面の赤彩の塗膜分析の結果、赤色顔料としてベンガラの使用が確認されている。膠着材は明瞭に検出されておらず、劣化の進んだ漆、もしくは現在は残存していない漆以外の膠着材の可能性が指摘されている。写101-9は晩期3期の壺である。内面に付着する塗膜の分析の結果、透明漆層が観察された。

(岩井・岡本)

#### 注釈

- 1) 鉢系統の器種区分は口径と器高の比率に応じて機械的に行ったため、製作・使用時の意図と異なる器種に分類している可能性がある。例えば鉢と浅鉢について、鉢に区分した中に文様などの特徴が浅鉢に類似するものがある。
- 2) 報告書Ⅱでは、最大長が概ね5cm以下の土器を小型(ミニチュア)土器としている。
- 3) 文様帶系統論(山内1964)を踏まえれば、集約した表現は適切でないともいえるが、ここでは表の煩雑さを避けるため、機械的に集約した表現を用いた。
- 4) 限定された資料での比率であるため、実態とは差異がある可能性があるものの、大局は示されているものと考えられる。ただし後期後業～晩期前業においては、特に注口や台付浅鉢などについて、帰属時期の特定が困難なため、分析対象から除外している。このため、後期後業～晩期前業の土器点数は実際よりも少なく計上されている可能性がある。



図10 土器（1） 11, 11・25, 25~27, 32~34, 34・63, 35・36, 38・39, 43以下, 43上, 43・44層

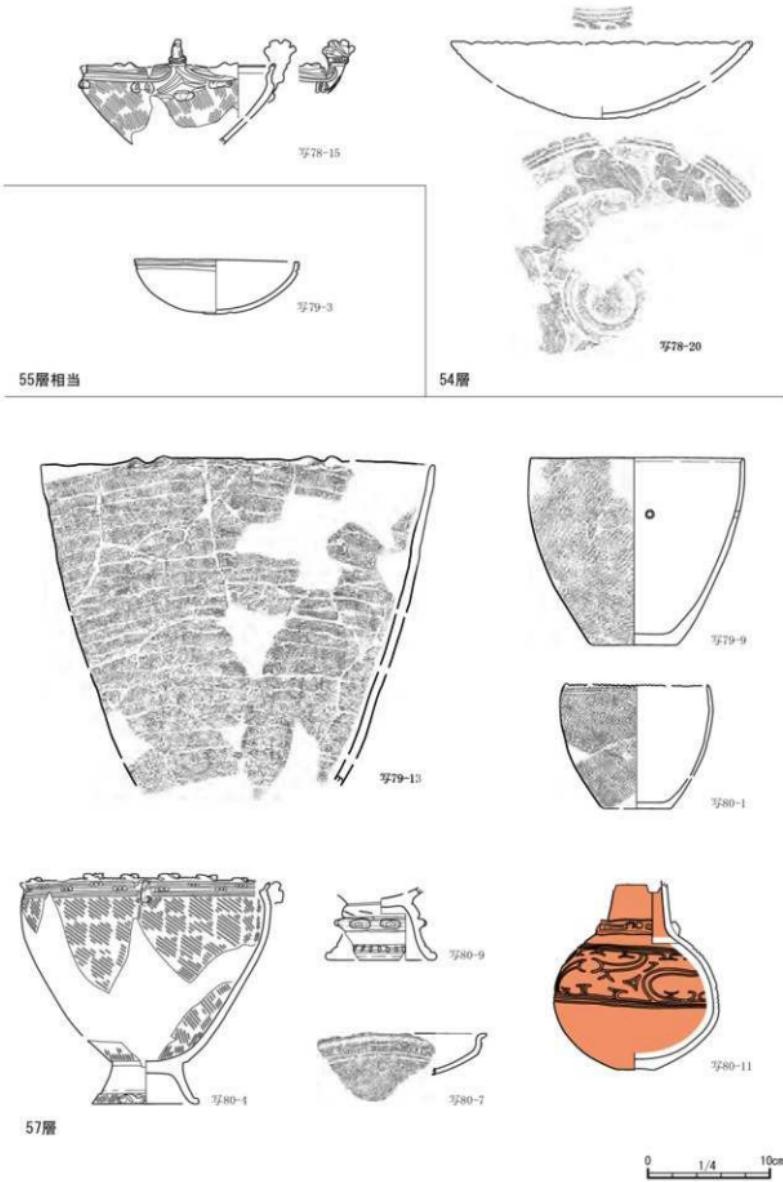


図11 土器（2） 54.55相当.57層

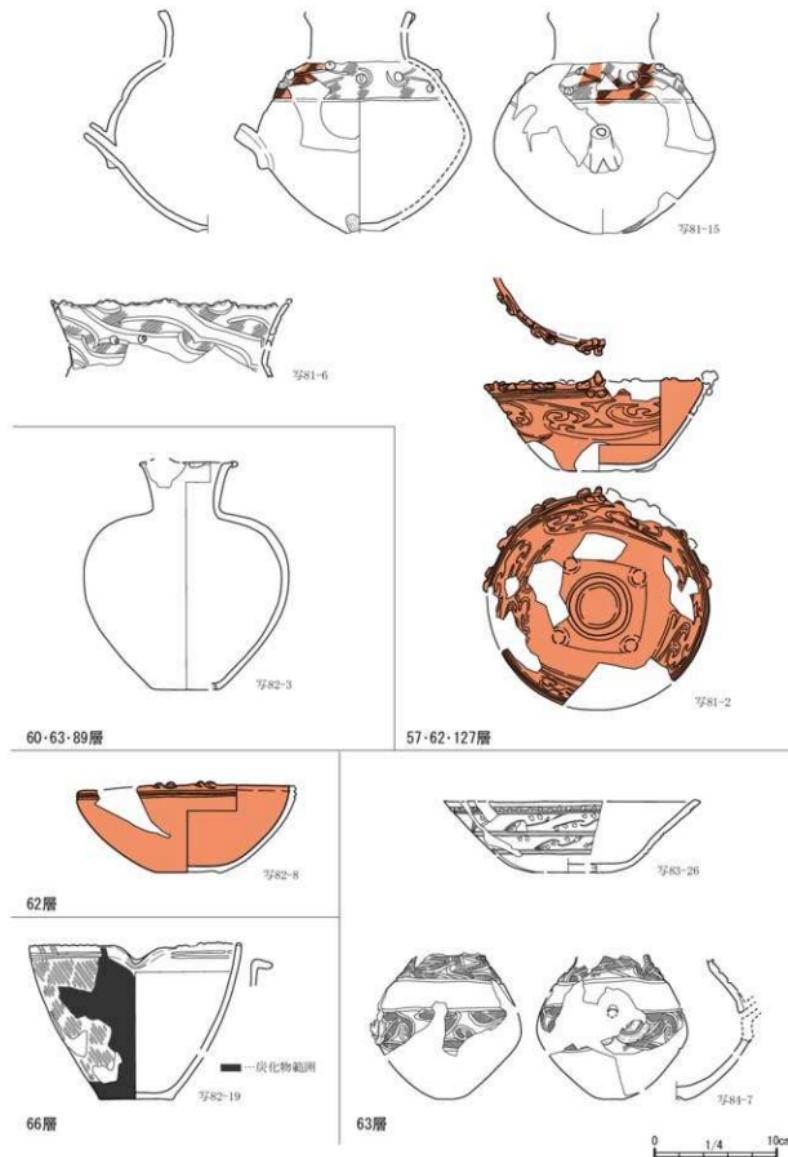


図12 土器（3） 57・62・127, 60・63・89, 62, 63, 66層

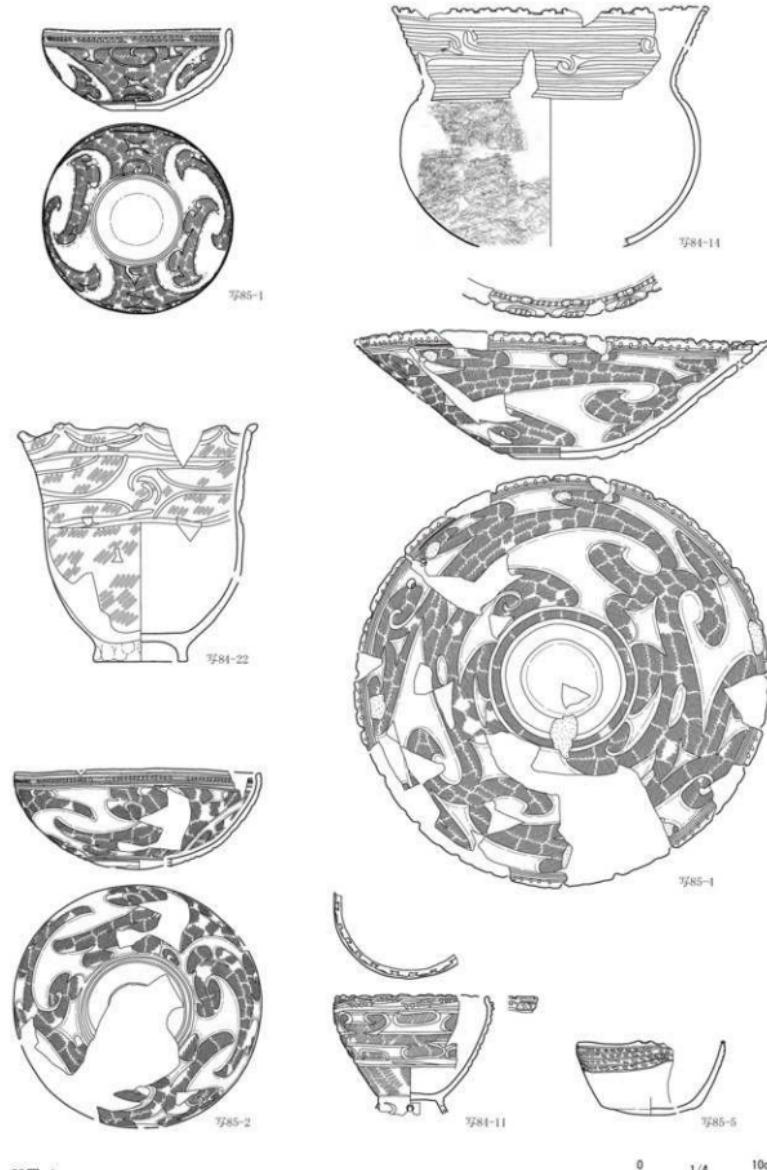
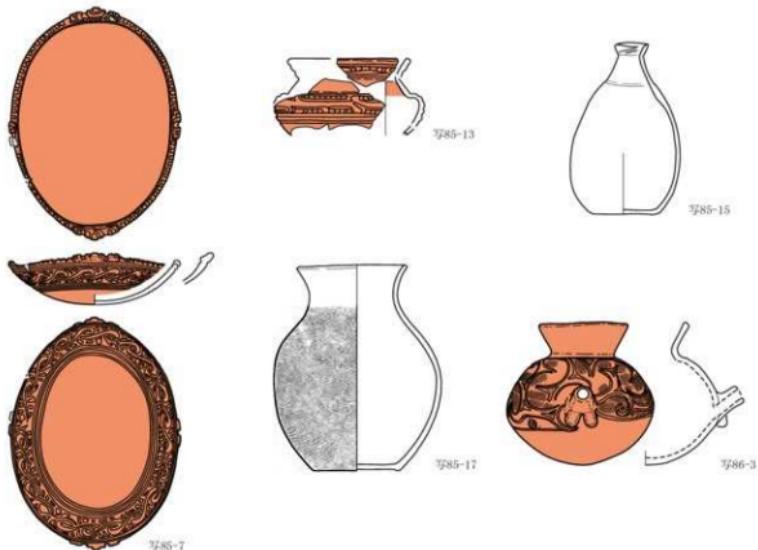
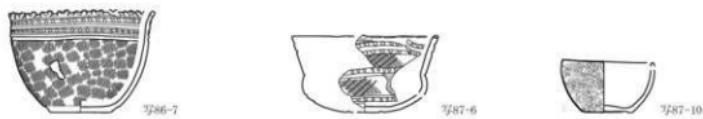


図13 土器（4） 69層



69層-2



76層



0 1/4 10cm

図14 土器（5） 69.76層

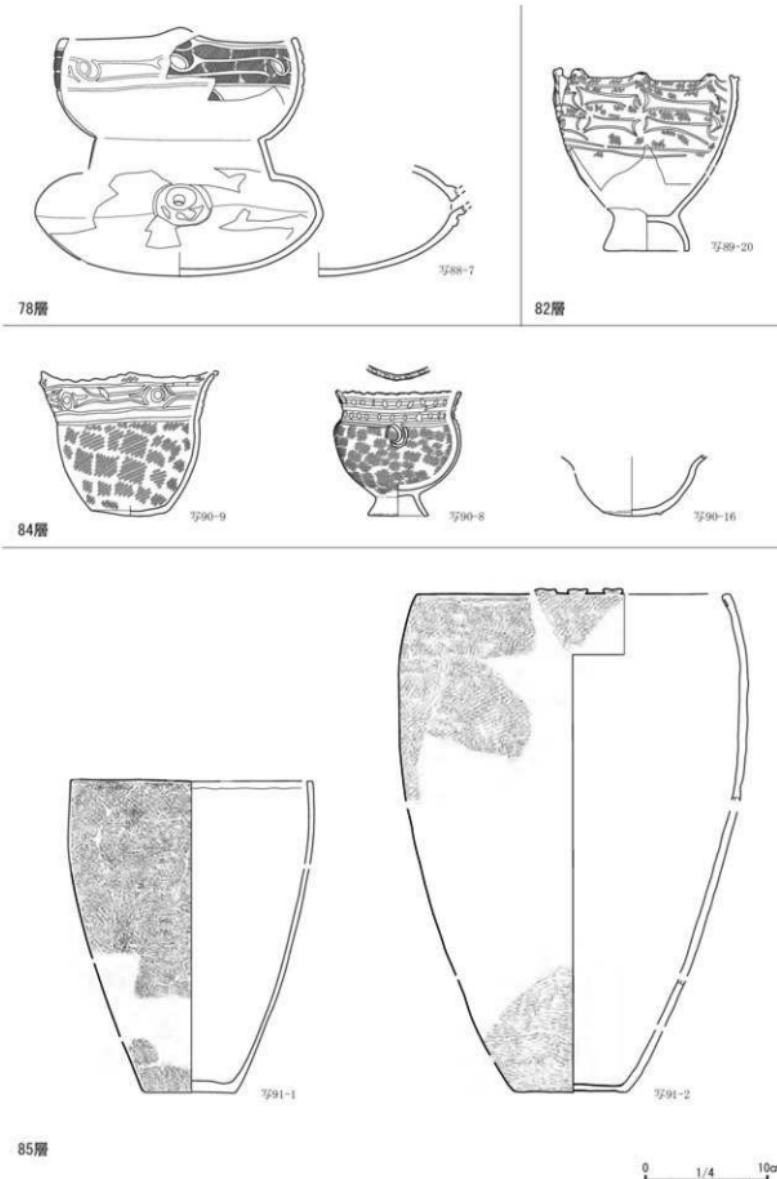


図15 土器（6） 78.82.84.85層

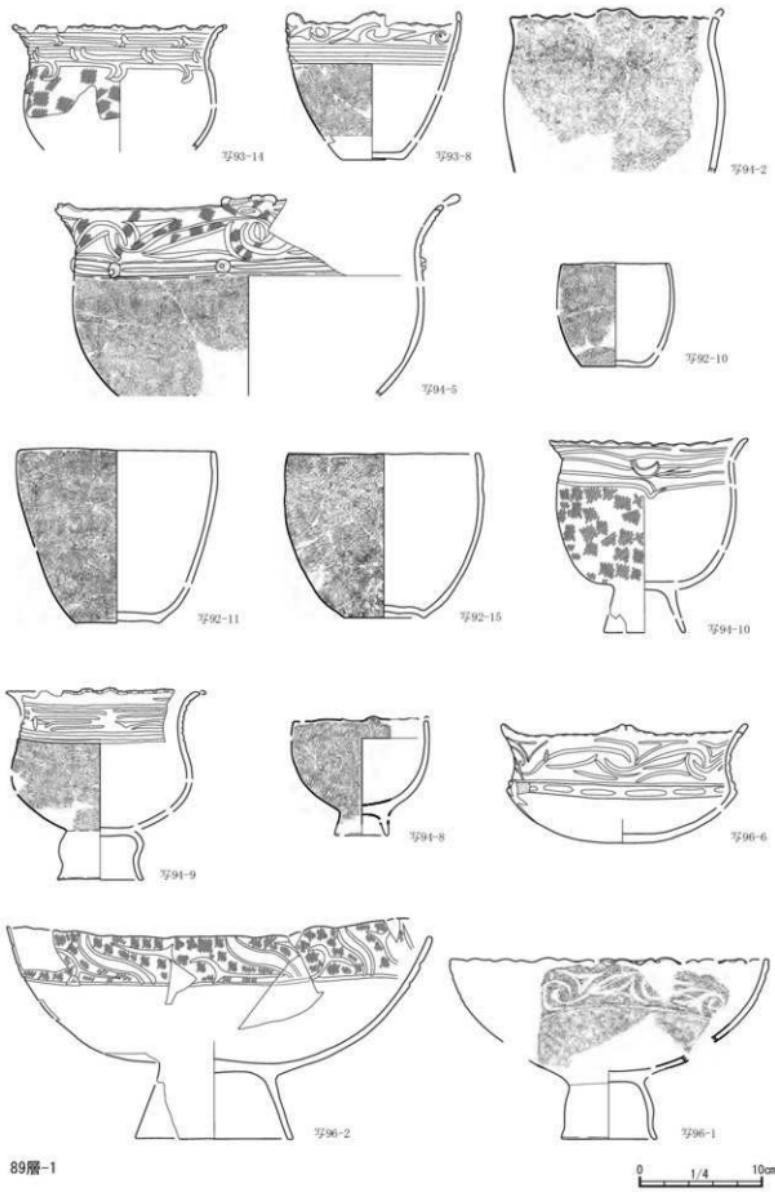


図16 土器（7） 89層

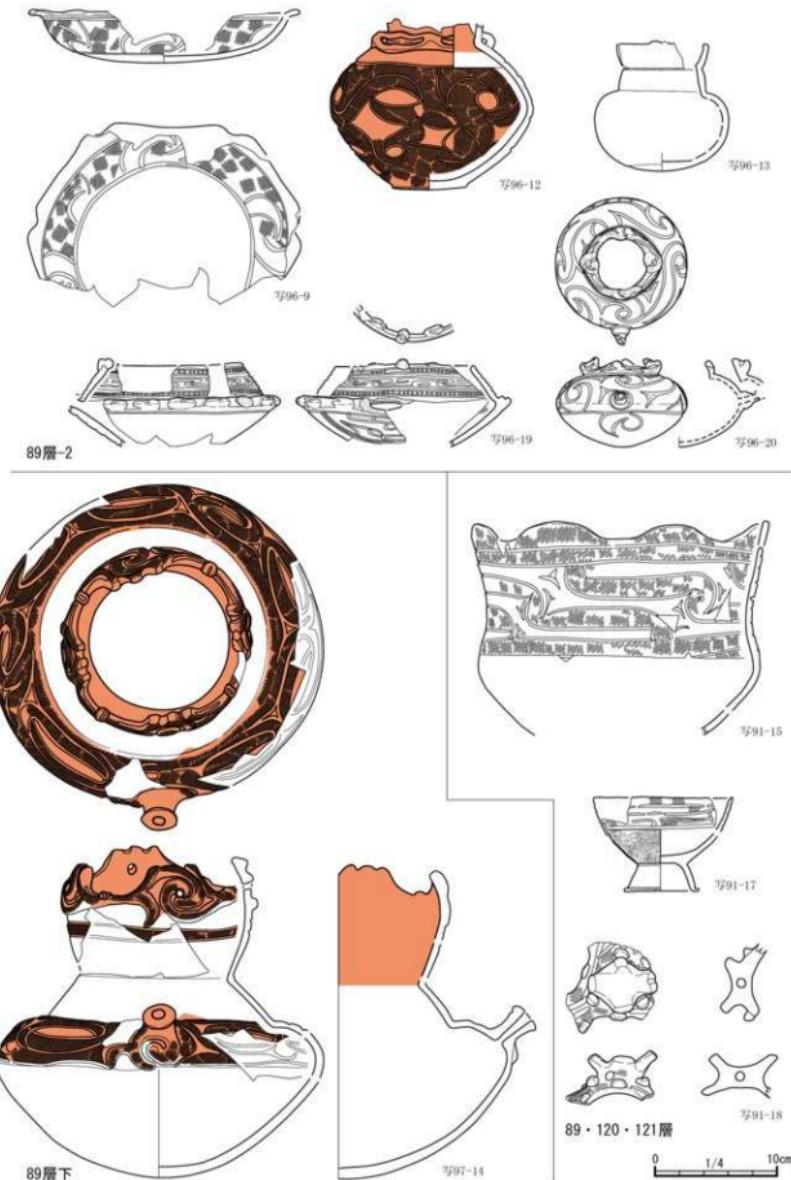


図17 土器（8） 89, 89下, 89・120・121層

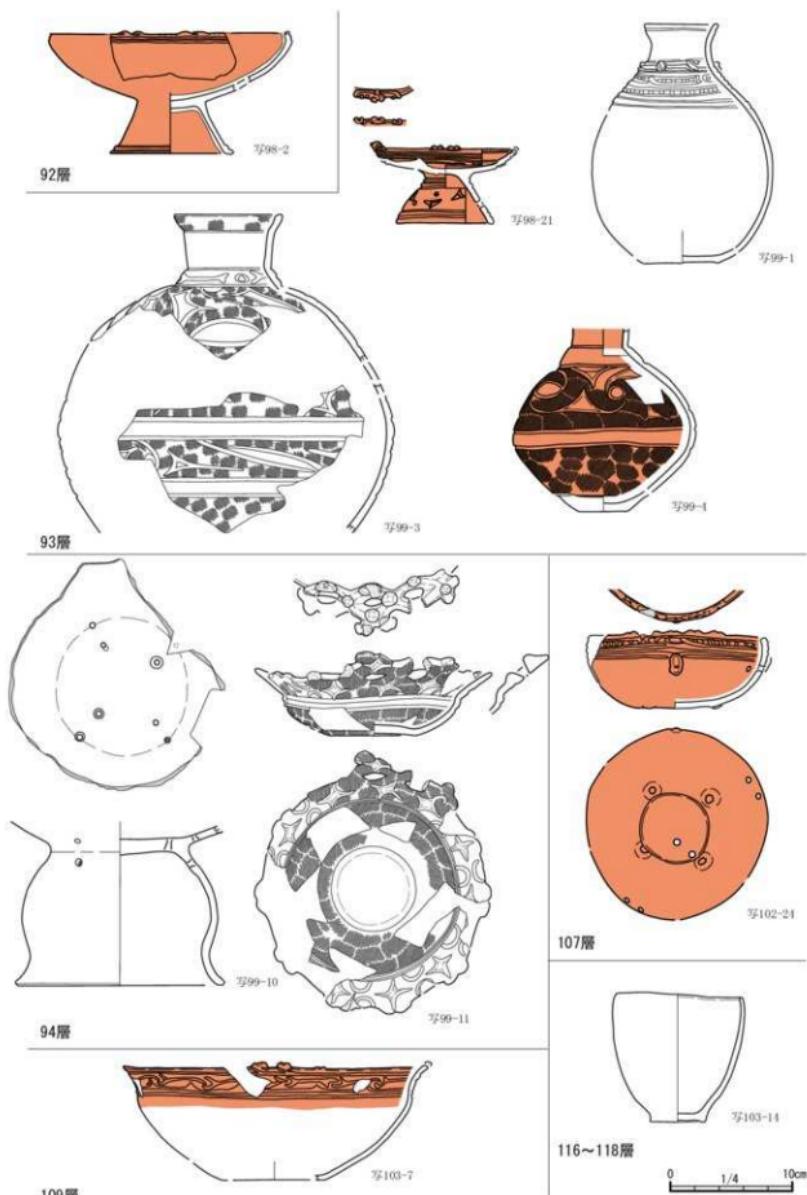


图18 土器（9） 92, 93, 94, 107, 109, 116~118层

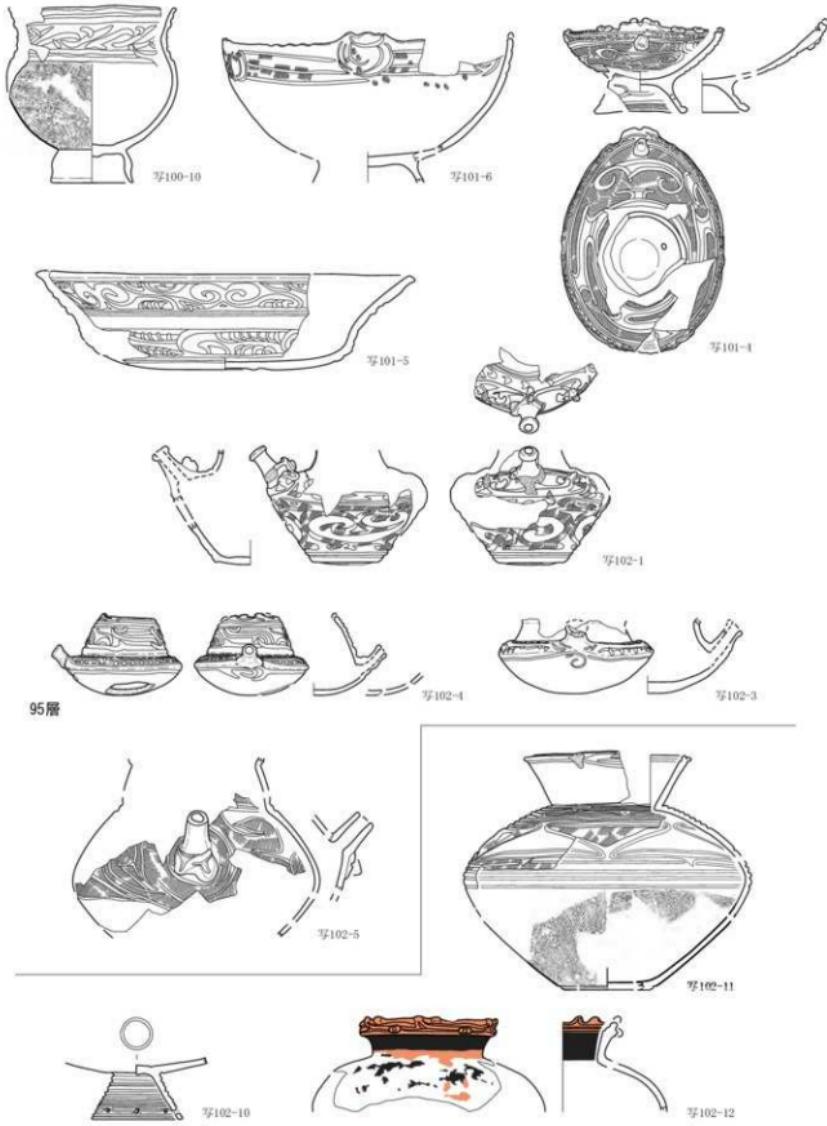


図19 土器 (10) 95, 96層



図20 土器 (11) 122, 122·125, 122·125·128, 125層

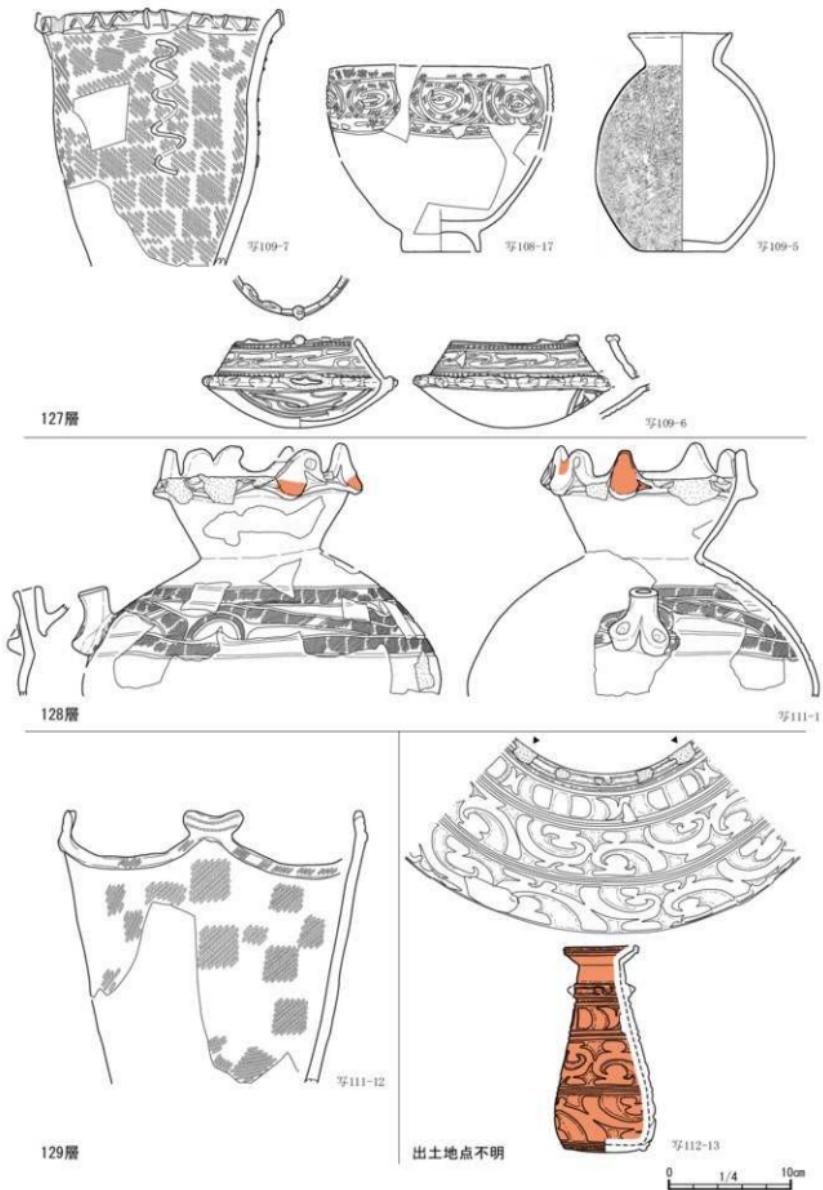


図21 土器 (12) 127, 128, 129層, 出土地点不明

### 3 土製品

北捨場からは、土偶36点・土製品2点・耳飾り11点・動物形土製品2点・有孔土製品2点・腕輪形土製品1点・棒状土製品1点・スプーン形土製品1点・土玉1点・土版2点・土冠1点・石剣状土製品1点・粘土塊61点・円盤状土製品53点・異形土製品1点・ミニチュア土器105点の281点が出土した。なお、掲載遺物のうち土偶3点(5、20、23)とミニチュア・小型土器2点(199、272)は、クラック地点出土である。

**土偶** (図22~25、図26~34~38・40) 土偶は36点が出土した。西捨場に次ぐ出土量である。24は中実の屈折像形土偶であり、24は股部分と思われる。1は顔面を表現しないかり肩、21は表面を隆帯で裏面を沈線で施文し、体部の中心部に貫通孔がみられる。1はO脚の立脚形で下半部にパンツ状文様を施文し刺突を充填している。17は手づくね土偶であり、顔面を刺突で表現している。16は眉・鼻・目・口を粘土で貼り付け口部を貫通している。頬部には、円形文を施文し赤色顔料が前面に付着している。18は眉・鼻・目・口を粘土で貼り付け、横線で目を表現している。頭頂部は角状に表現している。

26・31が頭部から体部にかけて中空であり、腕部及び脚部は中実である。26は腕部・脚部すべて中空である。31は顔が円形で目・鼻・口を粘土で貼り付け、口部は貫通している。頬に円形の沈線を施文しており、16の土偶顔面の作りに類似している。断面を見ると前に突き出ていること、耳と顔が離れていること、顔のつくりが大きいことから推定すると仮面付土偶と考えられる。32・33・34は進光器土偶と呼称されるもので、楕円形の目の輪郭に横一線の沈線を施文している。32・33は頭頂部に王冠状の文様、34は王冠状を有していない。3点とも赤色顔料を塗布している。38は目が三角形で頬にU字形を施文しており、土偶の中では特異な様相を呈している。中実と中空の製作を比較すると中空は薄手のつくりで焼成が良好なものが多い。

**土製品** (図26~39・43) 43は底面が楕円形で中空であり、全体の形状が不明である。下半部に粘土粒を貼り付けている。

**耳飾り** (図26~41、図27~44~53) 耳飾りは11点が出土した。41・44~49・51~53は滑車形・50は漏斗形を呈し、51・52は中心部に貫通孔がみられる。文様は48が放射状・49が弧線と刺突・52が三叉文を施文している。47・50は赤色顔料を塗布している。

**有孔土製品** (図27~57・60) 有孔土製品は2点出土した。60は円形で中央部に貫通孔があり表面に黒色付着物がみられる。

**動物形土製品** (図27~55・56) 動物形土製品は2点出土した。55は頭部で目・口を表しており、側面は鼻がとがっており「トリ」の可能性も考えられるⅡ図92~11に類似することから、香炉の頂部の可能性もある。56は先端部に鼻・目部を表現しているが動物(種不明)ではないかと考えられる。

**腕輪形土製品** (図27~58) 腕輪形土製品は1点出土した。薄手で湾曲した形態である。両端に円形の孔があり、表面には、くずれた三叉文・裏面に縄文を施文している。

**棒状土製品** (図27~59) 棒状土製品は1点出土した。59は両端部が欠損しており、下半部に突起がみられる。

**スプーン形土製品** (図27~61) スプーン形土製品は1点出土した。61は柄と体部上半が残存している。表面は無文で裏面に縄文を施文している。

**土版** (図27-62・63) 土版は2点出土した。62は周縁部を打ち欠いた菱形を呈し、63の裏面は剥落しているが表面に斜位の沈線を施文している。

**土冠** (図28-64) 土冠は1点出土した。64は三角形の一部が残存している。底面には溝状の沈線があり、どっしりしたとした形態である。表裏面には三叉入組文を施文している。

**石劍状土製品** (図28-65) 石劍状土製品は1点出土した。65は本来は棒状土製品の範疇に属するかも知れないが、形態が石劍に類似しているので新たに名称を付した。両端は欠損しており端部に二条の沈線を巡らしている。

**焼成粘土塊** (図28-66~96、図29) 焼成粘土塊は61点が出土した。大きさは2cmと小形なものから7cmの大形なものがあるが、小形なものが主体を占める。色調は明褐色の明るい色調をなす。全体的に凸凹のみられる不規則な形態が主体を占めるが、120・124のように表面が平坦なものもみられる。

**円盤状土製品** (図30) 円盤状土製品は53点(内1点は非掲載)が出土した。土器破片を用いて周辺を打ち欠いており、擦りも認められる。基本は円形の形態であり159は洋梨形であるがまれである。大きさは最少が2cm(140)・最大が9cm(160)であるが、4cm前後が主体を占める。土器破片は鉢・深鉢の体部破片を用いており、174・175は底部を用いている。127・128は中心部に円形の貫通孔、131は多条沈線、129・130は地文繩文に沈線の土器である。文様は繩文が主体を占め、スヌ状炭化物の付着が多い。

**異形土製品** (図26-42) 底辺が広がる無文のもので、全体の形状が不明なものである。

**ミニチュア・小形土器** (図31~36) ミニチュア・小形土器は105点出土した。器種は壺・台付鉢・鉢・浅鉢・注口が出土しており器種毎に記載する。

壺は下半部が張り出すものと体部が張り出す形態がある。体部上半と下半に横位の沈線を巡らして文様区画帯を構成し、198は三角形文と渦巻文を施文している。207は繩文のみを施文している。器表面には204が漆、198・206・209は赤色顔料を塗布している。台付鉢は、台部が高いもの214・215などがあり、214は円形及び三角形の透かし孔を215は弧線文を施文しているが、台部への施文は少ない。鉢は、底部から口縁にかけて立ち上がるも197の形態などがある。口縁は平口縁が主体である。222・229などは器表面に沈線文を施している。注口281は、体部上半に注口を有する。器表面に横位の沈線と刺突列を施文している。

(成田)

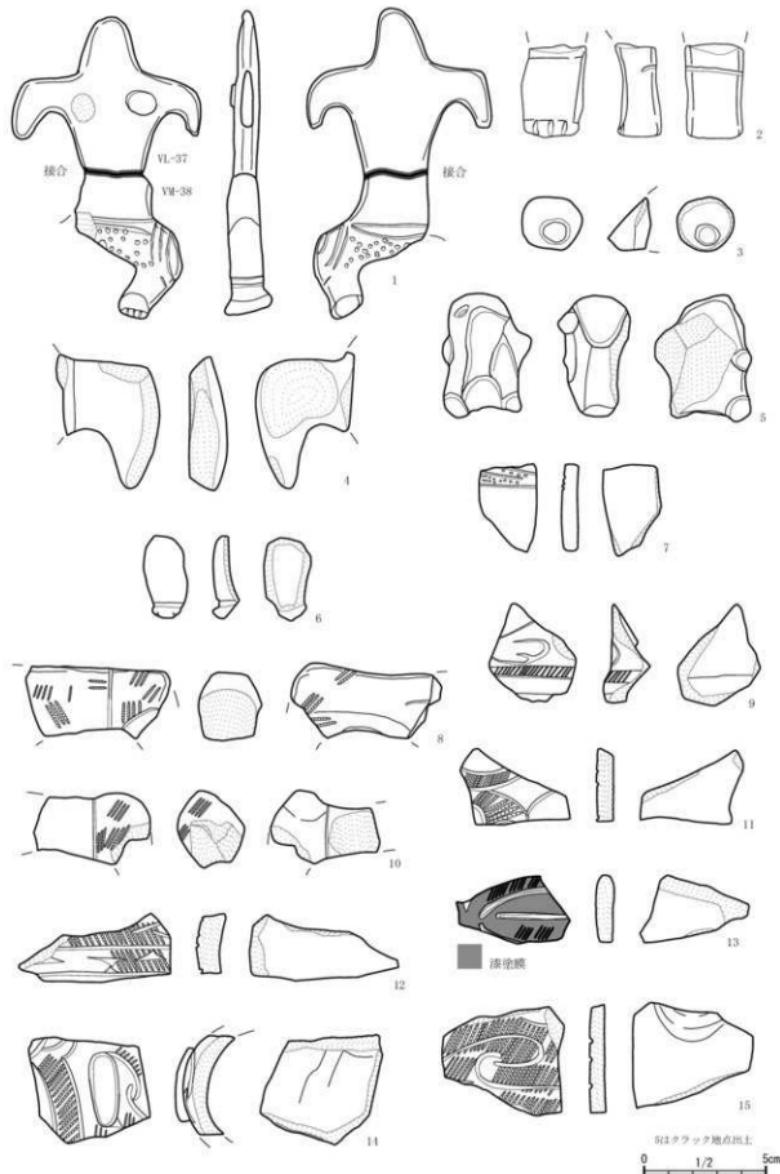


図22 土製品（1）

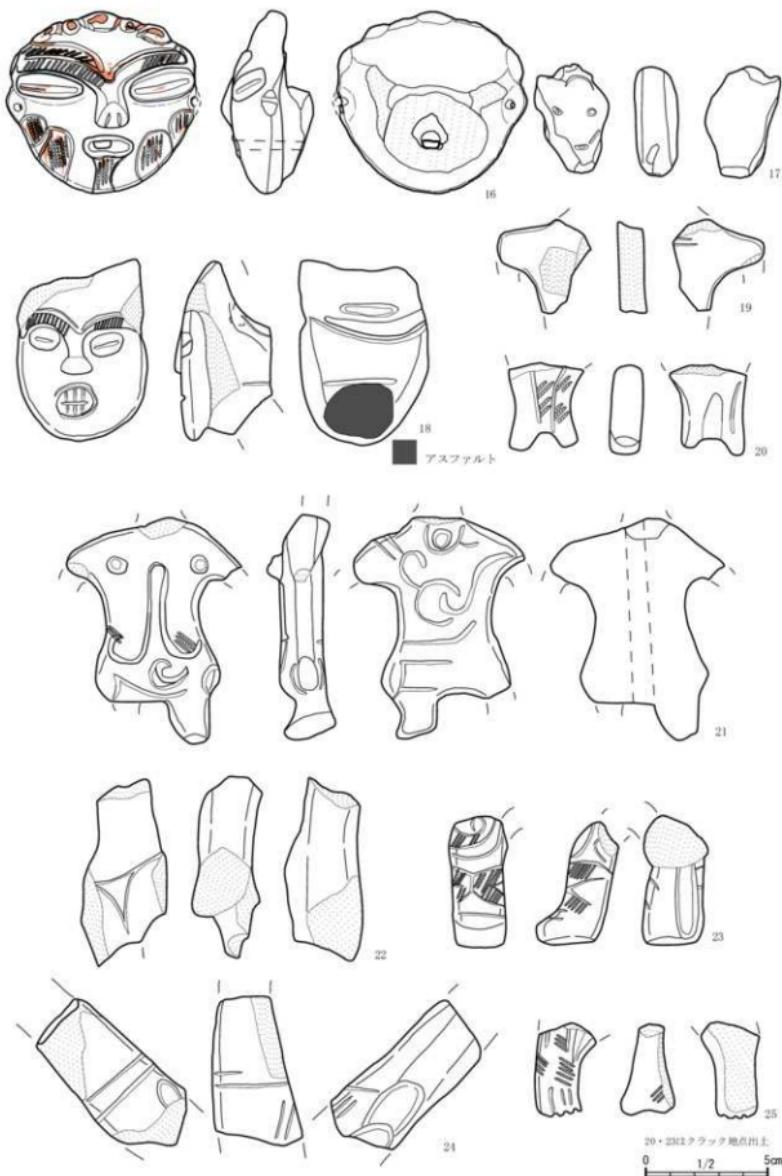


図23 土製品（2）

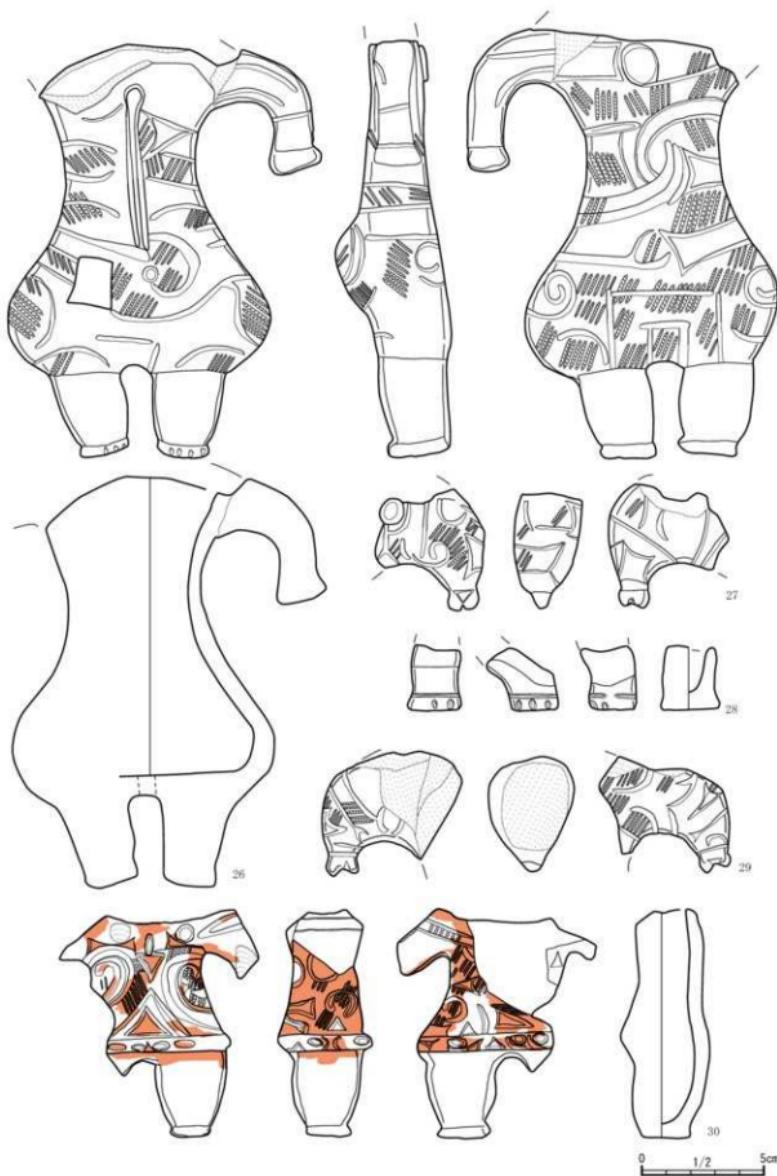


図24 土製品（3）

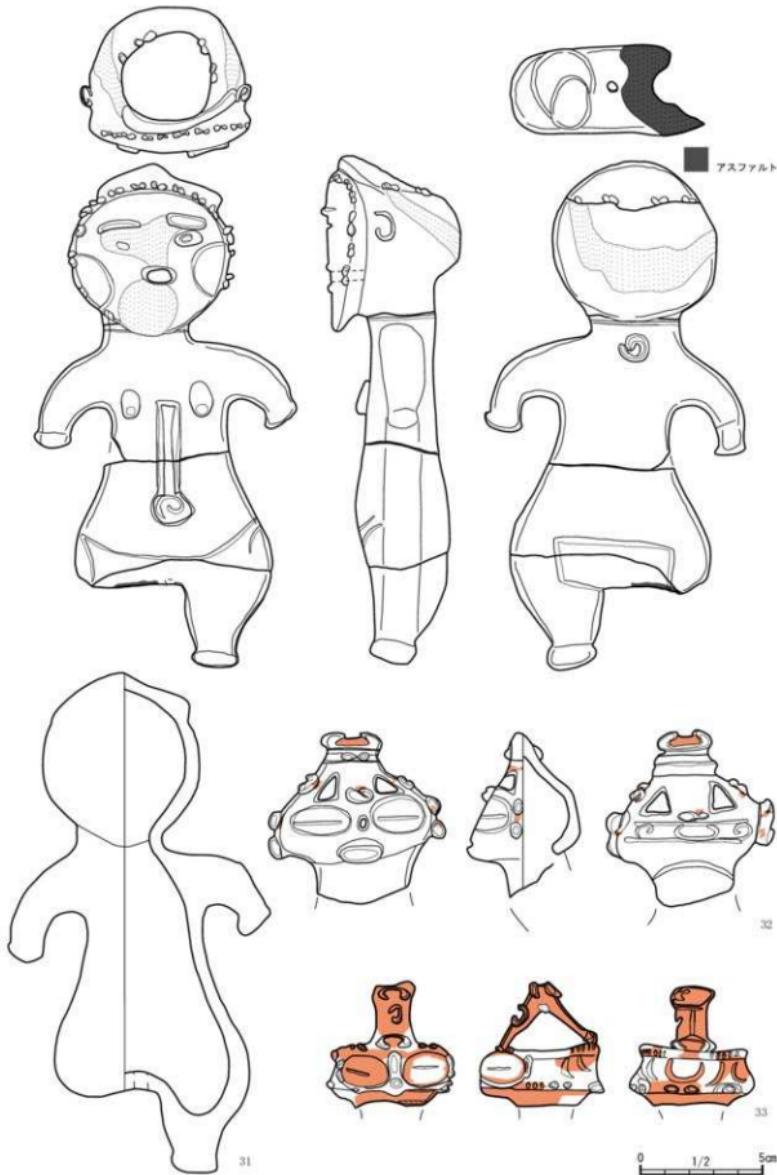


図25 土製品 (4)

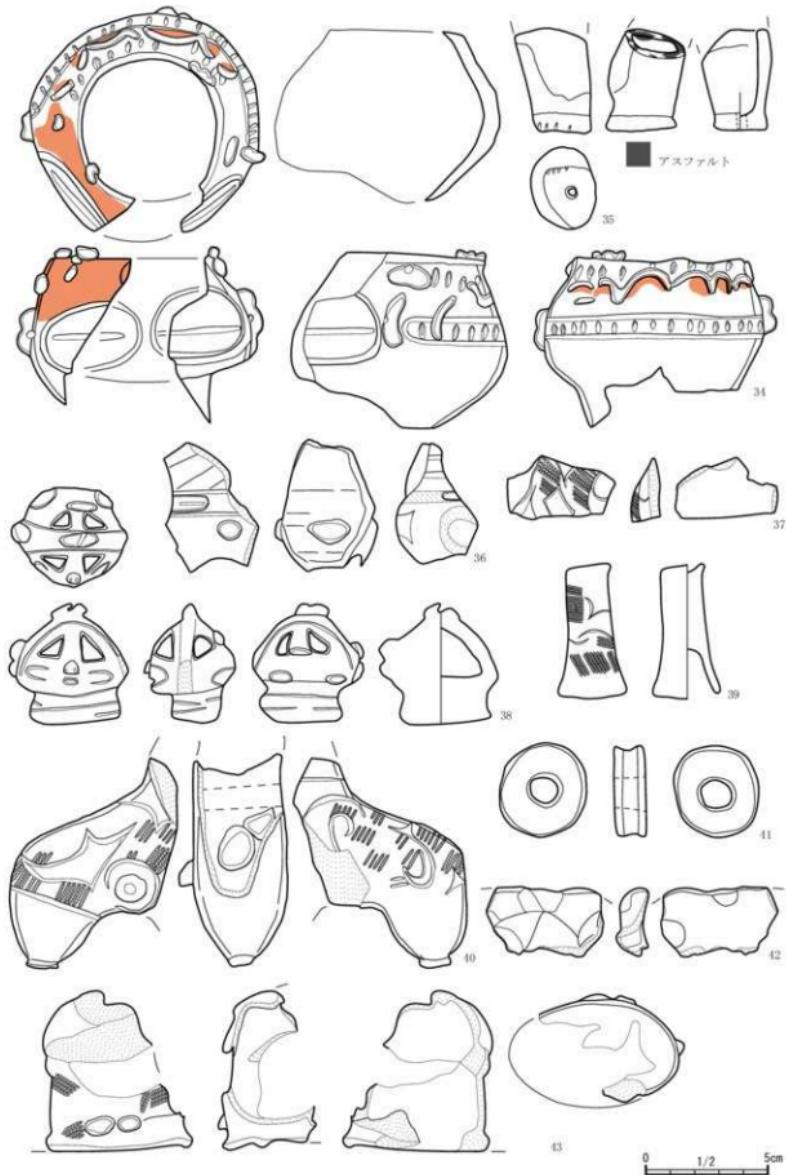


図26 土製品(5)

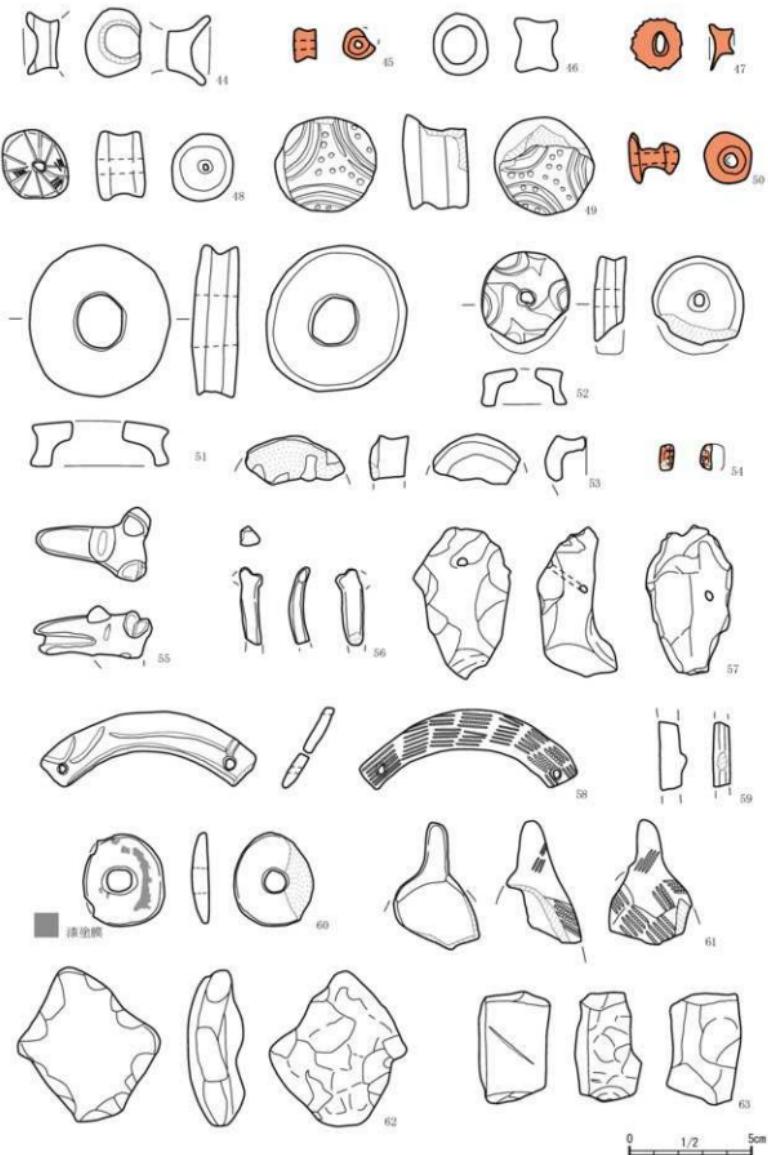


図27 土製品 (6)

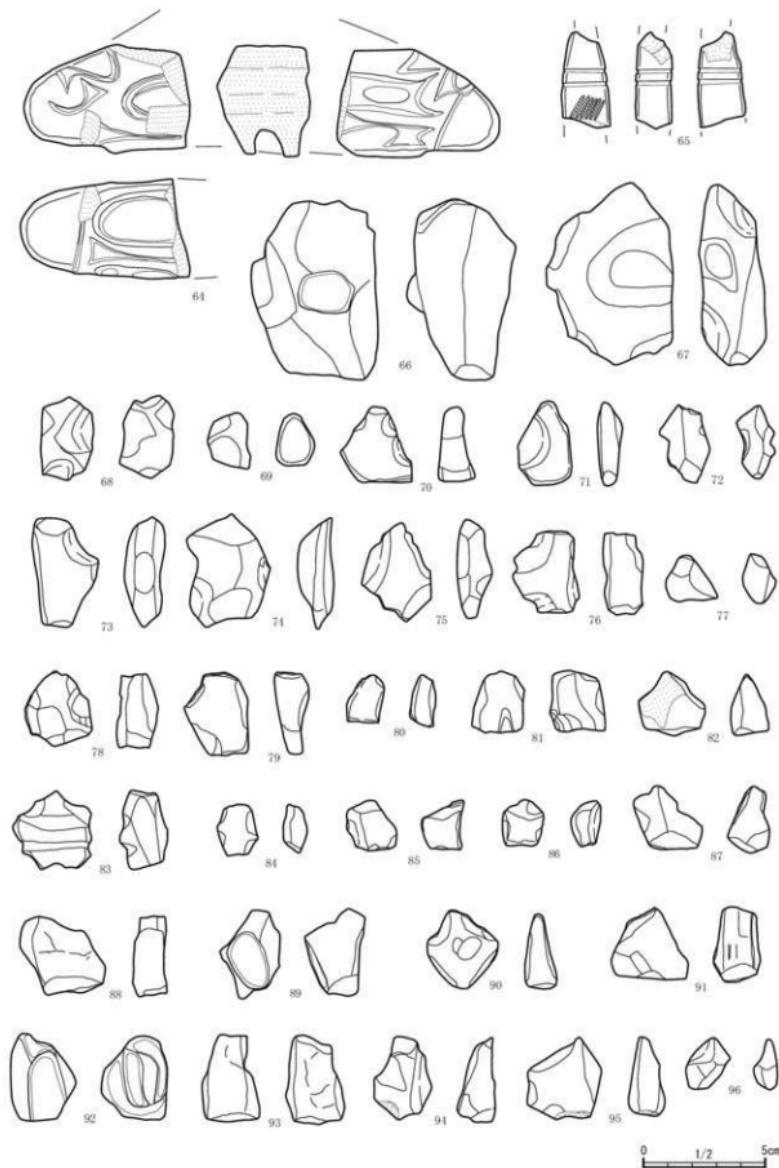


図28 土製品(7)

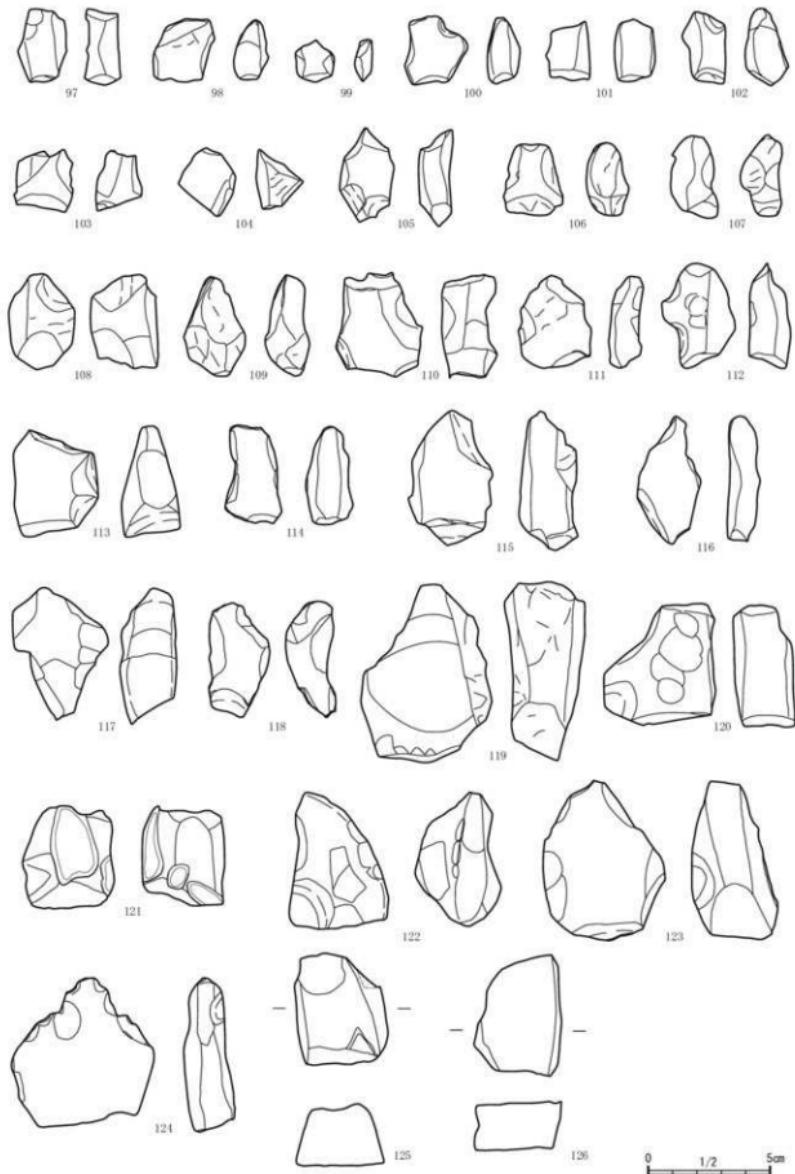
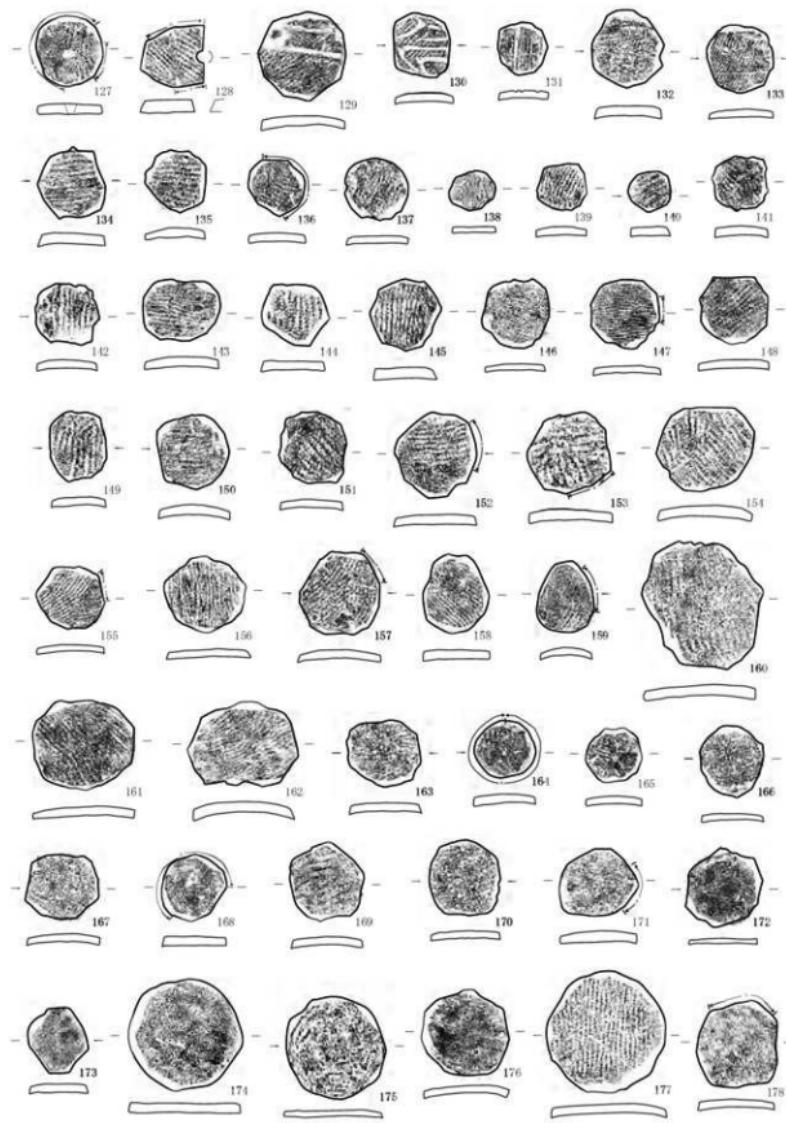
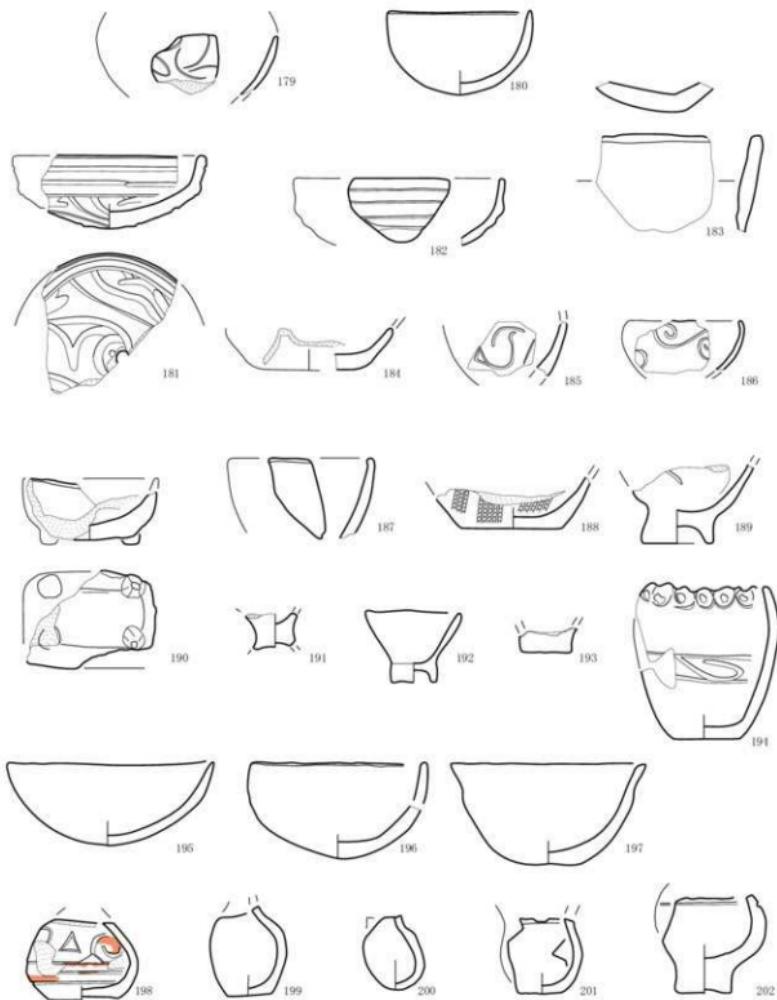


図29 土製品（8）



0 1/3 10cm

図30 土製品（9）



1990年クラック地点出土

0 1/2 5cm

図31 土製品 (10)



図32 土製品 (11)

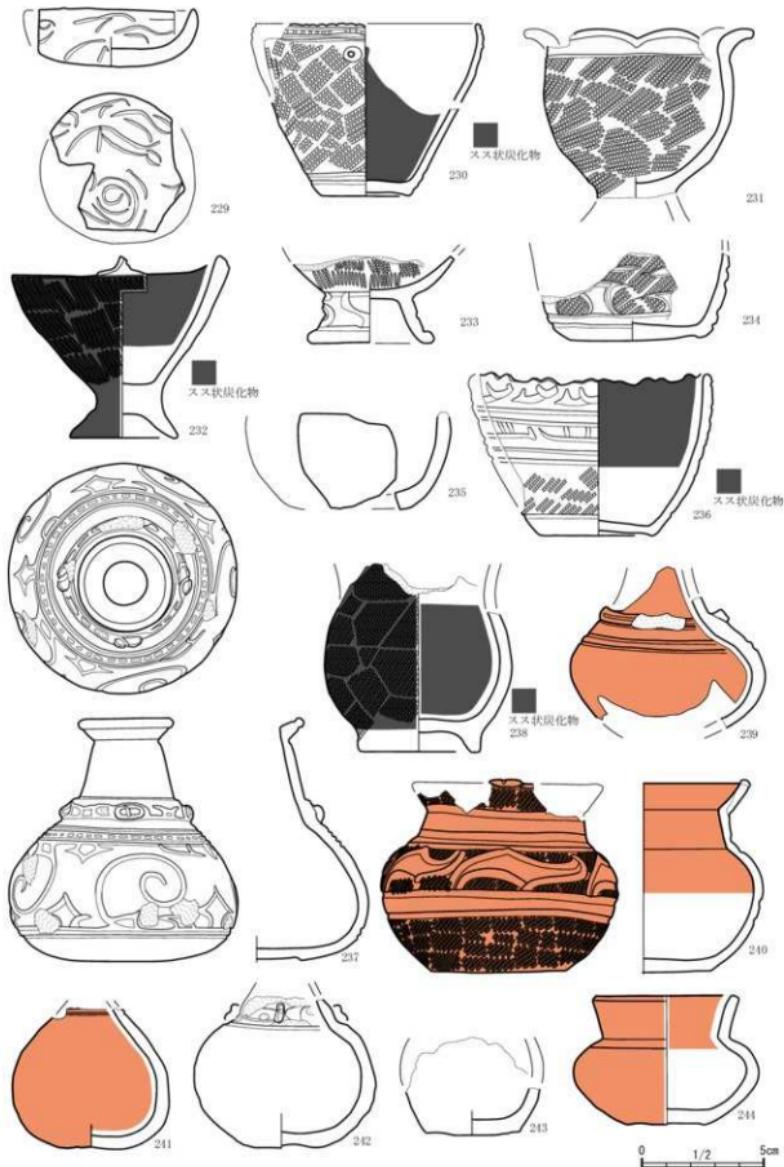


図33 土製品 (12)

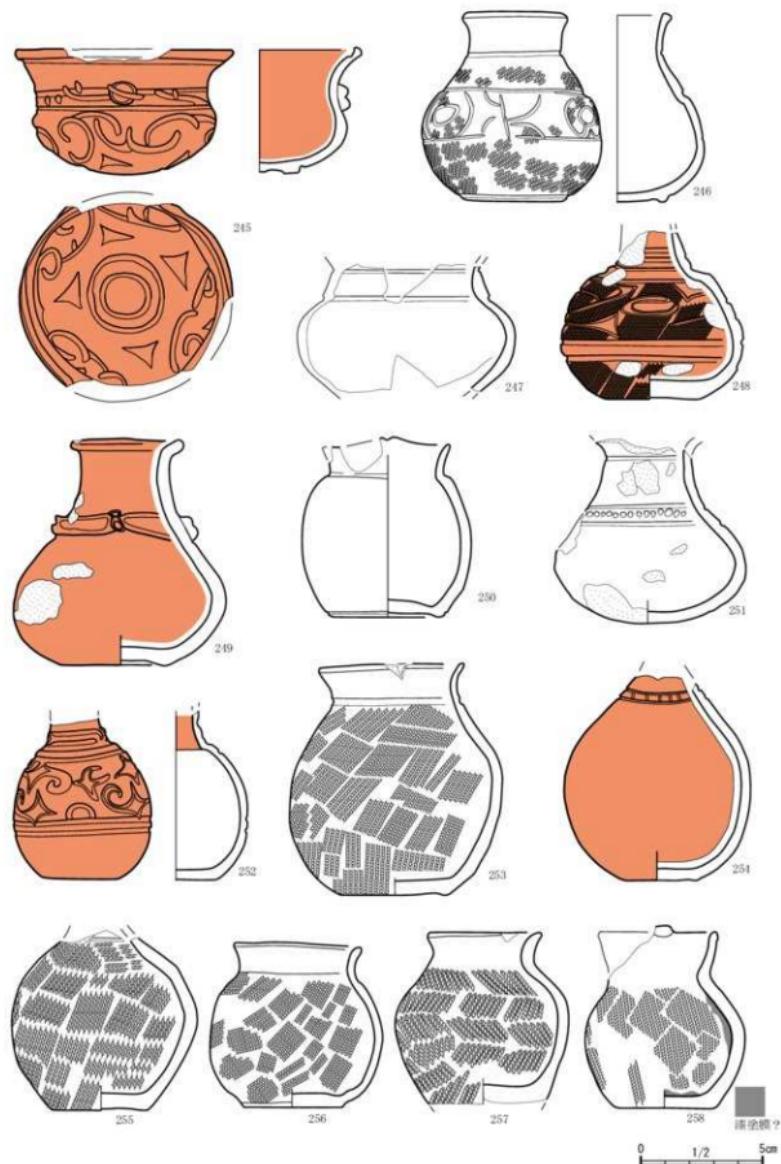


図34 土製品 (13)

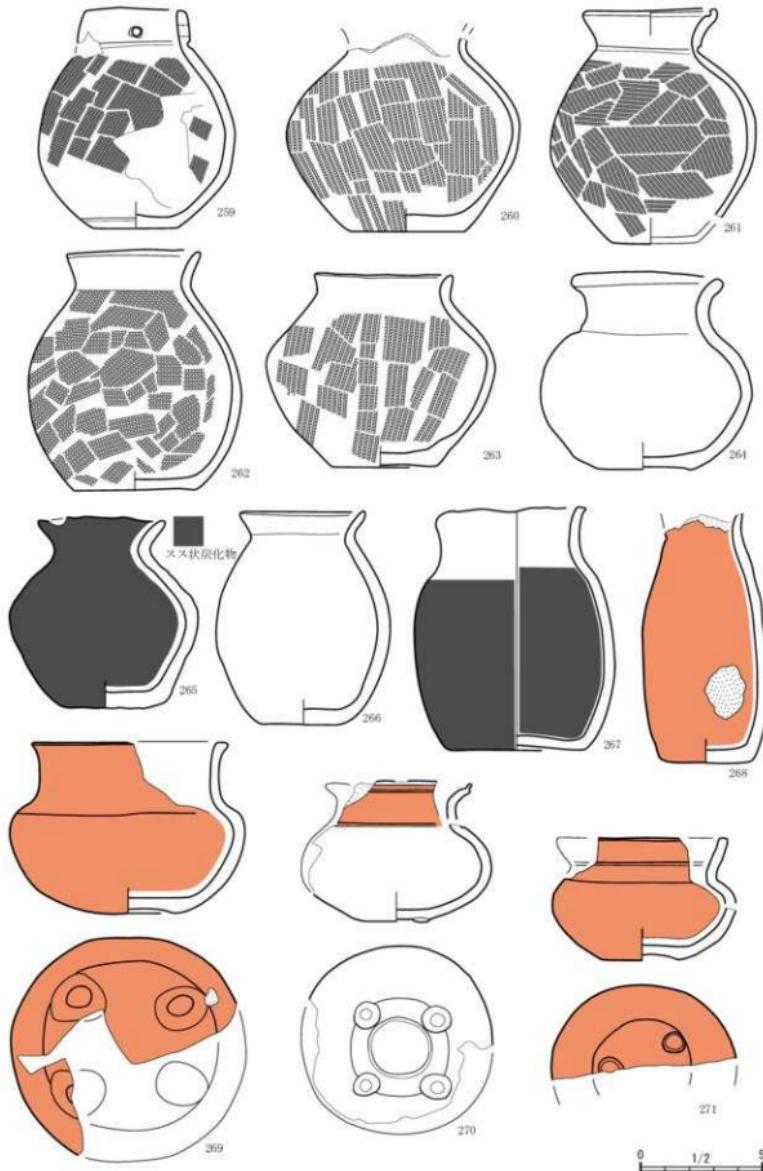


図35 土製品 (14)

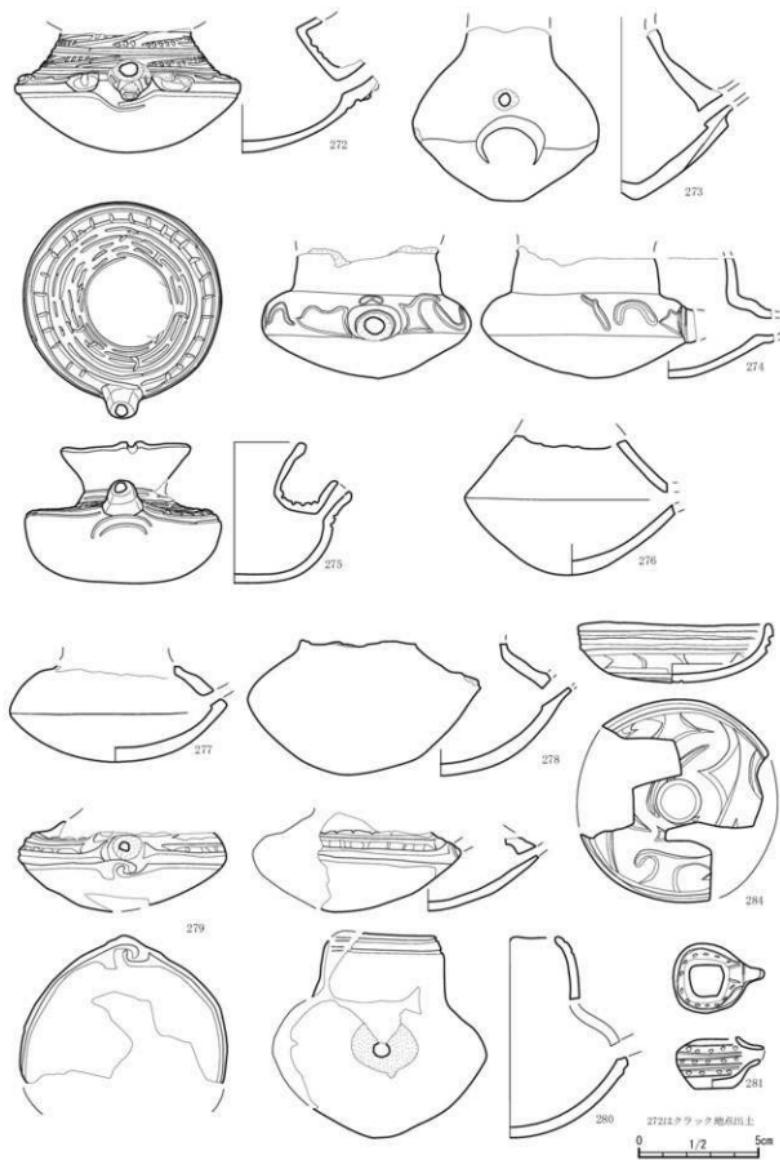


図36 土製品 (15)

#### 4 石器

剥片石器や礫石器、石製円盤などの石製品は出土量が多く、写真掲載を基本とした。そのため、それらの種類の石器・石製品では写真図版により事実記載する。図化が進んだ磨製石斧等については、図を使用する。写真・図とともに、上層から下層に向かって掲載することを基本とした。その他報告に関する考え方や石器出土点数及び組成については、報告書Ⅷに掲載した。

##### 【剥片石器】

**石鎌**（写真121-1～122-29）：ほとんどが珪質頁岩製であるが珪化が進んだ良質なものが多い。写121-94は長さ7.1cmと大形であり、石材の質も良い。全体的に有茎凸基鎌が多く、形状と大きさは多様性がある。茎の有無や長さ、鎌身から茎へとつながるマチの部分の張り出しの形などの変異はあっても写121-4～10・12～15・20～25・36～39・42・45～66・70～80・91～95など丁寧な加工で整った左右対称の形に特徴がある。そのため、写121-16・28・96・97など左右非対称の物は未製品の可能性がある。写121-68・69、写122-1・2・7・22は幅が狭く石錐の可能性がある。写122-8は淡い緑色の珪質頁岩製であるが肉眼的に類似する石材は弘前市南部の直線距離で約20km離れた沢部（2）遺跡で多数出土している。石核や剥片を含む石器群が得られており、石器製作が行われている。この石材の分布範囲は不明であるが、一定の距離の離れた場所から搬入された可能性がある。写122-24は無茎で右側の脚部を欠失しているが、左側の脚部でみると屈曲がある異形の石鎌である。なお、先端が摩耗し石錐への転用が考えられるものは本類に含め、その旨を観察表に記載した。

**石錐・石箇ほか**（写真122-30～124-16）：写122-30～123-35は石錐である。写122-49は石箇、59は石鎌の可能性がある。61はアスファルトが付着している。31・72、123-16はY字形、写122-54・75・78はT字形の石錐であり、写122-79・123-7・25は、その中間的な形である。特に写122-79では上に向いた左側に、つまみの作り出しが明瞭である。写123-36～124-12は石箇で、写124-13～16は両面調整石器である。

**石匙**（写124-17～128-13、写128-15～130-27）：つまみ部の位置と形状、加工の度合い等の変化が大きい。また、つまみ部を複数持つなどデザインを優先させているように思われるものは異形石器との区分が難しい（写真124-25・31・128-29）。つまみ部は写126-3・16のように2つに分かれるもの、他には写127-2～3のように、つまみ部とは言えないものの突起を作り出したものがある。横型の三角形の石匙では厚くアスファルトが付着しているものがあるが、基本となる横方向に加えて縱方向にも付着するものがある（写真125-7・130-20）。アスファルトについては、つまみ部のみならず、一側縁に付着するものがある（写真125-34・126-24）。写129-33は刃部に付着している。写125-22は板状の玉鶴の原石に刃部を設けた石匙である。表面は凹凸を持つが、縄文時代晩期では五所川原市千苅（1）遺跡（青森県教委1995）でも同様の玉鶴の板状原石が石匙に使用されている。写129-21、130-9は石箇の可能性がある。写128-5・17・20、130-3は、つまみ部と刃部の作り出しが弱く、石匙未製品や削器の可能性がある。写130-21・25は、つまみ部以外の加工が少ないものであるが、アスファルトが付着している。写真130-27は石匙のつまみ部あるいは石錐の破片の可能性がある。

**搔器・削器**（写真130-28～132-17、132-19～133-14・16）：写131-7・132-31は搔器とした。写130-34は自然の孔がある。

**両極石器・異形石器ほか**：写真133-17～20は両極石器である。同21～25・28は二次加工剥片である。同26は三脚石器状で27・29・30とともに異形石器とした。同31は中央の抉り部分から上下が点対称となっている。同32の上下は線対称であり、両者も異形石器とした。写134-1は、上下を接合した長さは25.6cmで 重量は551.6gである。中央の抉りの部分から上下は概ね線対称となっており異形石器とした。同2～5は突起と抉りの作出から異形石器とした。同6～14は微細剥片である。

**石核・剥片・原石・石核転用敲石**（写128-14、写132-18、133-15、134-15～141-5）：石核は写134-19のように縁辺から求心的に剥離するものが多い。石核転用敲石は、石核の稜線や平坦面を基点として敲打痕が残るものである。写137-9のように両極打法による石核は敲打痕が残ることがあり区分は難しい。石器の変形を物語るものとして剥片・原石を敲石としたものを含めて本項で扱う。写135-10は大形の剥片を敲石に転用したものである。最後は敲打痕により中央部の側縁が内側に窪む形状となっている。写140-1・6の石核は、最後に中央部の側縁が内側に窪む形状で作業が終了している。左右対称で上下も概ね対称となり異形石器に類似した形状で終了している。さらに小さな剥片を剥がしていくと異形石器とした写133-31・32と類似する形状となる。写138-12および写139-6は、玉髓製の敲石である。原石転用ではなく素材礫を敲石用として目的的に搬入した可能性もある。小形で敲打による対象物への衝撃をコントロールできる大きさと重量である。安山岩等の敲石と同様に1/3で掲載して、その石器組成に含めることよりも石核転用敲石に準じた扱いとする事を選択した。写139-8は、緑灰色の流紋岩の原石であり、写140-9の剥片と対応する。珪質頁岩の入手が容易な本遺跡でも少數ながら同質の剥片は出土している。写140-11～13・15～20は黒曜石の原石・石核・剥片である。13は深浦八森山群で、15は秋田県男鹿金ヶ崎群である。写141-5は珪質頁岩の大形原石で、長軸26.2cm、重さ9.18kgである。

（齋藤）

#### 【石斧】

**打製石斧**（写真133,141,142、図44、49）：写141-6は、珪質頁岩製の分銅形に近い形状である。写141-7は、粗粒玄武岩製の、基部が欠損した打製石斧である。石材としては、磨製石斧になり得る。写142-1は、剥離と、側面の敲打で全体を整形している。安山岩製であり、磨製石斧の未製品の可能性がある。写133-32は珪質頁岩製の分銅形打製石斧である。刃部には剥離整形ではなく、微小剥離痕が見られる。

これらの資料の刃部には土擦痕は確認できなかった。

**磨製石斧**（写真142,143、図44～49）：大形から小形磨製石斧まで出土し、大半は欠損している。小形磨製石斧は片刃が多い。石材は、緑色岩、緑色片岩、軟玉、滑石片岩、粗粒玄武岩、安山岩、凝灰岩などがある。

整形加工は敲打と研磨が主体的である。他の捨場などからは、緑色岩に擦切痕が確認できるが、北捨場では擦切痕を持つ磨製石斧は確認できなかった。写143-7は、珪質頁岩製であり、両面調整の剥離整形の後、表面全体に摩耗が見られるが、水性摩耗に近い特徴を持つ。そのため、整形によるものとは断定できないため、磨製石斧でない可能性もある。

接合資料としては、写142-8は、振替43層（捨P2上層）と振替57層（捨P3上層）出土同士が接合している。

欠損した後、再加工や敲石など他器種への転用例がある。写142-3は、刃部が欠損し、欠損部に敲打痕が見られる。写143-1は、刃部が欠損している。その欠損部に敲打痕が見られることから、敲石に転用されたと推定される。写143-2は、基部が欠損している。その欠損部に剥離や敲打痕が見られる。

(高橋)

#### 【砾石器】

磨面と敲打痕など複数の種類の使用痕を持つものも多いが、主体となる使用痕から概ね磨石、敲石、凹石、石皿の順に掲載した。磨石は花崗岩や安山岩などの硬質の石が多く、凝灰岩も使用される。大きさも大形から小形まで多様である。写144-22・146-3・11のように球形で全面が磨面のものは石製品の可能性がある。写150-12の裏面中央部は平面的であり、写真190に示したような半球状で底面が崖む石製品の未製品の可能性がある。

敲石とした写150-11は両側縁が抉りとなり、石錘の可能性がある。

凹石は、凝灰岩など軟質の石材のものが多い。欠損のあるものでは写157-18、158-19・23、160-20・21のように凹痕の部分で割れているものがある。

写161-8は左右と上部に敲打による抉りを作り出しており、石錘とした。同9はざらざらした器表面に磨面が形成される。同10は加工のある砾である。

石皿は、他の捨場との接合例を得ることができた。写172-2・3・6・7が西捨場のものと、同4・5が北東捨場のものと、同8がクラック地点のものの接合品である。

写真173は自然砾である。1は全体形状が勾玉状で、上部に突起を持つ異形の砾である。同4・5・16はくびれ石で、6・7は珪化木である。同8は穿孔貝による生痕化石が凹痕状となっている。写真161-7も同様の自然砾である。敲打痕の可能性のある部分があるが敲石あるいは石製品と認定することを保留した。写173-14・15は水晶の結晶である。

#### 【赤色顔料】

赤色顔料を採取するための自然砾及び加工残滓と考えられるもの一部を写真196の右下に掲載した。左端はVM-40グリッドの89層で9月2日~3日にわたり出土したもので、その右(中央)の5点は同グリッドの89層の8月29日の出土品である。軟質の泥岩であり亜角砾状の形や表面の状況が類似している。右下はVL-39グリッドの29層の1日分の出土品である。サイズが小さく角砾状であり、軟質のものは少ない。軟質部を取り除いた核のような形状のものがある。作業の残滓がまとめて廃棄された例と考えられる。

(齋藤)

## 5 石製品

### 【石棒類】

石棒類は写真174から177（図58～64）に掲載した。断面形状から、石棒、石剣、石刀に分類し（後藤1986など）、判断が付かない場合は石棒類とした。石棒・石剣は、棒状の形態が多く、石剣は扁平形態も含む。棒状形態の中には、長さが70cm近くになるものもある。柄尻は平坦面を持ち、先端は尖頭状を呈する。写176-3のような両頭の石棒もある。石刀は基本内反りか直刀である。写175-1は、完形の石刀である。三角形の柄頭に2条一組の沈線が2単位巡っている。柄部と刀身部の境に刃関は段を形成していないが、研磨で境はいくぶん明瞭になっている。写175-15は、長さが52cm程あり、断面形状から石剣と分類した。

大形石棒類が出土している。粘板岩以外の石材を素材とし、全面敲打で整形している。写177-2は、長さ41cmほどの安山岩製の大形品である。両端に頭部を作出した、両頭石棒である。全面を敲打で整形している。写177-5は、アイサイト製の石棒である。

石材は粘板岩が大半である。粘板岩の中には、董青石、点紋粘板岩や凝灰質粘板岩が見られる。また凝灰岩製の石刀もあるが、これらは、粘板岩製に比べ、大形・厚手であり、加工も粗いといった特徴がある（写174-3など）。粘板岩製の模倣品の可能性もある。

製作技術は、剥離、敲打、研磨が主体である。写174-9は、先端部に赤彩の痕跡が僅かに見られる。

再加工を示す資料も數点確認されている。写174-4は、柄頭に沈線文が見られる董青石製の内反りの石刀であり、刃先部が欠損している。欠損部に穿孔が3個見られる。写175-9は、石棒先端部の断片である。擦切痕が見られ、たたき折られたと推定される。折り取り面に敲打整形を行い、再加工している。何かしらに転用したものと思われる。写176-5は、石棒の断片であり、沈線文の側が欠損しているが、破損面を研磨し、再加工している。

石棒類は大半が欠損しているが、接合によって完形品になったものもある。また、捨場間、層位間接合が数点確認されている。写174-8は、異なる層で出土した同士が接合した。写176-12は、長さが69cm程ある石剣である。柄部が北捨場の振替84層（捨H層）から、先端が西捨場から出土している。写175-11は、石剣胴部の断片である。西捨場出土の破片と接合している。写175-15は、セクション9の上層部で出土したものが接合している。柄部と刀身部の境に沈線文、柄部先端に穿孔が施されている。写177-1は、石棒の先端部である。先端部が北捨場の振替122-125層（捨U層）から、胴部がクラック地区の下層から出土している。写177-3は、北捨場内の層位間接合している。写177-4は、長さが66cm程ある石剣であり、3分割されており、内1片は西捨場から出土している。

石棒類は、柄頭が素文と文様をもつものがある。写174-5は、柄頭に平行沈線と山形の沈線文が見られる。写174-4、写175-1は、平行沈線文を持つ。棒状の石棒・石剣類には、柄部と刀身部の刃間に、2本の沈線で区画された内側に敲打帯を施すものが多い。中には、写176-5のような、2本沈線間にX字の沈線文が施されている。写176-12は、2条一組の沈線間に、楕円の沈線文が見られる。また先端部に沈線が施されるものもある。

(高橋)

## 【岩版】

形態は端部が丸みを持つ楕円形（図65-4・5）と端部が平坦な方形を呈する。

文様は図65-4が表面に眉・目・口を表し中心部に正中線を施し左右に渦巻文を施文、裏面は入組文を施文している。図65-5は正面に正中線の左右に弧状文、裏面に入組文、図65-2は縦位に入組文を施文し断面にアスファルトを塗布している。図65-1、66-3は中心部に正中線、図66-2・4は表面に縦・横位の擦痕を施文している。時期は図65-4が大洞B C式、図65-2が大洞C式、図65-5が大洞C<sub>2</sub>式と考えられる。

(成田)

## 【石製円盤】

扁平な楕円盤・円碟、板状礫を素材とし、敲打・剥離・研磨等の整形により円形・楕円形、または3角形から8角形に加工した板状のものを含めて石製円盤とした。写真180～186にアスファルト痕や石皿破片からの転用がわかるものを中心に掲載した。剥離が一打によるものについては、偶発剥離なのか不明なものがある。石製円盤として編集したものの敲石や自然碟の方が妥当と考え直したものがある。そのため、写180-21・写183-21を敲石に、写184-9を石皿に写181-15を自然碟とした。器種別数量については報告書Ⅷで補正する。

石製円盤は、敲打で成形加工されるものが多いため、円碟の側面を使用した敲石と形状が類似する。側面の成形には両面からの挟み打ち（観察表の備考欄で両板打法による加工を「両板加工」と略し、縦両板加工とした両板打法が不明確なものは縦剥離としている。正面や裏面に側面から入る剥離・剥落は横剥離とした）が多く用される。両側縁からの両板打法で加工されたものがあり、両端に対向する凹みを持つものは、石錐とも類似する。石材は流紋岩や花崗岩などの硬質のものから凝灰岩やシルト岩などの軟質のものまで多様である。加工は剥離で不整6角形等に粗く成形したもの、円形等を意識して丁寧な剥離を加えて形を整えたもの、さらに側面を敲打したもの、側面や両面の一部を研磨したもの、全面研磨したものと多様である。大きさについても多様性があり、アスファルトが付着するものや線刻を持つものがある。複数の性格を異にするものを一括しているが、器種の明確な定義ができないため類型化ができない。また、器種として明確な定義ができないため、未製品の定義ができない。欠損のあるものについても、1/2以上残るものは、再加工素材としての変形の範囲内、あるいは変形が加えられていく過程にあるとすれば欠損品と認定するのは躊躇される。そのため、集合写真を使いながら、可能な限り出土品を掲載することとした。北捨場は出土点数が1000点を超え、属性の整理など統計処理に向く数量である。そのため写真192～196に数十点ずつ円1～36までの集合写真をおき、観察表に他の捨場では削愛した石材と長さ・幅・厚さを掲載した。類似した形状の自然碟の一部を写真196の円37で集合写真として示した。それらは、そのまま使用された可能性とともに素材碟の可能性がある。

アスファルトは、写180-30や写181-29・31のように段差を持つ部分にも付着している。少なくとも、それらについては硬質物との接着を目的としたものではない。

研磨加工で整形されたものは、使用石材は岩版と共通する灰白色の凝灰岩・シルト岩製のものが主体である。基本的にアスファルトは付着しない。

写真181-23は上面と右側縁に、同41は左上と下の側面に礫面が残っている。全周を加工した物ば

かりではなく、礫面の一部を残すものは多い。写182-24のように側面を敲打したものは少ない。平面形においても側面の剥離と対応する5~8角形のものが多く、側面の敲打加工と対応する円形・楕円形のものは少い。

石製円盤の素材として多用される相馬安山岩については、報告書Ⅱではデイサイトから抽出しなかった。板状であり遺跡内で石皿の素材として使用されているが、その破片を石製円盤としたものもある。特筆される石製円盤素材として写183-8の黄鉄鉱石がある。

#### 【その他石製品】

写141-8は、中央部に抉りがあり、平場地区の独鉱石（報告書IV 図161-3）と石材と大きさが類似する。未研磨であることも共通する。抉りの作り出しが弱いものの独鉱石と考えたい。

写174-1は石冠である。石冠には変形行為の可能性のある凹痕を持つ物があるが、本品には認められない。

線刻礫を写178-5と写真179に置いた。写179-1は、両面に線刻がある。正面側は直線状であるが、裏面は下部に、弧状の線と直線が描かれている。写真188・189には類例の少ない石製品も掲載した。写188-1・2は三角形状の自然礫に部分的な研磨あるいは擦れが認められる。3は、横に隆帯を作り出し、表面を研磨し、赤漆を塗布した石製品から剥落した小破片である。珪質頁岩を素材としている。5は、チャートの石の折れ面にアスファルトの付着したものである。類例の少いものであり、石製品の扱いとした。6・7はマンガンノジュールであり、6には穿孔がなされている。8は全面が研磨されている板状の石製品であるが、上部に対向する抉りを作り出している。9は、両面穿孔の石製品であるが正面には太く短い線刻がある。10は、石棒あるいは独鉱石と関連する意匠の石製品である。11・12は礫石器から石製品への変形を思わせるものである。11は磨石の裏面に稜が際だつような平坦面を作り出している。平坦面には、さらに線刻・擦痕が確認できる。12は下に一对の突起のある自然礫を使用した凹石である。突起部分と両面に研磨もしくは擦れが確認できる。下の突起を脚部として人体と見立てれば、凹痕は二次的な変形行為の結果である可能性もある。そのため、凹石の頁ではなく写真と図を石製品の部分に掲載した。

写189-3は手を握った時の拳の形状を意識したと考えられる石製品である。写189-4、写真190、写真191-1~5は、半球状で底面が窪む石製品と、その関連資料である。写189-4、写190-6、写191-5は底面が平坦であるが、変異の一つと考えたい。写190-4は敲打により大きな凹みを作り出しているが裏面側が大きく剥落している。写191-9（図72-1）は裏面が剥落しており、剥落部分にさらに敲打痕が加えられるものである。皿状の石製品の未製品の可能性がある。

写真191-6~11は、皿状の石製品である。

(齋藤)

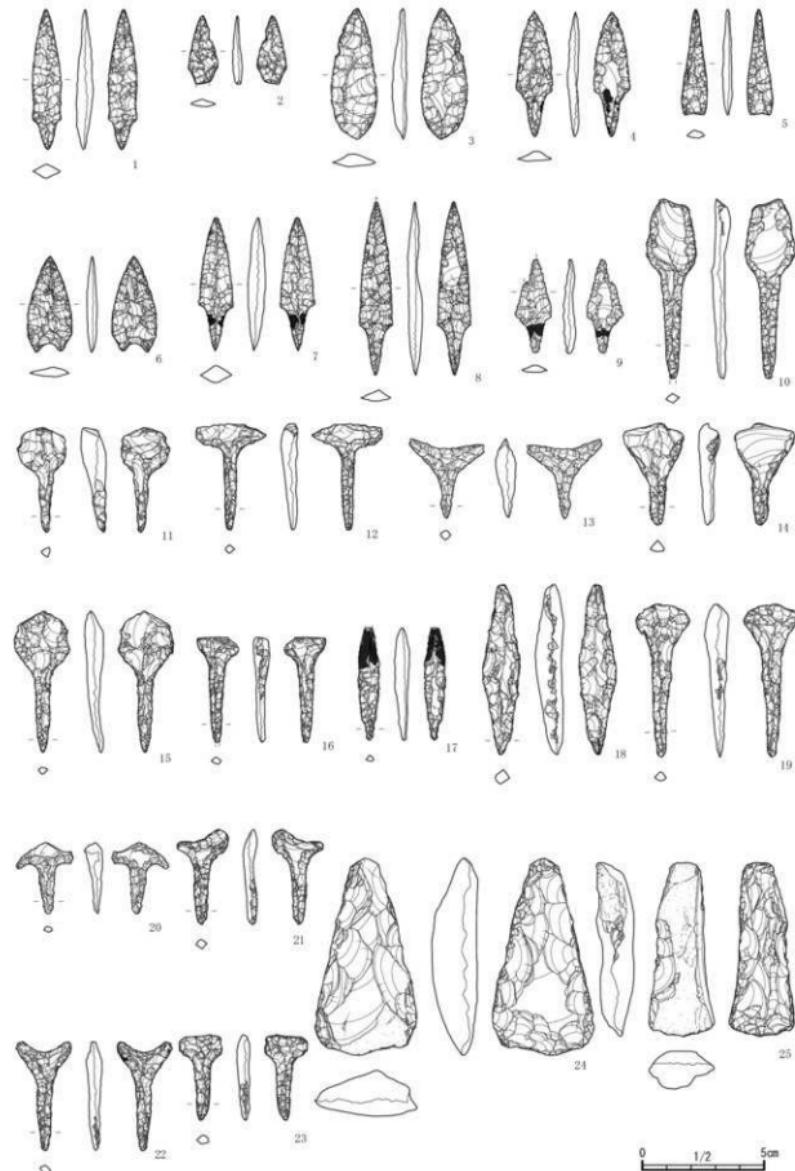


図37 石器・石製品（1）

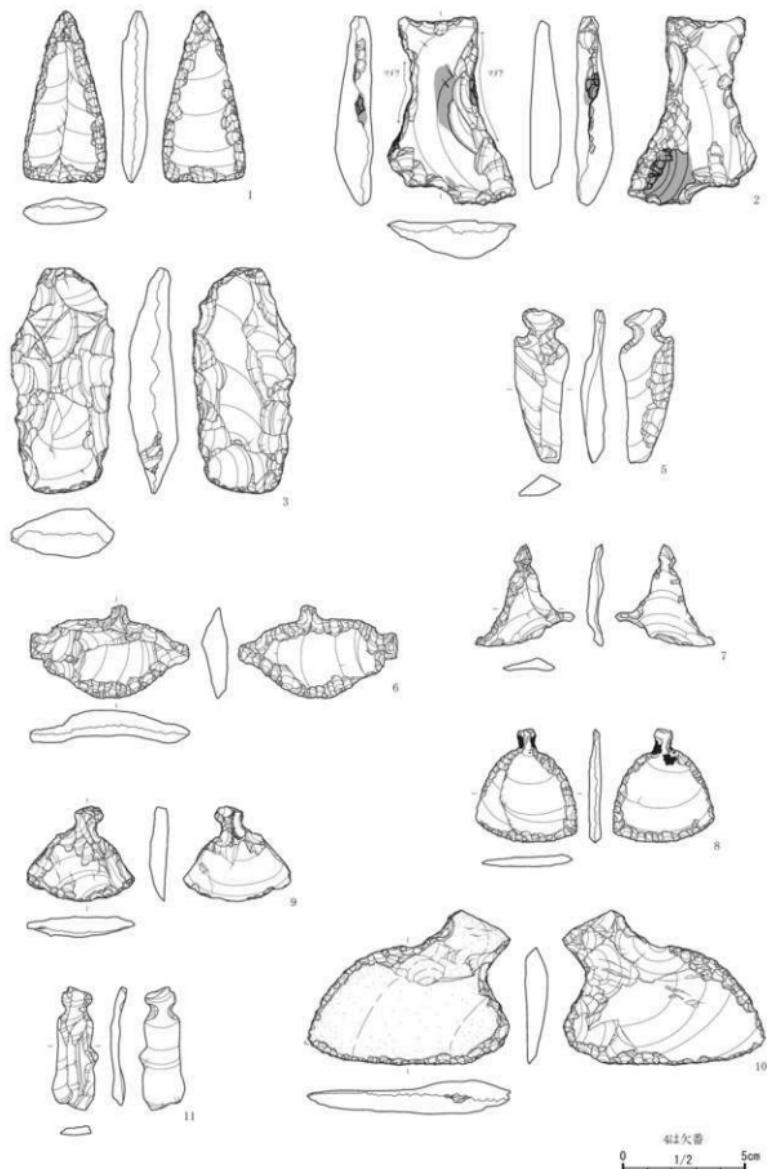


図38 石器・石製品（2）

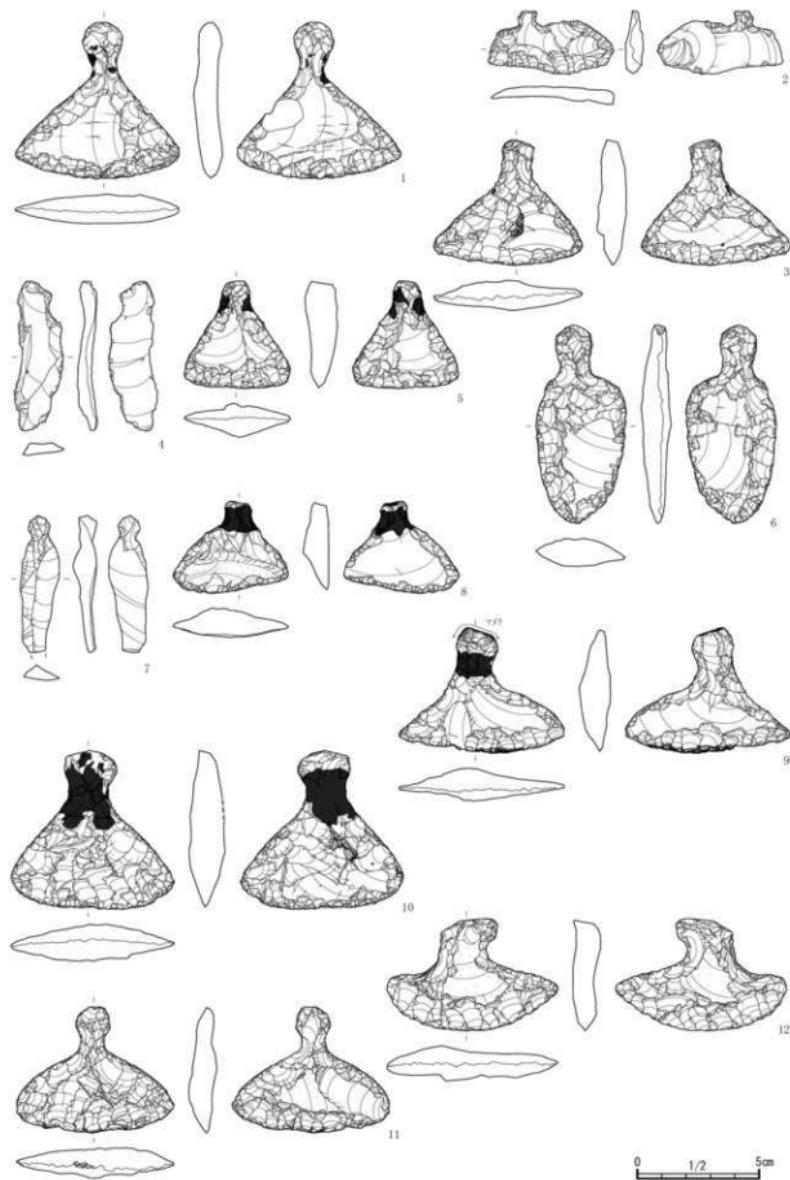


図39 石器・石製品（3）

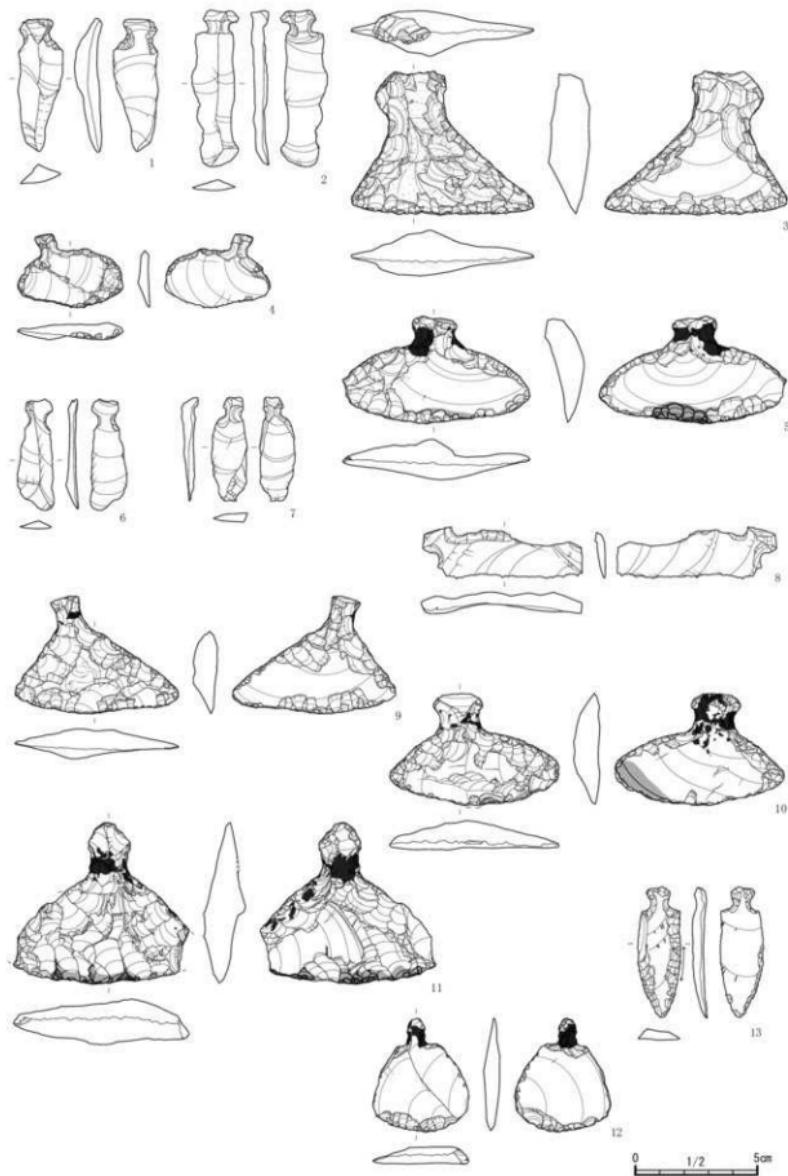


図40 石器・石製品(4)

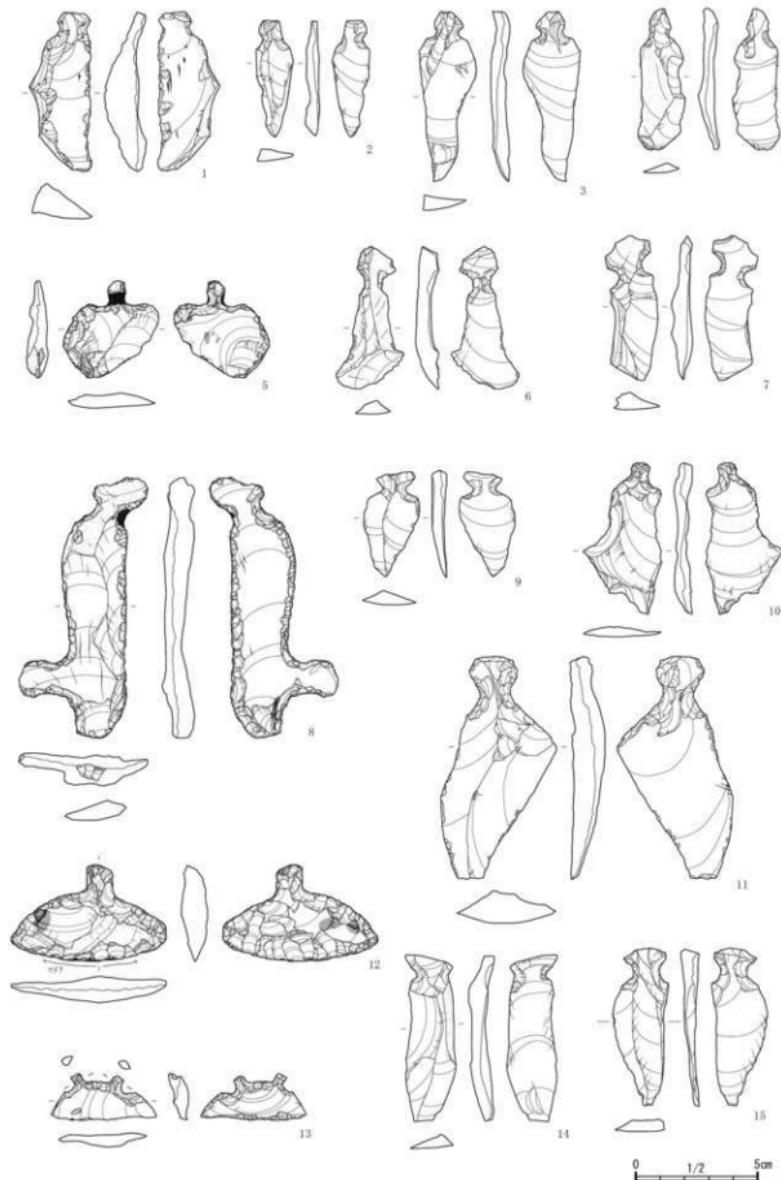


図41 石器・石製品（5）

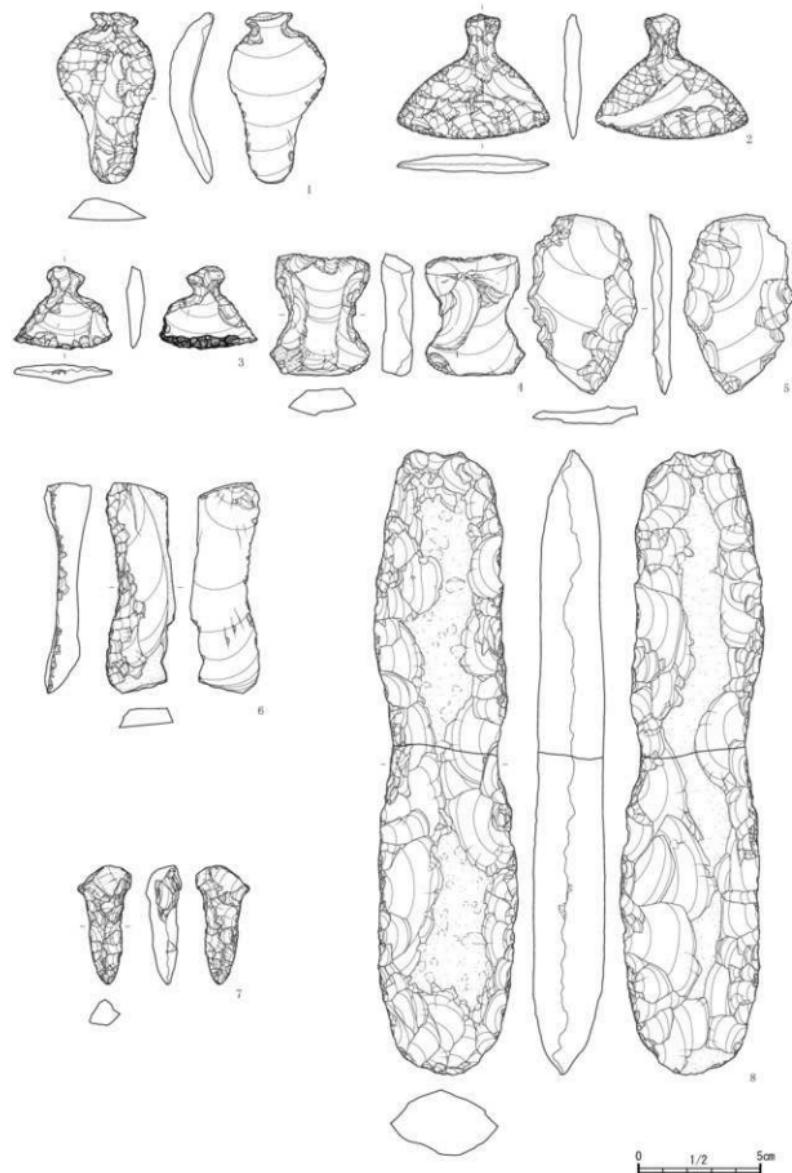


図42 石器・石製品（6）

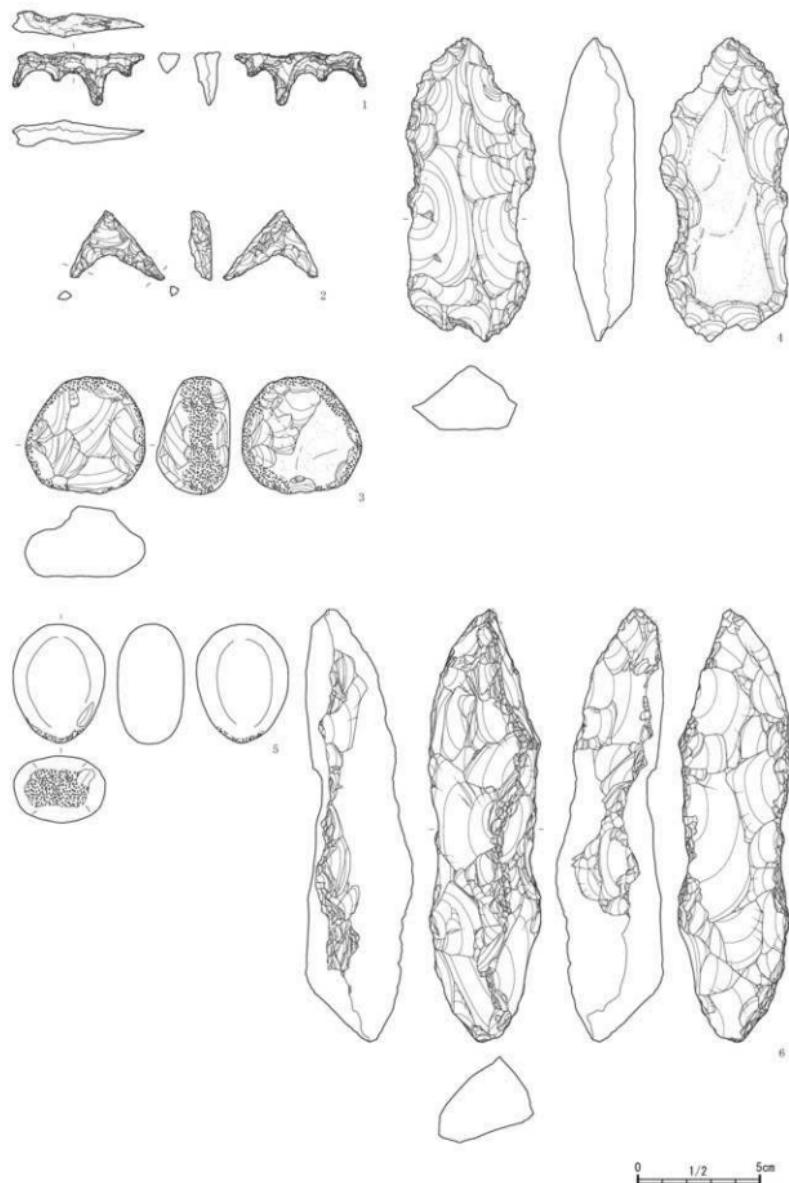


図43 石器・石製品（7）

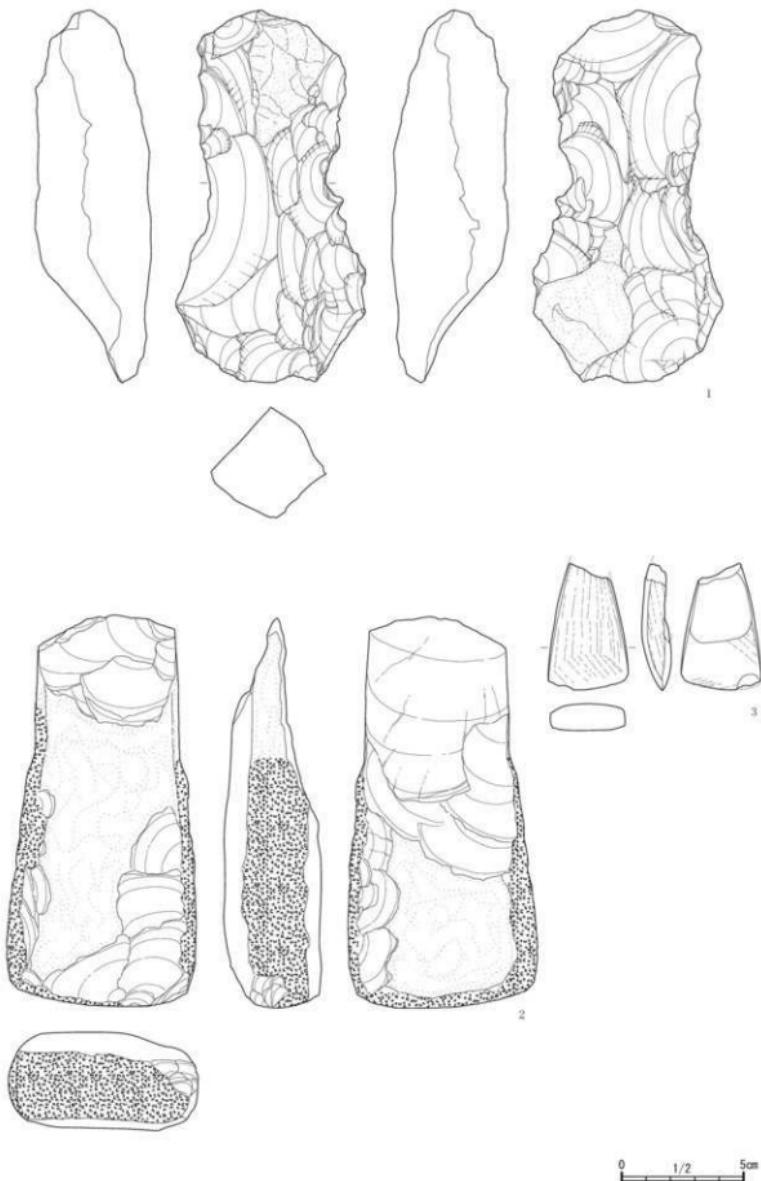


図44 石器・石製品（8）

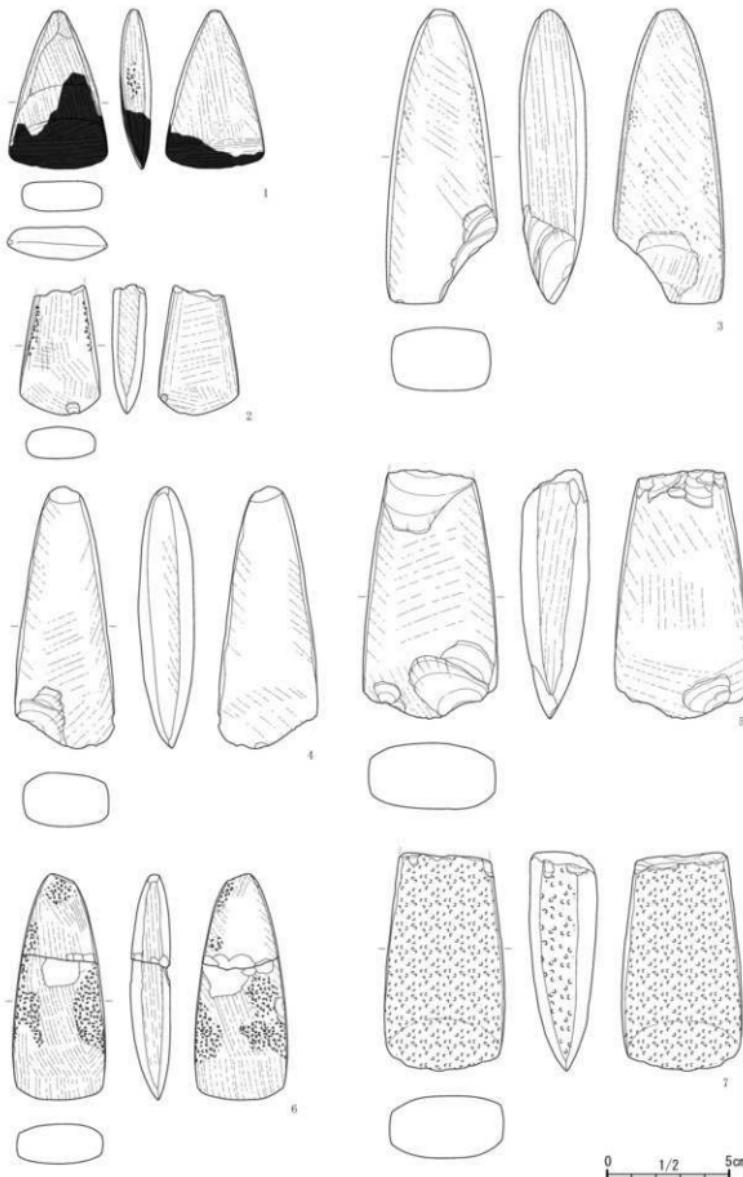


図45 石器・石製品（9）

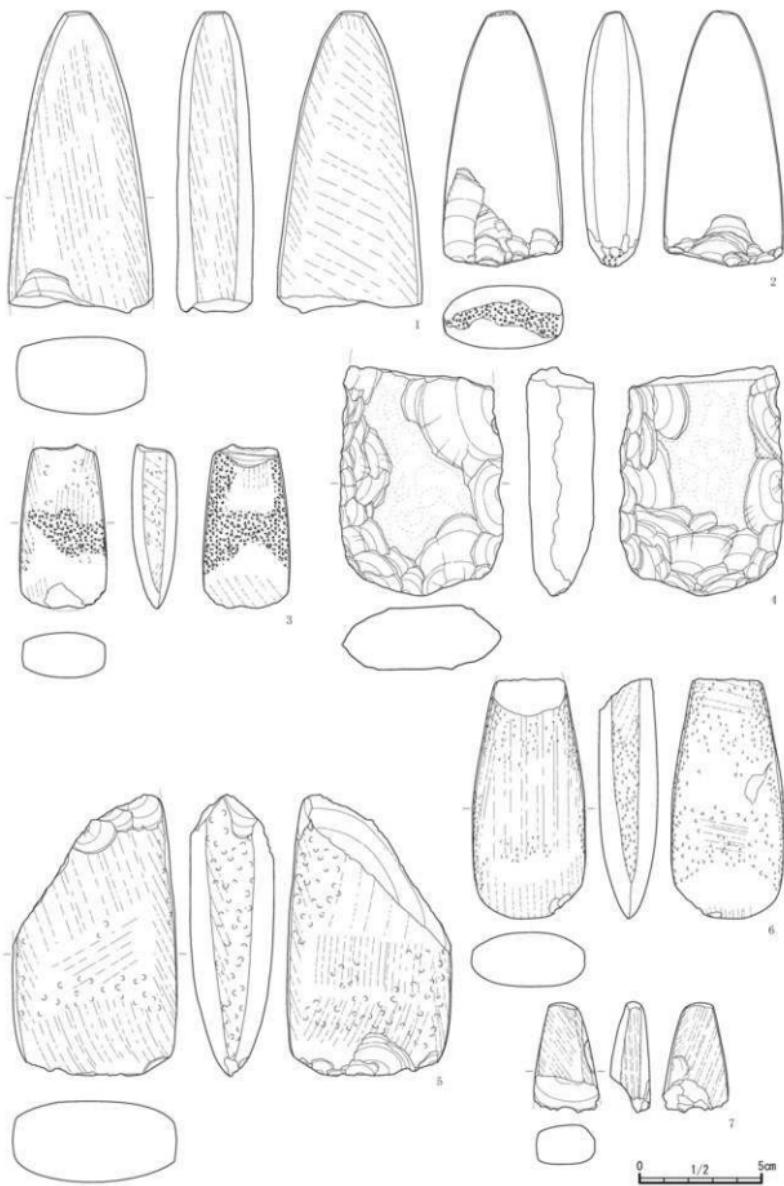


図46 石器・石製品(10)

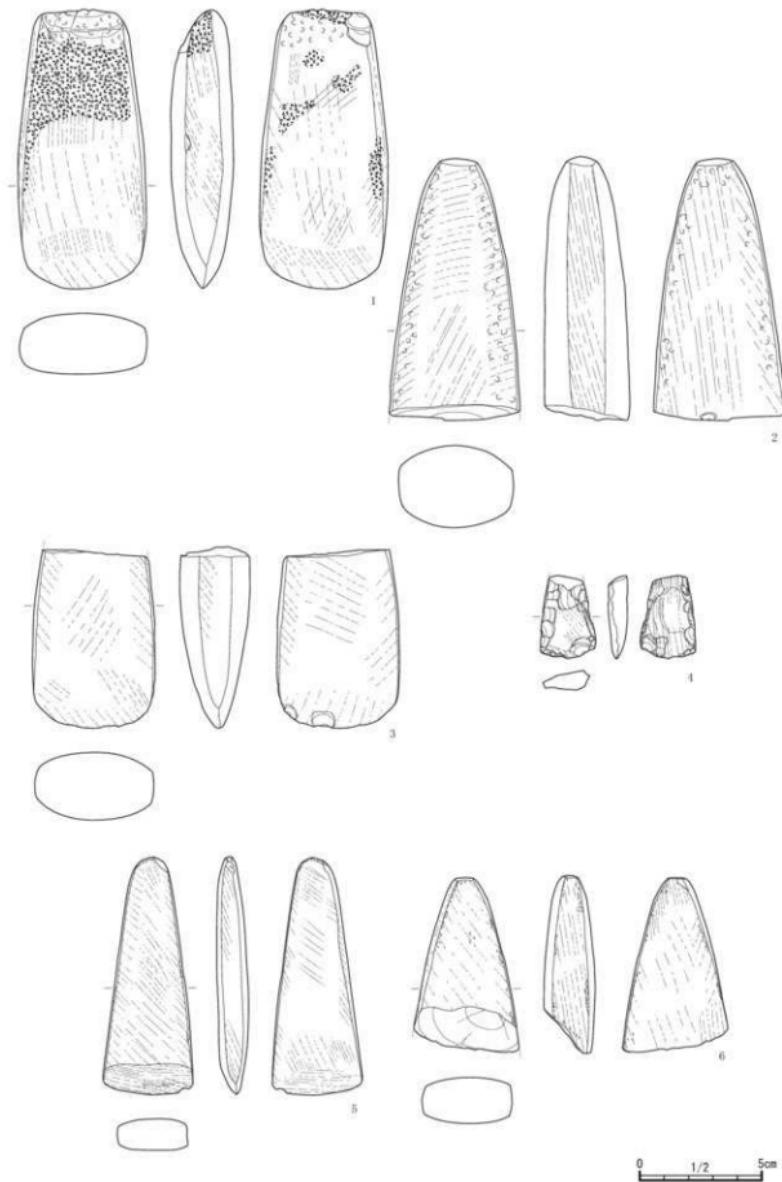


図47 石器・石製品 (11)

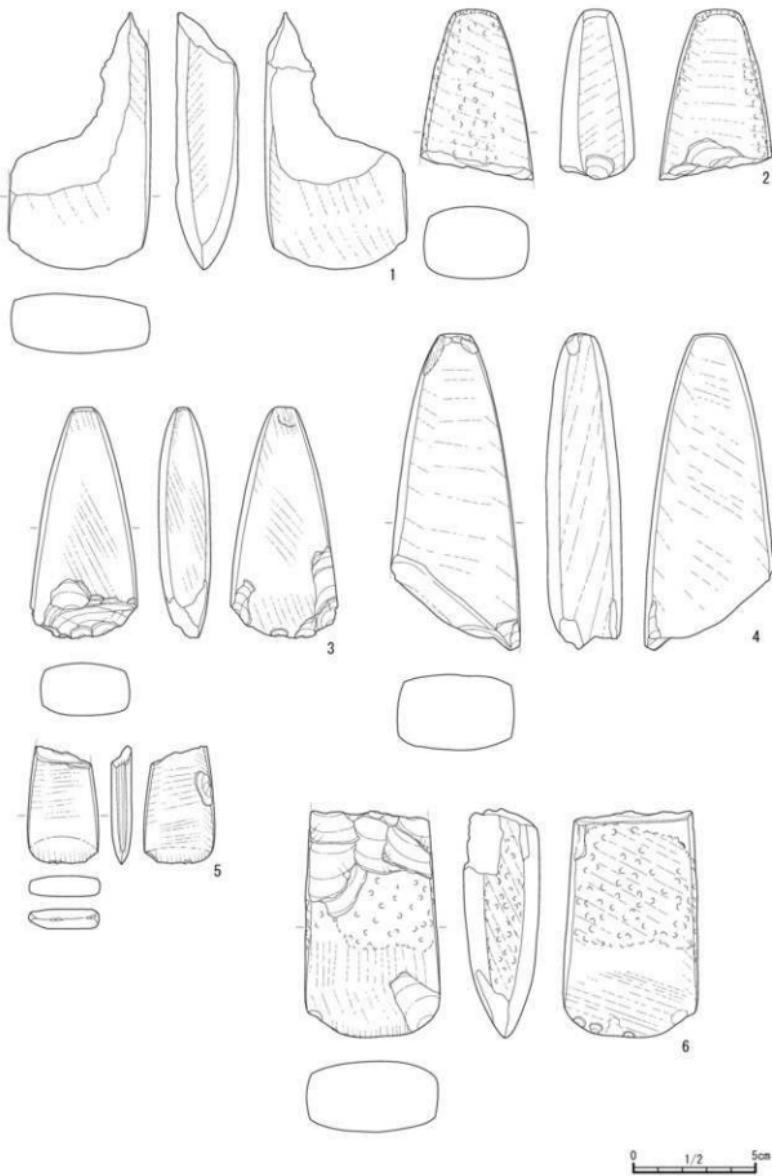


図48 石器・石製品 (12)

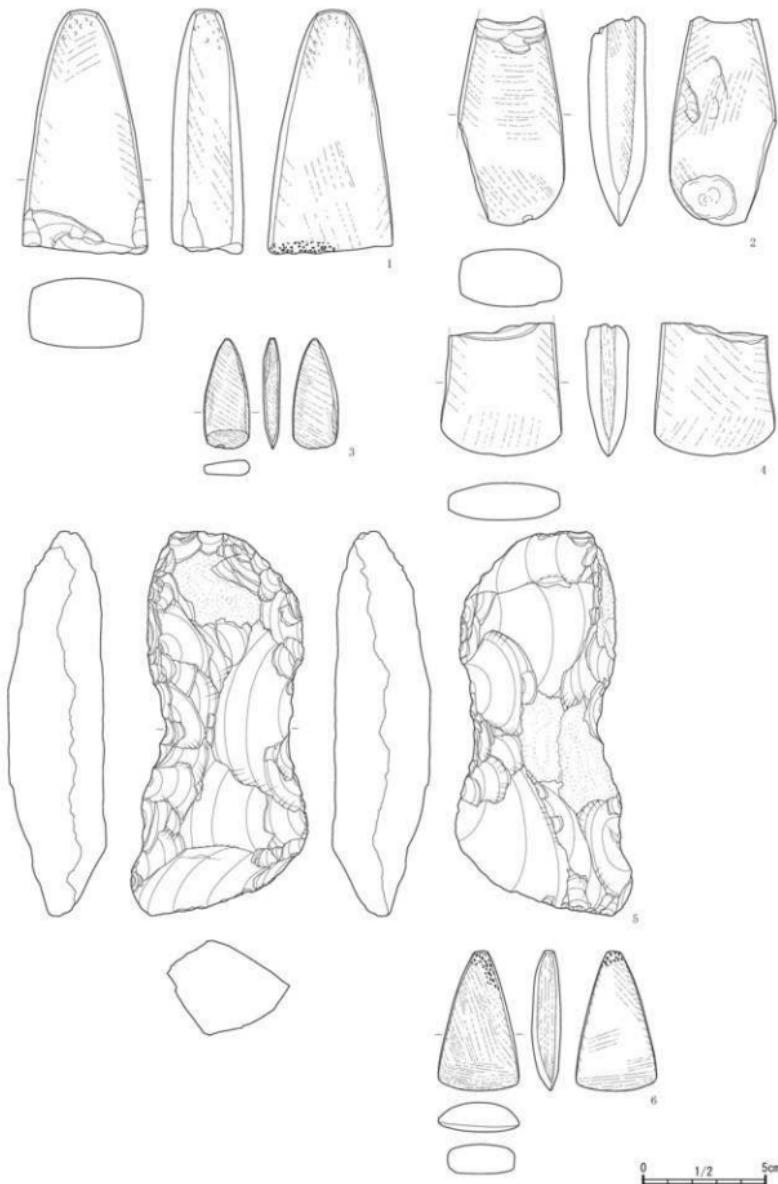
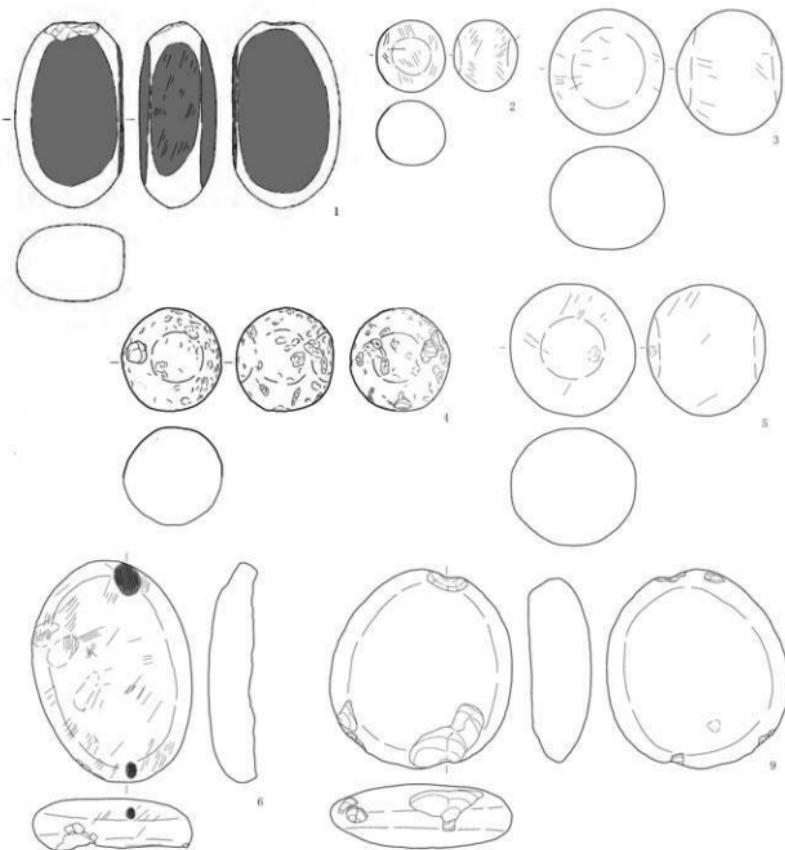


図49 石器・石製品 (13)



7・8は欠番

0 (3+5) 1/2 5cm  
0 (1+2+6+9) 10cm

図50 石器・石製品 (14)

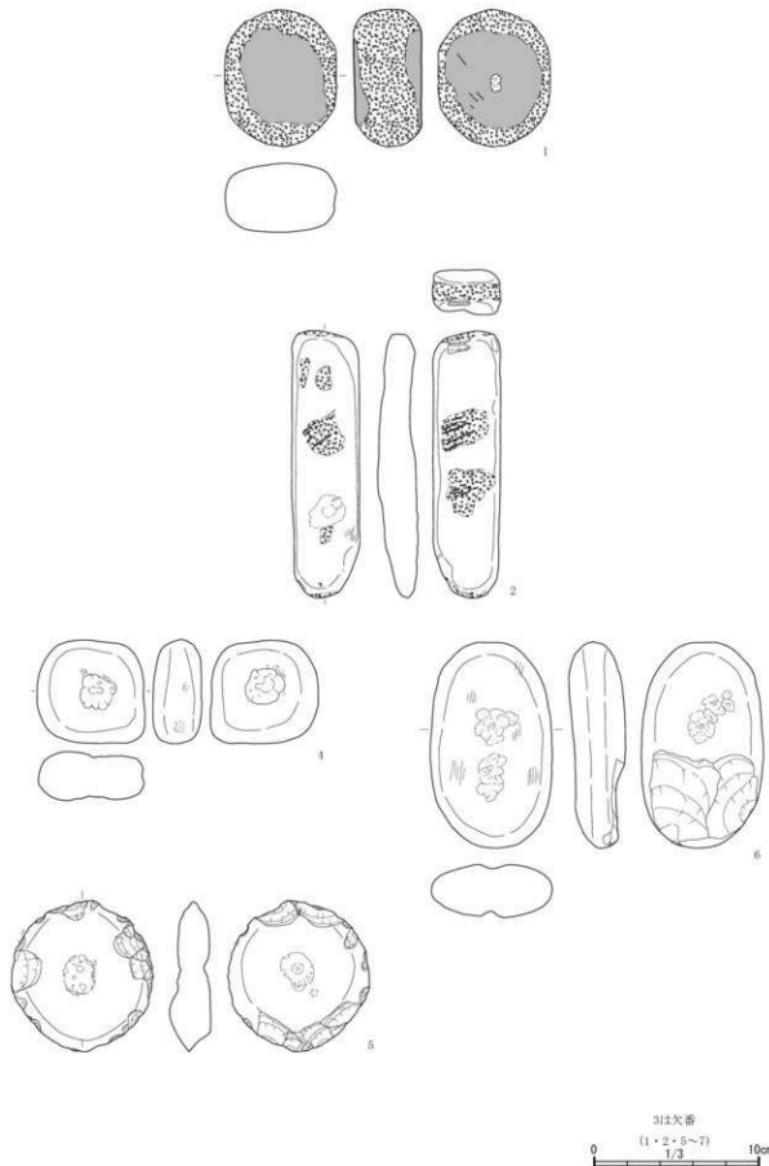


図51 石器・石製品 (15)

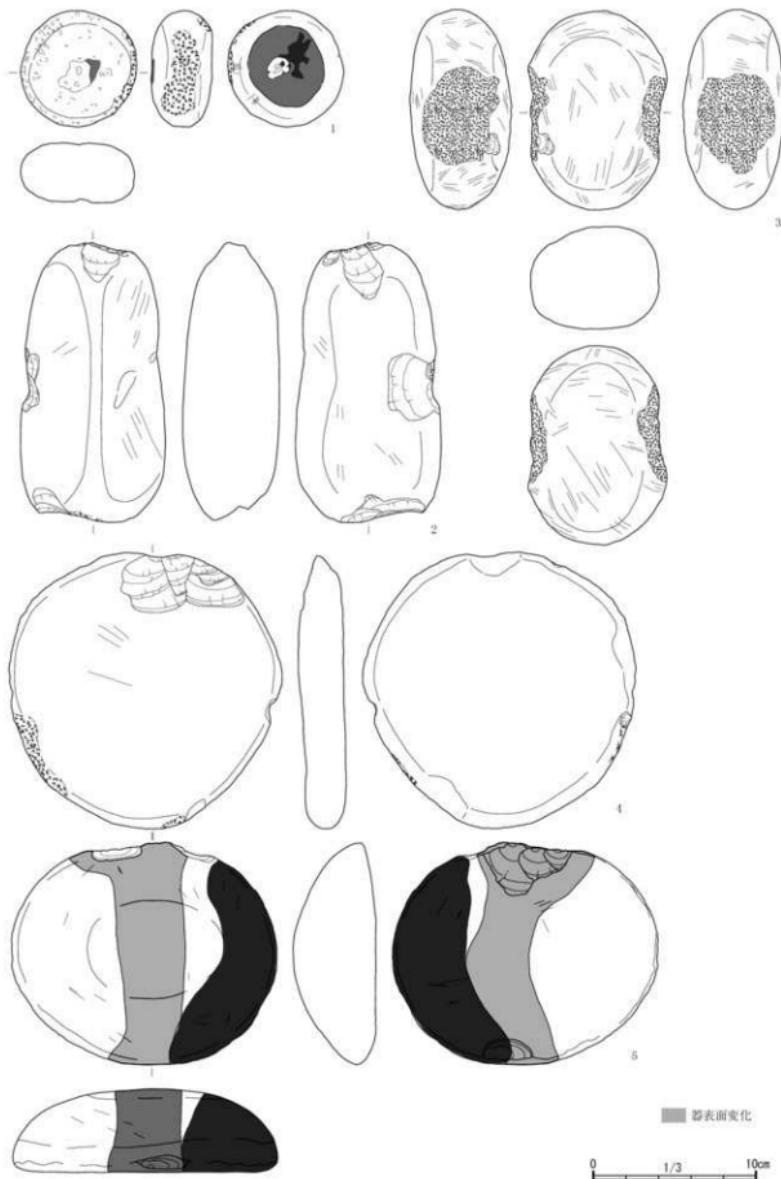


図52 石器・石製品 (16)



図53 石器・石製品 (17)



図54 石器・石製品(18)

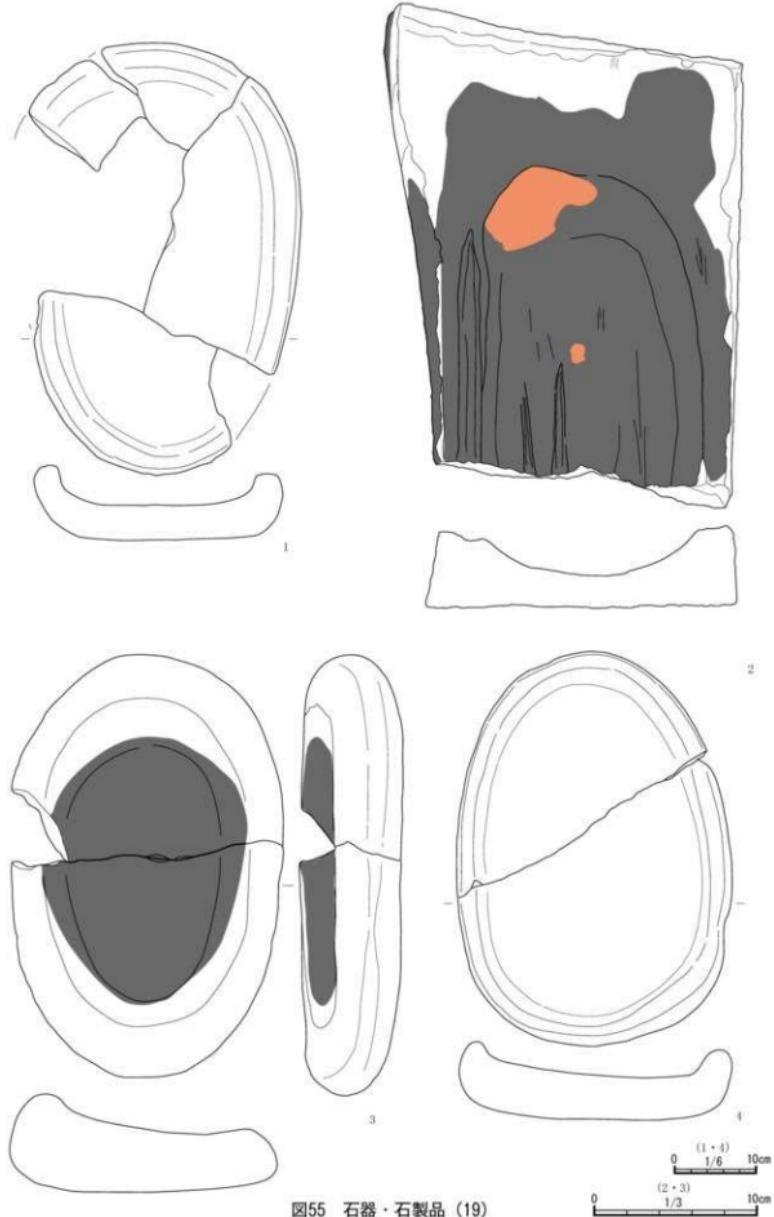


図55 石器・石製品 (19)

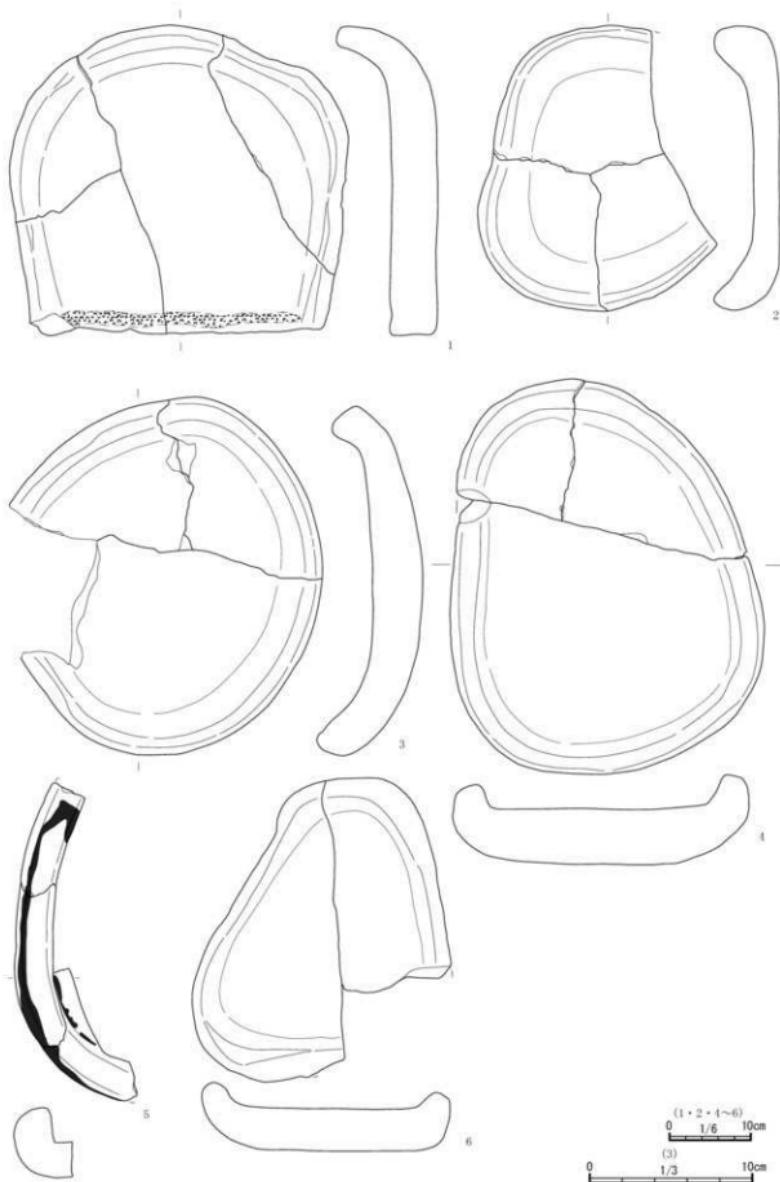


図56 石器・石製品 (20)

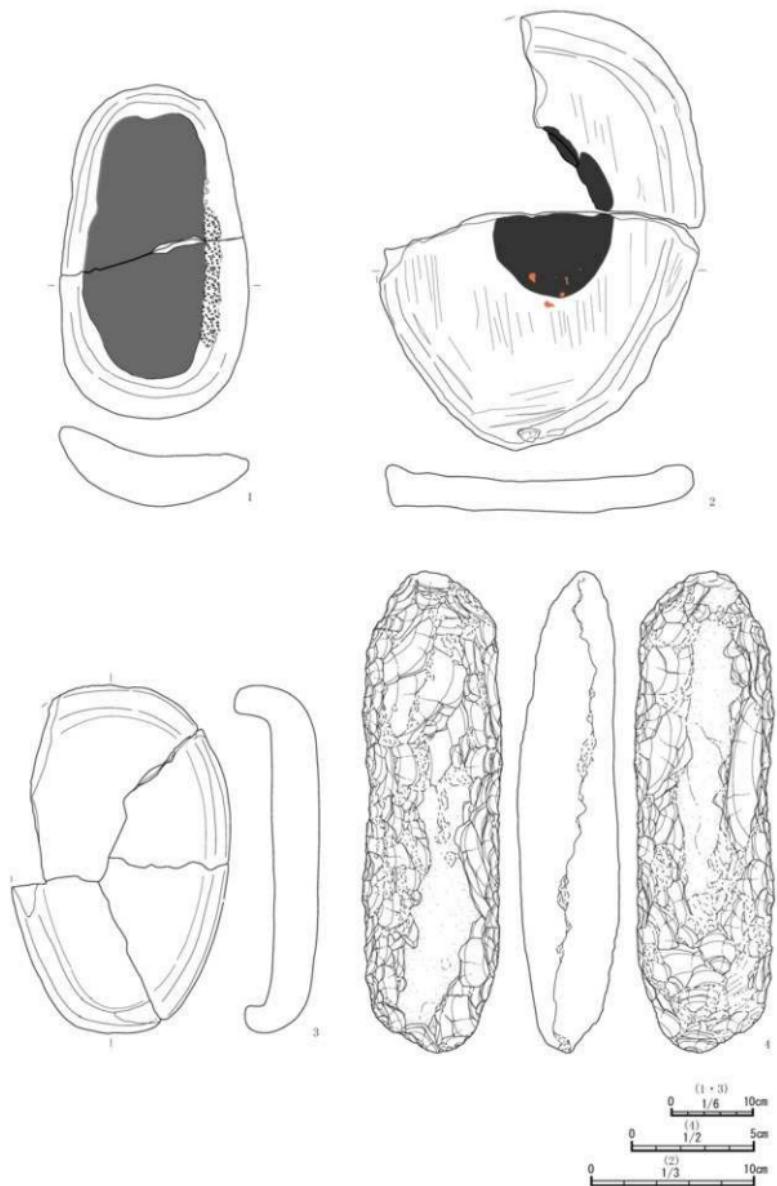


図57 石器・石製品 (21)

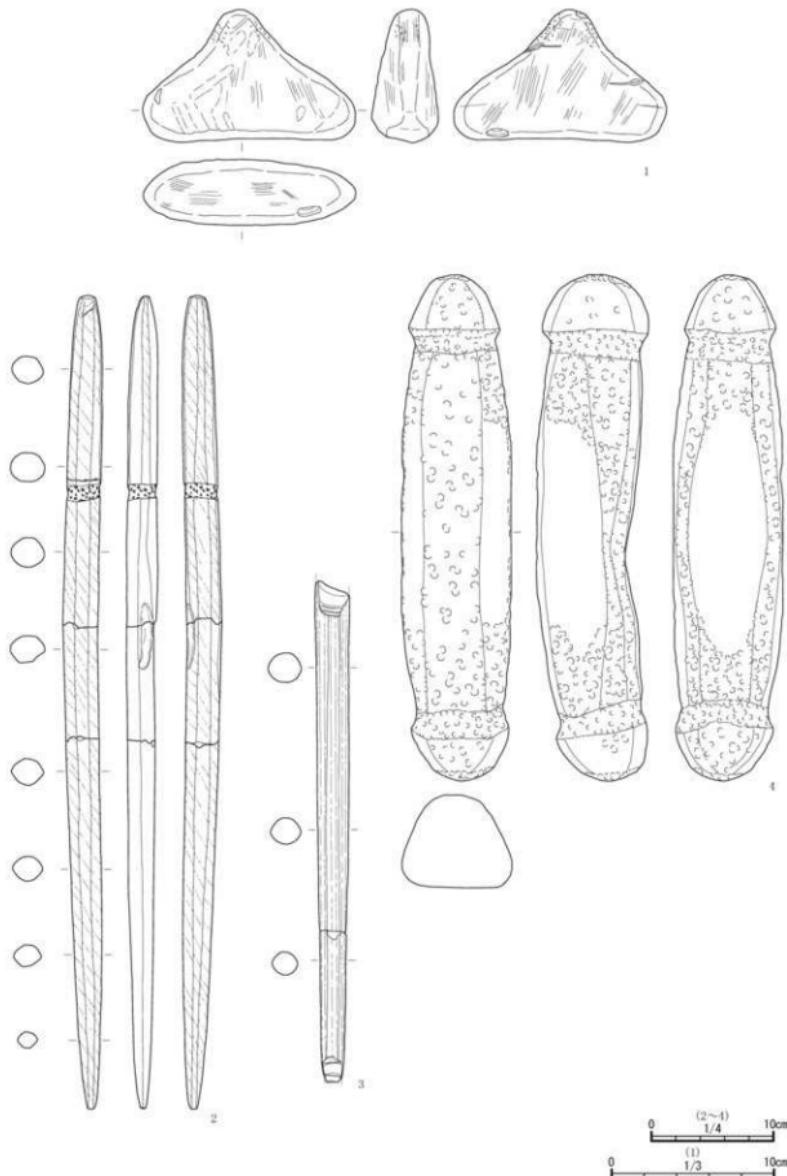
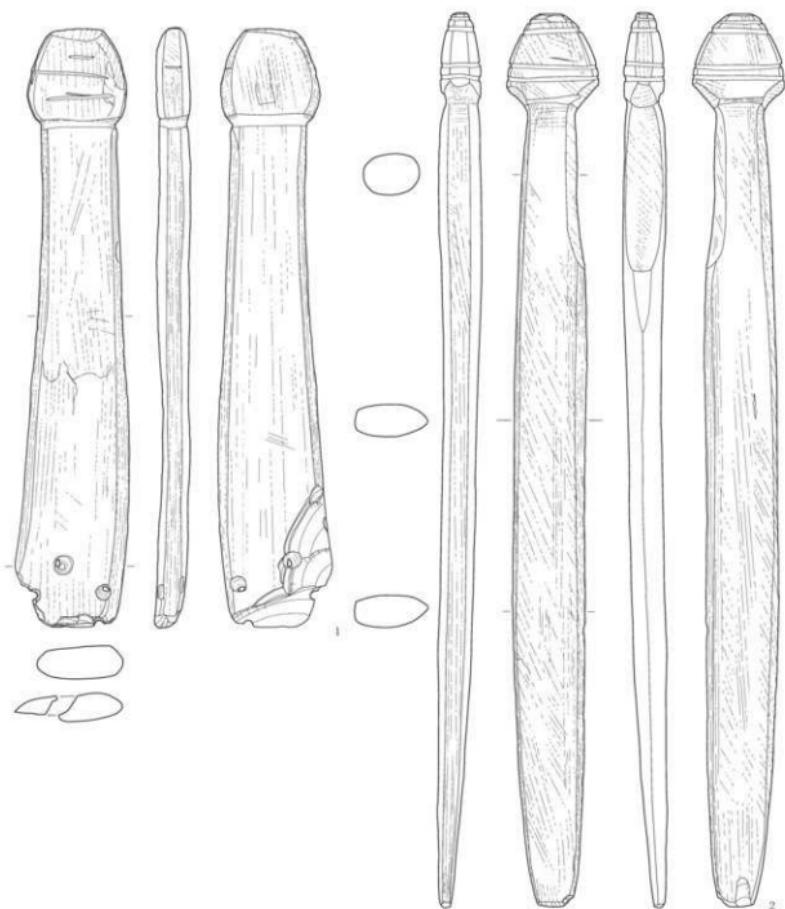


図58 石器・石製品 (22)



0 1/2 5cm

図59 石器・石製品 (23)

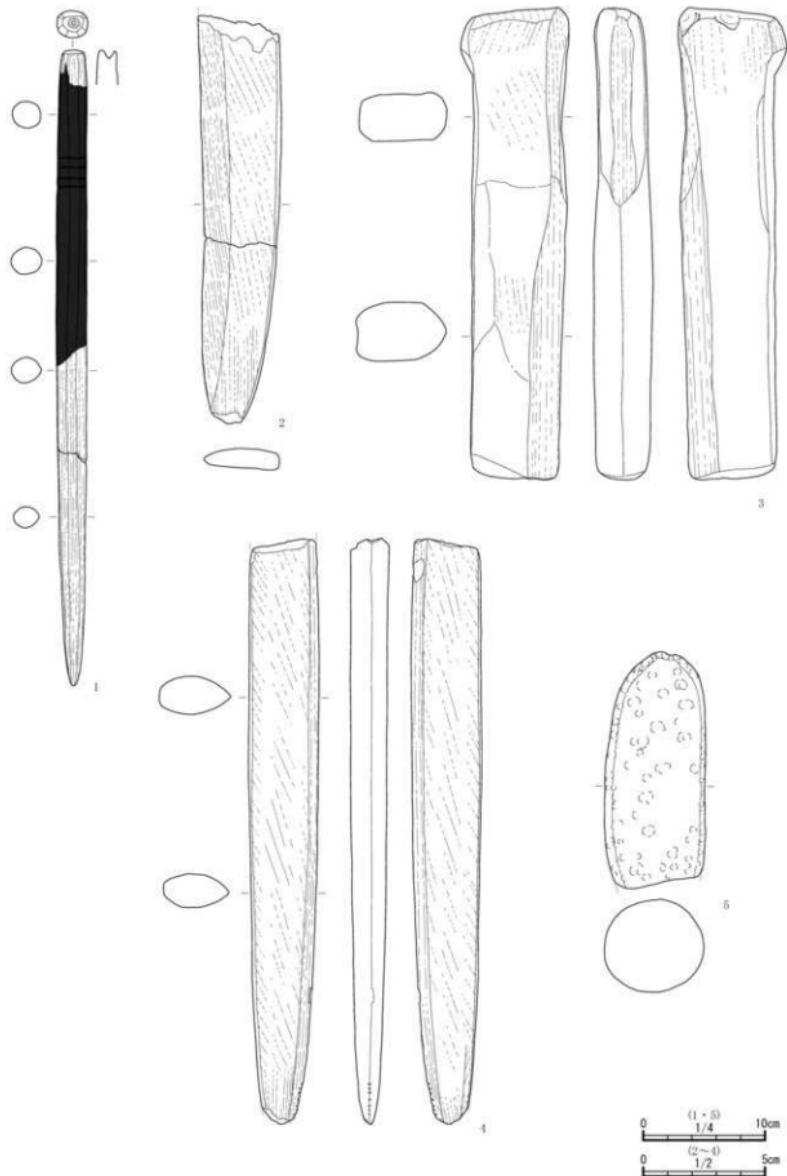


図60 石器・石製品 (24)

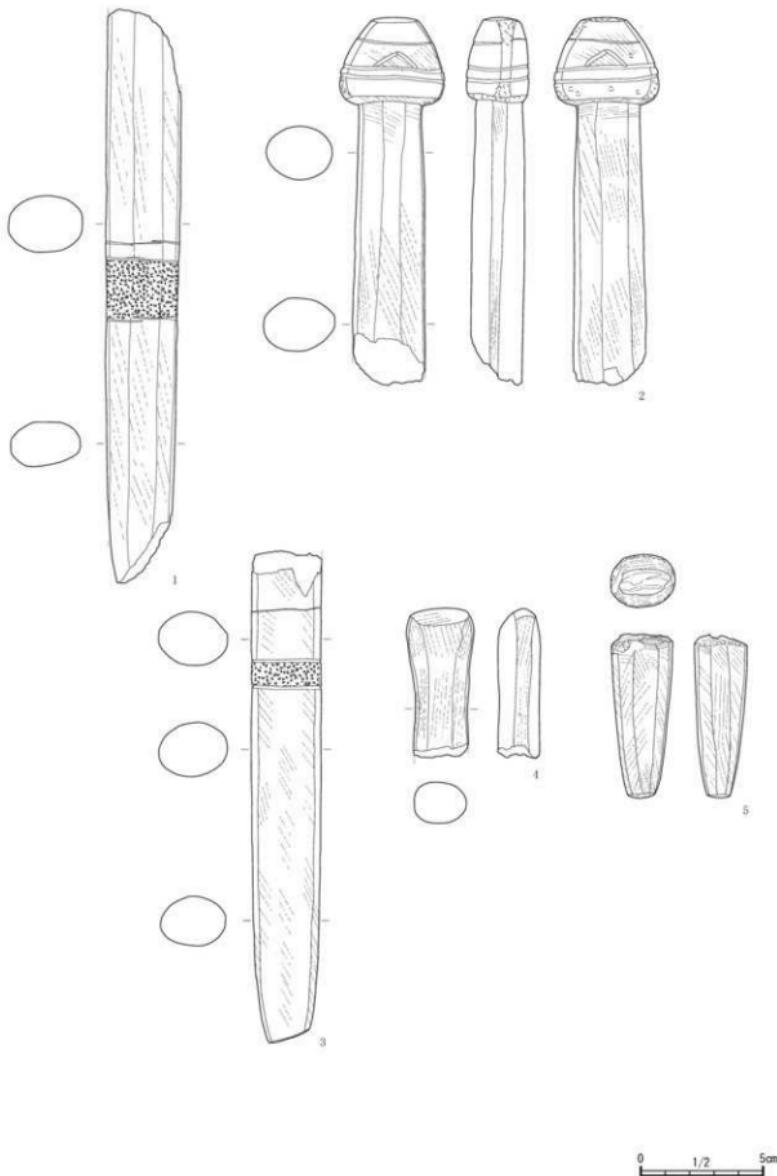


図61 石器・石製品 (25)

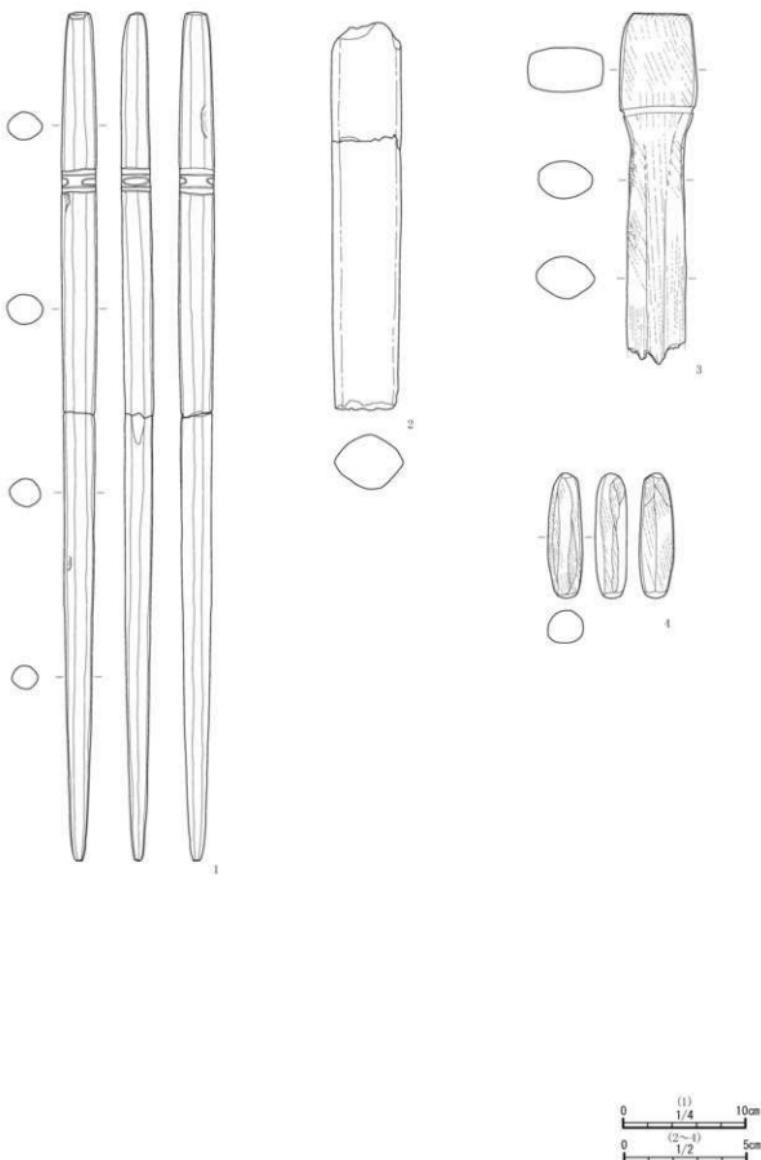


図62 石器・石製品 (26)

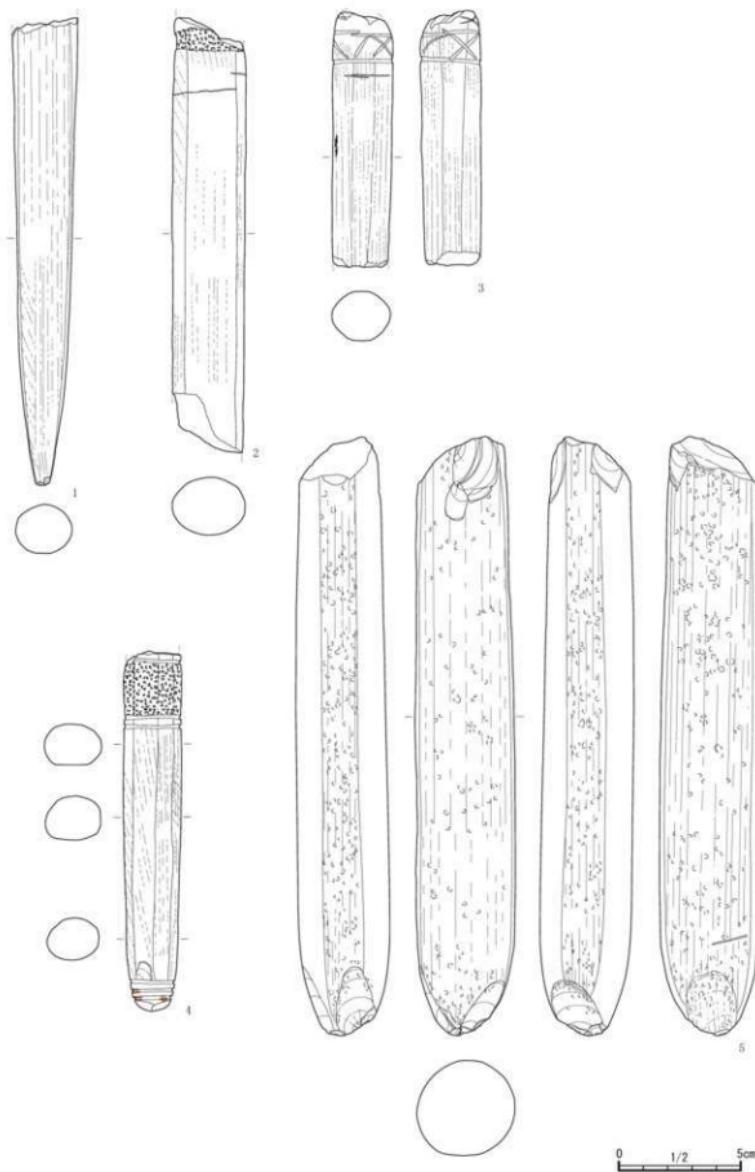


図63 石器・石製品 (27)

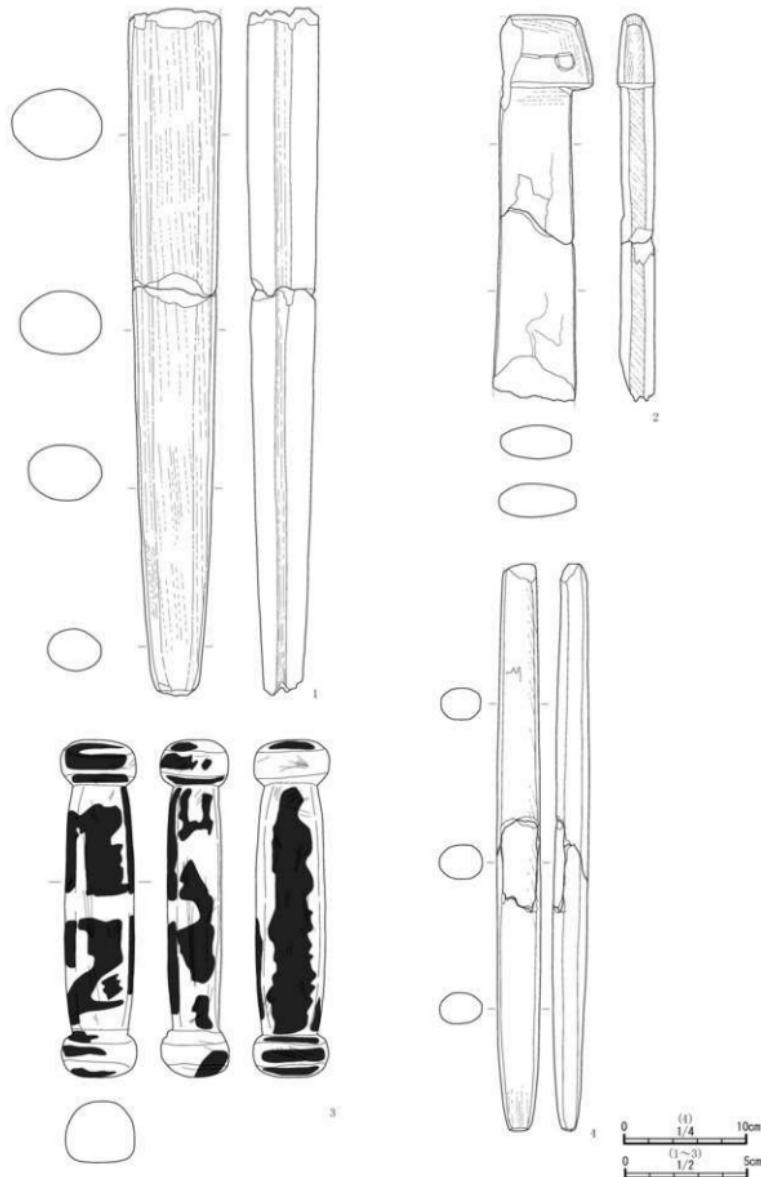


図64 石器・石製品 (28)

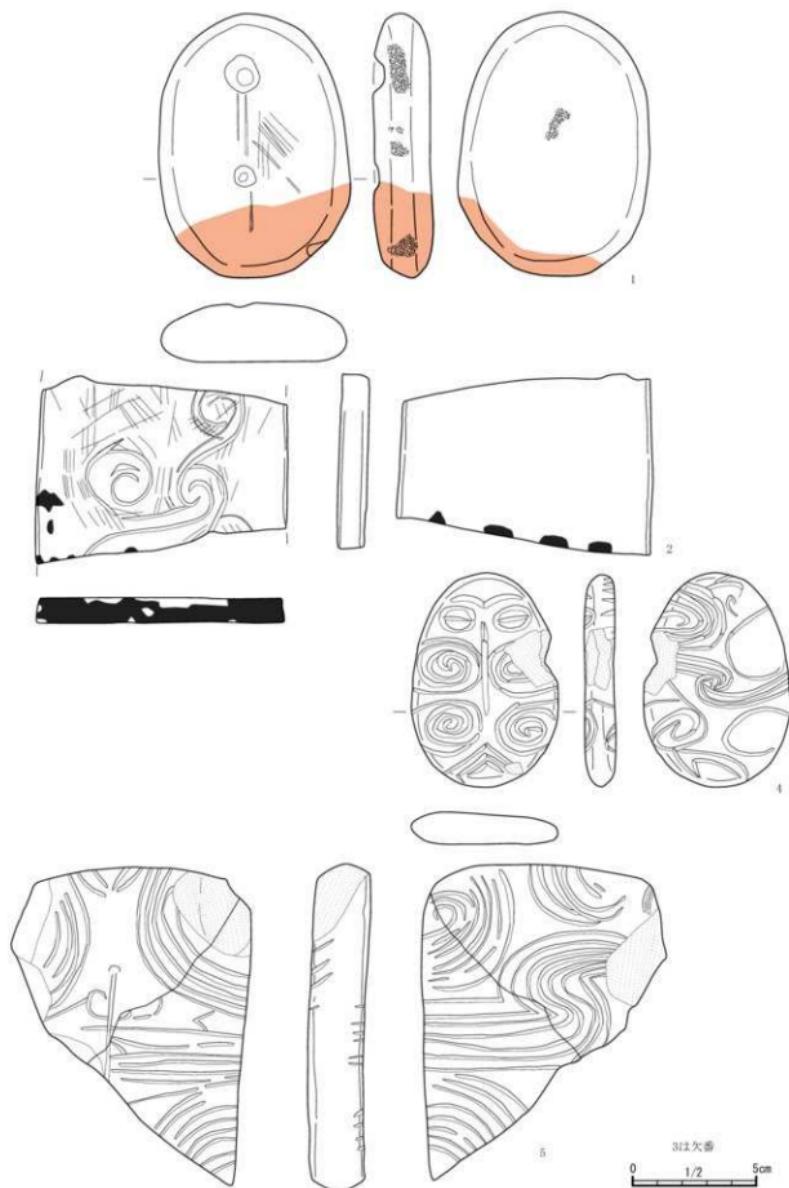


図65 石器・石製品 (29)

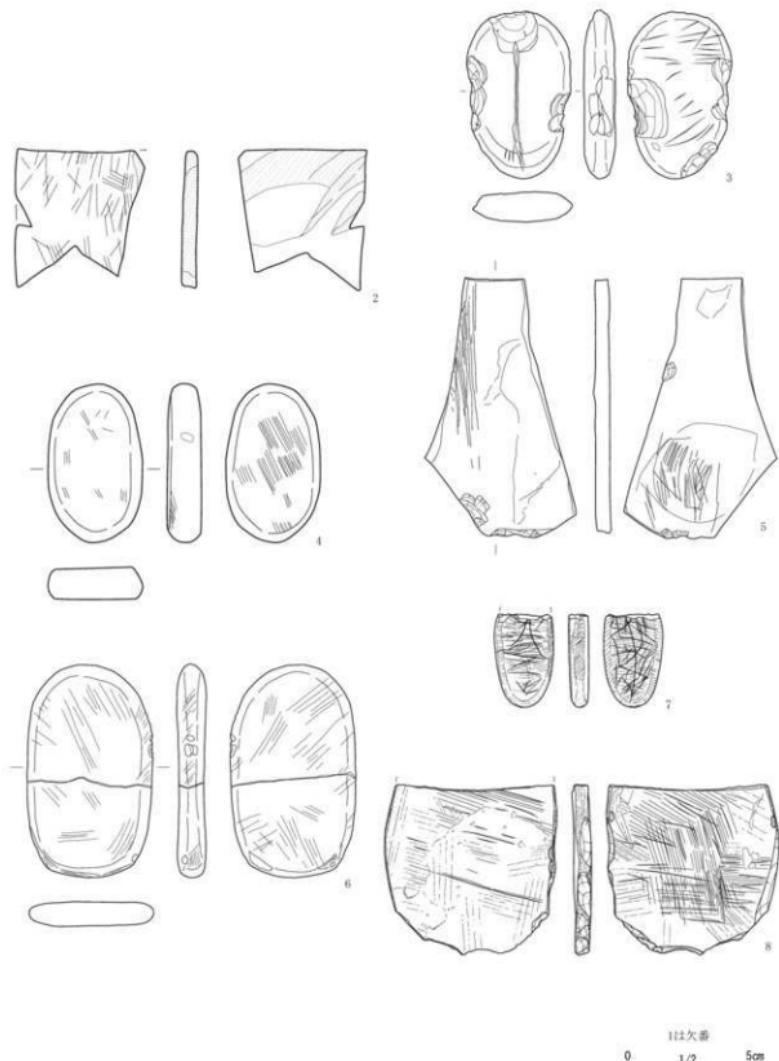


図66 石器・石製品 (30)



図67 石器・石製品 (31)

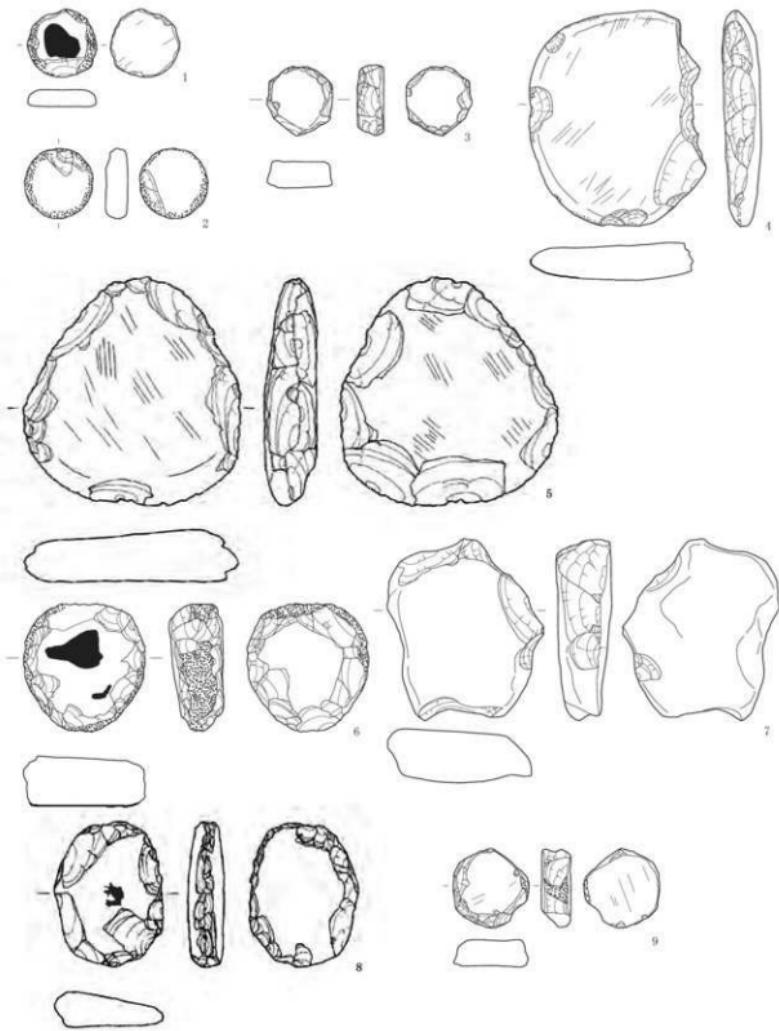


図68 石器・石製品 (32)

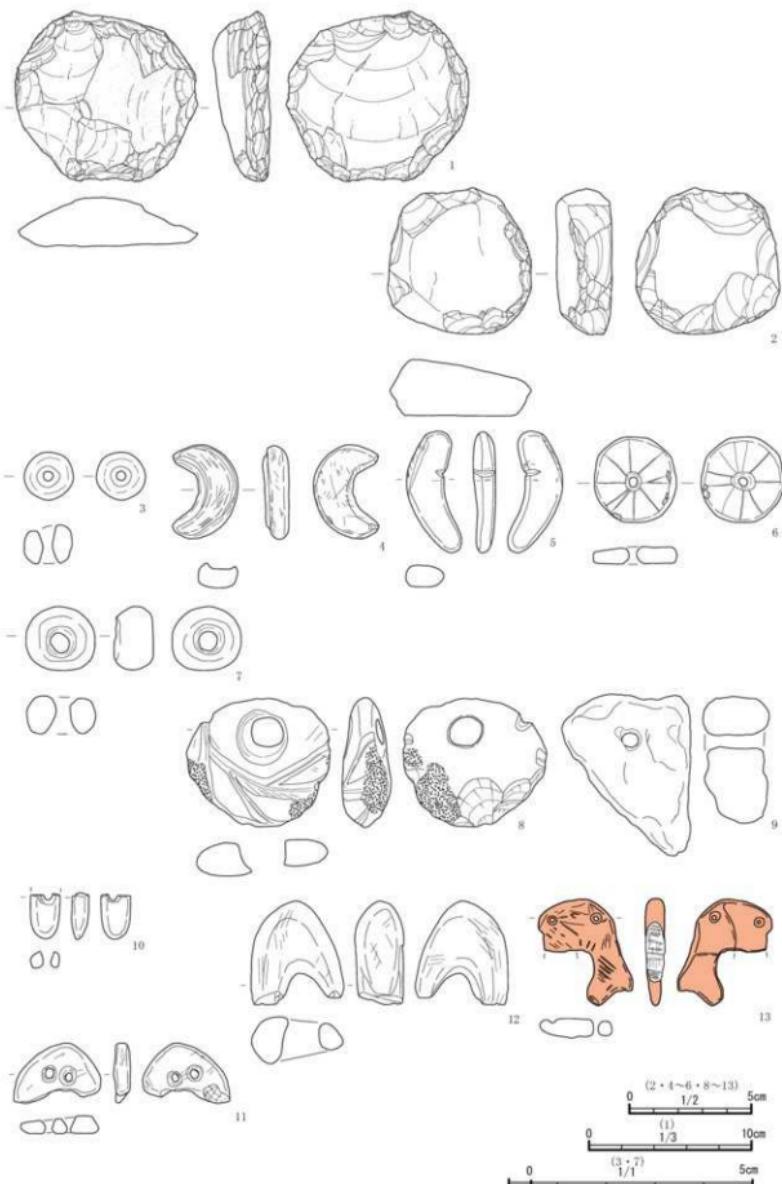


図69 石器・石製品 (33)

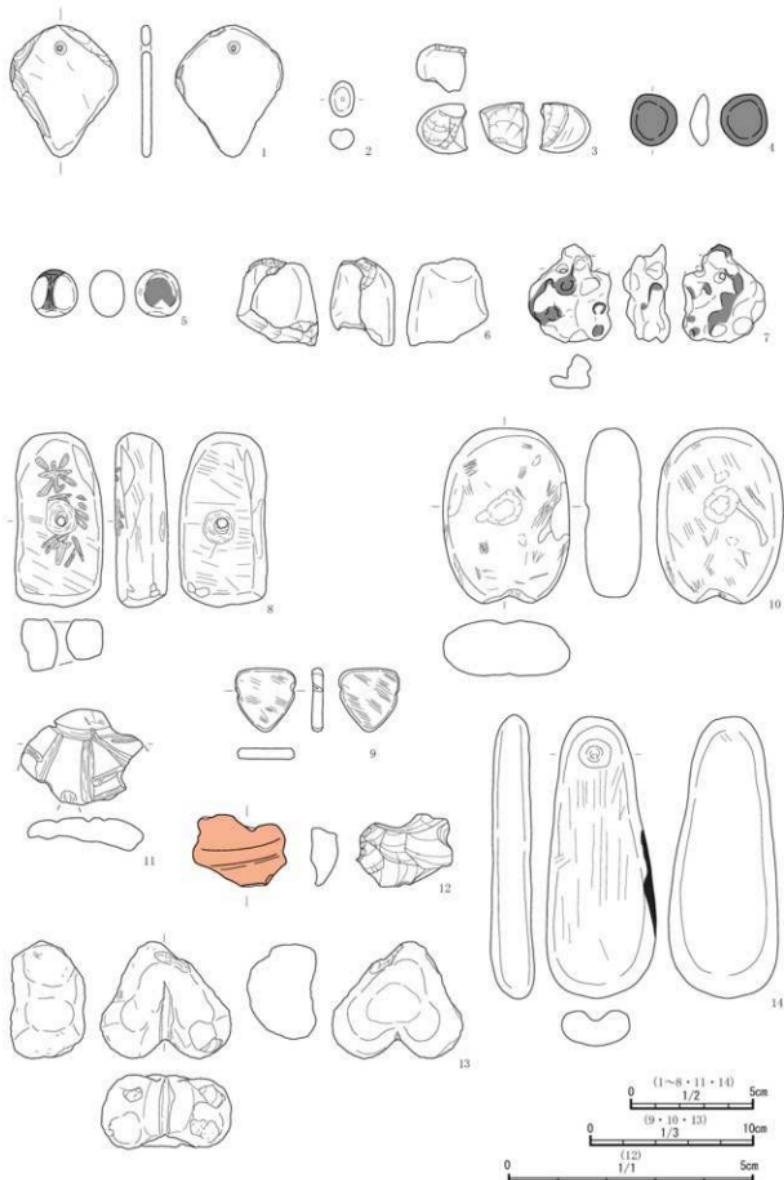


図70 石器・石製品 (34)

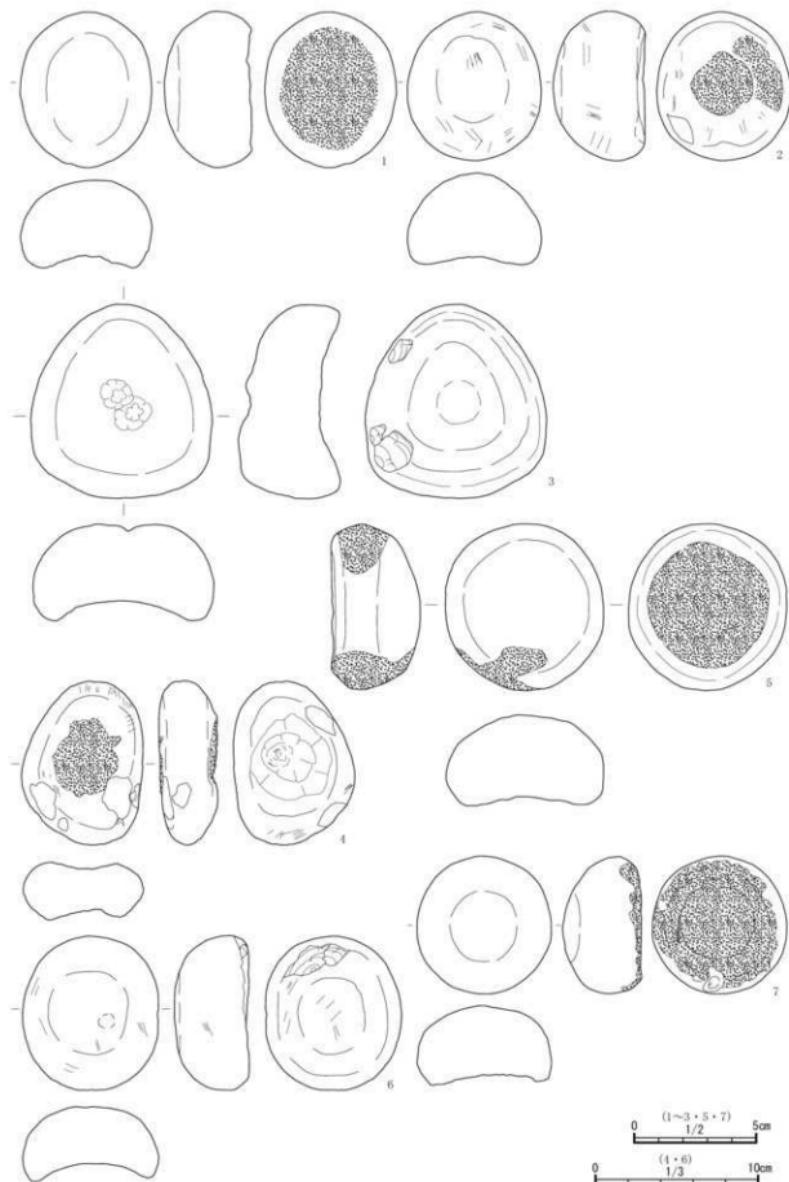


図71 石器・石製品 (35)

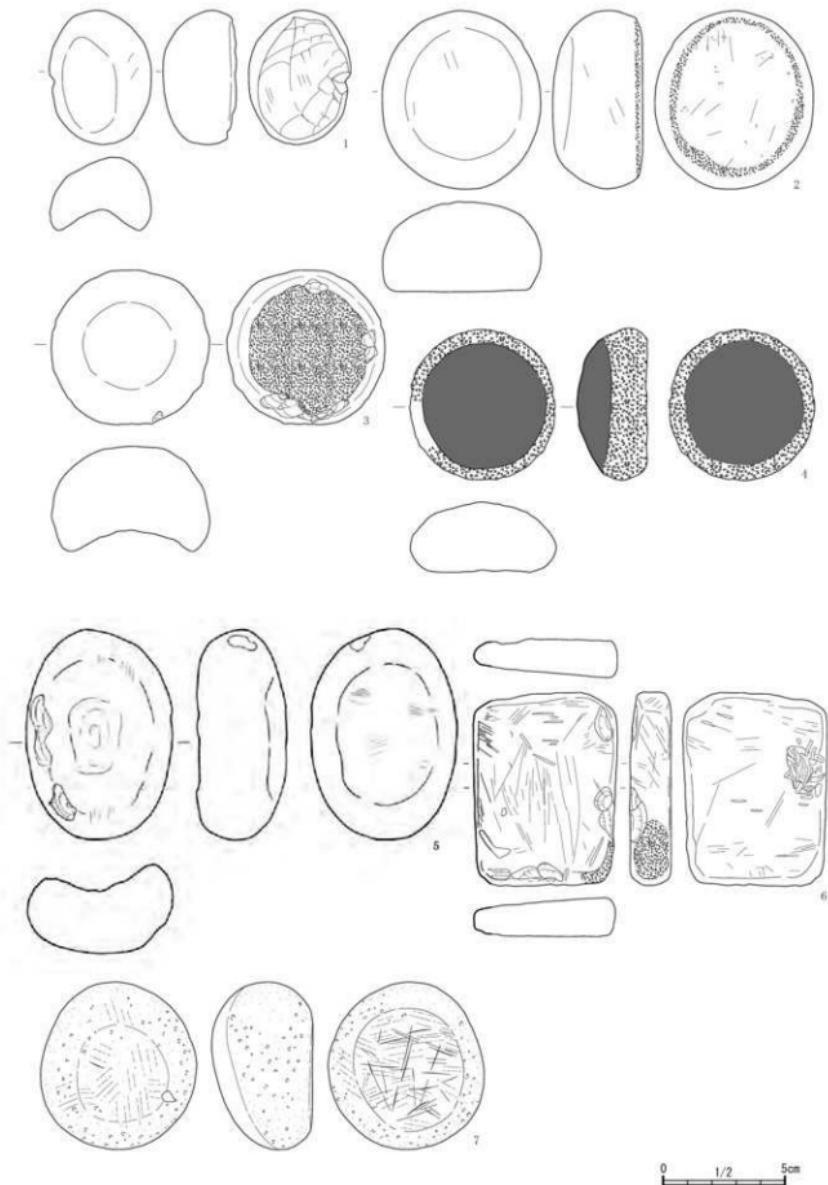


図72 石器・石製品 (36)

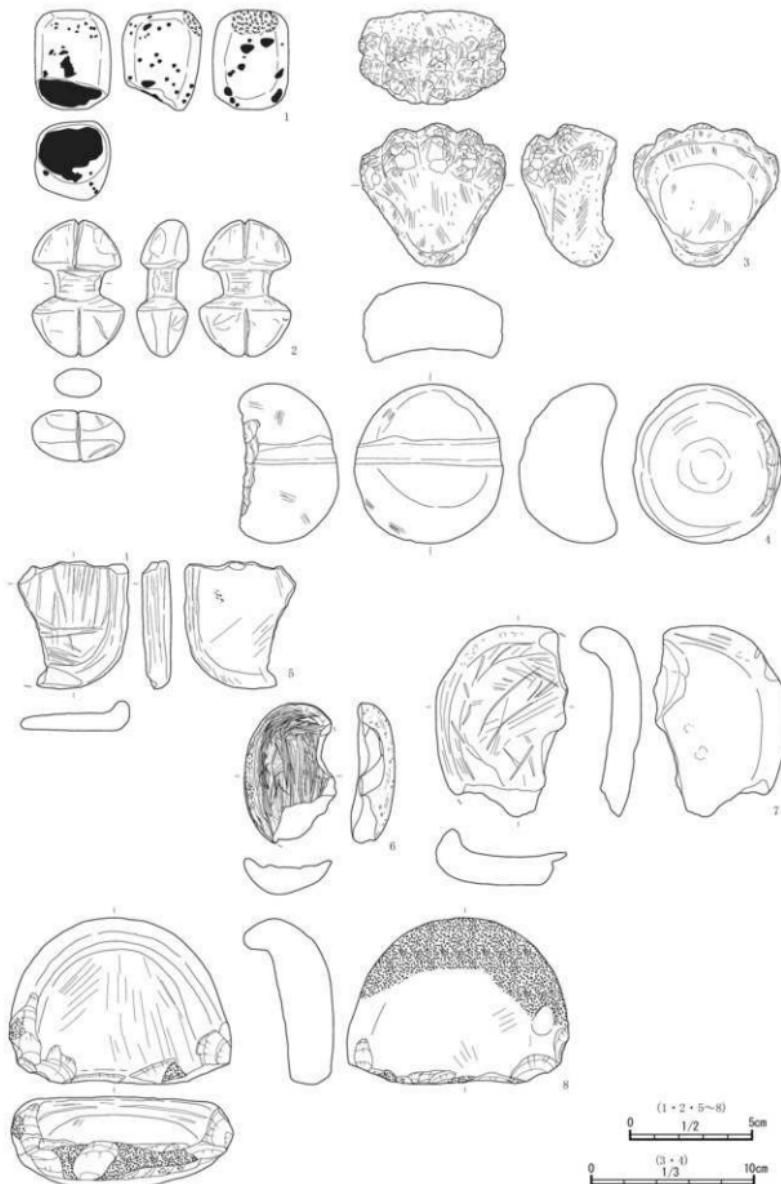


図73 石器・石製品 (37)

## 6 その他の遺物（植物製品・骨角器）

## 【植物製品】（写真197）

グリッド VM-39、振替31層（炭a層）から、植物の繊維を編んだものや、撚り縄が出土している。炭化物層から出土しており、焼かれた製品が、炭等とともに廃棄されたと思われる。

写真197-1（植15-3）は、シナノキ属の樹皮素材であり、3本撚りである（写真197）。

写真197-2（植16）は、ヒノキ科根材であり、網紐製品（もじり材）の断片と思われる。写真197-3（植16）は、箒類の茎の網組繩布である。

詳細は報告書Ⅷ（第580集）を参照されたい。

## 【骨角器】（図74、写真図版198）

グリッド VM-38、振替20層（捨B2層）から、カモシカの角芯部が出土している。全体は白くなっているので、火を受けたと考えられる。角芯の先端部分に擦切痕（写真198、拡大写真）が見られ、何かしらの加工が行われた。

（高橋）



図74 骨角器

## 第3章　まとめ

### 1 北捨場の堆積について

#### (1) 検討するセクションの選択

北捨場では、厚さ2m近くの遺物包含層が形成されている。堆積層の内容は、地点、層の上下などで変異があり、その形成には様々な要因が絡んでいた。ここでは、北捨場の主要なセクションであるセクション9,10,11における遺物・堆積層データを元に、北捨場の形成過程などについてまとめる。

セクション9は北捨場の西側に位置し、平場地区にある第1号盛土遺構(M1)との関係が押さえられるセクションである。セクション10は北捨場の中央部分に位置するセクションである。セクション11は北捨場の中央を東西に走るセクションであり、緩斜面と急斜面の境にある。そして、セクション9と10に連続しているので、両者の関係を捉えるのに必要なセクションである。

この3本は、調査の際に、幅約2m近くのベルトを残して掘り進めたので、セクションの堆積層に従って遺物を取り上げており、比較的他の層からの混入が少ない部分である。

#### (2) 各セクションの内容

【セクション9】後期後葉から晩期後葉の遺物が出土している。出土土器から各層の下限時期を比定すると、図75のとおりである(表1~3参照)。堆積層は、晩期後半とそれ以前に大別できる。その大別の中で、上下層における時期の逆転が部分的に見られる。地山は、斜面上方は疊層であるが(写真4-2など)、下は疊混じりの粘土層になる(写真7-1など)。

Sec9-1で第1号盛土遺構の堆積層が連続する。層の詳細は、報告書Ⅲ(第565集)を参照してもらうとして、簡単に推定時期を示すと、10層は、第22層に相当し、晩期後半段階の層である。11層は、第23層に相当し、晩期前半段階の層である。

晩期後半の堆積層は、緩斜面と急斜面の2つの部分に分かれている。急斜面部は、堆積層に礫が多く含まれるが、子細に観察すると、かならずしも均一ではなく、堆積層の斜面下側に多く含まれている(振替97層のようにそれで分層した場合もある)。特に、地形の変換点部分、Sec9-3一帯、振替96層・振替97層辺りに多く礫が堆積し、そこから北側には礫の混入が散漫になる。晩期前半の層と比較して、層厚が薄く、細かな単位の堆積層が重複している。

比重の異なるものが上から一緒に投げられた際に、より重いものが下にたまる。晩期後半の堆積層に含まれている礫の混入状況は、斜面上側から、礫まじりの土砂が投棄されたことに起因していると思われる。

緩斜面側の振替8・76層などは、厚い層が堆積し、礫は含まれているが、急斜面側のように多量には含まれない。比較的均質な黒褐色土が堆積することから、急斜面からの自然流入と推定される。

後期後葉～晩期前半の堆積層は、振替101層あたりに礫が多く含まれるが、他は上層ほど含まれない。振替101層あたりは、地山が疊層なので、それらが混入したものと思われる。

後期後葉～晩期前半の堆積層は、後期後葉～晩期前半の土器が比較的良好な状態で混在する傾向が看取される一方、疊や地山塊の混入が少ない。このことから、後期後葉～晩期前半には土砂廃棄はほとんど行われず、遺物の廃棄が主体であったと推定され、晩期後半と比較して1つの層の堆積の時期幅が長いと想定される。層の堆積要因は、上からの遺物投棄および土砂の自然流入が想定されるが、その場での廃棄の可能性もある。

【セクション10】最下層で中期の土器が出土しているが、基本は晩期前葉から後葉の遺物が出土している(図75)。晩期後葉とそれ以前に大別でき、その大別の中で上下層における時期の逆転が見られる。地山は、斜面上の方もシルト質層である(写真10-1など)、下は礫混じりの粘土層になる(写真16-1など)。最下層(振替129層)は地山への漸移層である。無遺物層に近いが、捨Q層あたりは晩期5期の遺物が出土している。調査時に晩期後半の土器を確認していない上、遺物も多く出土したわけではないので、混入の可能性がある。

晩期中葉～後葉(晩期4～5期)では、セクション9同様に比較的細かな単位の堆積層が急斜面側に堆積し、緩斜面側は、厚い堆積層が見られる。中に見られる含有物など層相も類似しており、基本同じ成因で形成されたと思われる。セクション9のような礫の集積したような堆積層は確認できなかったが、振替28層辺りに一部礫が集中する部分がある。また、分厚い炭化物層(振替28・31層)が確認できるのもおよそこの時期である。

晩期中葉(晩期3期)は、急斜面側に堆積しており、やはり細かな単位の堆積層で形成されている。振替121層あたりを境に上層では礫の含有が多く見られるが、下層ではそれほど礫の含有は少ない。上層よりも黒褐色の色調が強く、特に振替89層以下、炭化物を多く含む層が堆積しており、本来はかなり有機質の遺物も含まれていた可能性がある。

晩期前葉(晩期1・2期)は、明確な範囲は捉えられなかったが、緩斜面と急斜面の境界付近に集中する。セクション11の振替93層一帯であり、調査時に遺物が多量にまとまって検出された地点である。SQ37が形成されたのもこの辺りである。晩期後半段階の堆積層のように礫は多量に含まれておらず、礫の分布に有意性はない。

振替89層は、斜面上方では晩期3期、下方では晩期2期が出土していることから、層界は判然としないものの、本来は別の堆積層であった可能性もある。この堆積層は、黒色度が強く、炭化物を多く含んでいる。振替89層の捨J層部分では、下層に晩期1b期が集中して出土している。ただこの辺りの層は時期の逆転が見られる。あるいは堆積層を更に細分できた可能性もある。

晩期前葉の層は、まとまって検出できた地点が限定されること、転石など上から投棄されたような痕跡がないこと、遺構が形成されることなどから、近くに、晩期前葉の生活面があったと思われ、その場で土砂・遺物などを廃棄していたと考えられる。一方で、形成される遺構は土坑を伴わない配石遺構が1基のみであり、生活面としての明瞭な痕跡が検出されなかつたことや、堆積状況がセクション9の後期後葉～晩期前半に類似することから、堆積要因は、上方からの遺物投棄および土砂の自然流入の可能性もある。

#### 【セクション11】晩期前葉から後葉の遺物が出土している(図75)。

晩期前葉は、振替93層に晩期2期の遺物が集中する地点が確認できた。ただ振替109層との関係で時期が逆転しており、堆積層が把握しきれなかった可能性もある。

晩期後半の堆積層は、西側へ傾斜している(写真20など)。多量の礫を含む層である。

礫の含有率が非常に高いこと、層の堆積の傾斜から、上方からの投棄した土砂などは、この部分にたまりやすかったため、礫などが集中したものと考えられる。

#### (3) 堆積層のまとめ

【堆積層の特徴】後期後葉～晩期前葉(晩期1・2期)は、セクション10のSec10-3、緩斜面

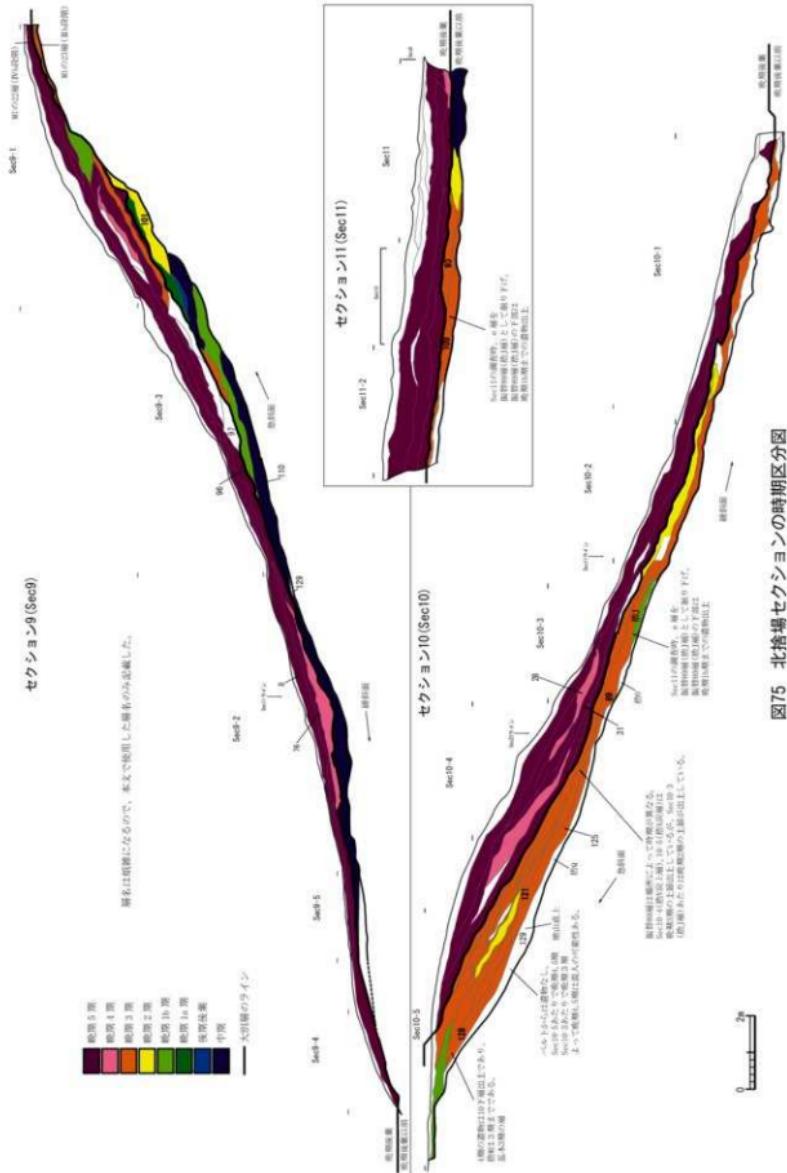


図75 北捨場セクションの時期区分図

の境目辺りに分布し、あまり全体に広がらない。遺構の形成もこの段階である。上から遺物などを投棄したというよりは、その場で廃棄した様な状況である。一方、堆積の分布がクラック地点の隣接域であることから、後期後葉～晚期前葉にかけて活発に利用されるクラック地点からの流れを汲んでいけると捉えることもでき、層の堆積要因は上からの遺物廃棄と土砂の自然流入と解釈することも可能である。

晩期中葉(晩期3期)は、やはりセクション10にのみ集中した堆積が見られる。主に急斜面側に分布している。位置的に上の平場地区からの投棄と考えられる。

晩期前葉と中葉の堆積層、特に下層ほど炭化物などを含む黒褐色の層であるため、有機質遺物も併せて廃棄された可能性がある一方、該期は土砂廃棄が活発でなかったとも推定されることから、緩斜面は草木が繁茂できる環境であり、土壤の様相はそれに起因する可能性も指摘される。

晩期後半(晩期4～5期)は、全体に礫を多量に含む堆積層である。礫の入り込み方は一様ではなく、同一層内でもより斜面下側に礫が集中し、緩斜面と急斜面の境あたりに礫が集中している様相が見受けられる。セクション10に礫が多めではないのは、西側に堆積層が傾斜しており、セクション11あたりからセクション9にかけて、廃棄した土砂が流れていったためと思われる。言い換えれば、晩期前半段階で、北捨場の中央の方が、西側よりも堆積層が厚く堆積していたと思われる。

斜面上側は堆積層の単位が小さく、重複しているが、北側の緩斜面側は、厚い堆積層が覆っている。急斜面側は急激に堆積し、緩斜面側はゆっくりと堆積したと思われる。

【時期と画期】上記の観察所見から判断すると、堆積の大きな画期は、晩期前半と後半の段階、晩期3期と4期の間と考えられる。この段階は、北捨場の南側、台地の平場に展開する集落において、居住域の変更、墓域の移転、盛土遺構の形成など、川原平(1)遺跡の集落構造における大幅な変革期でもある(報告書IV 第576集、報告書VII 第580集参照)。こうした変化が北捨場の形成過程に大きく影響を与えたと考えられる。

晩期前葉は、比較的狭い範囲において、その場で土砂や遺物などが廃棄される。後期後葉から晩期前葉においては、川原平(1)遺跡周辺地域では、川原平(4)遺跡A区、E区のような低位段丘上にも建物跡が構築されている。北捨場地区においても、何らかの人間活動が行われた可能性があるものの、状況は判然としない。

次に晩期後半には、集落の構造が変化し、川原平(4)遺跡に集団墓が形成される。また、台地の中心にあらたに居住域を形成し始める。そしてその近隣に盛土を形成するなど、晩期前半期とは異なる居住空間の利用という現象が見られる。特に集落は、地山が礫層の部分を選地している。晩期後葉段階の堆積層に礫が多量に含まれていることは、居住域の変化に伴い、大規模な整地作業が行われた結果、そして幾度かの住居の建て替えなどを含めた結果、多量の土砂が北捨場に廃棄されたと考えられる。分厚い炭の層から、時には生活廃棄物の投棄や、建物跡の建て替えにともなう整地という行為も含まれていたかもしれない。

【まとめ】北捨場の堆積層は時期に応じた堆積層の形成過程の違いが見られ、それが集落の構造変化と関連している可能性が高い。現状ではこうした基礎データを提示することにとどめるが、最終的には西捨場、北東捨場、東捨場、南捨場といった、中～大規模な捨場の層相の比較や、集落構造の変化と密接に関連づけて、さらに深化させた議論が必要であろう。

(高橋・岩井)

## 2 遺物について

### ・北捨場出土の石棒類について(図76)

【石刀】完形の石刀(写175-1)が炭b層から出土している。炭b層は、上下層に分かれるが、この石刀が出土した段階では、まだ分離が確認されていなかった。しかし検出状況から、炭b層の上層側(振替28層)と思われる。

形態は、柄頭が扁平な三角形で、沈線2条が一組で、2単位施されている。柄と刀身境の刃闊は段を形成していないが、比較的明瞭である。刀身は直刀である。野村崇(1978)は、石刀をAからCの3つに分類した。川原平(1)遺跡のこの石刀は、形状的に亀ヶ岡遺跡出土の資料が類似するが、柄頭の形状が異なる。柄頭の形状が近いのは、青森県黒石市石名坂遺跡出土のものであるが、沈線の本数が異なるなど、差異が見受けられる。野村のいうB型に近いが、B型は柄頭が、台形もしくは長方形であるので、川原平(1)遺跡出土の石刀と形状が異なる。また、石刀類の全国集成を行った後藤信祐(1986)の分類に拠れば、同種柄頭を持つ石刀は、札苅型と九年橋型に分類できる。九年橋型は、柄頭に文様を持つものはほとんどなく、沈線を1、2条巡らす程度である。刃闊は意識されず、柄部と刀身部の区分は不明瞭といった特徴を有する。札苅型の場合、柄頭部は長方形に近い形状で、彫刻的文様を持つものが多く、刃闊が明瞭で、内反りの形狀が多いと言った特徴を持つ。そのため、全体的な特徴から、川原平(1)遺跡の資料は九年橋型石刀に相当すると考えられる。

この型式の石刀の時期は、晩期後半と推定されるので、北捨場の出土層位(晩期4期)と齟齬はない。

なお、石刀の中には、在地で採取できる凝灰岩で、粘板岩製石刀を模した形態の石刀が出土している(写174-3)。粘板岩製石刀の希少性が、模倣品を作らせたのであろうか。この両者の関係の意味は今後の課題である。

【再加工】石棒類に再加工の痕跡が見られる。振替15層から出土した石刀(写174-4)は、刀身の刃先が欠損しており、残存している部分から推定すると内反りの石刀である。欠損部に穿孔が3か所確認されている。破損したものをつなぎとめるための穿孔であろう。

振替68層から出土した石棒(写175-9)は、先端部に擦切痕が見られる。全周に擦切を入れて、叩き折ったものと思われる。擦切痕を持つ石棒類は、報告書IV(第576集)の第3号盛土遺構や、報告書V(第577集)の東延長からも出土している。こうした再加工などの痕跡が認められるが、粘板岩を用いた再加工品は北捨場では確認されていない。

【接合】川原平(1)遺跡の石棒類は、破損品がほとんどである。藤村東男(1985)は、岩手県北上市九年橋遺跡の石棒類を検討したところ、完形品がないこと、推定される残存部から長さを推定し、3片以上に分割され、そして接合状況がほとんどないことから、破損されることが目的で製作されていると推定した。

川原平(1)遺跡の石棒類も出土したままで破損品のみがほとんどである。しかし捨場間接合によって完形になる石棒が數本確認できた。図76の下段3本は、その代表例である。40cmを超える長さであり、柄と刀身を境に敲打帶、文様を持つなどの特徴から、熊登型石剣(後藤1986)などの縄文時代晩期前半に属すると推定される型式が主体である。晩期前半に多い型式であるが、出土層は晩期後半が多く、北捨場の晩期後半における廃棄活動と密接に関わっている可能性もあり、その原因の究明が待たれる。

(高橋)

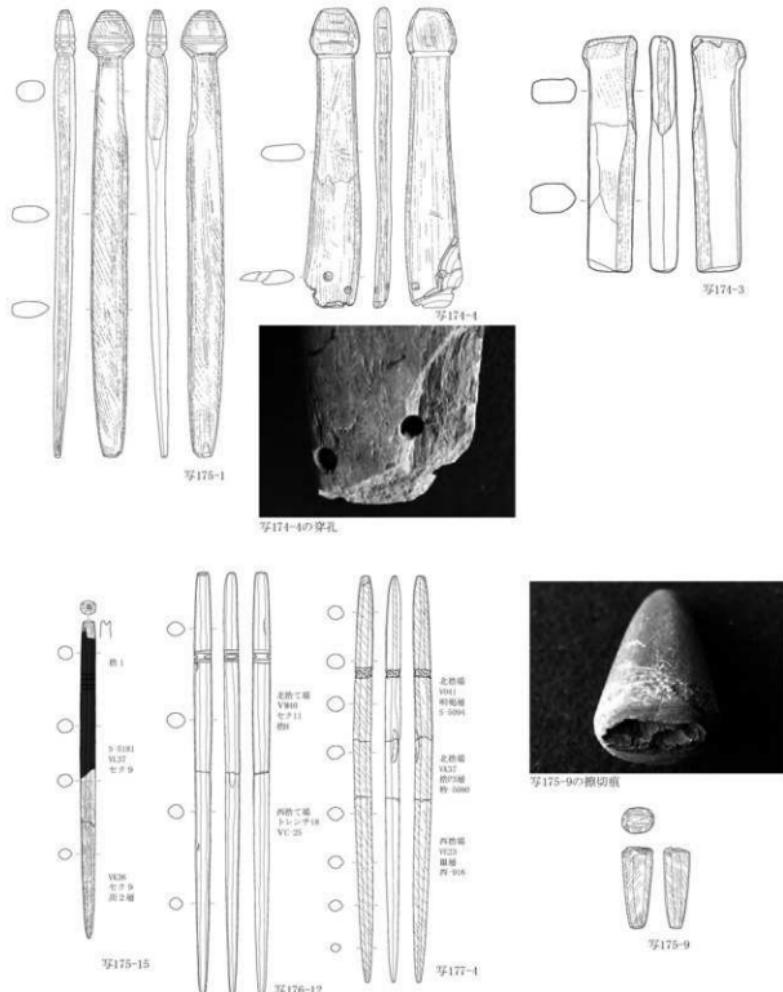


図76 北捨場出土の石棒・石刀・石剣

## 引用文献

- 青森県 2013 「青森県史」 資料編 考古2 縄文後期・晚期
- 青森県教育委員会 1995 「千葉(1)道跡」 青森県埋蔵文化財調査報告書第174集
- 青森県教育委員会 2006 「川原平(1)・(4)道跡・大川浜(2)道跡・水上道跡」 青森県埋蔵文化財調査報告書第409集
- 青森県教育委員会 2014 「上新岡割・栗師道跡」 青森県埋蔵文化財調査報告書第545集
- 後藤信祐 1986 「縄文後晚期の刀削形石製品の研究(上)」「考古学研究」第33巻第3号 31-60頁
- 小林圭一 2010 「亀ヶ岡式土器成立期の研究－東北地方における縄文時代晚期前葉の土器形式－」
- 岡根達人 2005 「十勝内Ⅲ・Ⅳ・V群土器」に関する今日的見解」「葛西勲先生還暦記念論文集 北奥の考古学」
- 七飯町教育委員会 1979 「畔下聖山道跡」
- 野村崇 1978 「北部日本における縄文時代晩期の石刀について」「北海道開拓記念館研究年報」第6号 27-45頁
- 弘前大学人文学部日本考古学研究室 2005 「青森県東津軽郡平館村今津道跡発掘調査報告書－津軽半島東沿岸部における亀ヶ岡文化の道跡－」弘前大学人文学部日本考古学研究室研究報告2
- 弘前大学人文学部日本考古学研究室・弘前大学人文学部附属亀ヶ岡文化研究センター 2008 「青森県三戸郡三戸町移沢遺跡発掘調査報告書」弘前大学人文学部日本考古学研究室研究報告6
- 弘前大学人文学部日本考古学研究室・弘前大学人文学部附属亀ヶ岡文化研究センター 2012 「下北半島における亀ヶ岡文化の研究」弘前大学人文学部日本考古学研究室研究報告8
- 藤沼邦彦 1988 「亀ヶ岡式土器様式」「縄文土器大観4 後期 晩期 続縄文」 小学館
- 藤村東男 1985 「岩手県九年橋遺跡出土石剣類の損壊について」「古代」80号 241-257頁
- 山内清男 1930 「所謂亀ヶ岡式土器の分布と縄文式土器の終末」「考古学」1-3 東京考古学会
- 山内清男 1937 「縄紋土器型式の細別と大別」「先史考古学」1-1 先史考古学会
- 山内清男 1964 「文様帶系統論」「日本原始美術1 縄文式土器」講談社

表4 土器觀察表(1)

表4 土器觀察表(2)

表4 壺器觀察表(3)

器 形 質 別 名 呼 び	材 質 名 呼 び	アリゾナ 出土年号	現場別	施 工	特 徴	内部構造		付着物	備 考	11耕 (cm)	風溝 (cm)	高さ (cm)	整列No.
						内壁	底						
- 70 4 -	V1.28	新B.32	e129211-25	直	施肥4-5 平底か。口部内面無厚。外底無底無厚。外底無底無厚。外底無底無厚。外底無底無厚。	1.ゼキ、底 上部の底 上部の底	-	-	(134)	(72)	3.1	北-土器 3866	
- 70 5 -	V1.40	B.G	11-25	直	施肥4-5 平底か。口部内面無厚。外底無底無厚。外底無底無厚。外底無底無厚。	ナデ	-	-	(130)	-	(72)	北-土器 6366	
- 70 6 -	V1.40 (P-5332)	B.G	11-25	直	施肥4-5 平底か。口部内面無厚。外底無底無厚。外底無底無厚。外底無底無厚。	ナデ	-	-	(122)	38	8.5	北-土器 5239	
- 70 7 -	V1.40	B.G	11-25	直	施肥4-5 平底か。口部内面無厚。外底無底無厚。外底無底無厚。外底無底無厚。	ナデ	-	-	(130)	-	(55)	北-土器 5470	
- 70 8 -	V1.40	B.G	11-25	直	施肥4-5 平底か。口部内面無厚。外底無底無厚。外底無底無厚。外底無底無厚。	ナデ	-	-	-	-	(4.6)	北-土器 5749	
[9] 70 9 -	V1.40	B.G	11-25	直	施肥4-5 平底か。口部内面無厚。外底無底無厚。外底無底無厚。外底無底無厚。	ナデ	-	-	(118)	(59)	(13.3)	北-土器 5436	
- 70 10 -	V1.40	B.G	11-25	直	施肥4-5 平底か。口部内面無厚。外底無底無厚。外底無底無厚。外底無底無厚。	ナデ	-	-	(26.4)	-	(4.6)	北-土器 5566	
- 70 11 -	V1.40 (P-5300)	B.G	11-25	直	施肥4-5 平底か。口部内面無厚。外底無底無厚。外底無底無厚。外底無底無厚。	ナデ	-	-	(120)	103	26.3	北-土器 5159	
- 70 12 -	V1.40 (P-5334)	B.G	11-25	直	施肥4-5 平底か。口部内面無厚。外底無底無厚。外底無底無厚。外底無底無厚。	ナデ	-	-	(80)	66	(17.0)	北-土器 5158	
- 70 13 -	V1.40 (P-5380)	B.G	32-34	直	施肥4-5 平底か。口部内面無厚。外底無底無厚。	ナデ	-	-	-	-	(21.0)	北-土器 6365	
- 70 14 -	V1.40	B.G	11-25	不明	施肥4-5 平底か。口部内面無厚。外底無底無厚。	ナデ	-	-	-	-	(25)	北-土器 6281	
- 70 15 -	V1.40	B.G	11-15-18	深鉢	施肥4-5 平底か。口部内面無厚。外底無底無厚。外底無底無厚。外底無底無厚。	ナデ	-	-	(30.0)	-	(16.2)	北-土器 5564	
- 70 16 -	V1.28	B.G	11-15-18	深鉢	施肥4-5 平底か。口部内面無厚。外底無底無厚。外底無底無厚。外底無底無厚。	ナデ	-	-	(28.8)	-	(12.0)	北-土器 6381	
- 70 17 -	V1.28	B.G	11-15-18	深鉢	施肥4-5 平底か。口部内面無厚。外底無底無厚。外底無底無厚。外底無底無厚。	ナデ	-	-	(12.0)	-	(7.0)	北-土器 6488	
- 70 18 -	V1.27	B.G	12	深鉢	施肥4-5 平底か。口部内面無厚。外底無底無厚。外底無底無厚。外底無底無厚。	ナデ	-	-	(25.0)	-	(8.5)	北-土器 5621	
- 70 19 +9	V1.27	B.G	12	深鉢	施肥4-5 平底か。口部内面無厚。外底無底無厚。外底無底無厚。外底無底無厚。	ナデ	-	-	(14.0)	-	(4.0)	北-土器 5721	
- 70 20 +9	V1.27	R.I	13	深鉢	施肥4-5 平底か。口部内面無厚。外底無底無厚。外底無底無厚。外底無底無厚。	ナデ	-	-	(16.0)	-	(7.0)	北-土器 6326	
- 70 21 +9	V1.27	R.I	13	深鉢	施肥4-5 平底か。口部内面無厚。外底無底無厚。外底無底無厚。外底無底無厚。	ナデ	-	-	(12.6)	-	(8.6)	北-土器 6314	
- 71 1 -	V1.29	B.I	14	深鉢	施肥4-5 平底か。口部内面無厚。外底無底無厚。外底無底無厚。外底無底無厚。	ナデ	-	-	(13.6)	-	(5.0)	北-土器 5785	

表4 土器觀察表(4)

表4 壁器観察表(5)

器 類 名 別 名 号 (上部 番 号)	アリゾナ 地 域	壁 厚 さ (mm)	現場記号	施 工 段 位	壁 構 造	特 徴	内面特徴				参考	11壁 (cm)	底 径 (cm)	整面率 (%)
							柱 孔	柱 孔 内 容	柱 孔 外 面	柱 孔 内 容				
- 71 23 079	YL37	桥	21	浅井	浅井5	口縫状不規則、外表面は比較的滑らか。矢印状2ヶ所、支柱頭部2ヶ所、支柱頭部2ヶ所、支柱頭部2ヶ所。	ナメル、E 系(85%) 面、口縫と 柱孔の間に 柱孔の奥に 出た。	柱孔(中空面)	-	(260)	-	(47)	94.6%	
- 71 24 -	YL37	施19相当	23-26相当	合 計 (合 計)	浅井5	平井壁、既存柱頭部2ヶ所、支柱頭部2ヶ所、支柱頭部2ヶ所、支柱頭部2ヶ所、支柱頭部2ヶ所、支柱頭部2ヶ所。	ナメル、E 系(85%) 面、口縫と 柱孔の間に 柱孔の奥に 出た。	柱孔(中空面)	-	31.0	(130)	14.6	87.1%	
- 71 25 -	VK35	SN-B-22-2	11壁±22-2	20壁	浅井3	平井壁、口縫状2ヶ所、支柱頭部2ヶ所、支柱頭部2ヶ所。	ナメル、E 系(85%) 面、口縫と 柱孔の間に 柱孔の奥に 出た。	柱孔(中空面)	-	(102)	2.8	4.5	82.1%	
- 71 26 -	VK35	SN-B-23B	19壁±22-2	20壁	浅井3	平井壁、口縫状2ヶ所、支柱頭部2ヶ所、支柱頭部2ヶ所。	ナメル、E 系(85%) 面、口縫と 柱孔の間に 柱孔の奥に 出た。	柱孔(中空面)	-	18.4	-	(50)	53.8%	
- 71 27 M115	VK36	11壁	13壁±23壁	20壁	浅井3±1か ら	平井壁、既存柱頭部2ヶ所、支柱頭部2ヶ所、支柱頭部2ヶ所、支柱頭部2ヶ所、支柱頭部2ヶ所。	ナメル、E 系(85%) 面、口縫と 柱孔の間に 柱孔の奥に 出た。	柱孔(中空面)	-	(150)	-	(60)	87.1%	
- 71 28 -	VK35-36	11壁	13壁±23壁	20壁	浅井4	平井壁、口縫状2ヶ所、支柱頭部2ヶ所、支柱頭部2ヶ所、支柱頭部2ヶ所、支柱頭部2ヶ所。	ナメル、E 系(85%) 面、口縫と 柱孔の間に 柱孔の奥に 出た。	柱孔(中空面)	-	(29.2)	(86)	(37)	82.1%	
- 71 29 079	V36	10壁	24	合 計	浅井3	平井壁、口縫状2ヶ所、支柱頭部2ヶ所、支柱頭部2ヶ所。	ナメル、E 系(85%) 面、口縫と 柱孔の間に 柱孔の奥に 出た。	柱孔(中空面)	-	(18.8)	-	(31)	87.1%	
- 71 30 -	V38	10壁	24	合 計	浅井2	外表面は比較的滑らか。支柱頭部2ヶ所、支柱頭部2ヶ所、支柱頭部2ヶ所。	ナメル、E 系(85%) 面、口縫と 柱孔の間に 柱孔の奥に 出た。	柱孔(中空面)	-	-	-	(40)	82.1%	
- 71 31 -	V37	10壁	24	11壁	浅井2±1か ら	平井壁、既存柱頭部2ヶ所、支柱頭部2ヶ所、支柱頭部2ヶ所。	ナメル、E 系(85%) 面、口縫と 柱孔の間に 柱孔の奥に 出た。	柱孔(中空面)	-	-	-	(52)	82.1%	
- 71 32 -	V120	袖12	26-29	20壁	浅井4	平井壁、口縫状2ヶ所、支柱頭部2ヶ所、支柱頭部2ヶ所。	ナメル、E 系(85%) 面、口縫と 柱孔の間に 柱孔の奥に 出た。	柱孔(中空面)	-	(17.8)	-	(85)	87.1%	
- 71 33 -	V120	袖12	26-29	20壁	浅井4	平井壁、既存柱頭部2ヶ所、支柱頭部2ヶ所、支柱頭部2ヶ所。	ナメル、E 系(85%) 面、口縫と 柱孔の間に 柱孔の奥に 出た。	柱孔(中空面)	-	(14.0)	-	(53)	87.1%	
- 72 1 810	V120	8GF	25	深 井	浅井4±5 壁	平井壁、二重窓(1壁厚窓)、外表面は比較的滑らか。既存柱頭部2ヶ所、支柱頭部2ヶ所。	ナメル、E 系(85%) 面、口縫と 柱孔の間に 柱孔の奥に 出た。	柱孔(中空面)	-	(25.6)	-	(12)	87.1%	
- 72 2 810	V120	8GF	25	深 井	浅井4±5 壁	平井壁、既存柱頭部2ヶ所、支柱頭部2ヶ所、支柱頭部2ヶ所。	ナメル、E 系(85%) 面、口縫と 柱孔の間に 柱孔の奥に 出た。	柱孔(中空面)	-	(22.0)	-	(14)	82.1%	
- 72 3 810	V120	8GF	25	合 計	浅井5	平井壁、既存柱頭部2ヶ所、支柱頭部2ヶ所、支柱頭部2ヶ所。	ナメル、E 系(85%) 面、口縫と 柱孔の間に 柱孔の奥に 出た。	柱孔(中空面)	-	(16.2)	-	(43)	82.1%	
- 72 4 810	V120	8GF	25	深 井	浅井4±5 壁	平井壁、既存柱頭部2ヶ所、支柱頭部2ヶ所、支柱頭部2ヶ所。	ナメル、E 系(85%) 面、口縫と 柱孔の間に 柱孔の奥に 出た。	柱孔(中空面)	-	(17.6)	-	(65)	87.1%	
- 72 5 810	V120	8GF	25	合 計	浅井4	平井壁、既存柱頭部2ヶ所、支柱頭部2ヶ所、支柱頭部2ヶ所。	ナメル、E 系(85%) 面、口縫と 柱孔の間に 柱孔の奥に 出た。	柱孔(中空面)	-	(22.6)	-	(50)	82.1%	
- 72 6 -	VMS8	袖13	25	深 井	浅井	外表面は比較的滑らか。既存柱頭部2ヶ所、支柱頭部2ヶ所。	ナメル、E 系(85%) 面、口縫と 柱孔の間に 柱孔の奥に 出た。	柱孔(中空面)	-	(5.4)	(27)	87.1%		
- 72 7 810	V120	8GF	25	深 井	浅井5	平井壁、奥壁(1壁厚窓)、外表面は比較的滑らか。既存柱頭部2ヶ所、支柱頭部2ヶ所。	ナメル、E 系(85%) 面、口縫と 柱孔の間に 柱孔の奥に 出た。	柱孔(中空面)	-	(10.6)	-	(41)	87.1%	
- 72 8 810	V120	8GF	25	深 井	浅井4	平井壁、既存柱頭部2ヶ所、支柱頭部2ヶ所、支柱頭部2ヶ所。	ナメル、E 系(85%) 面、口縫と 柱孔の間に 柱孔の奥に 出た。	柱孔(中空面)	-	-	-	(24)	82.1%	
- 72 9 810	V120	8GF	25-35	20壁	浅井4±5 壁	平井壁、既存柱頭部2ヶ所、支柱頭部2ヶ所。	ナメル、E 系(85%) 面、口縫と 柱孔の間に 柱孔の奥に 出た。	柱孔(中空面)	-	(28.0)	-	(18)	82.1%	

表4 土器觀察表(6)

標本番号	学名	分類	種小名	原産地	採取部位	特徴	備考	刺繡・刺繡文様など		内臓部	付着物	1.1倍 (cm)	底長 (cm)	高さ (cm)	整備率 (%)
								刺繡	刺繡文様など						
-	72 10 -	V. macrostoma	(P-3320)	赤D	25~27	深井	地圖4~5 小頭状口閉。外胚葉側正端部、文様部為文なし。頭丸R(体部)。	ナゲ	頭丸R(体部) 尾(口閉部)、尻(後部) 尾上段(後部) 尾上端(後部) 尾柱	尻(後部)(内外) 尻(後部)(外側)	-	(185)	2~1.5	54.2	
-	72 11 -	V. macrostoma	(P-3320)	赤D	25~27	深井	地圖4~5 口閉形1。外胚葉側正端部、文様部為文なし。頭丸R(体部)。	ナゲ	尻(後部)(外側) 尻(後部)(外側)	(20)	(110)	0.9~1.0	63.8		
-	72 12 -	V. macrostoma	(P-3320)	赤D	25~27	深井	地圖5 平口閉形。一山尖端(後部)、1.5山尖端(後部)。外胚葉側正端部(後部)、文様部為文なし。頭丸R(体部)。	ナゲ	尻(後部)(外側) 尻(後部)(外側)	-	(62)	0.9~1.0	56.5		
-	72 13 -	V. macrostoma	(P-3320)	赤D	25~27	深井	地圖5 平口閉形。一山尖端(後部)、1.5山尖端(後部)。外胚葉側正端部(後部)、文様部為文なし。頭丸R(体部)。	ナゲ	尻(後部)(外側) 尻(後部)(外側)	(11)	(110)	0.9~1.0	56.2		
10 72 14 -	V. macrostoma	(P-3320)	赤D	25~27	井	地圖4 平口閉形。1.5山尖端(後部)、外胚葉側正端部(後部)、文様部為文なし。頭丸R(体部)。	ナゲ	頭丸R(体部) 尻(後部)(外側) 尻(後部)(外側)	(12.4)	5.1	8.0	5.1			
-	72 15 -	V. macrostoma	(P-3320)	赤D	25~27	井	平口閉形。1.5山尖端(後部)、外胚葉側正端部(後部)、文様部為文なし。頭丸R(体部)。	ナゲ	頭丸R(体部) 尻(後部)(外側)	-	(17)	-	(4.5)		
-	72 16 -	V. macrostoma	(P-3320)	赤B	28~29/31	井	地圖4~5 平口閉形。1.5山尖端(後部)、外胚葉側正端部(後部)、文様部為文なし。頭丸R(体部)。	ナゲ	頭丸R(体部) 尻(後部)(外側)	-	(16.7)	8.0	8.5	50.1	
-	72 17 -	V. macrostoma	(P-3320)	赤B	28~29/31	井	地圖4~5 平口閉形。1.5山尖端(後部)、外胚葉側正端部(後部)、文様部為文なし。頭丸R(体部)。	ナゲ	頭丸R(体部) 尻(後部)(外側)	(22.4)	-	(6.4)	5.7~7.5		
-	72 18 -	V. macrostoma	(P-3320)	赤B	28~29/31	井	地圖4~5 平口閉形。1.5山尖端(後部)、外胚葉側正端部(後部)、文様部為文なし。頭丸R(体部)。	ナゲ	頭丸R(体部) 尻(後部)(外側)	-	(18.2)	-	(4.5)		
-	72 19 -	V. macrostoma	(P-3320)	赤B	28~29/31	井	地圖4~5 平口閉形。1.5山尖端(後部)、外胚葉側正端部(後部)、文様部為文なし。頭丸R(体部)。	ナゲ	頭丸R(体部) 尻(後部)(外側)	-	(14.0)	6.7	6.7		
-	72 20 -	V. macrostoma	(P-3320)	赤B	31	井	地圖4~5 平口閉形。1.5山尖端(後部)、外胚葉側正端部(後部)、文様部為文なし。頭丸R(体部)。	ナゲ	頭丸R(体部) 尻(後部)(外側)	-	(4.5)	5.0	5.0		
-	72 21 -	V. macrostoma	(P-3320)	赤B	31	井	地圖4~5 平口閉形。1.5山尖端(後部)、外胚葉側正端部(後部)、文様部為文なし。頭丸R(体部)。	ナゲ	頭丸R(体部) 尻(後部)(外側)	-	(14.0)	6.7	6.7		
-	72 22 -	V. macrostoma	(P-3320)	赤B	31	井	地圖4~5 平口閉形。1.5山尖端(後部)、外胚葉側正端部(後部)、文様部為文なし。頭丸R(体部)。	ナゲ	頭丸R(体部) 尻(後部)(外側)	-	(14.0)	6.7	6.7		
-	72 23 -	V. macrostoma	(P-3320)	赤B	31	井	地圖4~5 平口閉形。1.5山尖端(後部)、外胚葉側正端部(後部)、文様部為文なし。頭丸R(体部)。	ナゲ	頭丸R(体部) 尻(後部)(外側)	-	(14.0)	6.7	6.7		
-	72 24 -	V. macrostoma	(P-3320)	赤E	31	井	地圖4~5 外胚葉側正端部(後部)、文様部為文なし。頭丸R(体部)。	ナゲ	頭丸R(体部) 尻(後部)(外側)	-	(15.2)	2~1.5	53.9		
-	73 1 -	V. macrostoma	(P-3320)	赤E	31	井	地圖4~5 平口閉形。1.5山尖端(後部)、外胚葉側正端部(後部)、文様部為文なし。頭丸R(体部)。	ナゲ	頭丸R(体部) 尻(後部)(外側)	(18.4)	-	(7.9)	5.7~5.8		
-	73 2 -	V. macrostoma	(P-3320)	赤E	31	井	地圖4~5 平口閉形。1.5山尖端(後部)、外胚葉側正端部(後部)、文様部為文なし。頭丸R(体部)。	ナゲ	頭丸R(体部) 尻(後部)(外側)	(35.0)	-	(8.7)	58.6		
-	73 3 -	V. macrostoma	(P-3320)	赤E	29	井	地圖4~5 平口閉形。1.5山尖端(後部)、外胚葉側正端部(後部)、文様部為文なし。頭丸R(体部)。	ナゲ	頭丸R(体部) 尻(後部)(外側)	(30.2)	-	(6.8)	6.8~7.5		
-	73 4 -	V. macrostoma	(P-3320)	赤E	29	井	地圖4~5 平口閉形。1.5山尖端(後部)、外胚葉側正端部(後部)、文様部為文なし。頭丸R(体部)。	ナゲ	頭丸R(体部) 尻(後部)(外側)	(26.0)	-	(10.8)	5.6~6.5		
-	73 5 -	V. macrostoma	(P-3320)	赤E	29	井	地圖4~5 平口閉形。1.5山尖端(後部)、外胚葉側正端部(後部)、文様部為文なし。頭丸R(体部)。	ナゲ	頭丸R(体部) 尻(後部)(外側)	(24.0)	-	(9.7)	6.0~7.5		

表4 壺器觀察表(7)

器 類 名 稱 器 號 名 字 (地上部 上部 名 字)	アリゾナ シリ 名 字 (地下部 下部 名 字)	電場測定 結果	鉛 量	時間	内部構造		付着物	備 考	11耕 (cm)	風 景 (cm)	高さ (cm)	整地 面積 (m <sup>2</sup> )
					電化物(内) 面	電化物(外) 面						
- 73 6 e10 VL29 保山型 29 路 晚鉄 11耕(11耕前)、外田ナデ(11耕前)、鐵文瓦。 平山耕。口引斜面。外田側の斜面は外輪に分岐。もししくは外壁上部に層を F)。外田(28-1)、25耕所残存。鐵文瓦。					電化物(内) 面	電化物(外) 面	-	(150)	-	(20)	6633	-
- 73 7 - VAD9 保山型 29 路 地割4 晚鉄 11耕(11耕前)、外田ナデ(11耕前)、鐵文瓦。 平山耕。口引斜面。外田側の斜面は外輪に分岐。もししくは外壁上部に層を F)。外田(28-1)、25耕所残存。鐵文瓦。					ナデ	電化物(内) 面	-	(28)	-	(80)	6944	-
- 73 8 - VL29 保山型 29 路 地割4-5 晚鉄 11耕(11耕前)、外田ナデ(11耕前)、鐵文瓦。 平山耕。口引斜面。外田側の斜面は外輪に分岐。もししくは外壁上部に層を F)。外田(28-1)、25耕所残存。鐵文瓦。					ナデ	電化物(内) 面	-	(120)	-	(64)	6168	-
- 73 9 e10 VL29 保山型 29 路 地割4 晚鉄 11耕(11耕前)、外田ナデ(11耕前)、鐵文瓦。 平山耕。口引斜面。外田側の斜面は外輪に分岐。もししくは外壁上部に層を F)。外田(28-1)、25耕所残存。鐵文瓦。					ナデ	電化物(内) 面	-	(114)	-	(57)	6942	-
- 73 10 - VL29 保山型 29 路 地割4 晚鉄 11耕(11耕前)、外田ナデ(11耕前)、鐵文瓦。 平山耕。口引斜面。外田側の斜面は外輪に分岐。もししくは外壁上部に層を F)。外田(28-1)、25耕所残存。鐵文瓦。					ナデ	電化物(内) 面	-	(120)	-	(36)	6172	-
- 73 11 - VL29 保山型 29 路 晚鉄 29 未詳 晚鉄 11耕(11耕前)、外田ナデ(11耕前)、鐵文瓦。 平山耕。口引斜面。外田側の斜面は外輪に分岐。もししくは外壁上部に層を F)。外田(28-1)、25耕所残存。鐵文瓦。					ナデ	電化物(内) 面	-	(192)	(66)	(55)	6235	-
- 73 12 - VL29 保山型 29 路 晩中期 29 未詳 晚中期 11耕(11耕前)、外田ナデ(11耕前)、鐵文瓦。 平山耕。口引斜面。外田側の斜面は外輪に分岐。もししくは外壁上部に層を F)。外田(28-1)、25耕所残存。鐵文瓦。					ナデ	電化物(内) 面	-	(118)	-	(140)	6251	-
- 73 13 - VAD9 保山型 29 路 晩中期 29 未詳 晩中期 11耕(11耕前)、外田ナデ(11耕前)、鐵文瓦。 平山耕。口引斜面。外田側の斜面は外輪に分岐。もししくは外壁上部に層を F)。外田(28-1)、25耕所残存。鐵文瓦。					ナデ	電化物(内) 面	-	(146)	-	(50)	6235	-
- 73 14 - VL29 保山型 29 路 晩中期 29 未詳 晩中期 11耕(11耕前)、外田ナデ(11耕前)、鐵文瓦。 平山耕。口引斜面。外田側の斜面は外輪に分岐。もししくは外壁上部に層を F)。外田(28-1)、25耕所残存。鐵文瓦。					ナデ	電化物(内) 面	-	-	-	-	6178	-
- 73 15 e10 VK29 保山型 30 未詳 晩中期 11耕(11耕前)、外田ナデ(11耕前)、鐵文瓦。 平山耕。口引斜面。外田側の斜面は外輪に分岐。もししくは外壁上部に層を F)。外田(28-1)、25耕所残存。鐵文瓦。					ナデ	電化物(内) 面	-	(60)	-	(70)	6362	-
- 73 16 e10 VL29 保山型 32 未詳 晩中期 11耕(11耕前)、外田ナデ(11耕前)、鐵文瓦。 平山耕。口引斜面。外田側の斜面は外輪に分岐。もししくは外壁上部に層を F)。外田(28-1)、25耕所残存。鐵文瓦。					ナデ	電化物(内) 面	-	(160)	-	(50)	5372	-
- 73 17 - VL40 保山型 32-34 未詳 晩中期 11耕(11耕前)、外田ナデ(11耕前)、鐵文瓦。 平山耕。口引斜面。外田側の斜面は外輪に分岐。もししくは外壁上部に層を F)。外田(28-1)、25耕所残存。鐵文瓦。					ナデ	電化物(内) 面	-	(246)	-	(93)	6235	-
- 73 18 - VL29 保山型 63 未詳 晩中期 11耕(11耕前)、外田ナデ(11耕前)、鐵文瓦。 平山耕。口引斜面。外田側の斜面は外輪に分岐。もししくは外壁上部に層を F)。外田(28-1)、25耕所残存。鐵文瓦。					ナデ	電化物(内) 面	-	(160)	-	(185)	5317	-
- 73 19 - VL40 保山型 63 未詳 晩中期 11耕(11耕前)、外田ナデ(11耕前)、鐵文瓦。 平山耕。口引斜面。外田側の斜面は外輪に分岐。もししくは外壁上部に層を F)。外田(28-1)、25耕所残存。鐵文瓦。					ナデ	電化物(内) 面	-	(120)	-	(61)	6179	-
- 73 20 - VL29 保山型 63 未詳 晩中期 11耕(11耕前)、外田ナデ(11耕前)、鐵文瓦。 平山耕。口引斜面。外田側の斜面は外輪に分岐。もししくは外壁上部に層を F)。外田(28-1)、25耕所残存。鐵文瓦。					ナデ	電化物(内) 面	-	(274)	-	(69)	6235	-
- 73 21 - VL40 保山型 63 未詳 晩中期 11耕(11耕前)、外田ナデ(11耕前)、鐵文瓦。 平山耕。口引斜面。外田側の斜面は外輪に分岐。もししくは外壁上部に層を F)。外田(28-1)、25耕所残存。鐵文瓦。					ナデ	電化物(内) 面	-	(182)	-	(42)	5605	-
- 73 22 - VL29 保山型 63 未詳 晩中期 11耕(11耕前)、外田ナデ(11耕前)、鐵文瓦。 平山耕。口引斜面。外田側の斜面は外輪に分岐。もししくは外壁上部に層を F)。外田(28-1)、25耕所残存。鐵文瓦。					ナデ	電化物(内) 面	-	-	-	(49)	6469	-
10 73 23 - VL40 保山型 63 未詳 晩中期 11耕(11耕前)、外田ナデ(11耕前)、鐵文瓦。 平山耕。口引斜面。外田側の斜面は外輪に分岐。もししくは外壁上部に層を F)。外田(28-1)、25耕所残存。鐵文瓦。					ナデ	電化物(内) 面	-	(92)	-	(70)	5360	-
- 73 24 - VL29 保山型 63 未詳 晩中期 11耕(11耕前)、外田ナデ(11耕前)、鐵文瓦。 平山耕。口引斜面。外田側の斜面は外輪に分岐。もししくは外壁上部に層を F)。外田(28-1)、25耕所残存。鐵文瓦。					ナデ	電化物(内) 面	-	-	-	(35)	6235	-
- 73 25 - VAD8 保山型 34 未詳 晩中期 11耕(11耕前)、外田ナデ(11耕前)、鐵文瓦。 平山耕。口引斜面。外田側の斜面は外輪に分岐。もししくは外壁上部に層を F)。外田(28-1)、25耕所残存。鐵文瓦。					ナデ	電化物(内) 面	-	(182)	-	(95)	6280	-
- 73 26 e12 VL28 保山型 40 未詳 晩中期 11耕(11耕前)、外田ナデ(11耕前)、鐵文瓦。 平山耕。口引斜面。外田側の斜面は外輪に分岐。もししくは外壁上部に層を F)。外田(28-1)、25耕所残存。鐵文瓦。					ナデ	電化物(内) 面	-	(32)	-	(183)	5407	-
- 73 27 e10 VL29 保山型 34 未詳 晩中期 11耕(11耕前)、外田ナデ(11耕前)、鐵文瓦。 平山耕。口引斜面。外田側の斜面は外輪に分岐。もししくは外壁上部に層を F)。外田(28-1)、25耕所残存。鐵文瓦。					ナデ	電化物(内) 面	-	(25)	-	(92)	5375	-
- 73 28 e10 VL28 保山型 34 未詳 晩中期 11耕(11耕前)、外田ナデ(11耕前)、鐵文瓦。 平山耕。口引斜面。外田側の斜面は外輪に分岐。もししくは外壁上部に層を F)。外田(28-1)、25耕所残存。鐵文瓦。					ナデ	電化物(内) 面	-	(86)	-	(54)	6235	-
- 73 29 - VAD8 保山型 34 未詳 晩中期 11耕(11耕前)、外田ナデ(11耕前)、鐵文瓦。 平山耕。口引斜面。外田側の斜面は外輪に分岐。もししくは外壁上部に層を F)。外田(28-1)、25耕所残存。鐵文瓦。					ナデ	電化物(内) 面	-	(220)	-	(64)	6235	-

表4 土器觀察表 (8)

表4 土器觀察表(9)

表4 土器觀察表 (10)

表4 土器觀察表(11)

原产地 国	原種 名	学名 (英語)	栽培品 名	学名 (英語)	栽培場所	植株部位	莢種	時期	時期	作物	性質	参考	栽培 (cm)	施肥 (kg/ha)	灌溉 (mm)		
-	75. 25	V1.224	グリップ (英語)	V1.2839	スリ3	42	茎	施肥期	平口播	「口播別」、外因種立花豌豆(3条)11月起苗播種で追切れる。発根(播種後、直後 11月)。外因種立花豌豆。	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	-	(160)	-	(49)	±±±
-	75. 26	V1.224	V1.2839	スリ3	42	茎	施肥期	平口播	「口播別」、外因種立花豌豆(3条)11月起苗播種で追切れる。発根(播種後、直後 11月)。外因種立花豌豆。	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	-	(234)	-	(47)	±±±	
-	76. 1	-	V1.237	スリ1	42	茎	施肥期	平口播	「口播別」、外因種立花豌豆(3条)11月起苗播種で追切れる。発根(播種後、直後 11月)。外因種立花豌豆。	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	-	(24.0)	-	(24.0)	±±±	
-	76. 2	-	V1.237	スリ1	42	茎	施肥期	平口播	「口播別」、外因種立花豌豆(3条)11月起苗播種で追切れる。発根(播種後、直後 11月)。外因種立花豌豆。	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	-	(27.6)	-	(165)	±±±	
-	76. 3	-	V1.237	スリ1	42	茎	施肥期	平口播	「口播別」、外因種立花豌豆(3条)11月起苗播種で追切れる。発根(播種後、直後 11月)。外因種立花豌豆。	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	-	(19.8)	-	(70)	±±±	
-	76. 4	-	V1.237	スリ1	42	茎	施肥期	平口播	「口播別」、外因種立花豌豆(3条)11月起苗播種で追切れる。発根(播種後、直後 11月)。外因種立花豌豆。	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	-	(10.0)	-	(4.5)	±±±	
-	76. 5	-	V1.237	スリ1	42	茎	施肥期	平口播	「口播別」、外因種立花豌豆(3条)11月起苗播種で追切れる。発根(播種後、直後 11月)。外因種立花豌豆。	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	-	(17.2)	-	(7.4)	±±±	
10. 76. 6	-	V1.237	スリ1	42	茎	施肥期	平口播	「口播別」、外因種立花豌豆(3条)11月起苗播種で追切れる。発根(播種後、直後 11月)。外因種立花豌豆。	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	-	15.3	-	(12.2)	±±±		
10. 76. 7	-	V1.238	スリ2	41	莢	施肥期-1	平口播	「口播別」、外因種立花豌豆(3条)11月起苗播種で追切れる。発根(播種後、直後 11月)。外因種立花豌豆。	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	-	15.0	(5.3)	(11.7)	±±±		
10. 76. 8	-	V1.237	スリ1	42	莢	施肥期	平口播	「口播別」、外因種立花豌豆(3条)11月起苗播種で追切れる。発根(播種後、直後 11月)。外因種立花豌豆。	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	-	(16.0)	(9.7)	(4.6)	±±±		
-	76. 9	-	V1.238	スリ2	41	莢	施肥期	平口播	「口播別」、外因種立花豌豆(3条)11月起苗播種で追切れる。発根(播種後、直後 11月)。外因種立花豌豆。	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	-	(22.0)	-	(22.0)	±±±	
-	76. 10	-	V1.237	スリ2	41	莢	施肥期	平口播	「口播別」、外因種立花豌豆(3条)11月起苗播種で追切れる。発根(播種後、直後 11月)。外因種立花豌豆。	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	-	(26.0)	-	(9.7)	±±±	
-	76. 11	-	V1.238	スリ2	41	莢	施肥期	平口播	「口播別」、外因種立花豌豆(3条)11月起苗播種で追切れる。発根(播種後、直後 11月)。外因種立花豌豆。	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	-	(34.6)	-	(6.6)	±±±	
-	76. 12	-	V1.238	スリ2	41	莢	施肥期	平口播	「口播別」、外因種立花豌豆(3条)11月起苗播種で追切れる。発根(播種後、直後 11月)。外因種立花豌豆。	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	-	(36.6)	-	(6.6)	±±±	
-	76. 13	-	V1.237	スリ2	41	莢	施肥期	平口播	「口播別」、外因種立花豌豆(3条)11月起苗播種で追切れる。発根(播種後、直後 11月)。外因種立花豌豆。	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	-	11.4	-	(7.1)	±±±	
-	76. 14	-	V1.239	スリ2	43	莢	施肥期	平口播	「口播別」、外因種立花豌豆(3条)11月起苗播種で追切れる。発根(播種後、直後 11月)。外因種立花豌豆。	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	-	18.4	4.1	5.5	±±±	
10. 76. 15	(P-2631)	V1.239	スリ2	43	莢	施肥期	平口播	「口播別」、外因種立花豌豆(3条)11月起苗播種で追切れる。発根(播種後、直後 11月)。外因種立花豌豆。	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	-	(26.6)	(14.2)	(5.9)	±±±		
-	76. 16	-	V1.239	スリ2	43	莢	施肥期	平口播	「口播別」、外因種立花豌豆(3条)11月起苗播種で追切れる。発根(播種後、直後 11月)。外因種立花豌豆。	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	-	(8.4)	3.5	(3.5)	±±±	
-	76. 17	先1/14	V1.238	スリ1a	45	莢	施肥期	平口播	「口播別」、外因種立花豌豆(3条)11月起苗播種で追切れる。発根(播種後、直後 11月)。外因種立花豌豆。	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	-	(22.0)	(3.8)	(3.8)	±±±	
-	76. 18	先1/19	V1.236	スリ1a	45	莢	施肥期	平口播	「口播別」、外因種立花豌豆(3条)11月起苗播種で追切れる。発根(播種後、直後 11月)。外因種立花豌豆。	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	外因種立花豌豆 (外因種立花豌豆)	-	(6.5)	(6.5)	(6.5)	±±±	

表4 士器観察表(12)

規 格 名 称 別 名 号 (純上号)	アリゾナ 種別	場所別	細目別	器械	特徴	内部構造		付着物	備 考	11耕 (cm)	耕深 (cm)	高さ (cm)	整地率 (%)
						外因	内因						
- 76 19 079 VKS6 俗1a 穴打 45 深さかく 深さ1a 土壌試験用(甲)。外因部充てん部。耕にによる三叉文。機空化充てん系。構成部材。外因部充てん部。構成部材。	ナデ	黑色(土色付着物) 1.ガサ、流化物(内外) -	(320) -	(50) 82.1%									
- 76 30 079 VRK6 俗2a 46 深さかく 深さ4 土壌試験用(甲)。耕にによる三叉文。機空化充てん系。構成部材。外因部充てん部。構成部材。	ナデ	黑色(土色付着物) 1.ガサ、流化物(内外) -	(110) -	(47) 86.2%									
- 76 21 - VKS6 俗3 47 深さかく 深さ4 土壌試験用(甲)。耕にによる三叉文。機空化充てん系。構成部材。外因部充てん部。構成部材。	ナデ	黑色(土色付着物) 1.ガサ、流化物(内外) -	(56) -	(65) 82.1%									
- 76 22 - VKS6 俗3 47 深さかく 深さ4 土壌試験用(甲)。耕にによる三叉文。機空化充てん系。構成部材。外因部充てん部。構成部材。	ナデ	黑色(土色付着物) 1.ガサ、流化物(内外) -	(170) -	(60) 58.8%									
- 76 23 - VKS6 263 47 深さかく 深さ4 土壌試験用(甲)。耕にによる三叉文。機空化充てん系。構成部材。外因部充てん部。構成部材。	ナデ	黑色(土色付着物) 1.ガサ、流化物(内外) -	(166) -	(83) 82.1%									
- 76 24 - VKS6 俗3 47 深さかく 深さ4 土壌試験用(甲)。耕にによる三叉文。機空化充てん系。構成部材。外因部充てん部。構成部材。	ナデ	黑色(土色付着物) 1.ガサ、流化物(内外) -	(136) -	(43) 82.1%									
- 76 25 079 (P-5621) VKS6 83 47 深さかく 深さ4 土壌試験用(甲)。耕にによる三叉文。機空化充てん系。構成部材。外因部充てん部。構成部材。	ナデ	黑色(土色付着物) 1.ガサ、流化物(内外) -	(93) -	(41) 82.1%									
- 77 1 - VK37 85P 4510 5 土壌分離器 平面機 一二山登込から(山登込)。『引手無用(外因部起反分)』。植え立(山登込)。土壌試験用(甲)。耕にによる三叉文。機空化充てん系。構成部材。外因部充てん部。構成部材。	ナデ	黑色(土色付着物) 1.ガサ、流化物(内外) -	(26.6) -	(65) 64.6%									
- 77 2 - VK37 85P 4511 5 土壌分離器 平面機 一二山登込から(山登込)。『引手無用(外因部起反分)』。植え立(山登込)。土壌試験用(甲)。耕にによる三叉文。機空化充てん系。構成部材。外因部充てん部。構成部材。	ナデ	黑色(土色付着物) 1.ガサ、流化物(内外) -	(22.8) -	(120) 82.1%									
- 77 3 - VK37 (P-5622) 85P 4510 5 土壌分離器 平面機 一二山登込から(山登込)。『引手無用(外因部起反分)』。植え立(山登込)。土壌試験用(甲)。耕にによる三叉文。機空化充てん系。構成部材。外因部充てん部。構成部材。	ナデ	黑色(土色付着物) 1.ガサ、流化物(内外) -	-	(115) 82.1%									
- 77 4 - VK37 85P 4510 5 土壌分離器 平面機 一二山登込から(山登込)。『引手無用(外因部起反分)』。植え立(山登込)。土壌試験用(甲)。耕にによる三叉文。機空化充てん系。構成部材。外因部充てん部。構成部材。	ナデ	黑色(土色付着物) 1.ガサ、流化物(内外) -	(22.6) -	(45) 82.1%									
- 77 5 - VK37 85P 4510 5 土壌分離器 平面機 一二山登込から(山登込)。『引手無用(外因部起反分)』。植え立(山登込)。土壌試験用(甲)。耕にによる三叉文。機空化充てん系。構成部材。外因部充てん部。構成部材。	ナデ	黑色(土色付着物) 1.ガサ、流化物(内外) -	(110) -	(73) 56.2%									
- 77 6 - VK37 85P 4510 5 土壌分離器 平面機 一二山登込から(山登込)。『引手無用(外因部起反分)』。植え立(山登込)。土壌試験用(甲)。耕にによる三叉文。機空化充てん系。構成部材。外因部充てん部。構成部材。	ナデ	黑色(土色付着物) 1.ガサ、流化物(内外) -	-	(106) (55) 82.1%									
- 77 7 VK38 地PMP 4510 5 土壌分離器 平面機 一二山登込から(山登込)。『引手無用(外因部起反分)』。植え立(山登込)。土壌試験用(甲)。耕にによる三叉文。機空化充てん系。構成部材。外因部充てん部。構成部材。	ナデ	黑色(土色付着物) 1.ガサ、流化物(内外) -	(180) -	(95) 54.1%									
- 77 8 - V1.3738 地P 4510 5 土壌分離器 平面機 一二山登込から(山登込)。『引手無用(外因部起反分)』。植え立(山登込)。土壌試験用(甲)。耕にによる三叉文。機空化充てん系。構成部材。外因部充てん部。構成部材。	ナデ	黑色(土色付着物) 1.ガサ、流化物(内外) -	(136) -	(41) 55.6%									
19 77 9 - VK37 地P 4510 5 土壌分離器 平面機 一二山登込から(山登込)。『引手無用(外因部起反分)』。植え立(山登込)。土壌試験用(甲)。耕にによる三叉文。機空化充てん系。構成部材。外因部充てん部。構成部材。	ナデ	黑色(土色付着物) 1.ガサ、流化物(内外) -	(132) -	(60) 82.1%									
- 77 10 - VK38 地P 4510 5 土壌分離器 平面機 一二山登込から(山登込)。『引手無用(外因部起反分)』。植え立(山登込)。土壌試験用(甲)。耕にによる三叉文。機空化充てん系。構成部材。外因部充てん部。構成部材。	ナデ	黑色(土色付着物) 1.ガサ、流化物(内外) -	(46) -	(44) 82.1%									
- 77 11 - V1.3738 地P 4510 5 土壌分離器 平面機 一二山登込から(山登込)。『引手無用(外因部起反分)』。植え立(山登込)。土壌試験用(甲)。耕にによる三叉文。機空化充てん系。構成部材。外因部充てん部。構成部材。	ナデ	黑色(土色付着物) 1.ガサ、流化物(内外) -	(27.4) -	(75) 82.1%									
- 77 12 行矢4 VK38 地P 4510 5 土壌分離器 平面機 一二山登込から(山登込)。『引手無用(外因部起反分)』。植え立(山登込)。土壌試験用(甲)。耕にによる三叉文。機空化充てん系。構成部材。外因部充てん部。構成部材。	ナデ	黑色(土色付着物) 1.ガサ、流化物(内外) -	(50) 66.6%	(126) 54.2%									
- 77 13 079 VK36 地2 50 土壌分離器 平面機 一二山登込から(山登込)。『引手無用(外因部起反分)』。植え立(山登込)。土壌試験用(甲)。耕にによる三叉文。機空化充てん系。構成部材。外因部充てん部。構成部材。	ナデ	黑色(土色付着物) 1.ガサ、流化物(内外) -	(12.6) -	(63) 82.1%									
- 77 14 079 VK36 地2 50 土壌分離器 平面機 一二山登込から(山登込)。『引手無用(外因部起反分)』。植え立(山登込)。土壌試験用(甲)。耕にによる三叉文。機空化充てん系。構成部材。外因部充てん部。構成部材。	ナデ	黑色(土色付着物) 1.ガサ、流化物(内外) -	(36) 61.9%	(36) 61.9%									

表4 土器觀察表 (13)

表4 土器觀察表 (14)

表4 土器觀察表 (15)

表4 土器觀察表 (16)

表4 土器觀察表(17)

表4 土器觀察表 (18)

表4 士器観察表(19)

国 別 類 別 号 番 号 (出土場所)	アリゾナ 地図 番号 (上位)	現場別名	施設	器械	特徴	内部構造		付着物	備 考	11耕 (cm)	風評 (cm)	高さ (cm)	整列率 (%)
						内面	外面						
- 85 17 ⑨11 VM40 d	VI-38-39	施設K	63	深小 床	床面に4 平口縁、外壁側に2面取付。外壁側に2面取付。 外壁側に2面取付。	ナデ	-	-	-	(160)	-	(35)	2~15%
- 85 18 -	VI-38-39	施設K	63	深	床	平口縁、外壁側に2面取付。	ナデ	-	-	(95)	-	(45)	2~15%
- 85 19 ⑨11 VM49 F (P-5062)	VI-38-39	施設Y	63	深	床	床面に4 平口縁、外壁側に2面取付。	ナデ	-	-	(153)	-	(55)	2~15%
- 85 20 ⑨11 VM40 d	VN39	施設W (P-5065)	63	深	床	床面に4 平口縁、外壁側に2面取付。	ナデ	-	-	(145)	-	(45)	2~15%
- 85 21 -	VN39	施設W (P-5066)	63	平付	床	床面に4 平口縁、外壁側に2面取付。	ナデ	-	-	(105)	-	(75)	2~15%
- 85 22 -	VN39	施設W (P-5067)	63	浅	床	床面に4 平口縁、外壁側に2面取付。	ナデ	-	-	(138)	(30)	(42)	2~15%
- 85 23 ⑨11 VN39 d	VN39	施設W (P-5068)	63	浅	床	床面に4 平口縁、外壁側に2面取付。	ナデ	-	-	(116)	-	(31)	2~15%
- 85 24 -	VN39	施設W (P-5069)	63	浅	床	床面に4 平口縁、外壁側に2面取付。	ナデ	-	-	(160)	-	(40)	2~15%
- 85 25 -	VN39	施設W (P-5070)	63	浅	床	床面に4 平口縁、外壁側に2面取付。	ナデ	-	-	(260)	-	(47)	2~15%
12 85 26 ⑨11 VN39 d	VN39	施設Y	63	浅	床	床面に4 平口縁、外壁側に2面取付。	ナデ	-	-	(212)	(65)	(58)	2~15%
- 85 27 -	VN39	施設Y	63	平付	床	床面に4 平口縁、外壁側に2面取付。	ナデ	-	-	(192)	-	(72)	2~15%
- 85 28 ⑨11 VN40 d	VN40 (P-5080)	施設Y	63	浅	床	床面に4 平口縁、外壁側に2面取付。	ナデ	-	-	(282)	-	(100)	2~15%
- 85 29 ⑨10 VI-29 施設上	VI-29	施設上	63	浅	床	床面に4 平口縁、外壁側に2面取付。	ナデ	-	-	(262)	-	(55)	2~15%
- 85 30 ⑨12 VN39 BNK Y	VN39	施設Y	63	浅	床	床面に4 平口縁、外壁側に2面取付。	ナデ	-	-	(162)	63	70	2~15%
- 85 31 ⑨11 VN39 d	VN39	施設Y	63	深	床	床面に4 平口縁、外壁側に2面取付。	ナデ	-	-	-	-	(45)	2~15%
- 85 32 ⑨12 VN39 BNK Y	VN39	施設Y	63	台	床	床面に4 平口縁、外壁側に2面取付。	ナデ	-	-	-	-	(47)	2~15%
- 85 1 ⑨11 VN39 BNK Y	VN39	施設Y	63	深	床	床面に4 平口縁、外壁側に2面取付。	ナデ	-	-	(165)	-	(52)	2~15%
- 85 2 ⑨12 VN39 BNK Y	VN39	施設Y	63	深	床	床面に4 平口縁、外壁側に2面取付。	ナデ	-	-	(32)	-	(44)	2~15%
- 85 3 ⑨11 VN38 SN-e	VN38	施設Y	63	深	床	床面に4 平口縁、外壁側に2面取付。	ナデ	-	-	(26)	-	(45)	2~15%
- 85 4 ⑨10 VM40 d	VN40 (P-5087)	施設Y	63	深	床	床面に4 平口縁、外壁側に2面取付。	ナデ	-	-	(165)	-	(52)	2~15%
- 85 5 ⑨11 VN40 d	VN40 (P-5087)	施設Y	63	深	床	床面に4 平口縁、外壁側に2面取付。	ナデ	-	-	(162)	-	(66)	2~15%
- 85 6 -	VN39	施設K	63	床	床	床面に4 平口縁、外壁側に2面取付。	ナデ	-	-	-	-	(215)	2~15%

表4 土器觀察表 (20)

表4 壺器觀察表(21)

器 類 名 稱 固 有 部 分 號 名 字 (上土号)	アリヤド ル	場所	施設	時期	内面特徴		付着物	備 考	11耕 (cm)	底 径 (cm)	整形 度
					内面(内外面)	外面(内外面)					
- 85 6 - VNA4 簋Ⅱ-1	平口縁、口唇部直線状。外壁ミガ無。底底無。	69	深	地蔵2	平口縁、口唇部直線状。外壁ミガ無。底底無。	ナデ、1.7g ナデ、1.7g ナデ、1.7g ナデ、1.7g	漆彩(内面外) 漆彩(内面外) 漆彩(内面外) 漆彩(内面外)	-	(66)	6.0	2~3.5
14 85 7 - VN44 簋Ⅱ-1 (P-5602)	平口縁、口唇部直線状。外壁ミガ無。底底無。	69	直	地蔵2	平口縁、口唇部直線状。外壁ミガ無。底底無。	ナデ、1.7g ナデ、1.7g ナデ、1.7g ナデ、1.7g	漆彩(内面外) 漆彩(内面外) 漆彩(内面外) 漆彩(内面外)	11.5~ 13.0	4.3	2~3.5	
- 85 8 - VN44 簋Ⅱ-1 (P-5627)	平口縁、口唇部直線状。外壁ミガ無。底底無。	69	直	地蔵2	平口縁、口唇部直線状。外壁ミガ無。底底無。	ナデ、1.7g ナデ、1.7g ナデ、1.7g ナデ、1.7g	漆彩(内面外) 漆彩(内面外) 漆彩(内面外) 漆彩(内面外)	-	(220)	7.2	2~3.5
- 85 9 - VN44 簋Ⅱ-1	平口縁、口唇部直線状。外壁ミガ無。底底無。	69	直	地蔵2	平口縁、口唇部直線状。外壁ミガ無。底底無。	ナデ、1.7g ナデ、1.7g ナデ、1.7g ナデ、1.7g	漆彩(内面外) 漆彩(内面外) 漆彩(内面外) 漆彩(内面外)	-	(50)	5.1	2~3.5
- 85 10 - VM41 簋Ⅱ-1	平口縁、口唇部直線状。外壁ミガ無。底底無。	69	直	地蔵2	平口縁、口唇部直線状。外壁ミガ無。底底無。	ナデ、1.7g ナデ、1.7g ナデ、1.7g ナデ、1.7g	漆彩(内面外) 漆彩(内面外) 漆彩(内面外) 漆彩(内面外)	-	(168)	4.4	2~3.5
- 85 11 - VM41 簋Ⅱ-1 (P-562)	平口縁、口唇部直線状。外壁ミガ無。底底無。	69	直	地蔵2	平口縁、口唇部直線状。外壁ミガ無。底底無。	ナデ、1.7g ナデ、1.7g ナデ、1.7g ナデ、1.7g	漆彩(内面外) 漆彩(内面外) 漆彩(内面外) 漆彩(内面外)	-	(136)	6.9	2~3.5
- 85 12 - VN44 簋Ⅱ-1 (P-5641)	平口縁、口唇部直線状。外壁ミガ無。底底無。	69	直	地蔵2	平口縁、口唇部直線状。外壁ミガ無。底底無。	ナデ、1.7g ナデ、1.7g ナデ、1.7g ナデ、1.7g	漆彩(内面外) 漆彩(内面外) 漆彩(内面外) 漆彩(内面外)	-	(194)	-	2~3.5
14 85 13 - VN42 簋Ⅱ-1 (P-5674)	平口縁、口唇部直線状。外壁ミガ無。底底無。	69	直	地蔵2	平口縁、口唇部直線状。外壁ミガ無。底底無。	ナデ、1.7g ナデ、1.7g ナデ、1.7g ナデ、1.7g	漆彩(内面外) 漆彩(内面外) 漆彩(内面外) 漆彩(内面外)	-	(102)	(6.3)	2~3.5
- 85 14 - VM41 簋Ⅱ-1	平口縁、口唇部直線状。外壁ミガ無。底底無。	69	直	地蔵2	平口縁、口唇部直線状。外壁ミガ無。底底無。	ナデ、1.7g ナデ、1.7g ナデ、1.7g ナデ、1.7g	漆彩(内面外) 漆彩(内面外) 漆彩(内面外) 漆彩(内面外)	-	(94)	3.1	2~3.5
14 85 15 - VN44 簋Ⅱ-1 (P-5649)	平口縁、口唇部直線状。外壁ミガ無。底底無。	69	直	地蔵2	平口縁、口唇部直線状。外壁ミガ無。底底無。	ナデ、1.7g ナデ、1.7g ナデ、1.7g ナデ、1.7g	漆彩(内面外) 漆彩(内面外) 漆彩(内面外) 漆彩(内面外)	-	(28)	5.1	2~3.5
- 85 16 - VM41 簋Ⅱ-1 (P-562)	平口縁、口唇部直線状。外壁ミガ無。底底無。	69	直	地蔵2a~ 1b	平口縁、口唇部直線状。外壁ミガ無。底底無。	ナデ、1.7g ナデ、1.7g ナデ、1.7g ナデ、1.7g	漆彩(内面外) 漆彩(内面外) 漆彩(内面外) 漆彩(内面外)	-	(67)	7.0	2~3.5
14 85 17 - VM41 簋Ⅱ-1 (P-562)	平口縁、口唇部直線状。外壁ミガ無。底底無。	69	直	地蔵2	平口縁、口唇部直線状。外壁ミガ無。底底無。	ナデ、1.7g ナデ、1.7g ナデ、1.7g ナデ、1.7g	漆彩(内面外) 漆彩(内面外) 漆彩(内面外) 漆彩(内面外)	-	(120)	(15.5)	2~3.5
- 86 1 - VN41 簋Ⅱ-1 (P-5671)	平口縁、口唇部直線状。外壁ミガ無。底底無。	69	直	地蔵2	平口縁、口唇部直線状。外壁ミガ無。底底無。	ナデ、1.7g ナデ、1.7g ナデ、1.7g ナデ、1.7g	漆彩(内面外) 漆彩(内面外) 漆彩(内面外) 漆彩(内面外)	-	(120)	4.8	2~3.5
14 86 2 - VN41 簋Ⅱ-1 (P-5620)	平口縁、口唇部直線状。外壁ミガ無。底底無。	69	直	地蔵2	平口縁、口唇部直線状。外壁ミガ無。底底無。	ナデ、1.7g ナデ、1.7g ナデ、1.7g ナデ、1.7g	漆彩(内面外) 漆彩(内面外) 漆彩(内面外) 漆彩(内面外)	-	(104)	4.8	2~3.5
14 86 3 - VZ41 簋Ⅱ-1 (P-1336)	平口縁、口唇部直線状。外壁ミガ無。底底無。	69	直	地蔵2a	平口縁、口唇部直線状。外壁ミガ無。底底無。	ナデ、1.7g ナデ、1.7g ナデ、1.7g ナデ、1.7g	漆彩(内面外) 漆彩(内面外) 漆彩(内面外) 漆彩(内面外)	-	(220)	3.0	2~3.5
- 86 4 - VM41 簋Ⅱ-1 (P-5627)	平口縁、口唇部直線状。外壁ミガ無。底底無。	69	直	地蔵2	平口縁、口唇部直線状。外壁ミガ無。底底無。	ナデ、1.7g ナデ、1.7g ナデ、1.7g ナデ、1.7g	漆彩(内面外) 漆彩(内面外) 漆彩(内面外) 漆彩(内面外)	-	(63)	2~3.5	2~3.5
- 86 5 - VM42 簋Ⅱ-1	平口縁、口唇部直線状。外壁ミガ無。底底無。	76	直	地蔵2	平口縁、口唇部直線状。外壁ミガ無。底底無。	ナデ、1.7g ナデ、1.7g ナデ、1.7g ナデ、1.7g	漆彩(内面外) 漆彩(内面外) 漆彩(内面外) 漆彩(内面外)	-	(91)	2.7	2~3.5
- 86 6 - VN39 簋Ⅱ-1	平口縁、口唇部直線状。外壁ミガ無。底底無。	76	直	地蔵2	平口縁、口唇部直線状。外壁ミガ無。底底無。	ナデ、1.7g ナデ、1.7g ナデ、1.7g ナデ、1.7g	漆彩(内面外) 漆彩(内面外) 漆彩(内面外) 漆彩(内面外)	-	(88)	2.7	2~3.5
14 86 7 - VN40 簋Ⅱ-1 (P-5620)	平口縁、口唇部直線状。外壁ミガ無。底底無。	76	直	地蔵2	平口縁、口唇部直線状。外壁ミガ無。底底無。	ナデ、1.7g ナデ、1.7g ナデ、1.7g ナデ、1.7g	漆彩(内面外) 漆彩(内面外) 漆彩(内面外) 漆彩(内面外)	-	(11.8)	8.4	2~3.5

表4 土器觀察表 (22)



表 4 土器觀察表 (24)

文書名	卷	章	節	題解	釋文	翻訳	註	用語解説		参考文献
								範例	類別	
新刊 月刊 書院	1	アリヤド (巻上号)	など	略解・編輯者など				小字注釈	（例）「外語の定義を2語、文語的意味なし。」 <sup>ミダガ</sup> 。	
VAM0	5	セ11	78	合併	地獄山	（例）「外語の定義を2語、文語的意味なし。」 <sup>ミダガ</sup> 。	ナデ	地獄山（内外）	-	（148） (64) 6399
VAM0	6	セ11	78	合併	地獄山	（例）「外語の定義を2語、文語的意味なし。」 <sup>ミダガ</sup> 。	ナデ	地獄山（内外）	-	（232） (71) 6524
VAM0	7	セ11 (P-5535)	78	合併	地獄山	（例）「外語の定義を2語、文語的意味なし。」 <sup>ミダガ</sup> 。	ナデ	地獄山（内外）	-	194 丸山 2014 5.17.0
VAM0	8	セ11 (P-5534)	78	合併	地獄山	（例）「外語の定義を2語、文語的意味なし。」 <sup>ミダガ</sup> 。	ナデ	地獄山（内外）	-	（90） (60) 5529
VAM0	9	セ11 (P-5535)	78	合併	地獄山	（例）「外語の定義を2語、文語的意味なし。」 <sup>ミダガ</sup> 。	ナデ	地獄山（内外）	-	（70） (71) 5530
VAM0	10	セ11 (P-5531)	78	合併	地獄山	（例）「外語の定義を2語、文語的意味なし。」 <sup>ミダガ</sup> 。	ナデ	地獄山（内外）	-	258 78 5590
VAM0	11	セ11 (P-5534)	78	合併	地獄山	（例）「外語の定義を2語、文語的意味なし。」 <sup>ミダガ</sup> 。	ナデ	地獄山（内外）	-	（240） (70) 6171
VAM0	12	-	78	合併	地獄山	（例）「外語の定義を2語、文語的意味なし。」 <sup>ミダガ</sup> 。	ナデ	地獄山（内外）	-	（220） (60) 5530
VAM0	13	セ10	79	合併	地獄山	（例）「外語の定義を2語、文語的意味なし。」 <sup>ミダガ</sup> 。	ナデ	地獄山（内外）	-	（210） (124) 6269
VAM0	14	セ10	79	合併	地獄山	（例）「外語の定義を2語、文語的意味なし。」 <sup>ミダガ</sup> 。	ナデ	地獄山（内外）	-	（282） (190) 6334
VAM0	15	セ10	79	合併	地獄山	（例）「外語の定義を2語、文語的意味なし。」 <sup>ミダガ</sup> 。	ナデ	地獄山（内外）	-	（184） (70) 5412
VAM0	16	セ10	79	合併	地獄山	（例）「外語の定義を2語、文語的意味なし。」 <sup>ミダガ</sup> 。	ナデ	地獄山（内外）	-	266 （57） 5452
VAM0	17	セ10	79	合併	地獄山	（例）「外語の定義を2語、文語的意味なし。」 <sup>ミダガ</sup> 。	ナデ	地獄山（内外）	-	172 （47） 5251
VAM0	18	セ10	83	合併	地獄山	（例）「外語の定義を2語、文語的意味なし。」 <sup>ミダガ</sup> 。	ナデ	地獄山（内外）	-	（220） (32) 6175
VAM0	19	セ10	83	合併	地獄山	（例）「外語の定義を2語、文語的意味なし。」 <sup>ミダガ</sup> 。	ナデ	地獄山（内外）	-	667 667 5252
VAM0	20	セ10	83	合併	地獄山	（例）「外語の定義を2語、文語的意味なし。」 <sup>ミダガ</sup> 。	ナデ	地獄山（内外）	-	（144） (58) 5266
VAM0	21	セ10	83	合併	地獄山	（例）「外語の定義を2語、文語的意味なし。」 <sup>ミダガ</sup> 。	ナデ	地獄山（内外）	-	（222） (72) 5948
VAM0	1	-	83	合併	地獄山	（例）「外語の定義を2語、文語的意味なし。」 <sup>ミダガ</sup> 。	ナデ	地獄山（内外）	-	（164） (25) 5901
VAM0	2	-	83	合併	地獄山	（例）「外語の定義を2語、文語的意味なし。」 <sup>ミダガ</sup> 。	ナデ	地獄山（内外）	-	（164） (110) 6697
VAM0	3	-	83	合併	地獄山	（例）「外語の定義を2語、文語的意味なし。」 <sup>ミダガ</sup> 。	ナデ	地獄山（内外）	-	（300） (66) 6697

表4 土器觀察表 (25)

表4 土器觀察表 (26)

表4 土器觀察表(27)

器 形 質 類 別 番 号 名 称 (出土場所)	アリゾナ 地 理 学 会 上 部 名 称 (出土場所)	現場記号 VR29	現場記号 VR55	細目記号 R5	器種 深鉢	時期 前期	内部構造		付着物 無	備 考	11耕 (cm)	風溝 (cm)	高さ (cm)	整列No.
							内面	外面						
15 91 2 e710	VR29	VR29	VR55	R5	深鉢	前期	平底面。内面は素面(一部磨痕)。口唇部及内面に縦溝二箇。	外表面は土質の割合より(底面より)、外表面は土質の割合より(底面より)。	ナデ土質上 底付(外側)	-	(270)	9.1	(410)	北-土器 5335
- 91 3 e710	VR29	VR29	VR55	R5	浅鉢	前期	底付(内側)。口唇部及内面に縦溝二箇。	外表面は土質の割合より(底面より)。	ナデ土質上 底付(外側)	-	(245)	-	(310)	北-土器 6180
- 91 4 e710	VR29	VR29	VR55	R5	深鉢	中期2-3	底付(内側)。口唇部及内面に縦溝二箇。	外表面は土質の割合より(底面より)。	ナデ土質上 底付(外側)	-	(260)	-	(771)	北-土器 5270
- 91 5 e710	VR29	VR29	VR55	R5	深鉢	中期3	底付(内側)。口唇部及内面に縦溝二箇。	外表面は土質の割合より(底面より)。	ナデ土質上 底付(外側)	-	(160)	-	(43)	北-土器 5156
- 91 6 e710	VR29	VR29	VR55	R5	深鉢	中期3	底付(内側)。口唇部及内面に縦溝二箇。	外表面は土質の割合より(底面より)。	ナデ土質上 底付(外側)	-	(225)	-	(319)	北-土器 5709
- 91 7 -	VL40	VL40	VL40	R5	深V碗	89-125	底付(内側)。口唇部及内面に縦溝二箇。	外表面は土質の割合より(底面より)。	ナデ土質上 底付(外側)	-	(158)	-	(540)	北-土器 5035
- 91 8 -	VL40	VL40	VL40	R5	深V碗	89-125	底付(内側)。口唇部及内面に縦溝二箇。	外表面は土質の割合より(底面より)。	ナデ土質上 底付(外側)	-	(170)	-	(106)	北-土器 5282
- 91 9 -	VL40	VL40	VL40	R5	深V碗	89-125	底付(内側)。口唇部及内面に縦溝二箇。	外表面は土質の割合より(底面より)。	ナデ土質上 底付(外側)	-	(192)	-	(67)	北-土器 5423
- 91 10 -	VL40	VL40	VL40	R5	深V碗	89-125	底付(内側)。口唇部及内面に縦溝二箇。	外表面は土質の割合より(底面より)。	ナデ土質上 底付(外側)	-	(300)	-	(70)	北-土器 5060
- 91 11 -	VL40	VL40	VL40	R5	深V碗	89-125	底付(内側)。口唇部及内面に縦溝二箇。	外表面は土質の割合より(底面より)。	ナデ土質上 底付(外側)	-	(76)	-	(76)	北-土器 5620
- 91 12 -	VL40	VL40	VL40	R5	深V碗	89-125	底付(内側)。口唇部及内面に縦溝二箇。	外表面は土質の割合より(底面より)。	ナデ土質上 底付(外側)	-	-	-	-	北-土器 5962
- 91 13 -	VL41	VL41	VL41	R5	深V碗	89-125-123	底付(内側)。口唇部及内面に縦溝二箇。	外表面は土質の割合より(底面より)。	ナデ土質上 底付(外側)	-	(103)	-	(34)	北-土器 6175
- 91 14 -	VL40	VL40	VL40	R5	深V碗	89-120-123	底付(内側)。口唇部及内面に縦溝二箇。	外表面は土質の割合より(底面より)。	ナデ土質上 底付(外側)	-	(107)	-	(34)	北-土器 6176
- 91 15 -	VL40	VL40	VL40	R5	深V碗	89-120-123	底付(内側)。口唇部及内面に縦溝二箇。	外表面は土質の割合より(底面より)。	ナデ土質上 底付(外側)	-	(113)	-	(85)	北-土器 5266
- 91 16 -	VL41	VL41	VL41	R5	深V碗	89-120-123	底付(内側)。口唇部及内面に縦溝二箇。	外表面は土質の割合より(底面より)。	ナデ土質上 底付(外側)	-	(243)	-	(175)	北-土器 5136
- 91 17 -	VL41	VL41	VL41	R5	深V碗	89-120-123	底付(内側)。口唇部及内面に縦溝二箇。	外表面は土質の割合より(底面より)。	ナデ土質上 底付(外側)	-	(235)	-	(200)	北-土器 5167
- 91 18 -	VL40	VL40	VL40	R5	深V碗	89-120-123	底付(内側)。口唇部及内面に縦溝二箇。	外表面は土質の割合より(底面より)。	ナデ土質上 底付(外側)	-	(114)	-	(77)	北-土器 5258
- 91 19 -	VL40	VL40	VL40	R5	深V碗	89-120-123	底付(内側)。口唇部及内面に縦溝二箇。	外表面は土質の割合より(底面より)。	ナデ土質上 底付(外側)	-	-	-	-	北-土器 6220
- 92 1 e710	VL29	VL29	VL29	R5	深鉢	後期	底付(内側)。口唇部及内面に縦溝二箇。	外表面は土質の割合より(底面より)。	ナデ土質上 底付(外側)	-	-	-	-	北-土器 5225
- 92 2 -	VL40	VL40	VL40	R5	深鉢	後期	底付(内側)。口唇部及内面に縦溝二箇。	外表面は土質の割合より(底面より)。	ナデ土質上 底付(外側)	-	(268)	-	(78)	北-土器 5312
- 92 3 -	VM40	VM40	VM40	R5	深鉢	後期	底付(内側)。口唇部及内面に縦溝二箇。	外表面は土質の割合より(底面より)。	ナデ土質上 底付(外側)	-	(25.6)	-	(148)	北-土器 6267
- 92 3 -	VM40	VM40	VM40	R5	深鉢	後期	底付(内側)。口唇部及内面に縦溝二箇。	外表面は土質の割合より(底面より)。	ナデ土質上 底付(外側)	-	(260)	-	(257)	北-土器 6228

表4 土器觀察表 (28)

表4 土器觀察表 (29)

表4 土器觀察表 (30)

表4 土器觀察表 (31)

表4 土器觀察表(32)

表4 土器觀察表 (33)

表4 壁器観察表(34)

壁 器 名 称 部 位 番 号 (壁上部 名)	アリゾド (壁上部 名)	現場部位 (壁上部 名)	被付部位 (壁上部 名)	壁面 (壁上部 名)	特徴	壁材 (壁上部 名)	内側特徴	外側物 (壁上部 名)	備 考	11桂 (cm)	床坪 (cm)	高さ (cm)	整地高 (cm)
- 96 3 - VNS9 (> 4179) (P-5006)	アリゾド	現場部位	被付部位	壁材	平頂壁。壁材は柱間に設置され、柱間に隙間なし。斜面の位置間に外壁遮蔽文。斜面遮蔽文。ナフコ11。柱材に接して、外壁遮蔽文を設置する。又他の文書なし。	ナフコ	-	内側特徴	外側物	65	-	(59)	5739
- 96 4 - VNS9 (> 4179) (P-5064)	アリゾド	現場部位	被付部位	壁材	柱間に接して、外壁遮蔽文を設置する。又他の文書なし。	ナフコ	-	内側特徴	外側物	(37.4)	-	(34)	5185
- 96 5 - VNS9 (> 4179) (P-5067)	アリゾド	現場部位	被付部位	壁材	柱間に接して、外壁遮蔽文を設置する。又他の文書なし。	ナフコ	-	内側特徴	外側物	(32.8)	-	(22)	5185
- 96 6 - VNS9 (> 4179) (P-5067)	アリゾド	現場部位	被付部位	壁材	柱間に接して、外壁遮蔽文を設置する。又他の文書なし。	ナフコ	-	内側特徴	外側物	(17.0)	-	(8.2)	5185
- 96 7 - VNS9 (> 4179) (P-5067)	アリゾド	現場部位	被付部位	壁材	柱間に接して、外壁遮蔽文を設置する。又他の文書なし。	ナフコ	-	内側特徴	外側物	(15.0)	-	(8.8)	5185
- 96 8 - VNS9 (> 4179) (P-5067)	アリゾド	現場部位	被付部位	壁材	柱間に接して、外壁遮蔽文を設置する。又他の文書なし。	ナフコ	-	内側特徴	外側物	(23.4)	-	(5.7)	5185
- 96 9 - VNS9 (> 4179) (P-5067)	アリゾド	現場部位	被付部位	壁材	柱間に接して、外壁遮蔽文を設置する。又他の文書なし。	ナフコ	-	内側特徴	外側物	(14.6)	-	(5.2)	5185
- 96 10 - VNS9 (> 4179) (P-5067)	アリゾド	現場部位	被付部位	壁材	柱間に接して、外壁遮蔽文を設置する。又他の文書なし。	ナフコ	-	内側特徴	外側物	(14.2)	-	(7.2)	5185
- 96 11 - VNS9 (> 4179) (P-5067)	アリゾド	現場部位	被付部位	壁材	柱間に接して、外壁遮蔽文を設置する。又他の文書なし。	ナフコ	-	内側特徴	外側物	180	-	(9.6)	5175
- 96 12 - VNS9 (> 4179) (P-5067)	アリゾド	現場部位	被付部位	壁材	柱間に接して、外壁遮蔽文を設置する。又他の文書なし。	ナフコ	-	内側特徴	外側物	(25.8)	-	(4.6)	5175
- 96 13 - VNS9 (> 4179) (P-5067)	アリゾド	現場部位	被付部位	壁材	柱間に接して、外壁遮蔽文を設置する。又他の文書なし。	ナフコ	-	内側特徴	外側物	(25.6)	-	(10.2)	5175
- 96 14 8111 VNS9 (> 4179) (P-5067)	アリゾド	現場部位	被付部位	壁材	柱間に接して、外壁遮蔽文を設置する。又他の文書なし。	ナフコ	-	内側特徴	外側物	(36.0)	-	(9.1)	5175
- 96 15 - VNS9 (> 4179) (P-5067)	アリゾド	現場部位	被付部位	壁材	柱間に接して、外壁遮蔽文を設置する。又他の文書なし。	ナフコ	-	内側特徴	外側物	(15.6)	-	(11.3)	5175
- 96 16 - VNS9 (> 4179) (P-5067)	アリゾド	現場部位	被付部位	壁材	柱間に接して、外壁遮蔽文を設置する。又他の文書なし。	ナフコ	-	内側特徴	外側物	(28.0)	-	(8.3)	5175
- 96 17 8112 VNS9 (> 4179) (P-5067)	アリゾド	現場部位	被付部位	壁材	柱間に接して、外壁遮蔽文を設置する。又他の文書なし。	ナフコ	-	内側特徴	外側物	(25.0)	-	(11.6)	5175
- 96 18 - VNS9 (> 4179) (P-5067)	アリゾド	現場部位	被付部位	壁材	柱間に接して、外壁遮蔽文を設置する。又他の文書なし。	ナフコ	-	内側特徴	外側物	(23.8)	-	(8.5)	5175
- 96 19 - VNS9 (> 4179) (P-5067)	アリゾド	現場部位	被付部位	壁材	柱間に接して、外壁遮蔽文を設置する。又他の文書なし。	ナフコ	-	内側特徴	外側物	-	-	(4.5)	5175
- 96 20 - VNS9 (> 4179) (P-5067)	アリゾド	現場部位	被付部位	壁材	柱間に接して、外壁遮蔽文を設置する。又他の文書なし。	ナフコ	-	内側特徴	外側物	(18.0)	-	(5.0)	5175
18 96 21 - VNS9 (> 4179) (P-5067)	アリゾド	現場部位	被付部位	壁材	柱間に接して、外壁遮蔽文を設置する。又他の文書なし。	ナフコ	-	内側特徴	外側物	12.1	8.0	6.7	5173
- 96 22 - VNS9 (> 4179) (P-5067)	アリゾド	現場部位	被付部位	壁材	柱間に接して、外壁遮蔽文を設置する。又他の文書なし。	ナフコ	-	内側特徴	外側物	(20.8)	-	(6.0)	5173
- 96 23 - VNS9 (> 4179) (P-5067)	アリゾド	現場部位	被付部位	壁材	柱間に接して、外壁遮蔽文を設置する。又他の文書なし。	ナフコ	-	内側特徴	外側物	(28.2)	-	(5.0)	5173
- 96 24 - VNS9 (> 4179) (P-5067)	アリゾド	現場部位	被付部位	壁材	柱間に接して、外壁遮蔽文を設置する。又他の文書なし。	ナフコ	-	内側特徴	外側物	(26.0)	-	(7.5)	5173
- 96 25 - VNS9 (> 4179) (P-5067)	アリゾド	現場部位	被付部位	壁材	柱間に接して、外壁遮蔽文を設置する。又他の文書なし。	ナフコ	-	内側特徴	外側物	11.0	6.0	19.7	5173

表4 土器觀察表 (35)

表4 土器觀察表 (36)

種類	原種 名	学名 (英語)	日本種 名	アリッド (英語)	栽培部位	施設部位	特徴	内因特徵		外因特徵		参考	
								根	茎	葉	花		
平野型	野菜	野菜	野菜	アリッド	根	地際	5.5m	根	地中	葉	花	果	高さ (cm)
-	100 3 -	VN90	黒梗	95	林	地際2	5.5m	根	地中	葉	花	果	±1.5
-	100 4 -	VN90	黒梗	95	林	地際2	5.5m	根	地中	葉	花	果	±1.5
-	100 5 -	VN90	黒梗	95	林	地際2	5.5m	根	地中	葉	花	果	±1.5
-	100 6 -	VN92	黒梗	95	林	地際2-3	5.5m	根	地中	葉	花	果	±1.5
-	100 7 -	VN92	黒梗	95	林	地際2	5.5m	根	地中	葉	花	果	±1.5
-	100 8 -	VN90	黒梗	95	林	地際2-3	5.5m	根	地中	葉	花	果	±1.5
-	100 9 -	[P-2521]	黒梗	95	林	地際2-3	5.5m	根	地中	葉	花	果	±1.5
-	100 10 (P-1)	VN90	黒梗	95	林	地際2-3	5.5m	根	地中	葉	花	果	±1.5
-	100 10 (P-3)	VN90	黒梗	95	林	地際2-3	5.5m	根	地中	葉	花	果	±1.5
-	100 11 -	VN91	黒梗	95	林	地際2-3	5.5m	根	地中	葉	花	果	±1.5
-	100 12 -	VN91	黒梗	95	林	地際2-3	5.5m	根	地中	葉	花	果	±1.5
-	100 13 -	[P-2523]	黒梗	95	林	地際2-3	5.5m	根	地中	葉	花	果	±1.5
-	100 14 -	VN92	黒梗	95	林	地際2-3	5.5m	根	地中	葉	花	果	±1.5
-	100 15 (P-4)	VNST	黒梗	95	林	地際2-3	5.5m	根	地中	葉	花	果	±1.5
-	100 16 -	VNST	黒梗	95	林	地際2-3	5.5m	根	地中	葉	花	果	±1.5
-	100 17 (P-4)	VNST	黒梗	95	林	地際2-3	5.5m	根	地中	葉	花	果	±1.5
-	100 18 -	[P-2520]	黒梗	95	林	地際2-3	5.5m	根	地中	葉	花	果	±1.5
-	100 19 -	VN92	黒梗	95	且	地際3	5.5m	根	地中	葉	花	果	±1.5
-	100 20 -	[P-2508]	黒梗	95	且	地際3	5.5m	根	地中	葉	花	果	±1.5
-	100 21 -	VN92	黒梗	95	且	地際3	5.5m	根	地中	葉	花	果	±1.5
-	101 1 -	[P-5456]	黒梗	95	且	地際3	5.5m	根	地中	葉	花	果	±1.5
-	101 2 -	VPC	黒梗	95	且	地際3	5.5m	根	地中	葉	花	果	±1.5

表4 壁器観察表(37)

器 形 質 別 名 呼 び	材 質 名 呼 び	アリゾ ド ル 上 方 号	場 所	施 工	特 徴	特 徴	内 部 特 徴	付 着 物	備 考	11桂 (cm)	底 径 (cm)	高 さ (cm)	整 理 No.
- 101 3 - VNB0 黒陶 96 浅鉢 地脚2-3 下文に7字から脚部の脚部。口縁直角。外周底面は斜面で、底部は直角。側面は斜面で、底部は直角。側面は斜面で、底部は直角。ナデ。[口縁直角。外周底面は斜面で、底部は直角。側面は斜面で、底部は直角。側面は斜面で、底部は直角。ナデ。]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(165)	-	(53)	6064
19 101 4 - VNB2 黒陶 96 瓦片 地脚2-3 外周底面は斜面で、底部は直角。側面は斜面で、底部は直角。側面は斜面で、底部は直角。ナデ。[口縁直角。外周底面は斜面で、底部は直角。側面は斜面で、底部は直角。ナデ。]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	186	78	78	2323
19 101 5 - VNB8 黒陶 96 瓦片 地脚2-3 外周底面は斜面で、底部は直角。側面は斜面で、底部は直角。側面は斜面で、底部は直角。ナデ。[口縁直角。外周底面は斜面で、底部は直角。側面は斜面で、底部は直角。ナデ。]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(311)	(50)	(81)	6065
19 101 6 - VNB0 (P-5203) 黑陶 96 瓦片 地脚2-3 外周底面は斜面で、底部は直角。側面は斜面で、底部は直角。ナデ。[口縁直角。外周底面は斜面で、底部は直角。側面は斜面で、底部は直角。ナデ。]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	228	-	-	5322
- 101 7 tSN 11 VNB8 黒陶 96 瓦片 地脚2-3 外周底面は斜面で、底部は直角。側面は斜面で、底部は直角。ナデ。[口縁直角。外周底面は斜面で、底部は直角。側面は斜面で、底部は直角。ナデ。]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(128)	-	-	2325
- 101 8 - VNB2 黑陶 96 瓦片 地脚2-3 外周底面は斜面で、底部は直角。側面は斜面で、底部は直角。ナデ。[口縁直角。外周底面は斜面で、底部は直角。側面は斜面で、底部は直角。ナデ。]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(50)	-	-	6066
- 101 9 - VNB2 黑陶 96 瓦片 地脚2-3 外周底面は斜面で、底部は直角。ナデ。[口縁直角。外周底面は斜面で、底部は直角。ナデ。]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2326
- 101 10 tSN 11 VNCT 黑陶 95 瓦片 地脚2-3 外周底面は斜面で、底部は直角。ナデ。[口縁直角。外周底面は斜面で、底部は直角。ナデ。]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2327
- 101 11 - VNB0 黑陶 95 瓦片 地脚2-3 外周底面は斜面で、底部は直角。ナデ。[口縁直角。外周底面は斜面で、底部は直角。ナデ。]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2328
- 101 12 - VNB2 黑陶 95 瓦片 地脚2-3 外周底面は斜面で、底部は直角。ナデ。[口縁直角。外周底面は斜面で、底部は直角。ナデ。]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2329
- 101 13 - VNB8 (P-5202) 黑陶 95 瓦片 地脚2-3 外周底面は斜面で、底部は直角。ナデ。[口縁直角。外周底面は斜面で、底部は直角。ナデ。]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2330
- 101 14 - VNB0 (P-5203) 黑陶 95 瓦片 地脚2-3 外周底面は斜面で、底部は直角。ナデ。[口縁直角。外周底面は斜面で、底部は直角。ナデ。]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(50)	50	14.1	2331
- 101 15 - VNB1 黑陶 95 瓦片 地脚2-3 外周底面は斜面で、底部は直角。ナデ。[口縁直角。外周底面は斜面で、底部は直角。ナデ。]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2332
19 102 1 - VNB8 (P-5204) 黑陶 96 瓦片 地脚2-3 外周底面は斜面で、底部は直角。ナデ。[口縁直角。外周底面は斜面で、底部は直角。ナデ。]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2333
- 102 2 - VNB9 黑陶 96 瓦片 地脚2-3 外周底面は斜面で、底部は直角。ナデ。[口縁直角。外周底面は斜面で、底部は直角。ナデ。]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2334
19 102 3 - VNB2 黑陶 96 瓦片 地脚2-3 外周底面は斜面で、底部は直角。ナデ。[口縁直角。外周底面は斜面で、底部は直角。ナデ。]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2335
19 102 4 - VNB8 (P-5207) 黑陶 96 瓦片 地脚2-3 外周底面は斜面で、底部は直角。ナデ。[口縁直角。外周底面は斜面で、底部は直角。ナデ。]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2336
19 102 5 - VNB9 黑陶 96 瓦片 地脚2-3 外周底面は斜面で、底部は直角。ナデ。[口縁直角。外周底面は斜面で、底部は直角。ナデ。]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2337
- 102 6 - VNB8 (P-5208) 黑陶 96 瓦片 地脚2-3 外周底面は斜面で、底部は直角。ナデ。[口縁直角。外周底面は斜面で、底部は直角。ナデ。]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2338

表4 土器觀察表 (38)

表4 壁器観察表(39)

国 別 類 別 号 番 号 名 称	アリゾナ 州上号	場所	施設	特徴	内蔵物	付着物	備 考	11耕 (cm)	底耕 (cm)	高さ (cm)	整地面 (cm)		
					内蔵物	付着物	備 考						
18 102 24 -	17344 (P-5084)	東田-2	107	浅耕	施肥	平田地。表面は草むら。下の土は黒褐色。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。	中耕(内蔵面) 買通石砾、3石	-	14.4	5.7	6.4	±2.5	
-	V329 △ 4189	△ 4189	109	浅耕	施肥	平田地。口付部(左側)、1.ガキ、底面に付着物なし。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。	-	-	14.6	-	(310) △-1.5	6003	
-	103 2 -	V329 △ 4189	109	浅耕	施肥	平田地。口付部(左側)、1.ガキ、底面に付着物なし。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。	-	-	11.6	-	(41) 6113	±1.5	
-	103 3 -	V329 △ 4189	109	浅耕	施肥	平田地。口付部(左側)、1.ガキ、底面に付着物なし。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。	-	-	12.0	-	(46) 5882	±1.5	
-	V329 △ 4189 △ 4189 △ 4189	△ 4189	63	深耕	施肥	平田地。口付部(左側)、1.ガキ、底面に付着物なし。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。	買通石砾、1.ガキ、底面に付着物なし。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。	-	28.0	(28.0)	7.3	±1.5	5503
-	103 5 -	V329 △ 4189	109	深耕	施肥	平田地。口付部(左側)、1.ガキ、底面に付着物なし。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。	-	-	17.8	-	(66) 6383	±1.5	
-	103 6 4111	V329 SN-5	109	深耕	施肥	平田地。口付部(左側)、1.ガキ、底面に付着物なし。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。	底面に付着物なし。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。	-	19.0	-	(52) 6388	±1.5	
18 103 7 4111 (P-5084)	V329 SN-5	109	深耕	施肥	平田地。口付部(左側)、1.ガキ、底面に付着物なし。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。	底面に付着物なし。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。	-	25.6	(25.6)	(9.2)	±1.5	5328	
-	103 8 4111 V329 f	109	深耕	施肥	平田地。口付部(左側)、1.ガキ、底面に付着物なし。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。	-	-	14.6	-	(67) 6386	±1.5		
-	103 9 -	V141 劍子	112	深耕	施肥	平田地。口付部(左側)、1.ガキ、底面に付着物なし。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。	ナゲ	-	-	-	-	13.3	
-	103 10 -	V141 劍子 V140 IV	112	深耕	施肥	平田地。口付部(左側)、1.ガキ、底面に付着物なし。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。	ナゲ	-	-	-	-	13.3	
-	103 11 -	V141 劍子 V139	112	深耕	施肥	平田地。口付部(左側)、1.ガキ、底面に付着物なし。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。	ナゲ	-	-	-	-	13.3	
-	103 12 -	V141 劍子 V139	112	深耕	施肥	平田地。口付部(左側)、1.ガキ、底面に付着物なし。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。	ナゲ	-	-	-	-	13.3	
-	103 13 -	V141 劍子 V139	112	深耕	施肥	平田地。口付部(左側)、1.ガキ、底面に付着物なし。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。	ナゲ	-	-	-	-	13.3	
18 103 14 -	V141 劍子	112	深耕	施肥	平田地。口付部(左側)、1.ガキ、底面に付着物なし。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。	ナゲ	-	-	-	-	13.3		
-	103 15 -	V140 劍子	116~118	深耕	施肥	平田地。口付部(左側)、1.ガキ、底面に付着物なし。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。	ナゲ	-	-	-	-	13.3	
-	103 16 -	V140 劍子	116~118	深耕	施肥	平田地。口付部(左側)、1.ガキ、底面に付着物なし。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。	ナゲ	-	-	-	-	13.3	
-	103 17 -	V141 劍子	116~118	深耕	施肥	平田地。口付部(左側)、1.ガキ、底面に付着物なし。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。	ナゲ	-	-	-	-	13.3	
-	103 18 -	V140 劍子	116~118	深耕	施肥	平田地。口付部(左側)、1.ガキ、底面に付着物なし。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。	ナゲ	-	-	-	-	13.3	
-	103 19 4110	V139 劍子	121	深耕	施肥	平田地。口付部(左側)、1.ガキ、底面に付着物なし。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。表面は草むら。外側は黒褐色で、裏側は茶褐色。	ナゲ	-	-	-	-	13.3	

表4 土器觀察表 (40)

表4 士器観察表(41)

器 類 名 呼 び	材 質 名 呼 び	アリゾド (上土号)	現場測定 位置	細胞粒	茎端	細胞	内部构造		植物	備 考	11耕 (cm)	風評 (cm)	高さ (cm)	整地 面
							内壁物	外壁物						
- 105 17 - VJ40 油U 122-125 茎 11耕 11耕(17耕)。外壁物(内壁)。内壁物(外壁)。外壁物(内壁)。外壁物(内壁)。外壁物(内壁)。	ナデ	-	(16.2)	-	(7.0)	±-1.5%	5477							
- 106 1 - VJ40 油U 122-125 茎 11耕 11耕(17耕)。外壁物(内壁)。外壁物(内壁)。	ナデ	-	(25.0)	-	(11.0)	±-1.5%	5431							
- 106 2 - VK40 油W 122-125 茎 11耕 11耕(17耕)。外壁物(内壁)。外壁物(内壁)。	ナデ	-	(43.6)	-	(13.0)	±-1.5%	5289							
- 106 3 - VK40 (P-5641) 油U 122-125 茎 11耕 11耕(17耕)。外壁物(内壁)。外壁物(内壁)。	ナデ	-	(24.0)	-	(18.2)	±-1.5%	5219							
20 105 4 - VJ40 油U 122-125 茎 11耕 11耕(17耕)。外壁物(内壁)。外壁物(内壁)。	ナデ	-	(13.5)	(6.8)	13.8	±-1.5%	5217							
- 106 5 - VJ40 (P-5641) 油W 122-125 茎 11耕 11耕(17耕)。外壁物(内壁)。	ナデ	-	(8.6)	(2.6)	11.0	±-1.5%	5468							
- 106 6 - VK40 油U 122-125 茎 11耕 11耕(17耕)。外壁物(内壁)。外壁物(内壁)。	ナデ	-	(11.0)	(4.7)	11.0	±-1.5%	5455							
- 106 7 - VJ40 油U 122-125 茎 11耕 11耕(17耕)。外壁物(内壁)。外壁物(内壁)。	ナデ	-	(16.0)	无灰	7.0	±-1.5%	5446							
- 106 8 - VJ40 (P-5642) 油U 122-125 茎 11耕 11耕(17耕)。外壁物(内壁)。外壁物(内壁)。	ナデ	-	(13.4)	无灰	7.5	±-1.5%	5288							
- 106 9 - VK40 油U 122-125 茎 11耕 11耕(17耕)。外壁物(内壁)。外壁物(内壁)。	ナデ	-	(7.2)	(3.2)	11.0	±-1.5%	6571							
- 106 10 - VK40 (P-5722) 油U 122-125 茎 11耕 11耕(17耕)。外壁物(内壁)。	ナデ	-	-	-	24	±-1.5%	5375							
- 106 11 - VJ40 油U 122-125 茎 11耕 11耕(17耕)。外壁物(内壁)。外壁物(内壁)。	ナデ	-	(4.5)	(0.5)	11.0	±-1.5%	5205							
- 106 12 - VK40 油U 122-125 茎 11耕 11耕(17耕)。外壁物(内壁)。外壁物(内壁)。	ナデ	-	(8.0)	(7.0)	11.0	±-1.5%	5382							
- 106 13 - VK40 油U 122-125 茎 11耕 11耕(17耕)。外壁物(内壁)。外壁物(内壁)。	ナデ	-	(7.4)	-	(10.8)	±-1.5%	5306							
- 106 14 - VK40 (P-5665) 油U 122-125 茎 11耕 11耕(17耕)。外壁物(内壁)。外壁物(内壁)。	ナデ	-	70	无灰	10.5	±-1.5%	5026							
- 106 15 - VJ40 油U 122-125 茎 11耕 11耕(17耕)。外壁物(内壁)。外壁物(内壁)。	ナデ	-	132	-	(5.7)	±-1.5%	5661							
20 106 16 - VJ41 (P-5641) 油U 122-125 茎 11耕 11耕(17耕)。外壁物(内壁)。外壁物(内壁)。	ナデ	-	4.5	5.9	12.5	±-1.5%	5433							
- 106 17 - VK40 (P-5603) 油U 122-125 茎 11耕 11耕(17耕)。外壁物(内壁)。外壁物(内壁)。	ナデ	-	-	-	-	±-1.5%	5308							

表4 壓器観察表 (42)

器 類 名 呼 名 所 在 地 (上層号)	アリゾナ 種別	現場見付 数	細胞粒	器械	特徴	内面特徴		付着物	備 考	11耕 (cm)	底耕 (cm)	整地 (cm)
						外延表面	内面表面					
- 105 18 - VK40 沖U	サトウ	122-125	サトウ	直角長軸 偏心	直角長軸 偏心	ナデ	-	-	-	(4.4)	2.1-1.5	5598
20 105 19 - VK40 沖UW	サトウ	122-125-128	サトウ	直角長軸 偏心	直角長軸 偏心	ナデ	-	-	(171)	-	(97)	2.1-1.5
- 105 20 - VL40 沖U	サトウ	124	サトウ	直角長軸 偏心	直角長軸 偏心	ナデ、ミガ 面	-	-	(192)	-	(85)	2.1-1.5
- 105 21 - VL40 沖U	サトウ	124	サトウ	直角長軸 偏心	直角長軸 偏心	ナデ、ミガ 面	-	-	175	-	(96)	2.1-1.5
- 105 22 - VL40 沖U	サトウ	124	サトウ	直角長軸 偏心	直角長軸 偏心	ナデ	-	-	142	27	6.2	2.1-1.5
- 105 23 - VL40 沖U	サトウ	124	サトウ	直角長軸 偏心	直角長軸 偏心	ナデ	黒色付着物	-	62	光底	9.3	2.1-1.5
20 106 1 - VL40 沖VU	サトウ	125	サトウ	直角長軸 偏心	直角長軸 偏心	ナデ	-	-	176	-	(141)	2.1-1.5
- 106 2 #10 VL29 沖VR	サトウ	125	サトウ	直角長軸 偏心	直角長軸 偏心	ナデ	-	-	(116)	56	12.3	2.1-1.5
- 106 3 #10 VL29 沖U	サトウ	125	サトウ	直角長軸 偏心	直角長軸 偏心	ナデ	-	-	(238)	27	-	2.1-1.5
- 106 4 #10 VL29 沖VR	サトウ	125	サトウ	直角長軸 偏心	直角長軸 偏心	ナデ	-	-	(120)	63	14.3	2.1-1.5
- 106 5 #10 VL29 沖VR	サトウ	125	サトウ	直角長軸 偏心	直角長軸 偏心	ナデ	-	-	(130)	74	5.2	2.1-1.5
- 106 6 #10 VL29 沖U	サトウ	125	サトウ	直角長軸 偏心	直角長軸 偏心	ナデ	-	-	(260)	-	(134)	2.1-1.5
- 106 7 - VL40 沖VR	サトウ	125	サトウ	直角長軸 偏心	直角長軸 偏心	ナデ、ミガ 面	-	-	205	-	(89)	2.1-1.5
- 106 8 #10 VL29 沖VR	サトウ	125	サトウ	直角長軸 偏心	直角長軸 偏心	ナデ	-	-	63	(81)	2.1-1.5	2667
- 106 9 #10 VL29 沖VR	サトウ	125	サトウ	直角長軸 偏心	直角長軸 偏心	ナデ	ナデの底面 付着物	-	(260)	-	(74)	2.1-1.5
- 106 10 #10 VL29 沖VR	サトウ	125	サトウ	直角長軸 偏心	直角長軸 偏心	ナデ	ナデの底面 付着物	-	31.0	-	(198)	2.1-1.5
- 106 11 - VL40 沖VR	サトウ	125	サトウ	直角長軸 偏心	直角長軸 偏心	ナデ	ナデの底面 付着物	-	50	(54)	5.6	2.1-1.5
- 106 12 #10 VL29 沖VR	サトウ	125	サトウ	直角長軸 偏心	直角長軸 偏心	ナデ	ナデの底面 付着物	-	(140)	-	(46)	2.1-1.5
- 106 13 - VL40 沖VR	サトウ	125	サトウ	直角長軸 偏心	直角長軸 偏心	ナデ	ナデの底面 付着物	-	(160)	-	(55)	2.1-1.5
- 106 14 #10 VL40 沖VR	サトウ	125	サトウ	直角長軸 偏心	直角長軸 偏心	ナデ	ナデの底面 付着物	-	(24.4)	-	(93)	2.1-1.5
- 106 15 - VL40 沖VR	サトウ	125	サトウ	直角長軸 偏心	直角長軸 偏心	ナデ	ナデの底面 付着物	-	(160)	-	(71)	2.1-1.5
- 106 16 #10 VL29 沖VR	サトウ	125	サトウ	直角長軸 偏心	直角長軸 偏心	ナデ	ナデの底面 付着物	-	(238)	-	(85)	2.1-1.5

表 4 土器觀察表 (43)

表4 土器觀察表 (44)

表4 土器觀察表(45)

国名 民族 言語 閲覧	文書 番号	文書 題名	文書 説明	文書 種類	時間	内閣文庫		保管者	備考	高さ (cm)	幅員 (cm)	奥行き (cm)
						外語種別	所蔵館					
- 108 8 - V141 恋人宛手紙	125	郵便小 合	外語種別 外語種別	手紙	125	ナデ	文部省(外語)	北洋書店多 用	-	(38) 6105	1.3	-
20 108 9 - V140 恋人宛手紙	125	郵便小 合	外語種別 外語種別	手紙	125	ナデ	文部省(外語)	日本語は被 害地モヒカ少 年	-	6.8 6344	1.3	-
- 108 10 - V137 恋人宛手紙	127	郵便小 合	外語種別 外語種別	手紙	127	ナデ	文部省(外語)	日本語は被 害地モヒカ少 年	-	(116) 5441	1.3	-
- 108 11 - V138-39 恋人宛手紙	127	郵便小 合	外語種別 外語種別	手紙	127	ナデ	文部省(外語)	日本語は被 害地モヒカ少 年	-	(57) 6059	1.3	-
- 108 12 - V137 恋人宛手紙	127	郵便小 合	外語種別 外語種別	手紙	127	ナデ	文部省(外語)	日本語は被 害地モヒカ少 年	-	(18) 5428	1.3	-
- 108 13 - V139 恋人宛手紙	127	郵便小 合	外語種別 外語種別	手紙	127	ナデ	文部省(外語)	日本語は被 害地モヒカ少 年	-	(186) 727	1.3	-
- 108 14 - V137 恋人宛手紙	127	郵便小 合	外語種別 外語種別	手紙	127	ナデ	文部省(外語)	日本語は被 害地モヒカ少 年	-	(18) 6128	1.3	-
- 108 15 - V138-39 恋人宛手紙	127	郵便小 合	外語種別 外語種別	手紙	127	ナデ	文部省(外語)	日本語は被 害地モヒカ少 年	-	(15) 5421	1.3	-
- 108 16 - V137 恋人宛手紙	127	郵便小 合	外語種別 外語種別	手紙	127	ナデ	文部省(外語)	日本語は被 害地モヒカ少 年	-	(14) 5191	1.3	-
21 108 17 - V138-39 恋人宛手紙	127	郵便小 合	外語種別 外語種別	手紙	127	ナデ	文部省(外語)	日本語は被 害地モヒカ少 年	-	180 64	1.3	5129
- 108 18 - V139 恋人宛手紙	127	郵便小 合	外語種別 外語種別	手紙	127	ナデ	文部省(外語)	日本語は被 害地モヒカ少 年	-	34 50 5028	1.3	-
- 108 19 - V138-39 恋人宛手紙	127	郵便小 合	外語種別 外語種別	手紙	127	ナデ	文部省(外語)	日本語は被 害地モヒカ少 年	-	(40) 63 5278	1.3	-
- 108 20 - V137 恋人宛手紙	127	郵便小 合	外語種別 外語種別	手紙	127	ナデ	文部省(外語)	日本語は被 害地モヒカ少 年	-	(114) 6315	1.3	-
- 108 21 - V137 恋人宛手紙	127	郵便小 合	外語種別 外語種別	手紙	127	ナデ	文部省(外語)	日本語は被 害地モヒカ少 年	-	(76) 5417	1.3	-
- 109 1 先づ手紙	127-137	郵便小 合	外語種別 外語種別	手紙	127	ナデ	文部省(外語)	日本語は被 害地モヒカ少 年	-	190 120 500	1.3	-
- 109 2 - V139 恋人宛手紙	127	郵便小 合	外語種別 外語種別	手紙	127	ナデ	文部省(外語)	日本語は被 害地モヒカ少 年	-	(90) 140 5006	1.3	-
- 109 3 - V138-39 恋人宛手紙	127	郵便小 合	外語種別 外語種別	手紙	127	ナデ	文部省(外語)	日本語は被 害地モヒカ少 年	-	(4) 6022	1.3	-
- 109 4 - V139 恋人宛手紙	127	郵便小 合	外語種別 外語種別	手紙	127	ナデ	文部省(外語)	日本語は被 害地モヒカ少 年	-	(34) 6101	1.3	-
21 109 5 - V138-39 恋人宛手紙	127	郵便小 合	外語種別 外語種別	手紙	127	ナデ	文部省(外語)	日本語は被 害地モヒカ少 年	-	(185) 70 5006	1.3	-
- 109 6 - V138-39 恋人宛手紙	127	郵便小 合	外語種別 外語種別	手紙	127	ナデ	文部省(外語)	日本語は被 害地モヒカ少 年	-	(210) 5130	1.3	-

表4 壁器觀察表(46)

國	方員	骨	アリゾナ 骨(上半)	現場骨	発見骨	器械	種類	肉眼	内視鏡	骨	備考	11桂 (cm)	床坪 (cm)	高さ (cm)	整地 (cm)
-	109 8	-	VL37	桶P3F	127	深井	川筋上層	平口縫、二重縫合部(外側)、11桂(外側)、外側二重縫合付(11桂の外側)、外側二重縫合付(11桂の外側)、外側二重縫合付(11桂の外側)、外側二重縫合付(11桂の外側)。	子テ	-	-	(26.0)	-	(10.2)	±1.5
-	109 9	-	VL37	桶P3F	127	深井	中期後裏	合併症(左側)、骨(右側)、11桂(左側)、外側二重縫合付(11桂の外側)、外側二重縫合付(11桂の外側)。	子テ	-	-	(34.0)	-	(8.1)	±1.5
-	109 10	-	VL37	桶P3F	127	深井	川筋上層	平口縫、一重縫合付(11桂の外側)、外側二重縫合付(11桂の外側)、外側二重縫合付(11桂の外側)。	子テ	-	-	(24.2)	-	(11.0)	±1.5
-	109 11	-	VL37	桶P3F	127	深井	中期後裏	平口縫、二重縫合部(外側)、11桂(外側)、外側二重縫合付(11桂の外側)、外側二重縫合付(11桂の外側)、外側二重縫合付(11桂の外側)。	子テ	-	-	(25.4)	-	(12.1)	±1.5
-	109 12	-	VL37	桶P3F	127	深井	中期後裏	平口縫、二重縫合部(外側)、11桂(外側)、外側二重縫合付(11桂の外側)。	子テ	-	-	(28.8)	-	(13.4)	±1.5
-	109 13	-	VL37	桶P3F	127	深井	川筋上層	平口縫、11桂(外側)、外側二重縫合付(11桂の外側)、外側二重縫合付(11桂の外側)。	子テ	-	-	(28.8)	-	(9.4)	±1.5
-	109 14	-	VL37	桶P3F	127	深井	中期後裏	平口縫、11桂(外側)、外側二重縫合付(11桂の外側)、外側二重縫合付(11桂の外側)。	子テ	-	-	(26.6)	-	(9.2)	±1.5
-	109 15	-	VR39	桶P3F	127	深井	複林	平口縫、11桂(外側)、外側二重縫合付(11桂の外側)、外側二重縫合付(11桂の外側)。	子テ	-	-	(29.4)	-	(11.9)	±1.5
-	109 16	-	VR39	桶P3F	127	深井	複林	平口縫、11桂(外側)、外側二重縫合付(11桂の外側)、外側二重縫合付(11桂の外側)。	子テ	-	-	(35.6)	-	(8.2)	±1.5
-	109 17	-	VR37	桶P3F	127	深井	複林	平口縫、11桂(外側)、外側二重縫合付(11桂の外側)、外側二重縫合付(11桂の外側)。	子テ	-	-	(6.1)	-	(6.1)	±1.5
-	109 18	-	VL37	桶P3F	127	深井	中根裏	平口縫、11桂(外側)、外側二重縫合付(11桂の外側)、外側二重縫合付(11桂の外側)。	子テ	-	-	(12.6)	-	(5.3)	±1.5
-	110 1	-	VK40	桶W	128	深井	後期後裏	平口縫、11桂(外側)、外側二重縫合付(11桂の外側)。	子テ	-	-	(36.0)	-	(28.5)	±1.5
-	110 2	011	VK39	桶W	128	深井	後期後裏	平口縫、11桂(外側)、外側二重縫合付(11桂の外側)。	子テ	-	-	(33.6)	-	(16.0)	±1.5
-	110 3	-	VK40	桶UW	128	深井	後期後裏	平口縫、11桂(外側)、外側二重縫合付(11桂の外側)。	子テ	-	-	(31.6)	-	(12.6)	±1.5
-	110 4	0110	VJ39	101桂	128	深井	後期後裏	平口縫、11桂(外側)、外側二重縫合付(11桂の外側)。	子テ	-	-	(18.2)	-	(3.0)	±1.5
-	110 5	-	VJ39	101桂	128	深井	後期後裏	平口縫、11桂(外側)、外側二重縫合付(11桂の外側)。	子テ	-	-	(30.0)	-	(9.0)	±1.5
-	110 6	-	VK40	桶UW	128-125-128	深井	後期後裏	平口縫、合併症(左側)、11桂(右側)、外側二重縫合付(11桂の外側)。	子テ	-	-	(24.6)	-	(13.9)	±1.5
-	110 7	-	VJ39	101桂	128	深井	後期後裏	平口縫、11桂(外側)、外側二重縫合付(11桂の外側)。	子テ	-	-	(24.6)	-	(10.2)	±1.5
-	110 8	-	VK40	桶W	128	深井	後期後裏	平口縫、11桂(外側)、外側二重縫合付(11桂の外側)。	子テ	-	-	(16.0)	-	(6.0)	±1.5
-	110 9	-	VK40	桶W	128	深井	後期後裏	平口縫、11桂(外側)、外側二重縫合付(11桂の外側)。	子テ	-	-	(12.0)	-	(11.3)	±1.5
-	110 10	-	VK40	桶W	128	深井	後期後裏	平口縫、11桂(外側)、外側二重縫合付(11桂の外側)。	子テ	-	-	(18.4)	-	(9.5)	±1.5
-	110 11	-	VJ39	101桂	128	深井	後期後裏	平口縫、11桂(外側)、外側二重縫合付(11桂の外側)。	子テ	-	-	(28.2)	-	(8.0)	±1.5
-	110 12	-	VK40	桶W	128	深井	後期後裏	平口縫、11桂(外側)、外側二重縫合付(11桂の外側)。	子テ	-	-	(25.6)	-	(15.4)	±1.5

表4 士器観察表(47)

器 類 名 別 名 号 (地上 部上 部)	アリゾナ シリ 名	現場別名	施設別名	器種	特徴	内面特徴		参考	11耕 (cm)	底径 (cm)	整形 度
						付着物 (内面)	付着物 (外側)				
- 110 13 - VK40	85W	85W	128	台付 瓦片	内面7-4 平口縁、口唇部裏面(平側)。外縁ナット、底部高台。	ナデ	底化物(内面) ナデ	-	(186)	74	94 ±1.5 5415 598
- 110 14 ⑨10	VK39	85W	128	瓦片 底板	平口縁、先端子、「口唇部裏面」。背面瓦片L字、底部高台。	ナデ	底化物(内面) ナデ	-	(118)	60	48 ±1.5 5252
- 110 15 - VK40	85W	85W	128	瓦片 底板	外縁後斜。背面瓦片L字、底部高台。ナデ(口縁)。	ナデ	底化物(内面) ナデ	-	-	-	-
21 111 1 - (P-5670) VK40	85W	85W	128	瓦片 底板	平口縁、先端子(底部裏面)。背面瓦片L字、底部高台。ナデ(口縁)。	ナデ	底化物(内面) ナデ	-	-	-	-
- 111 2 - VL40	85W	85W	128	瓦片 底板	平口縁、先端子(底部裏面)。背面瓦片L字、底部高台。ナデ(口縁)。	ナデ	底化物(内面) ナデ	-	-	-	-
- 111 3 - VJ40	107W	107W	128	番手か 瓦片後斜	外縁後斜(1-5mm)。背面瓦片L字、底部高台。	ナデ	底化物(内面) ナデ	-	-	-	-
- 111 4 - VK40	BHQ	1221A-Y	128	滑片 瓦片	平口縁、先端子(底部裏面)。背面瓦片L字、底部高台。	ナデ	底化物(内面) ナデ	-	(22.6)	-	(109) ±1.5 5460
- 111 5 ⑨10	VK39	BHQ	129	台付 瓦片	平口縁、先端子(底部裏面)。背面瓦片L字、底部高台。	ナデ	底化物(内面) ナデ	-	(136)	-	(5.5) ±1.5 5315
- 111 6 - VT29	A-54998	129	棒付 瓦片	平口縁、先端子(底部裏面)。背面瓦片L字、底部高台。	ナデ	底化物(内面) ナデ	-	(14.0)	-	(34) ±1.5 3862	
- 111 7 - VAK39	BHQ	129	棒付 瓦片	平口縁、先端子(底部裏面)。背面瓦片L字、底部高台。	ナデ	底化物(内面) ナデ	-	(28.0)	-	(14.0) ±1.5 5567	
- 111 8 - VL40	N	129	棒付 瓦片	平口縁、先端子(底部裏面)。背面瓦片L字、底部高台。	ナデ	底化物(内面) ナデ	-	(16.0)	-	(8.2) ±1.5 5426	
- 111 9 ⑨10	V129	BHQ	129	棒付 瓦片	平口縁、先端子(底部裏面)。背面瓦片L字、底部高台。	ナデ	底化物(内面) ナデ	-	(26.4)	-	(11.0) ±1.5 5368
- 111 10 - VK40	BHQ	129	棒付 瓦片	内面7-4 平口縁、先端子(底部裏面)。背面瓦片L字、底部高台。	ナデ	底化物(内面) ナデ	-	(16.0)	-	(7.9) ±1.5 6117	
- 111 11 ⑨10	VK39	BHQ	129	滑片 d	内面7-4 平口縁、先端子(底部裏面)。背面瓦片L字、底部高台。	ナデ	底化物(内面) ナデ	-	(9.0)	-	(10.1) ±1.5 5065
20 111 12 - VL40	BHQ	129	滑片 d	内面7-4 平口縁、先端子(底部裏面)。背面瓦片L字、底部高台。	ナデ	底化物(内面) ナデ	-	340	-	(22.0) ±1.5 5125	
- 112 1 - VAK39	R.L.	129	滑片 d	内面7-4 平口縁、先端子(底部裏面)。背面瓦片L字、底部高台。	ナデ	底化物(内面) ナデ	-	(8.6)	-	(210) ±1.5 5601	
- 112 2 - V128	瓦土	129	滑片 d	内面7-4 平口縁、先端子(底部裏面)。背面瓦片L字、底部高台。	ナデ	底化物(内面) ナデ	-	-	-	(41) ±1.5 5206	
- 112 3 - VAK39	滑片 d	129	滑片 d	内面7-4 平口縁、先端子(底部裏面)。背面瓦片L字、底部高台。	ナデ	底化物(内面) ナデ	-	(36.0)	-	(31.0) ±1.5 5754	
- 112 4 - VAK39	底A18	129	滑片 d	内面7-4 平口縁、先端子(底部裏面)。背面瓦片L字、底部高台。	ナデ	底化物(内面) ナデ	-	(16.0)	-	(41) ±1.5 5725	

表4 土器観察表(48)

器 形 質 類 型 番 号 と 名 称 （地上部番号）	アリゾナ 地 点	現場位置	断面部位	器種	特徴	形態・表面文様など		内面特徴	付着物	備 考	11耕 (cm)	風評 (cm)	高さ (cm)	整列率 (%)
						形状	表面文様							
- 112 5 - VAS9 鋸状部 上層 後期4-5 位	中門遺跡一山登古遺跡(周防松山遺跡)、B変形輪鉢(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)。	後期4-5 位	中門遺跡一山登古遺跡(周防松山遺跡)、B変形輪鉢(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)。	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	135	-	(70)	±-13%
- 112 6 - VL28 亂食繩 亂食繩 滑鉢 滑鉢	小底付鉢、外縁条筋(格子状)。	中門遺跡一山登古遺跡(周防松山遺跡)、B変形輪鉢(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)。	中門遺跡一山登古遺跡(周防松山遺跡)、B変形輪鉢(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)。	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	(25.2)	-	(82)	±-13%
- 112 7 - VL28 亂食繩 亂食繩 有孔鉢 有孔鉢	中門遺跡一山登古遺跡(周防松山遺跡)、B変形輪鉢(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)。	中門遺跡一山登古遺跡(周防松山遺跡)、B変形輪鉢(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)。	中門遺跡一山登古遺跡(周防松山遺跡)、B変形輪鉢(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)。	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	(15.0)	-	(132)	±-13%
- 112 8 - VL28 亂食繩 亂食繩 有孔鉢 有孔鉢	中門遺跡一山登古遺跡(周防松山遺跡)、B変形輪鉢(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)。	中門遺跡一山登古遺跡(周防松山遺跡)、B変形輪鉢(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)。	中門遺跡一山登古遺跡(周防松山遺跡)、B変形輪鉢(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)。	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	(11.6)	75	90	±-13%
- 112 9 - VCS8 亂食繩 亂食繩 亂食繩 亂食繩	中門遺跡一山登古遺跡(周防松山遺跡)、B変形輪鉢(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)。	中門遺跡一山登古遺跡(周防松山遺跡)、B変形輪鉢(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)。	中門遺跡一山登古遺跡(周防松山遺跡)、B変形輪鉢(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)。	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	(27.0)	11.3	6.1	±-13%
- 112 10 - VL28 亂食繩 亂食繩 亂食繩 亂食繩	中門遺跡一山登古遺跡(周防松山遺跡)、B変形輪鉢(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)。	中門遺跡一山登古遺跡(周防松山遺跡)、B変形輪鉢(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)。	中門遺跡一山登古遺跡(周防松山遺跡)、B変形輪鉢(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)。	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	(27.0)	-	(35)	±-13%
- 112 11 - VCS8 亂食繩 亂食繩 亂食繩 亂食繩	中門遺跡一山登古遺跡(周防松山遺跡)、B変形輪鉢(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)。	中門遺跡一山登古遺跡(周防松山遺跡)、B変形輪鉢(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)。	中門遺跡一山登古遺跡(周防松山遺跡)、B変形輪鉢(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)。	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	(27.0)	-	(9.8)	±-13%
- 112 12 - VO80 細鉢色 不明 亂食繩 亂食繩	中門遺跡一山登古遺跡(周防松山遺跡)、B変形輪鉢(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)。	中門遺跡一山登古遺跡(周防松山遺跡)、B変形輪鉢(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)。	中門遺跡一山登古遺跡(周防松山遺跡)、B変形輪鉢(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)。	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	(11.0)	丸底	5.2	±-13%
23 112 13 - VOB1 [P-527] 不明 不明 地 XIII 地 XIII 地 XIII	中門遺跡一山登古遺跡(周防松山遺跡)、B変形輪鉢(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)。	中門遺跡一山登古遺跡(周防松山遺跡)、B変形輪鉢(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)。	中門遺跡一山登古遺跡(周防松山遺跡)、B変形輪鉢(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)。	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	6.2	6.8	17.0	±-13%
- 112 14 - VAS9 塵滑滑 斜直立瓶	中門遺跡一山登古遺跡(周防松山遺跡)、B変形輪鉢(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)。	中門遺跡一山登古遺跡(周防松山遺跡)、B変形輪鉢(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)。	中門遺跡一山登古遺跡(周防松山遺跡)、B変形輪鉢(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)、火文變形輪(火文+火文)。	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	火文變形輪	-	-	(5.2)	±-13%

表5 土製品簡易表(1)

固番号	写真 固形	分類	セイシなど	出土位置	種位	出土番号	出土番号	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	参考番号			
IS22-1	土偶	土偶		V8-38	袖4	11-15-18	袖4	-	122	70	13	636	木製人形工作。頭部に穴あけで無文。表面は施土仕上。下半身	2.±-5005		
IS22-2	写113	土偶	土偶(中空)	V8-40	袖W	11-13	袖4	-	595	122	12	189	石頭頭部。木製人形工作。頭部に穴あけで無文。表面は施土仕上。	2.±-5117		
IS22-3	写113	土偶(中空)	写110	V8-29	袖1	128	-	-	323	25	4	131	石頭頭部。木製人形工作。頭部に穴あけで無文。表面は施土仕上。	2.±-5112		
IS22-4	写113	土偶(中空)	V8-40	V8-40	袖1	89	-	-	532	410	15	254	石頭頭部。木製人形工作。頭部に穴あけで無文。	2.±-5116		
IS22-5	写113	土偶(中空)	V8-40	V8-40	袖1	26	-	-	90	37	26	369	木製人形工作。頭部に穴あけで無文。頭部を削り直し。	2.±-5007		
IS22-6	写113	土偶(中空)	V8-40	V8-40	袖1	69	-	-	94	146	4	16	木製人形工作。頭部に穴あけで無文。	2.±-5116		
IS22-7	写113	土偶(中空)	V8-29	V8-29	袖6	11-15-18	-	-	377	241	6	166	木製人形工作。頭部に穴あけで無文。	2.±-5007		
IS22-8	写113	土偶(中空)	V8-42	V8-42	袖6	27	-	-	265	58	23	429	木製人形工作。頭部に穴あけで無文。	2.±-5003		
IS22-9	-	土偶(中空)	V8-40	V8-40	袖6	96	-	-	440	37	5	125	木製人形工作。頭部に穴あけで無文。	2.±-5008		
IS22-10	-	土偶(中空)	V8-40	V8-40	袖6	122	-	-	228	48	12	180	石頭頭部。木製人形工作。頭部に穴あけで無文。	2.±-5110		
IS22-11	写113	土偶(中空)	V8-40	V8-40	袖6	76	-	-	301	52	12	88	木製人形工作。頭部に穴あけで無文。	2.±-5009		
IS22-12	写113	土偶(中空)	V8-43	V8-43	袖1	1	-	-	265	82	8	174	木製人形工作。頭部に穴あけで無文。	2.±-5106		
IS22-13	写113	土偶(中空)	V8-29	V8-29	袖N-H/F	21707-89-89-89	-	-	526	45	15	366	木製人形工作。頭部に穴あけで無文。	2.±-5115		
IS22-14	写113	土偶(中空)	V8-43	V8-43	袖1	1	-	-	441	45	5	166	木製人形工作。頭部に穴あけで無文。	2.±-5111		
IS22-15	写113	土偶(中空)	V8-40	V8-40	袖6	96	-	-	538	65	16	184	木製人形工作。頭部に穴あけで無文。	2.±-5102		
IS22-16	写113	土偶	V8-40	V8-40	袖6	89	-	-	595	27	72	20	1071	木製人形工作。頭部に穴あけで無文。	2.±-5077	
IS22-17	写113	土偶	V8-38	V8-38	袖M(H)	35-36(未記)	-	-	446	380	16	175	木製人形工作。頭部に穴あけで無文。	2.±-5022		
IS22-18	写113	土偶	V8-40	V8-40	袖1	99	-	-	772	30	10	128	木製人形工作。頭部に穴あけで無文。	2.±-5079		
IS22-19	写113	土偶(中空)	V8-37-38	V8-37-38	袖1	2125-4313 F	-	-	440	327	10	128	木製人形工作。頭部に穴あけで無文。	2.±-5113		
IS22-20	写113	土偶(中空)	V8-40	V8-40	袖1	69	-	-	503	961	22	12	339	木製人形工作。頭部に穴あけで無文。	2.±-5083	
IS22-21	写113	土偶(中空)	V8-35	V8-35	袖6	8-9	-	-	521	731	15	836	木製人形工作。頭部に穴あけで無文。	2.±-5078		
IS22-22	写113	土偶(中空)	V8-35	V8-35	袖6	56	-	-	561	117	71	341	木製人形工作。頭部に穴あけで無文。	2.±-5080		
IS22-23	写113	土偶(中空)	V8-40	V8-40	袖1	69	-	-	515	635	15	174	木製人形工作。頭部に穴あけで無文。	2.±-5001		
IS22-24	写113	土偶(中空)	V8-39	V8-39	袖1	89	-	-	526	227	12	32	392	木製人形工作。頭部に穴あけで無文。	2.±-5087	
IS22-25	写113	土偶(中空)	V8-39	V8-39	袖1	76	-	-	505	325	20	107	木製人形工作。頭部に穴あけで無文。	2.±-5094		
IS22-26	写114	土偶	V8-41	V8-41	袖1	69	-	-	501	902	165	102	9	303	木製人形工作。頭部に穴あけで無文。	2.±-5038
IS22-27	写114	土偶	V8-40	V8-40	袖6	96	-	-	501	903	50	144	565	木製人形工作。頭部に穴あけで無文。	2.±-5088	
IS22-28	写114	土偶	V8-38	V8-38	袖6	34-63	-	-	260	5	72	17	174	木製人形工作。頭部に穴あけで無文。	2.±-5010	
IS22-29	写114	土偶	V8-40	V8-40	袖6	96	-	-	546	325	35	525	木製人形工作。頭部に穴あけで無文。	2.±-5080		
IS22-30	写114	土偶(中空)	V8-38-39	V8-38-39	袖1	127	-	-	541	91	5	616	木製人形工作。頭部に穴あけで無文。	2.±-5078		
IS22-31	写114	食持神(中空)	V8-44	V8-44	袖1	92	-	-	521	82	5	616	木製神像。手裏端を握る。耳に穴あけで無文。	2.±-5080		
IS22-32	写114	食持神(中空)	V8-44	V8-44	袖1	69	-	-	515	586	270	67	6	569	木製神像。手裏端を握る。耳に穴あけで無文。	2.±-5006
IS22-33	写115	食持神(中空)	V8-39	V8-39	袖1	63	-	-	508	508	148	540	4	389	木製神像。手裏端を握る。耳に穴あけで無文。	2.±-5081
IS22-34	写115	食持神(中空)	V8-41	V8-41	袖1	78	-	-	501	102	5	193	木製神像。手裏端を握る。耳に穴あけで無文。	2.±-5082		
IS22-35	写115	食持神(中空)	V8-44	V8-44	袖1	69	-	-	561	591	42	28	5	270	木製神像。手裏端を握る。耳に穴あけで無文。	2.±-5084
IS22-36	写115	土偶(中空)	V8-38	V8-38	袖K	34-63	-	-	552	140	5	616	木製人形工作。頭部に穴あけで無文。	2.±-5098		
IS22-37	写115	土偶	V8-40	V8-40	袖1	96	-	-	535	588	25	137	木製人形工作。頭部に穴あけで無文。	2.±-5101		
IS22-38	写115	土偶(中空)	V8-38	V8-38	袖K	34-63	-	-	585	585	53	417	木製人形工作。頭部に穴あけで無文。	2.±-5110		
IS22-39	写115	土偶(中空)	V8-41	V8-41	袖1	68	-	-	531	17	3	265	木製人形工作。頭部に穴あけで無文。	2.±-5006		
IS22-40	写115	土偶(中空)	V8-39	V8-39	袖6	96	-	-	507	507	688	4	836	木製人形工作。頭部に穴あけで無文。	2.±-5082	
IS22-41	写115	土偶(中空)	V8-39	V8-39	袖1	93	-	-	507	507	37	34	13	158	木製人形工作。頭部に穴あけで無文。	2.±-5017
IS22-42	-	異形土偶(?)	V8-41	V8-41	袖1	69	-	-	526	45	3	82	木製人形工作。	2.±-5074		
IS22-43	-	土偶品	V8-41	V8-41	袖1	69	-	-	662	57	3	351	425。中空。土偶(?)	2.±-5073		

表5 土製品簡易表(2)

固形分	等質 試験	分類	せんせなど	出土箇	部位	出土番号	検査部位	取上番号	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	参考番号
1627-44	等質 試験	瓦筒⑨		V8-39	7-p-13 A-144	90	竹-500	(22)	17	6.2	欠損・目地・所定。			2.±-5019
1627-45	等質 試験	瓦筒⑩		V8-40	7-p-13 A-144	54	-	25	22	14	缺文・目地・所定。			2.±-5023
1627-46	等質 試験	瓦筒⑪		V8-35	7-p-13 A-144	11	竹-5029	21	20	5	1.4 全面に赤褐色地色。周縁は灰・白色。			2.±-5014
1627-47	等質 試験	瓦筒⑫		V8-40	7-p-13 A-144	69	竹-5017	37	20	5	1.4 全面に赤褐色地色。周縁は灰・白色。			2.±-5018
1627-48	等質 試験	瓦筒⑬		V8-41	7-p-13 A-144	22	竹-5138	39	25	3.6	欠損・目地・所定。			2.±-5003
1627-49	等質 試験	瓦筒⑭		V8-39	7-p-13 A-144	66	竹-5002	22	25	2.5	全面に赤褐色地色。中央部に空洞。			2.±-5012
1627-50	等質 試験	瓦筒⑮		V8-40	7-p-13 A-144	122.25	竹-5020	62	58	4.9	中央部に空洞。中央部に目地・所定。			2.±-5006
1627-51	等質 試験	瓦筒⑯		V8-41	7-p-13 A-144	122.25	竹-5027	37	14	15.8	中央部に目地・所定。			2.±-5029
1627-52	等質 試験	瓦筒⑰		V8-41	7-p-13 A-144	63.29	-	20	7	3.3	表面無釉。所定。			2.±-5022
1627-53	等質 試験	瓦筒⑱		V8-41	7-p-13 A-144	54	竹-5138	35	10	6.0	赤褐色地色。所定。			2.±-5025
1627-54	等質 試験	瓦筒⑲	土器	V8-35	7-p-13 A-144	11.25	竹-5138	28	16	16.3	所定。			2.±-5028
1627-55	等質 試験	瓦筒⑳	土器	V8-41	7-p-13 A-144	129	-	32	71	5.5	所定。			2.±-5211
1627-56	等質 試験	瓦筒㉑	土器	V8-38	7-p-13 A-144	122	-	62	40	10.6	所定。			2.±-5020
1627-57	等質 試験	瓦筒㉒	土器	V8-39	7-p-13 A-144	122	-	17	44	11.0	所定。			2.±-5057
1627-58	等質 試験	瓦筒㉓	土器	V8-38	7-p-13 A-144	122.15	-	17	44	11.0	所定。			2.±-5072
1627-59	等質 試験	瓦筒㉔	土器	V8-38	7-p-13 A-144	55.62-127	-	17	30	8.2	所定。			2.±-5119
1627-60	等質 試験	瓦筒㉕	土器	V8-39	7-p-13 A-144	121	竹-5049	38	7	11.3	赤褐色地色。中央部に空洞。			2.±-5072
1627-61	等質 試験	瓦筒㉖	土器	V8-39	7-p-13 A-144	107	-	50	33	5.1	所定。			2.±-5103
1627-62	等質 試験	瓦筒㉗	土器	V8-37	7-p-13 A-144	20.94	-	63	22	4.1	所定。			2.±-5045
1627-63	等質 試験	瓦筒㉘	土器	V8-39	7-p-13 A-144	37	-	46	27	27	所定。			2.±-5024
1628-64	等質 試験	瓦筒㉙	土器	V8-38	7-p-13 A-144	65	竹-5025	45	38	11.75	所定。			2.±-5015
1628-65	等質 試験	瓦筒㉚	土器	V8-39	7-p-13 A-144	137	-	60	26	14	所定。			2.±-5039
1628-66	等質 試験	瓦筒㉛	土器	V8-37	7-p-13 A-144	11-15.38	-	70	52	35	所定。			2.±-5071
1628-67	等質 試験	瓦筒㉜	土器	V8-39	7-p-13 A-144	103.15	-	70	53	35	所定。			2.±-5071
1628-68	等質 試験	瓦筒㉝	土器	V8-37	7-p-13 A-144	12	-	70	71	5.1	所定。			2.±-5078
1628-69	等質 試験	瓦筒㉞	土器	V8-37	7-p-13 A-144	25	-	70	71	5.1	所定。			2.±-5078
1628-70	等質 試験	瓦筒㉟	土器	V8-39	7-p-13 A-144	12	-	23	16	15	所定。			2.±-5067
1628-71	等質 試験	瓦筒㉟	土器	V8-38	7-p-13 A-144	3	-	32	15	15	所定。			2.±-5065
1628-72	等質 試験	瓦筒㉟	土器	V8-38	7-p-13 A-144	34	-	35	21	10	所定。			2.±-5022
1628-73	等質 試験	瓦筒㉟	土器	V8-38	7-p-13 A-144	35.26(法則)	-	32	20	13	所定。			2.±-5059
1628-74	等質 試験	瓦筒㉟	土器	V8-39	7-p-13 A-144	47.01-53.11	-	45	26	15	所定。			2.±-5199
1628-75	等質 試験	瓦筒㉟	土器	V8-38	7-p-13 A-144	14	-	66	32	14	所定。			2.±-5031
1628-76	等質 試験	瓦筒㉟	土器	V8-39	7-p-13 A-144	12	-	62	30	15	所定。			2.±-5031
1628-77	等質 試験	瓦筒㉟	土器	V8-37	7-p-13 A-144	35.26(法則)	-	34	25	14	所定。			2.±-5072
1628-78	等質 試験	瓦筒㉟	土器	V8-39	7-p-13 A-144	3	-	20	23	13	所定。			2.±-5023
1628-79	等質 試験	瓦筒㉟	土器	V8-37	7-p-13 A-144	47	-	32	26	16	所定。			2.±-5107
1628-80	等質 試験	瓦筒㉟	土器	V8-38	7-p-13 A-144	-	-	34	27	14	所定。			2.±-5213
1628-81	等質 試験	瓦筒㉟	土器	V8-38	7-p-13 A-144	-	-	30	13	8	所定。			2.±-5214
1628-82	等質 試験	瓦筒㉟	土器	V8-38	7-p-13 A-144	合	-	35	21	21	所定。			2.±-5211
1628-83	等質 試験	瓦筒㉟	土器	V8-37	7-p-13 A-144	17	-	77	28	16	所定。			2.±-5031
1628-84	等質 試験	瓦筒㉟	土器	V8-36	7-p-13 A-144	86	-	32	30	20	所定。			2.±-5006
1628-85	等質 試験	瓦筒㉟	土器	V8-38	7-p-13 A-144	17	-	31	17	16	所定。			2.±-5023
1628-86	等質 試験	瓦筒㉟	土器	V8-36	7-p-13 A-144	11	-	30	16	5.2	所定。			2.±-5006
1628-87	等質 試験	瓦筒㉟	土器	V8-37	7-p-13 A-144	7	-	18	12	12	所定。			2.±-5077
1628-88	等質 試験	瓦筒㉟	土器	V8-38	7-p-13 A-144	35.36	-	35	27	14	所定。			2.±-5229
1628-89	等質 試験	瓦筒㉟	土器	V8-37	7-p-13 A-144	1	-	32	35	12	所定。			2.±-5055
1628-90	等質 試験	瓦筒㉟	土器	V8-36	7-p-13 A-144	1	-	36	28	16	16.1	所定。		2.±-5061
1628-91	等質 試験	瓦筒㉟	土器	V8-36	7-p-13 A-144	-	-	32	30	14	9.9	所定。		2.±-5028

表5 土製品體積表(3)

固着分	等質 固着	分類	せんなど	出土位置	部位	種類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	備考
BS28-42	等一	焼成粘土塊	V8-37	11.15-18	鉢B	-	-	-	-	無文。不規形(小鉢)。
BS28-43	等1.6	焼成粘土塊	V8-37	1	鉢B	-	-	-	-	無文。不規形(小鉢)。
BS28-44	等1.6	焼成粘土塊	V8-29	26-(28)	鉢D(底面 充てん)	-	34	25	15	無文。不規形(小鉢)。
BS28-45	等1.6	焼成粘土塊	V8-36	等2	鉢C	-	34	25	15	無文。不規形(小鉢)。
BS28-46	等1.6	焼成粘土塊	V1-40	鉢C	-	-	21	18	12.3	無文。不規形(小鉢)。
BS28-47	等1.6	焼成粘土塊	V1-36	鉢M	-	-	30	18	16	無文。不規形(小鉢)。
BS28-48	等1.6	焼成粘土塊	V1-35	鉢B	-	-	26	24	14	無文。不規形(小鉢)。
BS28-49	等1.6	焼成粘土塊	V1-43	等1-1	鉢A	-	16	8	20	無文。不規形(小鉢)。
BS28-50	等1.6	焼成粘土塊	V1-29	等1-1	鉢A(Db 底面充てん)	-	-	-	-	無文。不規形(小鉢)。
BS28-51	等1.6	焼成粘土塊	V1-37	等1	鉢B	-	-	-	-	無文。不規形(小鉢)。
BS28-52	等1.6	焼成粘土塊	V1-38	等1-15-18	鉢C	-	25	18	17	無文。不規形(小鉢)。
BS28-53	等1.6	焼成粘土塊	V1-38	等合量	鉢C	-	30	18	17	無文。不規形(小鉢)。
BS28-54	等1.6	焼成粘土塊	V1-40	等合量	鉢C	-	25	20	16	無文。不規形(小鉢)。
BS28-55	等1.6	焼成粘土塊	V1-40	等1-1	鉢A	-	27	23	20	無文。不規形(小鉢)。
BS28-56	等1.6	焼成粘土塊	V1-36	鉢B(底面 充てん)	鉢A	-	-	-	-	無文。不規形(小鉢)。
BS28-57	等1.6	焼成粘土塊	V1-36	等1-15-18(当 時)	鉢A	-	30	15	17	無文。不規形(小鉢)。
BS28-58	等1.6	焼成粘土塊	V1-37	等1	鉢A	-	34	17	16	無文。不規形(小鉢)。
BS28-59	等1.6	焼成粘土塊	V1-36	等合量(底 面充てん)	鉢A	-	39	27	28	21.5 無文。不規形(小鉢)。
BS28-60	等1.6	焼成粘土塊	V1-37	等20	鉢C	-	41	25	18	11.8 無文。不規形(小鉢)。
BS28-61	等1.6	焼成粘土塊	V1-38	等12	鉢C	-	42	35	16	23.9 無文。不規形(小鉢)。
BS28-62	等1.6	焼成粘土塊	V1-38	等合量	鉢C	-	38	28	12	無文。不規形(小鉢)。
BS28-63	等1.6	焼成粘土塊	V1-39	鉢M	-	-	44	30	16	12.6 無文。不規形(小鉢)。
BS28-64	等1.6	焼成粘土塊	V1-40	等1	鉢A	-	46	34	24	24.9 無文。不規形(小鉢)。
BS28-65	等1.6	焼成粘土塊	V1-36	鉢B(底面 充てん)	鉢M(底面 充てん)	-	40	24	18	14.5 無文。不規形(小鉢)。
BS28-66	等1.6	焼成粘土塊	V1-36	等36(底 面充てん)	鉢M(底面 充てん)	-	55	35	23	29.8 無文。不規形(小鉢)。
BS28-67	等1.6	焼成粘土塊	V1-36	等36(底 面充てん)	鉢M(底面 充てん)	-	53	22	12	10.2 無文。不規形(小鉢)。
BS28-68	等1.6	焼成粘土塊	V1-36	等14	鉢A(Bd)	-	53	40	25	34.2 無文。不規形(小鉢)。
BS28-69	等1.6	焼成粘土塊	V1-36	等14	鉢A(Bd)	-	47	24	17	12.6 無文。不規形(小鉢)。
BS28-70	等1.6	焼成粘土塊	V1-36	等15	鉢A	-	71	54	33	70.9 無文。不規形(小鉢)。
BS28-71	等1.6	焼成粘土塊	V1-36	等35	鉢C	-	48	66	44	44.2 無文。不規形(小鉢)。
BS28-72	等1.6	焼成粘土塊	V1-37	等1-15-18	鉢A	-	62	37	36	44.2 無文。不規形(小鉢)。
BS28-73	等1.6	焼成粘土塊	V1-38	等1	鉢A	-	66	40	31	27.3 無文。不規形(小鉢)。
BS28-74	等1.6	焼成粘土塊	V1-39	等14	鉢A	-	66	50	35	80.4 無文。不規形(小鉢)。
BS28-75	等1.6	焼成粘土塊	V1-39	等1	鉢A(Db)	-	62	36	25	51.7 無文。不規形(小鉢)。
BS28-76	等1.6	焼成粘土塊	V1-39	等1	鉢A(Bd)	-	66	36	25	50.6 無文。不規形(小鉢)。
BS28-77	等1.6	焼成粘土塊	V1-38	等25	鉢C	-	48	34	19	31.7 無文。不規形(小鉢)。
BS28-78	等1.6	焼成粘土塊	V1-42	等26	鉢M	-	42	41	6	11.1 中空部(-2cm)より、無土軸。不規形(小鉢)。
BS28-79	等1.6	焼成粘土塊	V1-39	等1.27	鉢C	-	40	37	4.0	L.R. 11.0cmの化物軸。L.R. 錠合式底盤。L.R. 錠合式底盤。L.R.
BS28-80	等1.6	焼成粘土塊	V1-37	等37	鉢B	-	54	54	5	23.7 錠合の脚部(-1cm)より、11.0cmの化物軸。L.R. 錠合式底盤。L.R. 錠合式底盤。L.R.
BS28-81	等1.6	焼成粘土塊	V1-37	等1-15-18	鉢A	-	40	34	6	9.5 錠合の脚部(-1cm)より、11.0cmの化物軸。L.R. 錠合式底盤。L.R. 錠合式底盤。
BS28-82	等1.6	焼成粘土塊	V1-38	等1	鉢A	-	32	31	4	8.5 錠合の脚部(-1cm)より、11.0cmの化物軸。L.R. 錠合式底盤。L.R. 錠合式底盤。
BS28-83	等1.6	焼成粘土塊	V1-39	等1	鉢A	-	67	43	5	14.7 錠合の脚部(-1cm)より、11.0cmの化物軸。L.R. 錠合式底盤。L.R. 錠合式底盤。L.R.
BS28-84	等1.6	焼成粘土塊	V1-37	等25	鉢C	-	42	41	6	11.1 中空部(-2cm)より、無土軸。不規形(小鉢)。
BS28-85	等1.6	焼成粘土塊	V1-37	等26	鉢M	-	43	42	6	12.0 錠合の脚部(-1cm)より、11.0cmの化物軸。L.R. 錠合式底盤。L.R.
BS28-86	等1.6	焼成粘土塊	V1-37	等69	鉢C	-	38	37	5	10.4 錠合の脚部(-1cm)より、11.0cmの化物軸。L.R. 錠合式底盤。L.R.
BS28-87	等1.6	焼成粘土塊	V1-36	等23	鉢A	-	56	35	6	6.7 錠合の脚部(-1cm)より、11.0cmの化物軸。L.R. 錠合式底盤。L.R.
BS28-88	等1.6	焼成粘土塊	V1-36	等1-15-18	鉢A	-	37	39	4	8.4 錠合の脚部(-1cm)より、11.0cmの化物軸。L.R. 錠合式底盤。L.R.
BS28-89	等1.6	焼成粘土塊	V1-37	等1-19	鉢A	-	31	27	4	8.2 錠合の脚部(-1cm)より、11.0cmの化物軸。L.R. 錠合式底盤。L.R.
BS28-90	等1.6	焼成粘土塊	V1-39	等1	鉢A	-	28	30	5	4.3 錠合の脚部(-1cm)より、11.0cmの化物軸。L.R. 錠合式底盤。L.R.

表5 土・製品観察表(4)

回番号	管質 区分	分類	せんべいなど	出土位置	部位	発生部位	直上より cm	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考	参考			
HSR-140	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-24	V-29	鉢G3	-	127	-	25	26	4.0	漆器の側面に、漆器化物付着。LR.	2-5-503		
HSR-141	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-43	V-43	鉢G1	69	-	33	33	5	7.4	漆器の側面に、漆器化物付着。LR.	2-5-503		
HSR-142	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-117	V-26	鉢G4	51	-	33	38	5	4.0	漆器の側面に、漆器化物付着。LR.	2-5-503		
HSR-143	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-117	V-37	鉢G3	95%	55-62	127	-	36	48	6	126	漆器の側面に、漆器化物付着。LR.	2-5-503
HSR-144	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-117	V-42	鉢G1	1	-	37	42	5	11.0	漆器の側面に、漆器化物付着。LR.	2-5-503		
HSR-145	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-117	V-42	鉢G2	96	-	34	42	7	14.0	漆器の側面に、漆器化物付着。LR.	2-5-503		
HSR-146	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-117	V-29	鉢G1	89	-	32	40	4	3.2	漆器の側面に、漆器化物付着。LR.	2-5-503		
HSR-147	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-117	V-36	鉢G4	54	-	33	43	5	10.4	漆器の側面に、漆器化物付着。LR.	2-5-503		
HSR-148	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-117	V-38	鉢G1	215±331 F	-	32	42	5	104	漆器の側面に、漆器を焼いて断つて断つて漆器化物付着。LR.	2-5-503		
HSR-149	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-117	V-39	鉢G1	69	-	42	34	5	9.2	漆器の側面に、漆器化物付着。LR.	2-5-503		
HSR-150	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-117	V-29	鉢G1	63	-	44	42	5	12.0	漆器の側面に、漆器化物付着。LR.	2-5-503		
HSR-151	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-25-36	V-36	鉢G1	不明	-	44	38	5	11.6	漆器の側面に、漆器化物付着。LR.	2-5-503		
HSR-152	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-117	V-39	鉢G1	89	-	32	51	5	19.0	漆器の側面に、漆器化物付着。LR.	2-5-503		
HSR-153	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-117	V-40	鉢G1	128	-	48	38	5	14.8	漆器の側面に、漆器化物付着。LR.	2-5-503		
HSR-154	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-117	V-39	鉢G1	89	-	32	60	5	22.2	漆器の側面に、漆器化物付着。LR.	2-5-503		
HSR-155	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-117	V-41	鉢G1	32-34	-	38	42	4	7.6	漆器の側面に、漆器化物付着。LR.	2-5-503		
HSR-156	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-117	V-40	鉢G1	51	-	47	52	5	17.6	漆器の側面に、漆器化物付着。LR.	2-5-503		
HSR-157	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-117	V-42	鉢G1	107	-	50	50	5	16.5	漆器の側面に、漆器化物付着。LR.	2-5-503		
HSR-158	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-117	V-43	鉢G1	107	-	48	42	5	11.7	漆器の側面に、漆器化物付着。LR.	2-5-503		
HSR-159	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-117	V-36	鉢G1	94	-	44	35	5	11.6	漆器の側面に、漆器化物付着。LR.	2-5-503		
HSR-160	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-117	V-39	鉢G1	10 F	-	13	74	6	51.8	漆器の側面に、漆器化物付着。LR.	2-5-503		
HSR-161	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-117	V-39	鉢G1	90	-	36	62	5	21.1	漆器の側面に、漆器化物付着。LR.	2-5-503		
HSR-162	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-117	V-41	鉢G1	96	-	32	67	5	26.1	漆器の側面に、漆器化物付着。LR.	2-5-503		
HSR-163	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-117	V-36	鉢G1	89	-	42	44	5	12.4	漆器の側面に、漆器化物付着。LR.	2-5-503		
HSR-164	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-117	V-38	鉢G1	35-36	-	34	36	5	7.2	漆器の側面に、漆器化物付着。LR.	2-5-503		
HSR-165	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-117	V-41	鉢G1	76	-	33	34	4	5.6	漆器の側面に、漆器化物付着。LR.	2-5-503		
HSR-166	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-117	V-39	鉢G1	10 F	-	44	36	4	9.1	漆器の側面に、漆器化物付着。LR.	2-5-503		
HSR-167	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-117	V-43	鉢G1	10 F	-	41	44	5	10.6	漆器の側面に、漆器化物付着。LR.	2-5-503		
HSR-168	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-117	V-36	鉢G1	69	-	40	41	5	11.4	漆器の側面に、漆器化物付着。LR.	2-5-503		
HSR-169	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-117	V-29	鉢G1	14	-	46	45	5	15.4	漆器の側面に、漆器化物付着。LR.	2-5-503		
HSR-170	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-117	V-40	鉢G1	10 A	-	45	43	5	10.9	漆器の側面に、漆器化物付着。LR.	2-5-503		
HSR-171	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-117	V-36	焼土板子	10 F	-	40	47	5	14.0	漆器の側面に、漆器化物付着。LR.	2-5-503		
HSR-172	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-117	V-37	焼1	89	-	48	45	3	11.2	漆器の側面に、漆器化物付着。LR.	2-5-503		
HSR-173	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-117	V-37	7	52-97	-	40	38	5	11.3	漆器の側面に、漆器化物付着。LR.	2-5-503		
HSR-174	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-29	V-39	明	76	-	67	68	5	43.2	漆器の裏面に、平底。	2-5-503		
HSR-175	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-117	V-43	燒基-1	69	-	63	61	4	25.9	漆器の裏面に、平底。	2-5-503		
HSR-176	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-117	V-39	燒W	128	-	53	53	4	18.4	漆器の裏面に、平底。	2-5-503		
HSR-177	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-117	V-42	燒1	70	-	74	73	4	30.8	漆器の裏面に、平底。	2-5-503		
HSR-178	管 質	内壁土質粘土	内壁土質粘土	V-117	V-43	燒1	69	-	32	50	4	13.1	漆器の裏面に、平底。	2-5-503		

表6 ニチユア・小形土器觀察表(1)

國番号	写真 鏡面	器種	時期	出土地點	質地	施作部位	軸上寸法	輪径 (cm)	高さ (cm)	備考	整理番号	
063-5	-	直鉢	晚期	陶質直筒一 山型	W-41 5207	-	P-9	-	2.1	(25) 有縫接合部。表面凹凸。底面凹凸。内面無ナギ。	北±-5276	
063L-729	-	不明	後期	陶質直筒一 山型	VI-40 5201	122-125	-	-	-	(25) 有縫接合部。底面凹凸。内面無ナギ。	北±-5288	
063L-260	-	鉢	後期	陶質直筒一 山型	VI-40 5201	82	-	(60)	丸底	34 平底。口唇部外側に施作。外底無施作。表面凹凸。底面に土色の剥落や水痕が残る。	北±-5289	
063L-341	7318	直鉢	後期	陶質直筒一 山型	VI-29 5202	89	-	(80)	-	(32) 平底。口唇部外側に施作。外底無施作。表面凹凸。底面に土色の剥落や水痕が残る。	北±-5290	
063L-362	7318	直鉢	後期	陶質直筒一 山型	VI-29 5202	86	-	(86)	-	(26) 平底。口唇部外側に施作。外底無施作。表面凹凸。底面に土色の剥落や水痕が残る。	北±-5270	
063L-263	-	不明	後期	陶質直筒一 山型	VI-27 5201	870-17-96	-	-	-	(40) 外縁部が削り取られた。口唇部が歪んでしまった。外底無ナギ。	北±-5279	
063L-364	-	不明	後期	陶質直筒一 山型	VI-29 5201	95	P-2887	-	-	(17) 斜底。外縁部削取。底面凹凸。内面無ナギ。	北±-5277	
063L-365	-	不明	後期	陶質直筒一 山型	VI-29 5201	8'x1	不明	-	-	(21) 有縫接合部。底面凹凸。内面無ナギ。	北±-5278	
063L-266	7318	不明	後期	陶質直筒一 山型	VI-29 5202	63	-	(50)	-	(22) 平底。口唇部外側に施作。外底無施作。表面凹凸。内面無ナギ。	北±-5287	
063L-267	-	鉢	後期	陶質直筒一 山型	VI-35 5202	95	-	P-2887	(60)	-	(34) 平底。口唇部外側に施作。外底無ナギ。底面平滑。内面ナギ。付着物或生物(外縁)。	北±-5275
063L-268	-	鉢	後期	陶質直筒一 山型	VI-37 5202	10-2	9	-	-	(4) 平底。口唇部外側に施作。外底無ナギ。底面平滑。内面無ナギ。	北±-5237	
063L-349	7318	竹叶形	後期	陶質直筒一 山型	VI-41 5202	89-120-121	-	-	30	(32) 外縁部削取。ナギ。内面ナギ。底面平滑。外縁部削取。内面無ナギ。	北±-5272	
063L-390	7318	直鉢	後期	陶質直筒一 山型	VI-42 5202	76	-	-	方毛	(40) 平底。口唇部外側に施作。外底無ナギ。底面無ナギ。内面無ナギ。	北±-5271	
063L-391	7318	直鉢	後期	陶質直筒一 山型	VI-41 5202	76	-	-	-	(35) 平底。口唇部外側に施作。外底無ナギ。底面無ナギ。内面無ナギ。	北±-5282	
063L-292	7318	竹叶形	後期	陶質直筒一 山型	VI-40 5202	95	-	40	20	12 内縁部削取。外縁部削取。底面平滑。内面無ナギ。	北±-5263	
063L-393	7318	不明	後期	陶質直筒一 山型	VI-41 5202	14	-	-	-	(32) 小底。口唇部外側に施作。外底無ナギ。底面無ナギ。内面無ナギ。	北±-5264	
063L-394	-	深鉢	後期	陶質直筒一 山型	VI-39 5202	89	-	60	27	44 小底。口唇部外側に施作。外底無ナギ。底面無ナギ。内面無ナギ。	北±-5288	
063L-295	7318	直鉢	後期	陶質直筒一 山型	VI-40 5202	89	-	8.5	丸底	33 平底。口唇部外側に施作。外底無ナギ。底面無ナギ。内面無ナギ。	北±-5215	
063L-296	7318	深鉢	後期	陶質直筒一 山型	VI-40 5202	95	-	(72)	丸底	(39) 平底。口唇部外側に施作。外底無ナギ。底面無ナギ。内面無ナギ。	北±-5225	
063L-397	7318	鉢	後期	陶質直筒一 山型	VI-41 5202	69	P-2872	8.0	42 平底。口唇部外側に施作。外底無ナギ。底面無ナギ。内面無ナギ。	北±-5209		
063L-398	7318	直鉢	後期	陶質直筒一 山型	VI-41 5202	69	-	-	30	(32) 小底。口唇部外側に施作。外底無ナギ。底面無ナギ。内面無ナギ。	北±-5229	
063L-399	7318	直鉢	後期	陶質直筒一 山型	VI-43 5202	69	P-587	-	20	(37) 内縁部削取。底面無ナギ。	北±-5011	
063L-290	7318	直鉢	後期	陶質直筒一 山型	VI-43 5202	69	P-5115	-	丸底	29 平底。口唇部外側に施作。外底無ナギ。底面無ナギ。内面無ナギ。	北±-5007	
063L-391	7318	直鉢	後期	陶質直筒一 山型	VI-40 5202	28-29-31	-	2.0	丸底	(32) 平底。口唇部外側に施作。外底無ナギ。底面無ナギ。内面無ナギ。	北±-5140	
063L-392	7318	直鉢	後期	陶質直筒一 山型	VI-40 5202	70-71-3	-	-	-	(38) 有縫接合部。内縁部削取。底面無ナギ。	北±-5130	
063L-393	7318	直鉢	後期	陶質直筒一 山型	VI-40 5202	28-29-31	特-5007	-	-	(50) 有縫接合部。内縁部削取。底面無ナギ。	北±-5035	
063L-394	7318	直鉢	後期	陶質直筒一 山型	VI-40 5202	93	特-5008	-	丸底	(44) 有縫接合部。内縁部削取。底面無ナギ。内面無ナギ。外縁部削取。底面無ナギ。内面無ナギ。	北±-5010	
063L-395	7318	直鉢	後期	陶質直筒一 山型	VI-40 5202	63-89	-	-	-	(32) 有縫接合部。内縁部削取。底面無ナギ。内面無ナギ。外縁部削取。底面無ナギ。内面無ナギ。	北±-5113	
063L-396	7318	直鉢	後期	陶質直筒一 山型	VI-41 5202	77	P-2803	-	3.8	(48) 有縫接合部。内縁部削取。底面無ナギ。内面無ナギ。	北±-5003	
063L-397	7318	直鉢	後期	陶質直筒一 山型	VI-41 5202	84	-	-	(25)	(38) 有縫接合部。内縁部削取。底面無ナギ。内面無ナギ。	北±-5106	
063L-398	7318	直鉢	後期	陶質直筒一 山型	VI-29 5202	109	P-5011	-	-	(35) 有縫接合部。内縁部削取。底面無ナギ。内面無ナギ。	北±-5009	

表6 二手ユア・小型土器観察表(2)

表6 ミニチュア・小形土器観察表(3)

国番号	写真 鏡像	器種	時期	出土位置	解説	検査部位	尺寸	直径 (cm)	高さ (cm)	基部 (cm)	側面 (cm)	底面 (cm)	側面等号	側面等号
0332-243	7119	直	後期中晩	V1-40	底V-Y	1.25	-	3.8	4.0	4.0	3.8	(3.3)	内面ナフ	北±-5323
0332-244	7119	直	後期中晩	V1-39	底V-Y	63	P-5084	(6.0)	(3.2)	(3.2)	(3.2)	(3.2)	内面ナフ	北±-5306
0334-245	7119	直	後期中晩	V1-39	底V-Y	63	P-5410	(8.8)	2.1	(5.2)	(5.2)	(5.2)	内面ナフ	北±-5329
0334-246	7119	直	後期中晩	V1-41	底V-Y	122-125	P-10138	4.0	4.0	7.8	7.8	7.8	内面ナフ	北±-5326
0334-247	7119	直	後期中晩	V1-40	底V-Y	89-125	-	-	-	(5.3)	(5.3)	(5.3)	内面ナフ	北±-5322
0334-248	7119	直	後期中晩	V1-41	底V-Y	69	P-5066	-	3.8	(6.9)	(6.9)	(6.9)	内面ナフ	北±-5314
0334-249	7119	直	後期中晩	V1-41	底V-Y	82	P-10124	4.1	2.7	9.3	9.3	9.3	内面ナフ	北±-5308
0334-250	7119	直	後期中晩	V1-29	底V-Y	89	P-10143	(5.1)	4.5	7.4	7.4	7.4	内面ナフ	北±-5308
0334-251	7119	直	後期中晩	V1-40	底V-Y	76	P-5269	-	2.5	(7.5)	(7.5)	(7.5)	内面ナフ	北±-5306
0334-252	7119	直	後期中晩	V1-41	底V-Y	69	P-5068	-	3.2	(6.8)	(6.8)	(6.8)	内面ナフ	北±-5307
0334-253	7119	直	後期中晩	V1-29	底V-Y	93	P-5426	5.9	4.5	9.5	9.5	9.5	内面ナフ	北±-5322
0334-254	7119	直	後期中晩	V1-38	底V-Y	76	P-5228	-	2.0	(8.4)	(8.4)	(8.4)	内面ナフ	北±-5283
0334-255	7119	直	後期中晩	V1-40	底V-Y	128	P-5065	-	2.7	(7.4)	(7.4)	(7.4)	内面ナフ	北±-5300
0334-256	7119	直	後期中晩	V1-40	底V-Y	89	P-5001	5.0	4.0	6.8	6.8	6.8	内面ナフ	北±-5321
0334-257	7119	直	後期中晩	V1-35	底V-Y	56.5	P-5104	-	2.5	(7.5)	(7.5)	(7.5)	内面ナフ	北±-5306
0334-258	7119	直	後期中晩	V1-29	底V-Y	43	P-5104	-	2.5	(7.5)	(7.5)	(7.5)	内面ナフ	北±-5311
0335-259	-	直	後期中晩	V1-37	底V-Y	129	P-5025	4.0	3.4	9.2	9.2	9.2	内面ナフ	北±-5323
0335-260	7119	直	後期中晩	V1-37	底V-Y	9	P-5231	-	4.8	(8.1)	(8.1)	(8.1)	内面ナフ	北±-5302
0335-261	7119	直	後期中晩	V1-37	底V-Y	43.5	P-5000	5.5	3.8	9.6	9.6	9.6	内面ナフ	北±-5313
0335-262	7119	直	後期中晩	V1-41	底V-Y	69	-	6.0	5.0	(9.8)	(9.8)	(9.8)	内面ナフ	北±-5312
0335-263	7119	直	後期中晩	V1-29	底V-Y	43	P-5215	5.5	4.3	7.9	7.9	7.9	内面ナフ	北±-5293
0335-264	7119	直	後期中晩	V1-37	底V-Y	95	P-5273	6.0	3.8	8.1	8.1	8.1	内面ナフ	北±-5381
0335-265	7119	直	後期中晩	V1-38	底V-Y	26	-	(5.2)	4.0	(7.8)	(7.8)	(7.8)	内面ナフ	北±-5307
0335-266	7119	直	後期中晩	V1-34	底V-Y	54.5	P-5240	(4.8)	(3.8)	8.7	8.7	8.7	内面ナフ	北±-5210
0335-267	7119	直	後期中晩	V1-37	底V-Y	82	P-10125	6.0	5.5	10.0	10.0	10.0	内面ナフ	北±-5289
0335-268	7119	直	後期中晩	V1-38	底V-Y	57-62-37	P-5619	-	(3.6)	(10.1)	(10.1)	(10.1)	内面ナフ	北±-5282
0335-269	7119	直	後期中晩	V1-37	底V-Y	93	P-5225	7.6	4.0	10.0	10.0	10.0	内面ナフ	北±-5314
0335-270	7120	直	後期中晩	V1-40	底V-Y	66	-	-	5.0	2.8	(5.8)	(5.8)	内面ナフ	北±-5327
0335-271	7120	直	後期中晩	V1-40	底V-Y	93	-	(7.0)	1.3	(5.0)	(5.0)	(5.0)	内面ナフ	北±-5335
0336-272	7120	直	後期中晩	V1-44	底V-Y	89	P-5922	-	4.0	(5.0)	(5.0)	(5.0)	内面ナフ	北±-5304
0336-273	7120	直	後期中晩	V1-39	底V-Y	93	P-5068	-	1.5	7.5	7.5	7.5	内面ナフ	北±-5319

表6 ミニチニア・小形土器観察表(4)

図番号	写真 回数	器種	時期	出土地質	付文	無修復状況	軸上寸法	輪径 (cm)	高さ (cm)	備考
IS36-274	91-20	II-I	晚期Ib	VN-58	折V3	57-62-127	P-5656	-	5.5	外縁丸み、口部圓錐形。内面磨耗又は「」。文様無地又は「」。外縁丸み、内面ナード。
IS36-275	91-20	II-I	晚期Ia	VN-37	Rb <sup>1</sup>	9156-6334 F	P-5926	5.5	丸底	外縁丸み、口部圓錐形。内面磨耗又は「」。外縁丸み、内面ナード。
IS36-276	-	II-I	晚期Ia	VN-39	折V	89	P-10150	-	丸底	外縁丸み、口部圓錐形。内面磨耗又は「」。
IS36-277	91-20	II-I	晚期Ia	VN-39	アロ <sup>1</sup> 7.13	93	P-5619	-	丸底	外縁丸み、口部圓錐形。内面磨耗又は「」。
IS36-278	91-20	II-I	晚期Ia	VN-41	折V	68	P-10944	-	丸底	外縁丸み、口部圓錐形。内面磨耗又は「」。
IS36-279	91-20	II-I	晚期Ia	VN-41	折V	69.4	60-63-89	-	丸底	外縁丸み、口部圓錐形。内面磨耗又は「」。
IS36-280	91-20	II-I	晚期Ia	VN-40	折V	103.17 8.61%	103.17 8.61%	-	丸底	外縁丸み、口部圓錐形。内面磨耗又は「」。
IS36-281	91-20	II-I	晚期Ia	VN-40	折V	95	野-5026	1.7	1.2	2.0
-	91-20	II-I	晚期Ia	VN-40	折V	63	-	-	7.0	外縁丸み、口部圓錐形。内面ナード。
IS36-282	91-20	II-I	晚期Ia	VN-39	アロ <sup>1</sup> 7.13	93	P-5638	-	3.0	7.7
-	91-20	II-I	晚期Ia	VN-40	折V	66	-	8.0	丸底	外縁丸み、口部圓錐形。内面ナード。
IS36-284	-	II-I	晚期Ia	VN-40	折V	-	-	-	-	外縁丸み、口部圓錐形。内面ナード。

表7 骨角器観察表

図番号	写真番号	ダリット(南北)	ダリット(東西)	付文	器名	蓋板	棒	底板	LR	縦計	備考	底面	底面など	付文	直径(d) mm	幅(f) mm	厚さ mm	日付	マサシ	備考	写真番号
74-1	142	IV-V	IV-V	26	骨芯	骨芯	骨芯	骨芯	frg	400	24.0±0.6±0.1(H)	底面	底面など	2014.7.29	マサシ	日付	マサシ	日付	マサシ	日付	

表8 石器觀察表（1）

表8 石器觀察表(2)

分類番号	番号	番号	整理番号	出土位置	層位	地質層	S&H番号	器種	丸径 (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量	石質	備考			
121	95	-	606	6-30	層面	石頭	323	256	132	53	1.5	1.5	未製品?				
121	96	-	606	6-30	層面	石頭	233	144	56	1.5	1.5	1.5	未製品?				
121	97	37	9	7126	±7.10	層面	石頭	380	200	50	1.6	1.6	1.6	後賀百石 アスファルト、先端から削離			
121	100	-	315	18-30	層面	石頭	303	153	37	0.8	0.8	0.8	未製品?				
121	101	-	316	18-30	層面	石頭	303	153	37	0.8	0.8	0.8	未製品?				
121	102	-	316	18-30	層面	石頭	243	105	33	0.6	0.6	0.6	未製品?				
121	103	-	307	18-30	層面	石頭	263	92	33	0.9	0.9	0.9	未製品?				
121	104	-	314	18-30	層面	石頭	253	103	37	0.8	0.8	0.8	未製品?				
121	105	-	316	18-30	層面	石頭	217	103	37	0.8	0.8	0.8	未製品?				
121	106	-	256	18-30	層面	石頭	263	122	61	1.8	1.8	1.8	未製品?				
121	107	-	317	18-31	層面	石頭	302	145	70	1.8	1.8	1.8	未製品?				
121	108	-	321	18-30	層面	石頭	363	161	70	2.1	2.1	2.1	未製品?				
121	109	-	285	18-21	層面	石頭	303	136	67	2.0	2.0	2.0	未製品?				
121	110	-	286	18-21	層面	石頭	303	136	67	2.0	2.0	2.0	未製品?				
121	111	-	290	18-21	層面	石頭	303	136	67	2.0	2.0	2.0	未製品?				
121	112	-	291	18-21	層面	石頭	303	136	67	2.0	2.0	2.0	未製品?				
121	113	-	292	18-21	層面	石頭	303	136	67	2.0	2.0	2.0	未製品?				
121	114	-	293	18-21	層面	石頭	303	136	67	2.0	2.0	2.0	未製品?				
121	115	-	294	18-21	層面	石頭	303	136	67	2.0	2.0	2.0	未製品?				
121	116	-	605	18-21	層面	石頭	303	136	67	2.0	2.0	2.0	未製品?				
121	117	-	295	18-21	層面	石頭	303	136	67	2.0	2.0	2.0	未製品?				
122	4	-	328	18-35	梯段16号	石頭下下部	9-X	石頭	461	159	53	2.7	2.7	2.7	未製品?		
122	5	-	355	18-31	梯段16号	石頭上部	9-X	石頭	311	116	52	1.0	1.0	1.0	未製品?		
122	6	-	605	18-31	梯段16号	石頭上部	9-X	石頭	380	170	58	2.0	2.0	2.0	未製品?		
122	7	-	1436	18-31	梯段16号	石頭上部	112	入土	392	123	86	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	8	-	231	18-41	80C	116-118	9-X	石頭	251	130	35	0.7	0.7	0.7	未製品?		
122	9	-	5685	18-35	梯段16号	石頭上部	9-X	石頭	260	125	35	0.8	0.8	0.8	未製品?		
122	10	-	6015	18-31	梯段16号	石頭上部	9-X	石頭	260	125	35	0.8	0.8	0.8	未製品?		
122	11	-	6135	18-31	梯段16号	石頭上部	9-X	石頭	311	128	61	1.3	1.3	1.3	未製品?		
122	12	-	6073	18-30	梯段16号	石頭上部	9-X	石頭	311	128	61	1.3	1.3	1.3	未製品?		
122	13	-	284	18-10	梯段16号	石頭上部	9-X	石頭	368	168	57	2.1	2.1	2.1	未製品?		
122	14	-	363	18-35	梯段17号	石頭下下部	127	9-X	石頭	286	131	29	1.1	1.1	1.1	未製品?	
122	15	-	365	18-34	梯段17号	石頭上部	69	9-X	石頭	263	156	43	1.2	1.2	1.2	未製品?	
122	16	-	366	18-35	梯段17号	石頭上部	69	9-X	石頭	311	124	52	1.2	1.2	1.2	未製品?	
122	17	-	367	18-35	梯段17号	石頭上部	69	9-X	石頭	311	124	52	1.2	1.2	1.2	未製品?	
122	18	-	368	18-35	梯段17号	石頭上部	69	9-X	石頭	311	122	58	1.9	1.9	1.9	未製品?	
122	19	-	337	18-12	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	281	99	44	0.9	0.9	0.9	未製品?		
122	20	37	2	6006	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	282	121	40	0.9	0.9	0.9	未製品?	
122	21	-	6467	18-39	瓦片-砂輪組合	80Cの別	9-X	石頭	510	134	63	3.3	3.3	3.3	未製品?		
122	22	-	308	18-11	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	252	62	58	0.8	0.8	0.8	未製品?	石頭?	
122	23	-	273	18-18	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	317	122	58	1.9	1.9	1.9	未製品?		
122	24	-	6005	18-30	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	25	0.7	0.7	0.7	未製品?		
122	25	-	6006	18-30	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	25	0.7	0.7	0.7	未製品?		
122	26	-	6007	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	25	0.7	0.7	0.7	未製品?		
122	27	-	6007	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	25	0.7	0.7	0.7	未製品?		
122	28	-	6008	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	462	173	76	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	29	-	6009	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	120	60	3.1	3.1	3.1	未製品?		
122	30	-	6010	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	462	173	76	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	31	-	6011	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	32	-	6012	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	33	-	6013	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	34	-	6014	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	35	-	6015	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	36	-	6016	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	37	-	6017	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	38	-	6018	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	39	-	6019	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	40	-	6020	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	41	-	6021	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	42	-	6022	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	43	-	6023	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	44	-	6024	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	45	-	6025	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	46	-	6026	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	47	-	6027	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	48	-	6028	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	49	-	6029	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	50	-	6030	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	51	-	6031	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	52	-	6032	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	53	-	6033	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	54	-	6034	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	55	-	6035	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	56	-	6036	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	57	-	6037	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	58	-	6038	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	59	-	6039	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	60	-	6040	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	61	-	6041	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	62	-	6042	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	63	-	6043	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	64	-	6044	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	65	-	6045	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	66	-	6046	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	67	-	6047	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	68	-	6048	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	69	-	6049	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	70	-	6050	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	71	-	6051	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	72	-	6052	18-29	梯段17号	石頭上部	9-X	石頭	303	125	62	4.1	4.1	4.1	未製品?		
122	73	-</td															

表8 石器觀察表(3)

石器番号	番号	番号	整理番号	出土位置	層位	胎形	器種	身長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重量	石質	備考		
123	1	-	2275	W-30 2-10	摺V下層	82	S-X	石器	809	124	78	34	地質剖面		
123	2	-	366	W-30 2-10	摺V	89	S-X	石器	360	85	68	12	地質剖面	尖端磨耗	
123	3	-	362	W-30 2-10	摺V	80	S-X	石器	294	85	21	15	地質剖面	打撲?	
123	4	-	6905	W-30 2-10	摺V	79	S-X	石器	435	111	58	26	地質剖面		
123	5	37	19	807 2-10	摺V	89	S-X	石器	627	222	99	65	地質剖面		
123	6	37	20	503	W-30 2-10	摺V	89	S-X	石器	260	235	70	18	地質剖面	
123	7	37	21	1208	W-30 2-10	摺V	89	S-X	石器	260	235	70	18	地質剖面	
123	8	-	-	265	W-30 2-10	摺V	89	S-X	石器	179	58	68	26	地質剖面	
123	9	-	-	265	W-30 2-10	摺V	92	S-X	石器	362	125	66	17	地質剖面	
123	10	-	-	265	W-30 2-10	摺V	95	S-X	石器	263	68	37	67	地質剖面	兩端磨耗
123	11	-	-	265	W-30 2-10	摺V	95	S-X	石器	267	74	55	14	地質剖面	尖端磨耗
123	12	-	-	265	W-30 2-10	摺V	95	S-X	石器	511	201	63	30	地質剖面	
123	13	-	-	265	W-30 2-10	摺V	95	S-X	石器	360	212	87	42	地質剖面	
123	14	-	-	265	W-30 2-10	摺V	95	S-X	石器	265	233	66	25	地質剖面	
123	15	-	-	265	W-30 2-10	摺V	95	S-X	石器	367	176	53	20	地質剖面	
123	16	-	-	265	W-30 2-10	摺V	95	S-X	石器	271	203	65	28	地質剖面	
123	17	-	-	265	W-30 2-10	摺V	95	S-X	石器	271	213	59	19	地質剖面	
123	18	-	-	1695	W-30 2-10	摺V下層	121	S-X	石器	604	196	76	47	地質剖面	
123	19	-	-	6317	W-30	摺V	122-125	S-X	石器	432	113	84	41	地質剖面	
123	20	-	-	1205	W-30	摺V	122-125	S-X	石器	495	25	51	12	地質剖面	
123	21	-	-	1205	W-30	摺V	122-125	S-X	石器	500	151	69	28	地質剖面	
123	22	-	-	1205	W-30	摺V	122-125	S-X	石器	513	218	56	76	地質剖面	尖端磨耗
123	23	-	-	1205	W-30	摺V	122-125	S-X	石器	502	115	55	25	地質剖面	
123	24	-	-	1205	W-30	摺V	122-125	S-X	石器	493	80	56	26	地質剖面	
123	25	-	-	1205	W-30	摺V	122-125	S-X	石器	494	147	56	35	地質剖面	
123	26	-	-	1205	W-30	摺V	122-125	S-X	石器	361	176	53	20	地質剖面	
123	27	-	-	1205	W-30	摺V	122-125	S-X	石器	361	176	53	20	地質剖面	
123	28	-	-	1205	W-30	摺V	122-125	S-X	石器	361	176	53	20	地質剖面	
123	29	-	-	1205	W-30	摺V	122-125	S-X	石器	475	143	72	35	地質剖面	
123	30	-	-	1695	W-30 2-10	摺V下層	125	S-X	石器	962	212	79	45	地質剖面	
123	31	-	-	375	W-30	摺V下層	125	S-X	石器	344	62	51	9	地質剖面	
123	32	-	-	1727	W-30 2-11	摺A-D	1-1	S-X	石器	370	138	75	34	地質剖面	石頭・石器・木製品? 斷面加工
123	33	-	-	1727	W-30 2-11	摺A-D	1-1	S-X	石器	370	213	82	32	地質剖面	
123	34	-	-	1727	W-30 2-11	摺A-D	1-1	S-X	石器	370	213	82	32	地質剖面	石頭・石器・木製品? 斷面加工
123	35	-	-	1727	W-30 2-11	摺A-D	1-1	S-X	石器	370	213	82	32	地質剖面	
123	36	-	-	1727	W-30 2-11	摺A-D	1-1	S-X	石器	370	213	82	32	地質剖面	
123	37	-	-	1727	W-30 2-11	摺A-D	1-1	S-X	石器	370	213	82	32	地質剖面	
123	38	-	-	2209	W-30 2-11	1	1	S-X	石器	838	624	213	82	地質剖面	
123	39	-	-	2209	W-30 2-11	1	1	S-X	石器	613	355	151	55	地質剖面	
123	40	-	-	2209	W-30 2-11	1	1	S-X	石器	613	355	151	55	地質剖面	
123	41	37	21	918	W-30	摺V	11	S-X	石器	809	318	89	95	地質剖面	
123	42	-	-	2692	W-30 2-11	摺V	19-20	S-X	石器	365	415	109	203	地質剖面	
123	43	36	21	913	W-30 2-11	摺V	20-21	S-X	石器	761	241	108	217	地質剖面	
123	45	-	-	916	W-30 2-10	HG-7	25	S-X	石器	479	474	13.2	32.5	地質剖面	
123	46	-	-	917	W-30 2-10	HG-7	25	S-X	石器	661	261	258	360	地質剖面	
123	47	37	25	908	W-30	HG-7	25	S-X	石器	713	263	156	363	地質剖面	
123	48	-	-	2202	W-30 2-11	HG-7	25	S-X	石器	355	327	97	112	地質剖面	
123	49	-	-	901	W-30 2-11	HG-7	25	S-X	石器	361	250	87	7.2	地質剖面	
123	50	-	-	6636	W-30 2-11	HG-7	31-32	S-X	石器	563	261	115	172	地質剖面	
123	51	-	-	5559	W-30 2-11	HG-7	31-32	S-X	石器	269	252	87	7.2	地質剖面	
123	54	-	-	915	W-30 2-10	35	55	S-X	石器	645	308	171	408	地質剖面	鶴?
123	55	-	-	903	W-30 2-11	摺V	63	S-X	石器	602	252	95	119	地質剖面	
123	56	-	-	2222	W-30 2-11	HG-7	68	S-X	石器	311	245	77	58	地質剖面	
123	57	-	-	906	W-30 2-11	摺V	69	S-X	石器	278	250	110	154	地質剖面	
123	58	-	-	6666	W-30 2-11	摺V	70	S-X	石器	265	247	176	143	地質剖面	
123	59	-	-	2226	W-30	摺V	70	S-X	石器	708	516	149	367	地質剖面	
123	60	-	-	2226	W-30	摺V	70	S-X	石器	380	420	135	250	地質剖面	
123	71	-	-	1330	W-30 2-11	その上	101	S-X	石器	941	367	183	665	地質剖面	
123	72	-	-	911	W-30	摺V	125	S-X	石器	381	118	181	376	地質剖面	
123	73	-	-	905	W-30	摺V	125	S-X	石器	542	243	107	142	地質剖面	
123	74	-	-	2274	W-30	HG-2	125	S-X	石器	891	562	230	1010	地質剖面	
123	75	-	-	5555	W-30	摺V	125	S-X	石器	503	255	87	117	地質剖面	
123	76	-	-	1347	W-30	摺V	125	S-X	石器	425	239	116	111	地質剖面	
123	77	-	-	2711	W-30	HG-2	35-36	S-X	石器	644	269	86	171	地質剖面	
123	78	-	-	2436	W-30	摺V	35-36	S-X	石器	922	563	197	360	地質剖面	
123	79	-	-	2407	W-30	摺V	35-36	S-X	石器	573	325	235	235	地質剖面	鶴?
123	80	-	-	905	W-30	摺V	35-36	S-X	石器	496	243	138	147	地質剖面	鶴?
123	81	-	-	905	W-30	摺V	35-36	S-X	石器	502	453	111	202	地質剖面	アスファルト
123	82	-	-	905	W-30	摺V	35-36	S-X	石器	602	633	131	315	地質剖面	
123	84	36	5	1783	W-30 2-11	u(?)	1	S-X	石器	626	220	109	166	地質剖面	
123	85	-	-	981	W-30 2-11	u(?)	1	S-X	石器	922	563	197	360	地質剖面	
123	86	-	-	6000	W-30 2-11	u(?)	1	S-X	石器	851	317	124	365	地質剖面	
123	87	-	-	975	W-30 2-11	u(?)	1	S-X	石器	711	432	134	322	地質剖面	
123	88	-	-	975	W-30 2-11	u(?)	1	S-X	石器	690	267	112	335	地質剖面	
123	89	-	-	1260	W-30 2-11	u(?)	1	S-X	石器	363	631	59	43	地質剖面	
123	90	-	-	975	W-30 2-11	u(?)	1	S-X	石器	1269	666	95	157	地質剖面	
123	91	-	-	966	W-30 2-11	u(?)	1	S-X	石器	476	232	85	95	地質剖面	
123	92	-	-	955	W-30 2-11	u(?)	1	S-X	石器	375	216	66	94	地質剖面	
123	93	-	-	1795	W-30 2-11	u(?)	10-レカ	S-X	石器	924	592	110	182	地質剖面	
123	31	38	6	1310	W-30 2-11	SC-C	10	S-X	石器	360	460	133	261	地質剖面	真形石?
123	32	-	-	9670	W-30 2-10	HG-2	11	S-X	石器	253	354	93	32	地質剖面	
123	33	-	-	9662	W-30 2-10	HG-2	11-12	S-X	石器	769	62	112	181	地質剖面	
123	34	-	-	212	W-30 2-10	HG-2	12	S-X	石器	423	268	101	240	地質剖面	
123	35	-	-	2495	W-30 2-10	摺V	14	S-X	石器	692	287	80	83	地質剖面	
123	36	-	-	9665	W-30 2-10	摺V	14	S-X	石器	625	625	2	2	地質剖面	
123	37	-	-	136	W-30 2-10	摺V	14	S-X	石器	601	601	115	50	地質剖面	アスファルト
123	38	8	4	1795	W-30 2-10	HG-2	14-20	S-X	石器	98	98	98	98	地質剖面	アスファルト

表8 石器觀察表（4）

番号	品番	参考番号	登録番号	上位部番	履歴	取替部	多機能	機種	高さ (mm)	幅 (mm)	奥行 (mm)	重量	右翼	備考		
105	8	-	438	VU-27	精D2	19-20	SC-X	石丸	336	656	91	21.3	精D2			
106	28	-	6665	VU-27	精D2	20	SC-X	石丸	404	616	112	24.6	精D2			
107	30	-	6666	VU-27	精D2	20	SC-X	石丸	404	616	112	24.6	精D2			
108	31	-	6667	VU-27	精D2	20	SC-X	石丸	396	612	86	9.1	精D2	アスファルト		
109	32	2	1796	VU-27	精D2	20	SC-X	石丸	255	625	75	8.0	精D2			
110	32	11	1755	VU-27	精D2	20	SC-X	石丸	255	625	75	8.0	精D2			
111	32	12	1756	VU-27	精D2	20	SC-X	石丸	255	625	75	8.0	精D2			
112	15	-	185	VU-30	精D3	21	SC-X	石丸	411	372	52	7.1	精D3	右翼にアスファルト		
113	16	38	1791	VU-30	精D3	21	SC-X	石丸	626	853	141	56.6	精D3	右翼		
114	17	-	1793	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	464	616	122	30.9	精D2	右翼		
115	18	-	133	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	451	655	118	26.7	精D2	アスファルト、刀削式		
116	19	-	6526	VU-26	精D2	20	SC-X	石丸	560	560	46	7.0	精D2	つづら折線		
117	20	-	1292	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	585	512	84	8.6	精D2	アスファルト		
118	21	29	3	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	515	610	123	27.8	精D2	右翼		
119	-	-	439	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	325	560	82	8.6	精D2			
120	-	-	6610	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	515	518	127	20.2	精D2			
121	-	-	6611	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	532	580	139	31.6	精D2			
122	-	-	979	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	824	732	119	27.9	精D2			
123	26	-	6363	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	736	258	86	14.8	精D2			
124	-	-	211	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	624	305	85	24.0	精D2			
125	-	-	305	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	556	518	86	14.8	精D2			
126	-	-	6608	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	413	727	98	37.6	精D2			
127	34	39	6	198	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	814	372	124	31.3	精D2		
128	29	8	439	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	315	474	109	20.5	精D2			
129	30	9	6665	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	315	474	109	20.5	精D2			
130	30	10	6666	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	315	474	109	20.5	精D2			
131	30	11	6667	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	315	474	109	20.5	精D2			
132	30	12	6668	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	315	474	109	20.5	精D2			
133	30	13	6669	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	315	474	109	20.5	精D2			
134	30	14	2107	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	315	474	109	20.5	精D2			
135	30	15	1759	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	315	474	109	20.5	精D2			
136	30	16	1760	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	315	474	109	20.5	精D2			
137	30	17	1761	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	315	474	109	20.5	精D2			
138	30	18	1762	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	315	474	109	20.5	精D2			
139	30	19	1763	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	315	474	109	20.5	精D2			
140	30	20	1764	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	315	474	109	20.5	精D2			
141	30	21	1765	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	315	474	109	20.5	精D2			
142	30	22	1766	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	315	474	109	20.5	精D2			
143	30	23	1767	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	315	474	109	20.5	精D2			
144	30	24	1768	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	315	474	109	20.5	精D2			
145	30	25	1769	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	315	474	109	20.5	精D2			
146	30	26	1770	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	315	474	109	20.5	精D2			
147	30	27	1771	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	315	474	109	20.5	精D2			
148	30	28	1772	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	315	474	109	20.5	精D2			
149	30	29	1773	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	315	474	109	20.5	精D2			
150	30	30	1774	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	315	474	109	20.5	精D2			
151	30	31	1775	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	315	474	109	20.5	精D2			
152	30	32	1776	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	315	474	109	20.5	精D2			
153	30	33	1777	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	315	474	109	20.5	精D2			
154	30	34	1778	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	315	474	109	20.5	精D2			
155	30	35	1779	VU-27	精D2	21	SC-X	石丸	315	474	109	20.5	精D2			
156	27	-	6221	VU-30	精D3	4	SC-X	石丸	476	621	132	26.2	精D3	右翼		
157	28	20	12	207	VU-27	精D2	37	62-127	SC-X	石丸	567	181	81	5.5	精D2	右翼
158	23	-	6658	VU-27	精D2	37	62-127	SC-X	石丸	812	222	136	13.4	精D2	右翼	
159	24	-	6659	VU-27	精D2	37	62-127	SC-X	石丸	601	252	151	16.5	精D2	右翼	
160	25	10	122	VU-27	精D2	37	62-127	SC-X	石丸	663	222	137	13.4	精D2	右翼	
161	25	-	1795	VU-27	精D2	4	SC-X	石丸	524	652	135	14.7	精D2	右翼		
162	26	-	6665	VU-27	精D2	6	SC-X	石丸	538	568	168	16.5	精D2	右翼		
163	27	-	6222	VU-30	精D3	4	SC-X	石丸	476	621	132	26.2	精D3	右翼		
164	28	20	12	207	VU-27	精D2	1	SC-X	石丸	567	201	135	26.5	精D2	右翼	
165	29	1	6212	VU-27	精D2	1	SC-X	石丸	603	206	121	31.9	精D2	右翼		
166	30	41	1	6225	VU-27	精D2	62-89	SC-X	石丸	262	212	87	18.0	精D2	アスファルト	
167	30	42	1	6226	VU-27	精D2	62-89	SC-X	石丸	515	265	115	20.1	精D2	アスファルト	
168	30	43	1	6227	VU-27	精D2	62-89	SC-X	石丸	515	265	115	20.1	精D2	アスファルト	
169	30	44	1	6228	VU-27	精D2	62-89	SC-X	石丸	444	124	83	26.0	精D2	アスファルト	
170	30	45	1	6229	VU-27	精D2	62-89	SC-X	石丸	550	120	81	21.3	精D2	アスファルト	
171	30	46	1	6230	VU-27	精D2	62-89	SC-X	石丸	523	254	87	8.9	精D2	アスファルト	
172	30	47	1	6231	VU-27	精D2	62-89	SC-X	石丸	523	254	87	8.9	精D2	アスファルト	
173	30	48	1	6232	VU-27	精D2	62-89	SC-X	石丸	523	254	87	8.9	精D2	アスファルト	
174	30	49	1	6233	VU-27	精D2	62-89	SC-X	石丸	523	254	87	8.9	精D2	アスファルト	
175	30	50	1	6234	VU-27	精D2	62-89	SC-X	石丸	523	254	87	8.9	精D2	アスファルト	
176	30	51	1	6235	VU-27	精D2	62-89	SC-X	石丸	523	254	87	8.9	精D2	アスファルト	
177	30	52	1	6236	VU-27	精D2	62-89	SC-X	石丸	523	254	87	8.9	精D2	アスファルト	
178	30	53	1	6237	VU-27	精D2	62-89	SC-X	石丸	523	254	87	8.9	精D2	アスファルト	
179	30	54	1	6238	VU-27	精D2	62-89	SC-X	石丸	523	254	87	8.9	精D2	アスファルト	
180	30	55	1	6239	VU-27	精D2	62-89	SC-X	石丸	523	254	87	8.9	精D2	アスファルト	
181	30	56	1	6240	VU-27	精D2	62-89	SC-X	石丸	523	254	87	8.9	精D2	アスファルト	
182	30	57	1	6241	VU-27	精D2	62-89	SC-X	石丸	523	254	87	8.9	精D2	アスファルト	
183	30	58	1	6242	VU-27	精D2	62-89	SC-X	石丸	523	254	87	8.9	精D2	アスファルト	
184	30	59	1	6243	VU-27	精D2	62-89	SC-X	石丸	523	254	87	8.9	精D2	アスファルト	
185	30	60	1	6244	VU-27	精D2	62-89	SC-X	石丸	523	254	87	8.9	精D2	アスファルト	
186	30	61	1	6245	VU-27	精D2	62-89	SC-X	石丸	523	254	87	8.9	精D2	アスファルト	
187	30	62	1	6246	VU-27	精D2	62-89	SC-X	石丸	523	254	87	8.9	精D2	アスファルト	
188	30	63	1	6247	VU-27	精D2	62-89	SC-X	石丸	523	254	87	8.9	精D2	アスファルト	
189	30	64	1	6248	VU-27	精D2	62-89	SC-X	石丸	523	254	87	8.9	精D2	アスファルト	
190	30	65	1	6249	VU-27	精D2	62-89	SC-X	石丸	523	254	87	8.9	精D2	アスファルト	
191	30	66	1	6250	VU-27	精D2	62-89	SC-X	石丸	523	254	87	8.9	精D2	アスファルト	
192	30	67	1	6251	VU-27	精D2	62-89	SC-X	石丸	523	254	87	8.9	精D2	アスファルト	
193	30	68	1	6252	VU-27	精D2	62-89	SC-X	石丸	523	254	87	8.9	精D2	アスファルト	
194	30	69	1	6253	VU-27	精D2	62-89	SC-X	石丸	523	254	87	8.9	精D2	アスファルト	
195	30	70	1	6254	VU-27	精D2	62-89	SC-X	石丸	523	254	87	8.9	精D2	アスファルト	
196	30	71	1	6255	VU-27	精D2	62-89	SC-X	石丸	523	254	87	8.9	精D2	アスファルト	
197	30	72	1	6256	VU-27	精D2	62-89	SC-X	石丸	523	254	87	8.9	精D2	アスファルト	
198	30	73	1	6257	VU-27	精D2	62-89	SC-X	石丸	523	254	87	8.9	精D2	アスファルト	
199	30	74	1	6258	VU-27	精D2	62-89	SC-X	石丸	523	254	87	8.9	精D2	アスファルト	
200	30	75	1	6259	VU-27	精D2	62-89	SC-X	石丸	523	254	87	8.9	精D2	アスファルト	
201	30	76	1	6260	VU-27	精D2	62-89	SC-X								

表8 石器觀察表(5)

分類番号	番号	番号	整理番号	出土位置	層位	地質層	Sb-年号	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量	石質	参考	
128	12	41	1	2013	VII-60	切削丸	26	S-X	石板	650	250	17.0	156	鐵質頁岩	
128	13	41	2	1170	切削丸	e	28	S-X	石板	510	170	35.0	3.3	鐵質頁岩	
128	14	-	6352	切削丸	e	28	S-X	石板	661	426	42.4	121.8	鐵質頁岩 石塊?		
128	15	-	950	切削丸	切V刀屬	82	S-X	石板	317	431	39.0	4.3	鐵質頁岩		
128	16	-	949	切削丸	切V刀屬	81	S-X	石板	327	520	87.0	6.3	鐵質頁岩		
128	17	-	6353	切削丸	切V刀屬	81	S-X	石板	327	520	116.0	20.5	鐵質頁岩 制削品		
128	18	-	1182	切削丸	切V刀屬	81	S-X	石板	327	520	216.0	20.5	鐵質頁岩 制削品		
128	19	-	956	切削丸	切V刀屬	81	S-X	石板	618	233	135.0	184.4	鐵質頁岩		
128	20	-	6353	切削丸	切V刀屬	81	S-X	石板	412	658	121.0	26.5	鐵質頁岩	工具	
128	21	-	6691	切削丸	切V刀屬	89	S-X	石板	329	253	121.0	20.5	鐵質頁岩		
128	22	-	216	切削丸	切V刀屬	89	S-X	石板	362	668	167.0	19.9	鐵質頁岩 アスファルト		
128	23	-	222	VIII-30	磨擦	89	S-X	石板	561	656	181.0	25.1	鐵質頁岩 アスファルト		
128	24	-	1235	磨擦	石炭灰	89	S-X	石板	672	720	153.0	31.3	鐵質頁岩		
128	25	-	6605	磨擦	石炭灰	89	S-X	石板	698	352	132.0	20.3	鐵質頁岩		
128	26	-	6603	磨擦	石炭灰	89	S-X	石板	960	346	195.0	29.0	鐵質頁岩		
128	27	-	6369	磨擦	石炭灰	89	S-X	石板	287	228	166.0	9.5	鐵質頁岩		
128	28	11	6	11772	磨擦	石炭灰	89	S-X	石板	560	160	80.0	6.1	鐵質頁岩	
128	29	41	8	228	VIII-30	磨擦	89	S-X	石板	1063	530	135.0	35.6	鐵質頁岩 つまみ鉢二つ	
128	30	41	10	1275	VIII-31	磨擦	89	S-X	石板	630	250	105.0	7.4	鐵質頁岩	
128	31	-	203	VIII-30	磨擦	89	S-X	石板	485	250	105.0	26.3	鐵質頁岩	タマゴ型	
128	32	-	6629	VIII-30	磨擦	89	S-X	石板	560	250	105.0	26.3	鐵質頁岩 アスファルト		
128	33	11	7	6767	VIII-30	磨擦	89	S-X	石板	560	250	80.0	7.1	鐵質頁岩	
128	34	-	12769	VIII-30	磨擦	89	S-X	石板	518	236	80.0	7.1	鐵質頁岩		
128	35	-	6766	VIII-30	磨擦	89	S-X	石板	560	250	80.0	7.1	鐵質頁岩		
128	36	-	6767	VIII-30	磨擦	89	S-X	石板	560	250	80.0	7.1	鐵質頁岩		
128	37	-	6768	VIII-30	磨擦	89	S-X	石板	560	250	80.0	7.1	鐵質頁岩		
128	38	-	6769	VIII-30	磨擦	89	S-X	石板	560	250	80.0	7.1	鐵質頁岩		
129	1	-	958	平面	平面	89	S-X	石板	376	536	106.0	12.1	鐵質頁岩 寺原式		
129	2	-	954	VII-39	平面	89	S-X	石板	418	563	80.0	25.1	鐵質頁岩 アスファルト		
129	3	-	977	VII-39	平面	92	S-X	石板	539	651	129.0	28.0	鐵質頁岩		
129	4	-	6365	VII-42	平面	95	S-X	石板	364	666	81.0	17.0	鐵質頁岩		
129	5	41	12	12768	VII-39	平面	95	S-X	石板	367	637	110.0	18.2	鐵質頁岩	
129	6	41	11	2011	VII-39	平面	93	S-X	石板	910	980	140.0	35.3	鐵質頁岩	
129	7	-	988	VII-38	平面	95	S-X	石板	930	665	131.0	35.2	鐵質頁岩		
129	8	-	6627	VII-38	平面	95	S-X	石板	865	676	138.0	32.5	鐵質頁岩		
129	9	-	6715	VII-38	平面	95	S-X	石板	568	568	81.0	15.0	鐵質頁岩 アスファルト		
129	10	-	957	VII-38	平面	95	S-X	石板	568	568	81.0	15.0	鐵質頁岩 アスファルト		
129	11	-	958	VII-38	平面	95	S-X	石板	568	568	81.0	15.0	鐵質頁岩		
129	12	-	959	VII-38	平面	95	S-X	石板	568	568	81.0	15.0	鐵質頁岩		
129	13	-	960	VII-38	平面	95	S-X	石板	635	254	7.5	4.6	鐵質頁岩		
129	14	-	959	VII-38	平面	95	S-X	石板	570	496	155.0	41.5	鐵質頁岩	直角切端	
129	15	-	6362	VII-38	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	406	416	82.0	12.0	鐵質頁岩 アスファルト		
129	16	-	6669	VII-38	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	520	567	149.0	28.4	鐵質頁岩 アスファルト		
129	17	-	219	VII-37	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	472	661	142.0	24.5	鐵質頁岩 アスファルト		
129	18	-	2223	VII-31	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	319	366	82.0	13.8	鐵質頁岩 (直角)		
129	19	-	202	VII-31	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	463	463	126.0	26.2	鐵質頁岩	直角	
129	20	-	6671	VII-31	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	463	463	126.0	26.2	鐵質頁岩	直角	
129	21	-	6672	VII-31	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	463	463	126.0	26.2	鐵質頁岩	直角	
129	22	-	6673	VII-31	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	463	463	126.0	26.2	鐵質頁岩	直角	
129	23	-	6674	VII-31	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	463	463	126.0	26.2	鐵質頁岩	直角	
129	24	-	6675	VII-31	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	463	463	126.0	26.2	鐵質頁岩	直角	
129	25	-	6676	VII-31	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	463	463	126.0	26.2	鐵質頁岩	直角	
129	26	-	6677	VII-31	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	463	463	126.0	26.2	鐵質頁岩	直角	
129	27	-	6678	VII-31	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	463	463	126.0	26.2	鐵質頁岩	直角	
129	28	-	6679	VII-31	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	463	463	126.0	26.2	鐵質頁岩	直角	
129	29	-	6680	VII-31	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	463	463	126.0	26.2	鐵質頁岩	直角	
129	30	-	6681	VII-31	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	463	463	126.0	26.2	鐵質頁岩	直角	
129	31	-	6682	VII-31	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	463	463	126.0	26.2	鐵質頁岩	直角	
129	32	-	6683	VII-31	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	463	463	126.0	26.2	鐵質頁岩	直角	
129	33	-	6684	VII-31	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	463	463	126.0	26.2	鐵質頁岩	直角	
129	34	-	6685	VII-31	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	463	463	126.0	26.2	鐵質頁岩	直角	
129	35	-	6716	VII-31	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	463	463	81.0	15.7	鐵質頁岩 アスファルト、羽田光沢		
129	36	-	11796	VII-30	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	575	211	70.0	12.2	鐵質頁岩		
129	37	-	11797	VII-30	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	563	210	101.0	13.9	鐵質頁岩 切出する跡、斜面		
129	38	41	15	1771	VII-30	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	643	269	70.0	6.5	鐵質頁岩	
129	39	11	11	11771	VII-30	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	560	210	120.0	11.0	鐵質頁岩	
129	40	11	11	11772	VII-30	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	560	210	120.0	11.0	鐵質頁岩	
129	41	11	11	11773	VII-30	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	560	210	120.0	11.0	鐵質頁岩	
129	42	11	11	11774	VII-30	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	560	210	120.0	11.0	鐵質頁岩	
129	43	11	11	11775	VII-30	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	560	210	120.0	11.0	鐵質頁岩	
129	44	11	11	11776	VII-30	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	560	210	120.0	11.0	鐵質頁岩	
129	45	11	11	11777	VII-30	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	560	210	120.0	11.0	鐵質頁岩	
129	46	11	11	11778	VII-30	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	560	210	120.0	11.0	鐵質頁岩	
129	47	11	11	11779	VII-30	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	560	210	120.0	11.0	鐵質頁岩	
129	48	11	11	11780	VII-30	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	560	210	120.0	11.0	鐵質頁岩	
129	49	11	11	11781	VII-30	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	560	210	120.0	11.0	鐵質頁岩	
129	50	11	11	11782	VII-30	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	560	210	120.0	11.0	鐵質頁岩	
129	51	11	11	11783	VII-30	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	560	210	120.0	11.0	鐵質頁岩	
129	52	11	11	11784	VII-30	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	560	210	120.0	11.0	鐵質頁岩	
129	53	11	11	11785	VII-30	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	560	210	120.0	11.0	鐵質頁岩	
129	54	11	11	11786	VII-30	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	560	210	120.0	11.0	鐵質頁岩	
129	55	11	11	11787	VII-30	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	560	210	120.0	11.0	鐵質頁岩	
129	56	11	11	11788	VII-30	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	560	210	120.0	11.0	鐵質頁岩	
129	57	11	11	11789	VII-30	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	560	210	120.0	11.0	鐵質頁岩	
129	58	11	11	11790	VII-30	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	560	210	120.0	11.0	鐵質頁岩	
129	59	11	11	11791	VII-30	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	560	210	120.0	11.0	鐵質頁岩	
129	60	11	11	11792	VII-30	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	560	210	120.0	11.0	鐵質頁岩	
129	61	11	11	11793	VII-30	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	560	210	120.0	11.0	鐵質頁岩	
129	62	11	11	11794	VII-30	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	560	210	120.0	11.0	鐵質頁岩	
129	63	11	11	11795	VII-30	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	560	210	120.0	11.0	鐵質頁岩	
129	64	11	11	11796	VII-30	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	560	210	120.0	11.0	鐵質頁岩	
129	65	11	11	11797	VII-30	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	560	210	120.0	11.0	鐵質頁岩	
129	66	11	11	11798	VII-30	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	560	210	120.0	11.0	鐵質頁岩	
129	67	11	11	11799	VII-30	切10枚馬	10311下層	S-X	石板	560	210	120.0			

表8 石器觀察表（6）

表8 石器觀察表(7)

石器番号	番号	番号	整理番号	出土位置	層位	細分類	Sb-書名	基種	丸2 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重量	石質	参考	
133	9	-	-	2270	SL-38 第1層上部	石器	57-42-127	S-X	刮削	96.0	54.5	5.9	112.1	珪質頁岩	
133	10	-	-	2414	SL-38	石器	57-42-127	S-X	刮削	98.2	52.3	13.2	17.8	珪質頁岩	
133	11	-	-	2426	SL-38	石器	57-42-127	S-X	刮削	101.1	51.8	8.8	50.7	珪質頁岩	
133	12	-	-	2435	SL-38	石器	57-42-127	S-X	刮削	103.0	50.9	9.2	63.5	珪質頁岩	
133	13	-	-	2436	SL-38	石器	57-42-127	S-X	刮削	103.0	50.9	9.2	63.5	珪質頁岩	
133	14	-	-	2421	SL-38 第1層上部	石器	57-42-111	S-X	刮削	106.1	52.0	9.7	93.1	珪質頁岩	
133	15	-	-	2420	SL-38 第1層上部	石器	57-42-111	S-X	刮削	107.9	51.4	11.4	122.1	珪質頁岩	
133	16	-	-	2419	SL-38	石器	57-42-111	S-X	刮削	109.8	51.0	10.2	113.7	珪質頁岩	本遺跡名義
133	17	-	-	2706	SL-38	石器	57-42-111	S-X	刮削	110.5	50.5	10.5	125.3	珪質頁岩	
133	18	-	-	2409	SL-38 第1層上部	石器	57-42-111	S-X	圓錐石器	107.2	39.7	15.6	27.6	珪質頁岩	
133	19	-	-	2413	SL-38 第1層上部	石器	57-42-111	S-X	圓錐石器	108.3	39.5	19.9	38.1	珪質頁岩	
133	20	-	-	2410	SL-38 第1層上部	石器	57-42-111	S-X	圓錐石器	109.2	39.5	19.9	38.2	珪質頁岩	
133	21	-	-	2271	SL-38 第1層上部	石器	57-42-111	S-X	圓錐石器	106.5	36.5	13.0	38.8	珪質頁岩	
133	22	-	-	2445	SL-38 第1層上部	石器	57-42-111	S-X	圓錐石器	112.3	35.0	19.2	40.2	珪質頁岩	
133	23	-	-	2418	SL-37	石器	57-42-111	S-X	圓錐石器	113.6	35.0	19.2	40.3	珪質頁岩	
133	24	-	-	2208	SL-37	石器	57-42-111	S-X	圓錐石器	115.8	35.8	21.8	66.6	6.4	珪質頁岩 アズファルト
133	25	-	-	2661	SL-38 第1層上部	石器	57-42-111	S-X	圓錐石器	116.9	35.8	21.8	66.6	6.4	珪質頁岩 アズファルト
133	26	-	-	2660	SL-38 第1層上部	石器	57-42-111	S-X	圓錐石器	117.6	35.8	21.8	66.6	6.4	珪質頁岩 アズファルト
133	27	-	-	2722	SL-38 第1層上部	石器	57-42-111	S-X	圓錐石器	118.3	35.8	21.8	66.6	6.4	珪質頁岩 アズファルト
133	28	-	-	5465	SL-37	石器	55-36	S-X	尖狀工具	119.7	31.6	13.7	33.1	珪質頁岩	
133	29	-	-	1341	SL-37	石器	55-36	S-X	尖狀工具	120.2	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
133	30	-	-	2258	SL-37	石器	55-36	S-X	尖狀工具	120.8	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
133	31	-	-	5309	SL-37	石器	55-36	S-X	尖狀工具	121.6	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
133	32	49	5	2706	SL-37	石器	55-36	S-X	尖狀工具	122.3	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	1	42	-	1519	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	123.9	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	2	42	-	2405	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	124.6	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	3	42	-	1511	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	125.3	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	4	42	-	2406	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	126.0	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	5	42	-	2407	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	126.7	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	6	42	-	2408	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	127.4	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	7	42	-	2409	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	128.1	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	8	42	-	2410	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	128.8	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	9	42	-	2411	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	129.5	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	10	42	-	2412	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	130.2	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	11	42	-	2413	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	130.9	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	12	42	-	2414	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	131.6	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	13	42	-	2415	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	132.3	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	14	42	-	2416	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	133.0	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	15	42	-	2417	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	133.7	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	16	42	-	2418	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	134.4	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	17	42	-	2419	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	135.1	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	18	42	-	2420	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	135.8	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	19	42	-	2421	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	136.5	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	20	42	-	2422	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	137.2	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	21	42	-	2423	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	137.9	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	22	42	-	2424	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	138.6	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	23	42	-	2425	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	139.3	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	24	42	-	2426	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	139.9	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	25	42	-	2427	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	140.6	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	26	42	-	2428	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	141.3	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	27	42	-	2429	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	142.0	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	28	42	-	2430	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	142.7	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	29	42	-	2431	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	143.4	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	30	42	-	2432	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	144.1	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	31	42	-	2433	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	144.8	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	32	42	-	2434	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	145.5	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	33	42	-	2435	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	146.2	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	34	42	-	2436	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	146.9	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	35	42	-	2437	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	147.6	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	36	42	-	2438	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	148.3	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	37	42	-	2439	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	149.0	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	38	42	-	2440	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	149.7	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	39	42	-	2441	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	150.4	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	40	42	-	2442	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	151.1	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	41	42	-	2443	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	151.8	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	42	42	-	2444	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	152.5	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	43	42	-	2445	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	153.2	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	44	42	-	2446	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	153.9	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	45	42	-	2447	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	154.6	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	46	42	-	2448	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	155.3	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	47	42	-	2449	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	156.0	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	48	42	-	2450	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	156.7	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	49	42	-	2451	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	157.4	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	50	42	-	2452	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	158.1	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	51	42	-	2453	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	158.8	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	52	42	-	2454	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	159.5	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	53	42	-	2455	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	160.2	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	54	42	-	2456	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	160.9	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	55	42	-	2457	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	161.6	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	56	42	-	2458	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	162.3	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	57	42	-	2459	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	163.0	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	58	42	-	2460	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	163.7	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	59	42	-	2461	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	164.4	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	60	42	-	2462	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	165.1	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	61	42	-	2463	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	165.8	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	62	42	-	2464	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	166.5	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	63	42	-	2465	SL-39	石器	57-42-111	S-X	圓錐片	167.2	32.0	20.9	39.5	珪質頁岩	
134	64	42	-	2466	SL-39	石器</td									

表8 石器觀察表(8)

石器番号	番号	番号	整理番号	出土位置	層位	地質層	Sb-2番号	基盤	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量	石質	備考
128	2	-	6321	II-41	Ⅲ層	81	-	石核	992	281	681	974	麻原石	
128	2	-	6409	V-40	Ⅲ層	81	-	石核	863	428	969	2905	麻原石	
128	3	-	6320	II-41	Ⅲ層	81	-	石核	957	279	679	1014	麻原石	
128	3	-	6320	II-41	Ⅲ層	80	-	石核	916	116	529	991	麻原石	
136	6	-	6396	V-38-39	Ⅲ層	89	-	石核	1250	750	310	3572	地質石	
136	7	-	6320	V-38-39	Ⅲ層	89	8911.7	石核	819	291	315	2693	地質石	
136	8	-	6420	V-38	Ⅲ層	90	-	石核	863	725	499	3225	地質石	
136	9	-	5219	V-39	ブロード+18	90	8-0101	石核	1276	945	602	8693	地質石	
136	10	-	6415	V-38-32	Ⅲ層	95	-	石核	1513	953	561	11252	地質石	
136	11	-	6200	V-38-32	Ⅲ層	95	-	石核	1250	750	310	3572	地質石	
136	12	-	5200	V-38-32	Ⅲ層	95	-	石核	1250	750	310	3572	地質石	
136	13	-	5280	V-38-30	ブロード+18	93	-	石核	564	966	373	1294	地質石	
136	14	-	6200	V-38-30	ブロード+18	93	-	石核	601	717	549	3067	地質石	
136	15	-	6424	V-38-30	Ⅲ層	95	-	石核	707	469	402	1617	地質石	
136	16	-	5273	V-38	黒褐色	95	-	石核	459	981	281	1072	地質石	
139	1	-	5231	V-35-7	細粒	96	-	石核	1220	396	367	2111	地質石	
139	2	-	6405	抽1021馬	10211下細	95	-	石核	718	460	334	2223	地質石	
139	3	-	6427	V-36	捨106馬	10111上細	-	石核	778	95	543	1308	地質石	
139	4	-	5287	V-38-40	捨106馬	10111上細	-	石核	718	413	417	2384	地質石	
139	5	-	6350	V-38-40	捨106馬	10211上細	-	石核	662	316	410	1213	地質石	
139	6	43	5250	V-38-40	捨106馬	10211上細	-	石核	580	380	250	998	地質石	
139	7	-	6350	V-38-40	捨106馬	10211上細	-	石核	581	381	251	999	地質石	
139	8	-	6350	V-38-40	捨106馬	10211上細	-	石核	581	381	251	999	地質石	
139	9	-	6350	V-38-40	捨106馬	10211上細	-	石核	581	381	251	999	地質石	
139	10	-	6613	V-38-40	捨106馬	10211上細	-	石核	133	142	883	3273	地質石	
139	11	-	6613	V-38	捨107馬	125	-	石核	1004	278	155	413	地質石	石核?
139	12	-	6443	V-38-2	捨107馬	125	-	石核	1543	895	675	8460	地質石	
139	13	-	6398	V-38-2	捨107馬	125	-	石核	550	785	603	2983	地質石	
139	14	-	6406	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	15	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	16	-	6406	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	17	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	18	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	19	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	20	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	21	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	22	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	23	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	24	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	25	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	26	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	27	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	28	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	29	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	30	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	31	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	32	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	33	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	34	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	35	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	36	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	37	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	38	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	39	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	40	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	41	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	42	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	43	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	44	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	45	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	46	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	47	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	48	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	49	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	50	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	51	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	52	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	53	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	54	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	55	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	56	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	57	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	58	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	59	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	60	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	61	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	62	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	63	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	64	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	65	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	66	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	67	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	68	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	69	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	70	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	71	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	72	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	73	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	74	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	75	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	76	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	77	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	78	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	79	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	80	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	81	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	82	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	83	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	84	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	85	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石	
139	86	-	6398	V-38-2	捨107馬	127	-	石核	367	411	315	472	地質石</td	

表8 石器觀察表（9）

表8 石器觀察表(10)

石器番号	番号	番号	整理番号	出土位置	層位	地質層	Sb-20番号	基種	丸2 (mm)	幅 (mm)	厚2 (mm)	重量	石質	参考
142 11	-	-	8612	丸2-32 セキテル3.3	黑褐色	95	5-X	磨石	861	838	685	694.9	未確認	
142 12	-	-	8605	丸2-32	黑褐色	95	5-X	磨石	921	819	654	520.1	安山岩	
142 13	-	-	8604	丸2-32	黑褐色	95	5-X	磨石	958	725	713	570.0	安山岩	
142 14	-	-	8623	丸2-38	黑褐色	95	5-X	磨石	929	831	658	712.8	安山岩	
142 15	-	-	8624	丸2-38	黑褐色	95	5-X	磨石	930	831	658	712.8	安山岩	
142 16	-	-	8621	丸2-39	黑褐色	95	5-X	磨石	943	793	672	592.8	安山岩	
142 17	-	-	8625	丸2-39	黑褐色	95	5-X	磨石	943	839	682	629.0	安山岩	
142 18	-	-	8626	丸2-39	黑褐色	95	5-X	磨石	943	839	682	629.0	安山岩	
142 19	-	-	8627	丸2-39	黑褐色	95	5-X	磨石	943	839	682	629.0	安山岩	
142 20	-	-	8628	丸2-39	黑褐色	95	5-X	磨石	943	839	682	629.0	安山岩	
142 21	-	-	8629	丸2-39	黑褐色	95	5-X	磨石	950	716	662	552.0	安山岩	
142 22	-	-	8727	セキテル3.2	黑褐色	95	5-X	磨石	1009	738	513	578.6	花崗岩	
147 23	-	-	8264	セキテル3.2	黑褐色	95	5-X	磨石	981	267	674	716.9	赤色顕晶岩	
147 24	-	-	8651	丸2-31	黑褐色	95	5-X	磨石	1009	728	513	581.4	赤色顕晶岩	
147 25	-	-	8652	丸2-31	黒褐色	95	5-X	磨石	1008	802	518	617.0	安山岩	
147 26	-	-	8622	セキテル3.2	黒褐色	95	5-X	磨石	1103	628	617	790.1	赤色顕晶岩	
147 27	-	-	8653	丸2-31	黒褐色	95	5-X	磨石	1007	825	588	620.1	赤色顕晶岩	
147 28	-	-	8654	丸2-31	黒褐色	95	5-X	磨石	1007	825	588	620.1	赤色顕晶岩	
147 29	-	-	8655	丸2-31	黒褐色	95	5-X	磨石	976	861	582	632.9	花崗岩	
147 30	-	-	8656	丸2-31	黒褐色	95	5-X	磨石	708	453	543	369.5	花崗岩	
147 31	-	-	8657	丸2-31	黒褐色	95	5-X	磨石	912	886	663	893.3	安山岩	
147 32	-	-	8623	セキテル3.2	黒褐色	95	5-X	磨石	1018	909	652	1270.3	安山岩	
148 1	-	-	8653	丸2-32	黒褐色	95	5-X	磨石	210	683	637	626.0	赤色顕晶岩	
148 2	-	-	8654	丸2-32	黒褐色	95	5-X	磨石	88	491	527	550.1	花崗岩	
148 3	-	-	8655	丸2-32	黒褐色	95	5-X	磨石	115	675	620	668.2	安山岩	
148 4	-	-	8656	丸2-32	黒褐色	95	5-X	磨石	111	1070	655	1093.2	赤色顕晶岩	
148 5	-	-	8657	丸2-32	黒褐色	95	5-X	磨石	115	675	620	668.2	安山岩	
148 6	-	-	8658	丸2-32	黒褐色	95	5-X	磨石	115	675	620	668.2	安山岩	
148 7	-	-	8659	丸2-32	黒褐色	95	5-X	磨石	115	675	620	668.2	安山岩	
148 8	-	-	8660	丸2-32	黒褐色	95	5-X	磨石	115	675	620	668.2	安山岩	
148 9	-	-	8661	丸2-32	黒褐色	95	5-X	磨石	115	675	620	668.2	安山岩	
148 10	-	-	8662	丸2-32	黒褐色	95	5-X	磨石	115	675	620	668.2	安山岩	
148 11	-	-	8671	丸2-32	黒褐色	95	5-X	磨石	115	675	620	668.2	安山岩	
148 12	-	-	8672	丸2-32	黒褐色	95	5-X	磨石	115	675	620	668.2	安山岩	
148 13	-	-	8673	丸2-32	黒褐色	95	5-X	磨石	115	675	620	668.2	安山岩	
148 14	-	-	8674	丸2-32	黒褐色	95	5-X	磨石	115	675	620	668.2	安山岩	
148 15	-	-	8675	丸2-32	黒褐色	95	5-X	磨石	115	675	620	668.2	安山岩	
148 16	-	-	8676	丸2-32	黒褐色	95	5-X	磨石	115	675	620	668.2	安山岩	
148 17	-	-	8677	丸2-32	黒褐色	95	5-X	磨石	115	675	620	668.2	安山岩	
148 18	-	-	8678	丸2-32	黒褐色	95	5-X	磨石	115	675	620	668.2	安山岩	
148 19	-	-	8679	丸2-32	黒褐色	95	5-X	磨石	115	675	620	668.2	安山岩	
148 20	-	-	8715	丸2-36	捨10番上	5-X	磨石	819	862	662	502.3	麻灰岩		
148 21	-	-	8626	丸2-36	捨10番馬	5-X	磨石	863	592	456	292.1	花崗岩		
148 22	-	-	8627	丸2-35	捨10番馬	5-X	磨石	1303	968	647	1179.0	赤色顕晶岩		
148 23	-	-	8628	丸2-35	捨10番馬	5-X	磨石	1115	650	609	529.1	赤色顕晶岩		
148 24	-	-	8629	丸2-35	捨10番馬	5-X	磨石	1115	650	609	529.1	赤色顕晶岩		
148 25	-	-	8630	丸2-35	捨10番馬	5-X	磨石	1115	650	609	529.1	赤色顕晶岩		
148 26	-	-	8631	丸2-35	捨10番馬	5-X	磨石	1115	650	609	529.1	赤色顕晶岩		
149 1	-	-	8626	セキテル3.1	黒褐色	122	5-X	磨石	18.6	4.3	554	890.2	安山岩	
149 2	-	-	8627	セキテル3.1	黒褐色	122	5-X	磨石	819	862	662	502.3	麻灰岩	
149 3	-	-	8628	セキテル3.1	黒褐色	122	5-X	磨石	863	592	456	292.1	花崗岩	
149 4	-	-	8629	セキテル3.1	黒褐色	122	5-X	磨石	115	968	647	1179.0	赤色顕晶岩	
149 5	-	-	8630	セキテル3.1	黒褐色	122	5-X	磨石	115	650	609	529.1	赤色顕晶岩	
149 6	-	-	8631	セキテル3.1	黒褐色	122	5-X	磨石	115	650	609	529.1	赤色顕晶岩	
149 7	-	-	8632	セキテル3.1	黒褐色	122	5-X	磨石	115	650	609	529.1	赤色顕晶岩	
149 8	-	-	8621	丸2-39	捨10番上	125	5-X	磨石	1239	773	433	723.8	鵠谷灰岩	
149 9	-	-	10237	丸2-39	1層	5-X	磨石	1272	796	687	176.9	花崗岩		
149 10	-	-	8274	丸2-38	10-11 22-23 26-27	5-X	磨石	1435	367	515	958.8	赤色顕晶岩		
149 11	-	-	8621	丸2-38	10-11 22-23 26-27	5-X	磨石	979	814	541	606.1	赤色顕晶岩		
149 12	-	-	8622	丸2-38	10-11 22-23	5-X	磨石	657	592	624	187.6	花崗岩		
149 13	-	-	8208	丸2-38	10-11 22-23	5-X	磨石	1317	1115	824	1766.3	安山岩		
149 14	-	-	8206	丸2-38	10-11 22-23	5-X	磨石	1017	841	472	619.1	花崗岩		
149 15	-	-	8625	丸2-38	10-11 22-23	5-X	磨石	853	693	657	933.9	粗状		
149 16	-	-	8626	丸2-38	10-11 22-23	5-X	磨石	1003	816	639	883.8	赤色顕晶岩		
149 17	-	-	8627	丸2-38	10-11 22-23	5-X	磨石	1113	558	683	2031.0	安山岩		
149 18	-	-	8628	丸2-38	10-11 22-23	5-X	磨石	1003	576	620	188.8	安山岩		
149 19	-	-	8621	丸2-39	捨10番平行	5-X	磨石	1076	722	587	656.2	花崗岩		
149 20	-	-	8625	丸2-39	捨10番平行	5-X	磨石	1216	862	665	837.7	安山岩		
149 21	-	-	8626	丸2-39	捨10番平行	5-X	磨石	1235	998	526	171.7	赤色顕晶岩		
149 22	-	-	8627	丸2-39	捨10番平行	5-X	磨石	1051	510	380	1392.1	安山岩		
149 23	-	-	5-357	丸2-39	捨10番平行	5-X	磨石	1143	528	683	2031.0	赤色顕晶岩		
149 24	4	30	2	8306	丸2-39	捨10番平行	5-X	磨石	450	430	400	114.3	安山岩	
149 25	5	30	3	8202	丸2-39	捨10番平行	5-X	磨石	1141	653	231	1119.1	赤色顕晶岩	
149 26	6	30	3	8471	丸2-39	捨10番平行	5-X	磨石	1129	851	661	821.8	安山岩	
149 27	-	-	8202	丸2-39	捨10番上	10	5-X	磨石	1125	810	652	841.1	麻灰岩	
149 28	-	-	8208	丸2-39	捨10番上	10	5-X	磨石	1232	446	254	282.2	赤色顕晶岩	
149 29	-	-	8206	丸2-39	捨10番上	10	5-X	磨石	1158	810	527	635.5	赤色顕晶岩	
149 30	-	-	8206	丸2-39	捨10番上	10	5-X	磨石	1163	775	293	633.8	安山岩	
149 31	-	-	81427	丸2-39	捨10番上	10	5-X	磨石	938	668	273	181.0	麻灰岩	
149 32	-	-	8409	丸2-39	捨10番上	10	5-X	磨石	1062	1069	965	1735.4	赤色顕晶岩	
149 33	-	-	8409	丸2-39	捨10番上	10	5-X	磨石	1142	963	545	796.8	安山岩	
149 34	-	-	8409	丸2-39	捨10番上	10	5-X	磨石	1151	780	367	328.8	麻灰岩	

表8 石器觀察表 (11)

表8 石器觀察表（12）

表8 石器觀察表（13）

表8 石器觀察表 (14)

表8 石器觀察表(15)

石器番号	番号	回番号	番号	整理番号	出土位置	層位	地質層	Sb-年号	基種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量	石質	備考
171	10	-	-	4106	VK-22	地盤	10113.7	S-5194	石頭	314.0	1950	1360	4560	砂岩	
172	1	23	1	4156	VK-20	地盤	26-29	S-5192	石頭	1890	1270	580	9550	褐色風灰岩	ドリック層
172	2	37	2	4080	VK-25	地盤	32	S-5191	石頭	2780	2000	360	10800	褐色岩	
172	3	56	4	4206	VK-20	地盤	30-31	S-5190	石頭	48.0	3660	1180	18800	褐色岩	
172	4	54	4	4143	北壁面-46	11m-5	-	S-X	石頭	5920	2860	760	11900	綠色風灰岩	アーチ形 壁面、黒色風化層、周囲衝突 15cm
172	5	37	3	4143	北壁面-47	11m-3m	-	S-5094	石頭	43.0	2620	1050	10800	褐色岩	
172	6	56	6	4207	VK-25	地盤	10	S-5191	石頭	2800	1260	810	75800	綠色風灰岩	削れ面を含む切口とも被熱で黒色化。上部の北側 壁面の方が黒色化傾向。
172	7	57	4	4382	VK-20	地盤	32	S-5190	石頭	4220	2260	970	93000	綠色風灰岩	
172	8	56	5	4152	壁面-7	2m-2	-	S-X	石頭	3920	1520	360	18600	褐色岩	
173	1	-	-	6386	VK-36	地盤表面	10113.7	S-5194	石頭	63.4	448	259	776	褐色岩	
173	2	-	-	6386	VK-38	地盤	63-89	S-X	自然隕	825	480	408	2002	褐色岩	
173	3	-	-	6386	VK-30	地盤	95	S-X	自然隕	825	438	437	1852	褐色岩	
173	4	-	-	6386	VK-39	地盤	10	S-5094	自然隕	107	470	348	1557	褐色岩	アーチ形 壁面
173	5	-	-	6386	VK-39	地盤	10	S-5094	自然隕	75.6	411	315	1865	褐色岩	
173	6	-	-	6386	VK-39	地盤	28	S-X	自然隕	1740	555	256	2337	綠化木	
173	7	-	-	6386	VK-39	地盤	95	S-X	自然隕	902	545	414	1324	褐色岩	
173	8	-	-	6386	VK-39	地盤	95	S-X	自然隕	1025	560	431	2965	褐色岩	壁孔目の生花化石
173	9	-	-	6386	VK-39	地盤	95	S-X	自然隕	1039	416	402	2553	褐色岩	骨乳
173	10	-	-	6386	VK-39	地盤	95	S-X	自然隕	1063	416	402	2553	褐色岩	
173	11	-	-	6386	VK-39	地盤	95	S-X	自然隕	1073	416	402	2553	褐色岩	
173	12	-	-	6386	VK-39	地盤	95	S-X	自然隕	1073	416	402	2553	褐色岩	
173	13	-	-	6386	VK-39	地盤	95	S-X	自然隕	1073	416	402	2553	褐色岩	
173	14	-	-	6386	VK-39	地盤	95	S-X	自然隕	1073	416	402	2553	褐色岩	
173	15	-	-	6386	VK-39	地盤	95	S-X	自然隕	1073	416	402	2553	褐色岩	
173	16	-	-	6386	VK-39	地盤	95	S-X	自然隕	1073	416	402	2553	褐色岩	
173	17	-	-	6386	VK-36	地盤表面	10113.7	S-X	自然隕	488	283	113	160	褐色	微小な木
173	18	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	19	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	20	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	21	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	22	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	23	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	24	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	25	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	26	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	27	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	28	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	29	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	30	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	31	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	32	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	33	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	34	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	35	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	36	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	37	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	38	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	39	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	40	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	41	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	42	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	43	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	44	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	45	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	46	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	47	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	48	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	49	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	50	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	51	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	52	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	53	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	54	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	55	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	56	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	57	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	58	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	59	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	60	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	61	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	62	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	63	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	64	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	65	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	66	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	67	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	68	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	69	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	70	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	71	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	72	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	73	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	74	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	75	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	76	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	77	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	78	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	79	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	80	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	81	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	82	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	83	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	84	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	85	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	86	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	87	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	88	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X	自然隕	273	211	83	413	褐色風灰岩	
173	89	-	-	6386	VK-38	地盤	26	S-X</td							

表8 石器觀察表（16）

表8 石器觀察表 (17)

表8 石器觀察表 (18)

表8 石器觀察表(19)

石器番号	番号	番号	整理番号	出土位置	層位	地質層	S&B書名	器種	丸径 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重量 (g)	石質	備考	
186	21	-	793	V-27	捨16相当	10331下相	5-X	石製品	369	436	106	16.3	未確認		
186	26	-	5895	V-29	捨15上層	125	5-X	石製品	1205	120.0	111	394.4	和田玉	本縣山石、細緻堅、石質堅硬且無用	
186	36	69	2	7334	V-29	捨13下層	127	5-X	石製品	600	590	23.0	109.6	安山岩	
186	37	-	2035	V-29	捨12上層	127	5-X	石製品	656	250	156	47.3	麻灰岩	純熟	
186	38	-	5377	V-29	捨12	13	5-X	石製品	647	568	18.1	89.6	アグリナイト	不規則角形、刃面鋸歯、研磨倒錐	
187	1	20	5	6455	V-28	捨11	11-15-18	5-X	玉素材	210	192	80	3.1	青白玉	
187	2	69	3	1342	V-28	捨11	25	5-X	玉素材	100	100	80	0.6	青白玉	
187	3	-	-	2116	V-28	捨10	65	5-X	玉素材	147	123	120	2.1	青白玉	
187	4	-	-	333	V-29	捨11上層	122	5-X	玉	81	78	48	6.2	青白玉	
187	5	-	-	5429	V-29	捨11	69	5-X	玉	120	100	80	1.8	青白玉	手玉
187	6	-	-	5429	V-29	捨11	69	5-X	玉	120	100	80	1.8	青白玉	手玉
187	8	69	5	2030	V-21	東裏1	69	5-X	石製品	500	225	90	80.2	碧玉	自然端に株立有り直し
187	9	69	13	830	V-20	東裏1	69	5-X	石製品	240	260	70	5.9	青白玉	
187	10	70	5	6295	V-29	捨11	205	5-X	玉素材	205	200	200	8.1	青白玉	ハサワあり
187	11	69	10	1342	V-28	捨11	83	5-X	5-X	190	120	70	2.3	ヒスイ	
188	22	20	5	6455	V-27	捨10	205	5-X	玉	125	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	23	20	5	6455	V-27	捨10	115	5-X	玉	125	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	24	20	5	6455	V-27	捨10	122-125	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	25	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	26	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	27	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	28	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	29	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	30	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	31	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	32	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	33	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	34	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	35	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	36	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	37	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	38	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	39	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	40	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	41	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	42	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	43	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	44	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	45	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	46	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	47	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	48	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	49	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	50	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	51	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	52	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	53	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	54	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	55	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	56	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	57	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	58	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	59	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	60	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	61	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	62	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	63	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	64	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	65	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	66	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	67	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	68	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	69	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	70	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	71	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	72	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	73	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	74	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	75	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	76	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	77	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	78	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	79	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	80	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	81	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	82	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	83	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	84	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	85	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	86	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	87	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	88	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	89	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	90	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	91	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	92	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	93	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	94	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	95	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	96	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	97	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	98	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	99	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	100	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	101	20	5	6455	V-27	捨10	120	5-X	玉	120	100	80	2.6	青白玉	刃材
188	1														

表9 石裂凹盤觀察表（1）

表9 石裂凹盤觀察表（2）

表9 石製円盤觀察表（3）

表9 石製凹盤觀察表（4）

序号	考古学名	出土地点	地层单位	编 号	层位	深 度	厚 度	直 长	直 宽	直 高
1	YJ-1	YJ-29	YJ-29	601	601	157	62	20	10	10
2	YJ-2	YJ-29	YJ-29	602	602	157	62	20	10	10
3	YJ-3	YJ-29	YJ-29	603	603	157	62	20	10	10
4	YJ-4	YJ-29	YJ-29	604	604	157	62	20	10	10
5	YJ-5	YJ-29	YJ-29	605	605	157	62	20	10	10
6	YJ-6	YJ-29	YJ-29	606	606	157	62	20	10	10
7	YJ-7	YJ-29	YJ-29	607	607	157	62	20	10	10
8	YJ-8	YJ-29	YJ-29	608	608	157	62	20	10	10
9	YJ-9	YJ-29	YJ-29	609	609	157	62	20	10	10
10	YJ-10	YJ-29	YJ-29	610	610	157	62	20	10	10
11	YJ-11	YJ-29	YJ-29	611	611	157	62	20	10	10
12	YJ-12	YJ-29	YJ-29	612	612	157	62	20	10	10
13	YJ-13	YJ-29	YJ-29	613	613	157	62	20	10	10
14	YJ-14	YJ-29	YJ-29	614	614	157	62	20	10	10
15	YJ-15	YJ-29	YJ-29	615	615	157	62	20	10	10
16	YJ-16	YJ-29	YJ-29	616	616	157	62	20	10	10
17	YJ-17	YJ-29	YJ-29	617	617	157	62	20	10	10
18	YJ-18	YJ-29	YJ-29	618	618	157	62	20	10	10
19	YJ-19	YJ-29	YJ-29	619	619	157	62	20	10	10
20	YJ-20	YJ-29	YJ-29	620	620	157	62	20	10	10
21	YJ-21	YJ-29	YJ-29	621	621	157	62	20	10	10
22	YJ-22	YJ-29	YJ-29	622	622	157	62	20	10	10
23	YJ-23	YJ-29	YJ-29	623	623	157	62	20	10	10
24	YJ-24	YJ-29	YJ-29	624	624	157	62	20	10	10
25	YJ-25	YJ-29	YJ-29	625	625	157	62	20	10	10
26	YJ-26	YJ-29	YJ-29	626	626	157	62	20	10	10
27	YJ-27	YJ-29	YJ-29	627	627	157	62	20	10	10
28	YJ-28	YJ-29	YJ-29	628	628	157	62	20	10	10
29	YJ-29	YJ-29	YJ-29	629	629	157	62	20	10	10
30	YJ-30	YJ-29	YJ-29	630	630	157	62	20	10	10
31	YJ-31	YJ-29	YJ-29	631	631	157	62	20	10	10
32	YJ-32	YJ-29	YJ-29	632	632	157	62	20	10	10
33	YJ-33	YJ-29	YJ-29	633	633	157	62	20	10	10
34	YJ-34	YJ-29	YJ-29	634	634	157	62	20	10	10
35	YJ-35	YJ-29	YJ-29	635	635	157	62	20	10	10
36	YJ-36	YJ-29	YJ-29	636	636	157	62	20	10	10
37	YJ-37	YJ-29	YJ-29	637	637	157	62	20	10	10
38	YJ-38	YJ-29	YJ-29	638	638	157	62	20	10	10
39	YJ-39	YJ-29	YJ-29	639	639	157	62	20	10	10
40	YJ-40	YJ-29	YJ-29	640	640	157	62	20	10	10
41	YJ-41	YJ-29	YJ-29	641	641	157	62	20	10	10
42	YJ-42	YJ-29	YJ-29	642	642	157	62	20	10	10
43	YJ-43	YJ-29	YJ-29	643	643	157	62	20	10	10
44	YJ-44	YJ-29	YJ-29	644	644	157	62	20	10	10
45	YJ-45	YJ-29	YJ-29	645	645	157	62	20	10	10
46	YJ-46	YJ-29	YJ-29	646	646	157	62	20	10	10
47	YJ-47	YJ-29	YJ-29	647	647	157	62	20	10	10
48	YJ-48	YJ-29	YJ-29	648	648	157	62	20	10	10
49	YJ-49	YJ-29	YJ-29	649	649	157	62	20	10	10
50	YJ-50	YJ-29	YJ-29	650	650	157	62	20	10	10
51	YJ-51	YJ-29	YJ-29	651	651	157	62	20	10	10
52	YJ-52	YJ-29	YJ-29	652	652	157	62	20	10	10
53	YJ-53	YJ-29	YJ-29	653	653	157	62	20	10	10
54	YJ-54	YJ-29	YJ-29	654	654	157	62	20	10	10
55	YJ-55	YJ-29	YJ-29	655	655	157	62	20	10	10
56	YJ-56	YJ-29	YJ-29	656	656	157	62	20	10	10
57	YJ-57	YJ-29	YJ-29	657	657	157	62	20	10	10
58	YJ-58	YJ-29	YJ-29	658	658	157	62	20	10	10
59	YJ-59	YJ-29	YJ-29	659	659	157	62	20	10	10
60	YJ-60	YJ-29	YJ-29	660	660	157	62	20	10	10
61	YJ-61	YJ-29	YJ-29	661	661	157	62	20	10	10
62	YJ-62	YJ-29	YJ-29	662	662	157	62	20	10	10
63	YJ-63	YJ-29	YJ-29	663	663	157	62	20	10	10
64	YJ-64	YJ-29	YJ-29	664	664	157	62	20	10	10
65	YJ-65	YJ-29	YJ-29	665	665	157	62	20	10	10
66	YJ-66	YJ-29	YJ-29	666	666	157	62	20	10	10
67	YJ-67	YJ-29	YJ-29	667	667	157	62	20	10	10
68	YJ-68	YJ-29	YJ-29	668	668	157	62	20	10	10
69	YJ-69	YJ-29	YJ-29	669	669	157	62	20	10	10
70	YJ-70	YJ-29	YJ-29	670	670	157	62	20	10	10
71	YJ-71	YJ-29	YJ-29	671	671	157	62	20	10	10
72	YJ-72	YJ-29	YJ-29	672	672	157	62	20	10	10
73	YJ-73	YJ-29	YJ-29	673	673	157	62	20	10	10
74	YJ-74	YJ-29	YJ-29	674	674	157	62	20	10	10
75	YJ-75	YJ-29	YJ-29	675	675	157	62	20	10	10
76	YJ-76	YJ-29	YJ-29	676	676	157	62	20	10	10
77	YJ-77	YJ-29	YJ-29	677	677	157	62	20	10	10
78	YJ-78	YJ-29	YJ-29	678	678	157	62	20	10	10
79	YJ-79	YJ-29	YJ-29	679	679	157	62	20	10	10
80	YJ-80	YJ-29	YJ-29	680	680	157	62	20	10	10
81	YJ-81	YJ-29	YJ-29	681	681	157	62	20	10	10
82	YJ-82	YJ-29	YJ-29	682	682	157	62	20	10	10
83	YJ-83	YJ-29	YJ-29	683	683	157	62	20	10	10
84	YJ-84	YJ-29	YJ-29	684	684	157	62	20	10	10
85	YJ-85	YJ-29	YJ-29	685	685	157	62	20	10	10
86	YJ-86	YJ-29	YJ-29	686	686	157	62	20	10	10
87	YJ-87	YJ-29	YJ-29	687	687	157	62	20	10	10
88	YJ-88	YJ-29	YJ-29	688	688	157	62	20	10	10
89	YJ-89	YJ-29	YJ-29	689	689	157	62	20	10	10
90	YJ-90	YJ-29	YJ-29	690	690	157	62	20	10	10
91	YJ-91	YJ-29	YJ-29	691	691	157	62	20	10	10
92	YJ-92	YJ-29	YJ-29	692	692	157	62	20	10	10
93	YJ-93	YJ-29	YJ-29	693	693	157	62	20	10	10
94	YJ-94	YJ-29	YJ-29	694	694	157	62	20	10	10
95	YJ-95	YJ-29	YJ-29	695	695	157	62	20	10	10
96	YJ-96	YJ-29	YJ-29	696	696	157	62	20	10	10
97	YJ-97	YJ-29	YJ-29	697	697	157	62	20	10	10
98	YJ-98	YJ-29	YJ-29	698	698	157	62	20	10	10
99	YJ-99	YJ-29	YJ-29	699	699	157	62	20	10	10
100	YJ-100	YJ-29	YJ-29	700	700	157	62	20	10	10
101	YJ-101	YJ-29	YJ-29	701	701	157	62	20	10	10
102	YJ-102	YJ-29	YJ-29	702	702	157	62	20	10	10
103	YJ-103	YJ-29	YJ-29	703	703	157	62	20	10	10
104	YJ-104	YJ-29	YJ-29	704	704	157	62	20	10	10
105	YJ-105	YJ-29	YJ-29	705	705	157	62	20	10	10
106	YJ-106	YJ-29	YJ-29	706	706	157	62	20	10	10
107	YJ-107	YJ-29	YJ-29	707	707	157	62	20	10	10
108	YJ-108	YJ-29	YJ-29	708	708	157	62	20	10	10
109	YJ-109	YJ-29	YJ-29	709	709	157	62	20	10	10
110	YJ-110	YJ-29	YJ-29	710	710	157	62	20	10	10
111	YJ-111	YJ-29	YJ-29	711	711	157	62	20	10	10
112	YJ-112	YJ-29	YJ-29	712	712	157	62	20	10	10
113	YJ-113	YJ-29	YJ-29	713	713	157	62	20	10	10
114	YJ-114	YJ-29	YJ-29	714	714	157	62	20	10	10
115	YJ-115	YJ-29	YJ-29	715	715	157	62	20	10	10
116	YJ-116	YJ-29	YJ-29	716	716	157	62	20	10	10
117	YJ-117	YJ-29	YJ-29	717	717	157	62	20	10	10
118	YJ-118	YJ-29	YJ-29	718	718	157	62	20	10	10
119	YJ-119	YJ-29	YJ-29	719	719	157	62	20	10	10
120	YJ-120	YJ-29	YJ-29	720	720	157	62	20	10	10
121	YJ-121	YJ-29	YJ-29	721	721	157	62	20	10	10
122	YJ-122	YJ-29	YJ-29	722	722	157	62	20	10	10
123	YJ-123	YJ-29	YJ-29	723	723	157	62	20	10	10
124	YJ-124	YJ-29	YJ-29	724	724	157	62	20	10	10
125	YJ-125	YJ-29	YJ-29	725	725	157	62	20	10	10
126	YJ-126	YJ-29	YJ-29	726	726	157	62	20	10	10
127	YJ-127	YJ-29	YJ-29	727	727	157	62	20	10	10
128	YJ-128	YJ-29	YJ-29	728	728	157	62	20	10	10
129	YJ-129	YJ-29</								

10

100

118

- 197 -

表9 石裂凹盤觀察表（5）